

令和元年度 第1回海老名市子ども・子育て会議 次第

日 時：令和元年5月31日（金）午前10時から

場 所：えびなこどもセンター 201 会議室

1 開 会

2 議 題

【 報 告 事 項 】

ニーズ調査の結果報告書について（資料1）

【 審 議 事 項 】

（1）子ども・子育て支援事業計画の平成30年度実施状況報告について（資料2・3）

（2）第1期計画の評価・検証について（資料4）

3 閉 会

< 資 料 一 覧 >

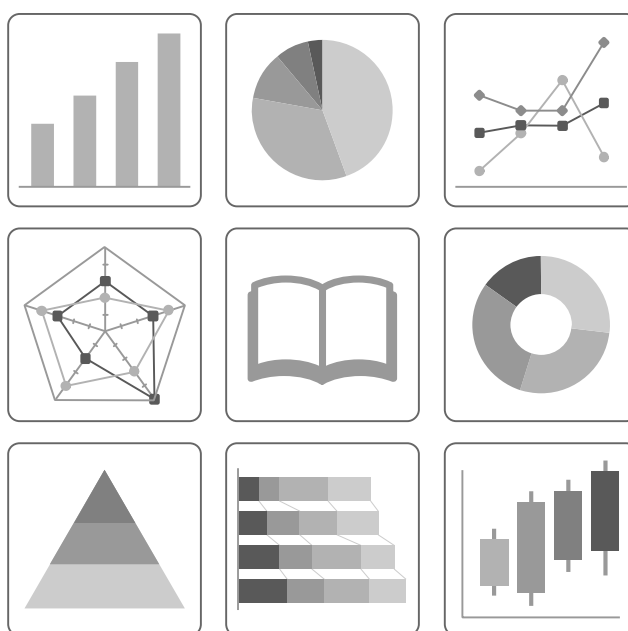
【 資 料 1 】 海老名市子ども・子育て支援事業 ニーズ調査 結果報告書

【 資 料 2 】 海老名市子ども・子育て支援事業計画 平成30年度事業 実施状況報告書

【 資 料 3 】 海老名市子ども・子育て支援事業計画 平成30年度事業 実施状況報告書（別紙）

【 資 料 4 】 第1期 海老名市子ども・子育て支援事業計画の評価・検証

海老名市子ども・子育て支援事業 ニーズ調査 結果報告書



平成 31 年 3 月

海 老 名 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の期間	1
3. 調査の種類	1
4. 対象者抽出	1
5. 調査の方法	1
6. 回収の状況	1
7. 調査結果の表示方法	1
第2章 調査結果（就学前児童用）	3
1. 居住地域について	3
2. 子どもと家族の状況について	3
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	7
4. 保護者の就労状況について	13
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	20
6. 子育て支援センターの利用状況について	26
7. 子どもの病気の際の対応について	28
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	31
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	36
10. 職場の両立支援制度について	40
11. 母親の妊娠、出産等について	44
12. 子育てと子育て支援について	46
第3章 調査結果（小学生用）	53
1. お住まいの地域について	53
2. お子さんご家族の状況について	53
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	57
4. 保護者の就労状況について	62
5. 病気の際の対応について	68
6. 放課後の過ごし方について	72
7. 子育てと子育て支援について	80
第4章 クロス集計結果	85
1. 子どもの年齢別にみる集計	85
2. 母親の就労状況別にみる集計	91
3. 教育・保育事業の決定理由別にみる集計	94
4. 地域別にみる集計	95
5. 世帯構成別にみる集計	112
6. 所得階層別にみる集計	116
第5章 満足度・重要度の調査	131
ポートフォリオ分析による満足度・重要度の調査	131
第6章 自由意見	135

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

海老名市では、「海老名市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て世帯への支援の充実を図っています。

この調査は、平成32年度から始まる「第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子育て支援サービスの利用状況や今後の利用希望などを把握し、子育て中のみなさまの「ニーズ」を集計・分析し、その結果を計画に反映することを目的としています。

2. 調査の期間

平成31年1月11日～1月24日

3. 調査の種類

(1) 就学前児童用

0歳から6歳までの小学校にあがる前の児童を対象とした調査

(2) 小学生用

小学校児童を対象とした調査

4. 対象者抽出

(1) 就学前児童用

海老名市在住の就学前児童がいるすべての世帯を抽出

(2) 小学生用

市内13校の各学年から1クラスを抽出

5. 調査の方法

郵送及び保育所、幼稚園、小学校を通じて配布し、すべて郵送で回収

6. 回収の状況

調査の種類	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童用	5,503 通	3,102 通	56.4%
小学生用	2,248 通	1,164 通	51.8%

7. 調査結果の表示方法

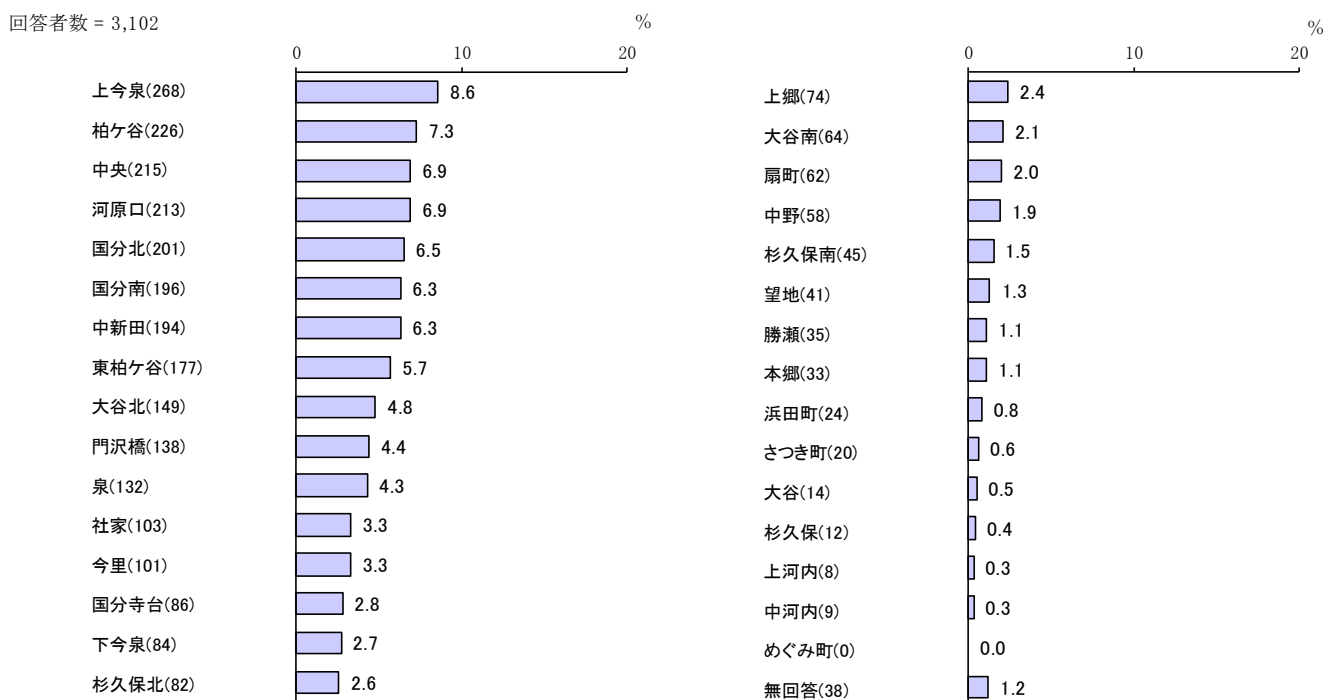
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

第2章 調査結果（就学前児童用）

第2章 調査結果（就学前児童用）

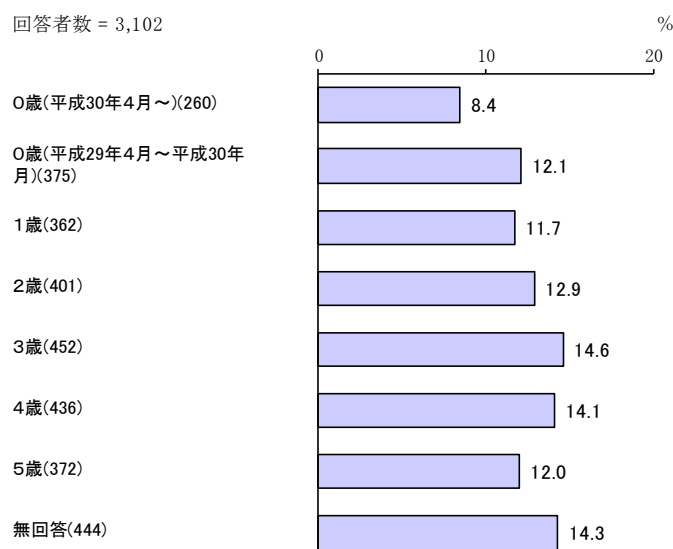
1. 居住地域について

問1 お住まいの地区として当てはまるところ1つに○をつけてください。



2. 子どもと家族の状況について

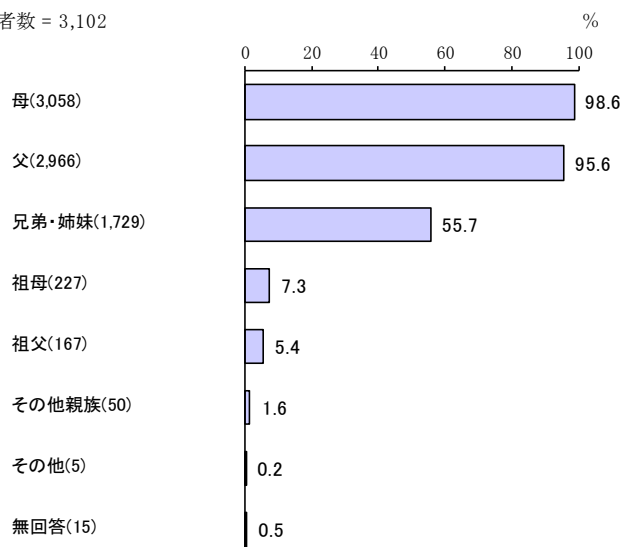
問2 対象のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。
(□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。)



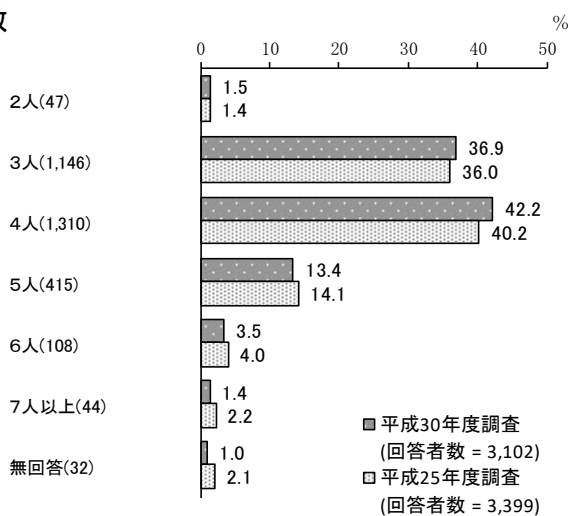
問3 対象のお子さんと同居されている方、すべてに○をつけてください。続柄はお子さんから見た関係です。また、同居している家族全員（保護者と該当のお子さんを含む）の人数をご記入ください。

(1) 子どもと同居している方

回答者数 = 3,102

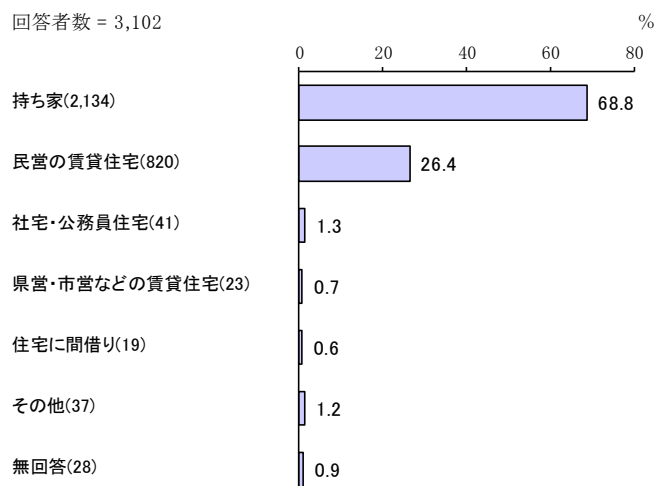


(2) 同居している家族の人数

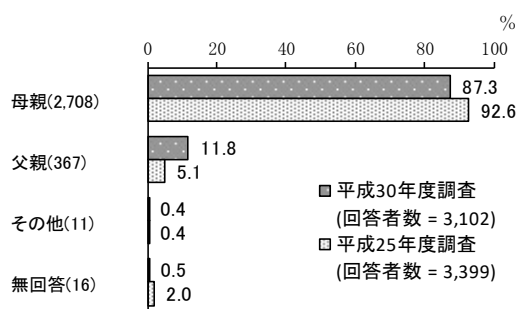


問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

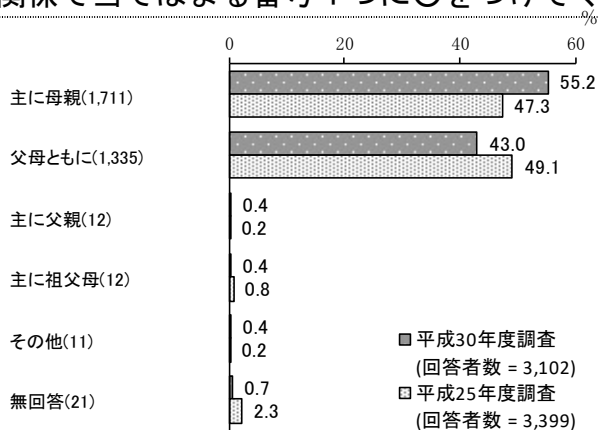
回答者数 = 3,102



問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

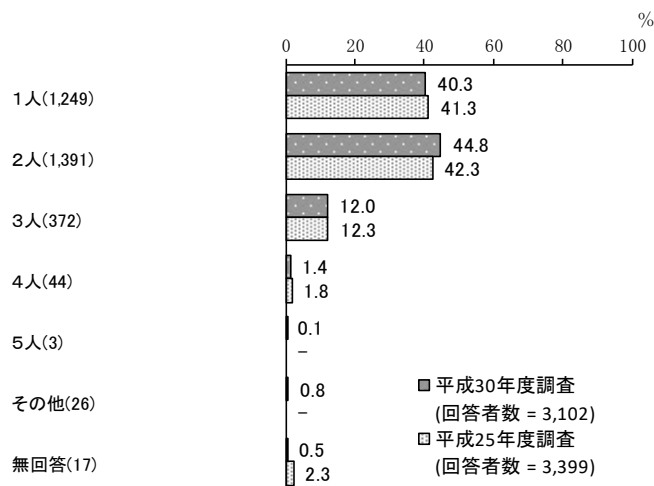


問6 対象のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



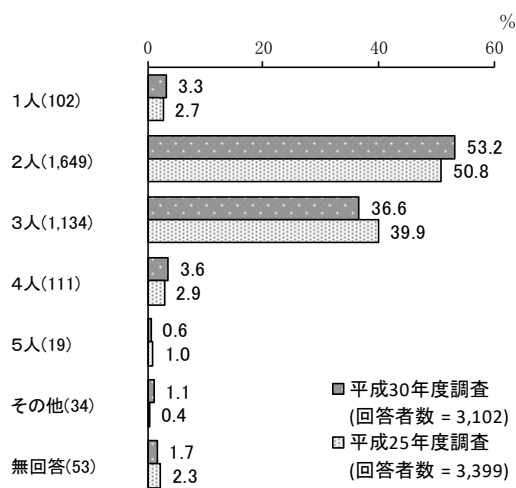
問7 あなたには、何人お子さんがいらっしゃいますか。また、理想的小子さんの人数は何人ですか。それぞれ、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 実際のお子さんの人数



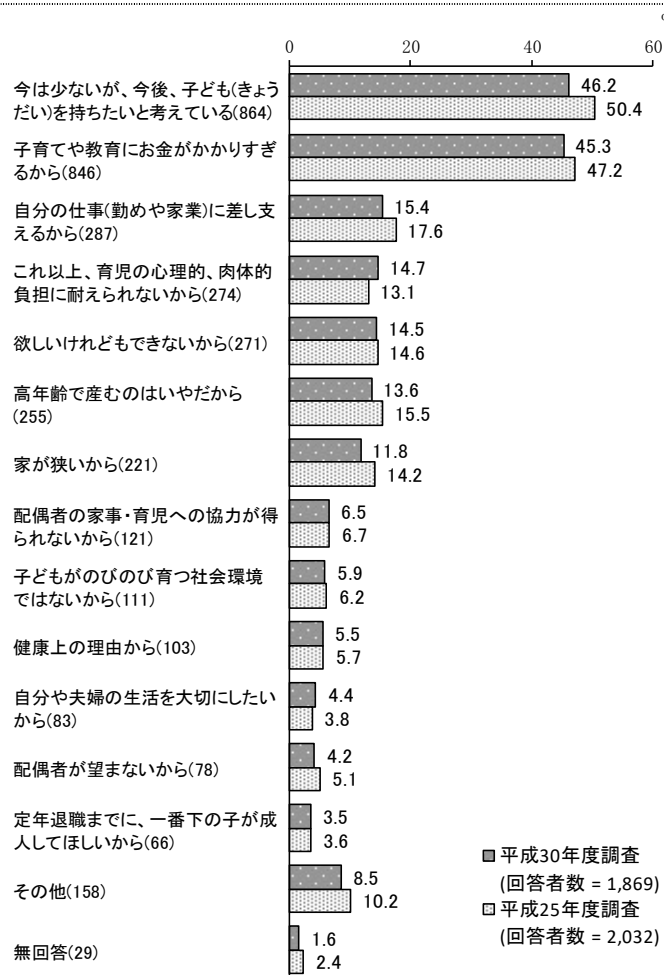
※「4人」については平成25年度調査では「4人以上」の値。

(2) 理想のお子さんの人数



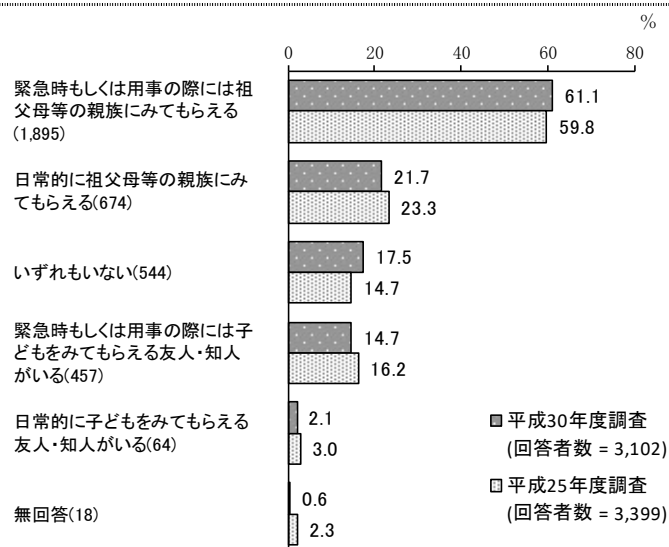
「理想的な子どもの人数」より「実際の子どもの人数」が少ない方にうかがいます。

問7-1 少ない理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

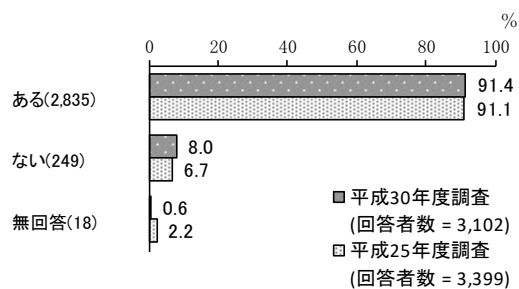


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 日頃、対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

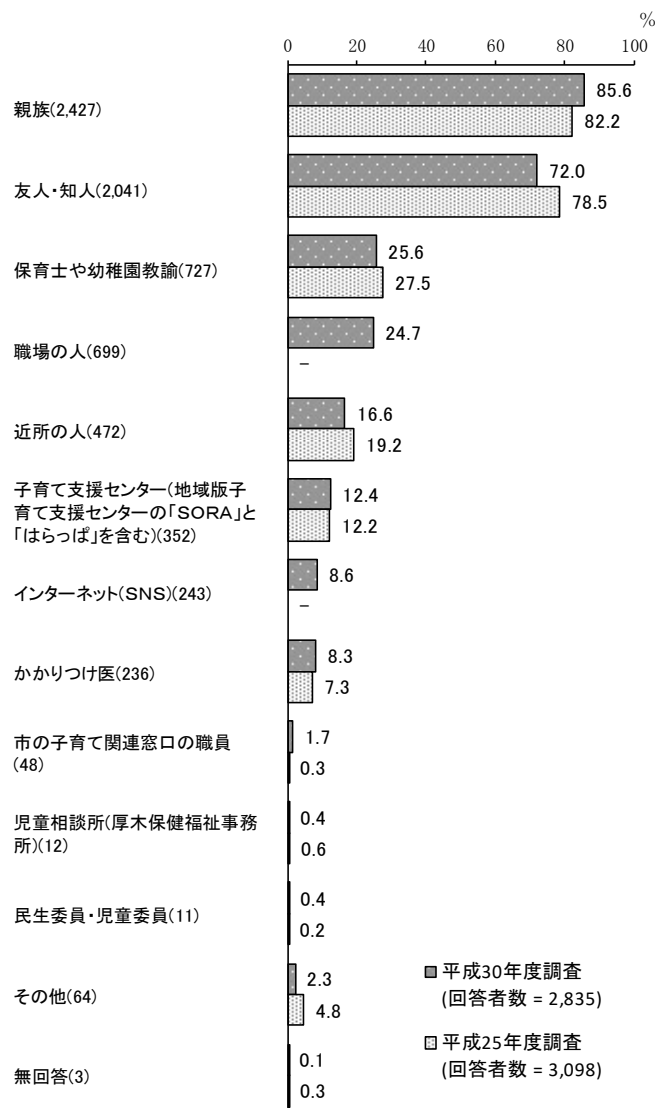


問9 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

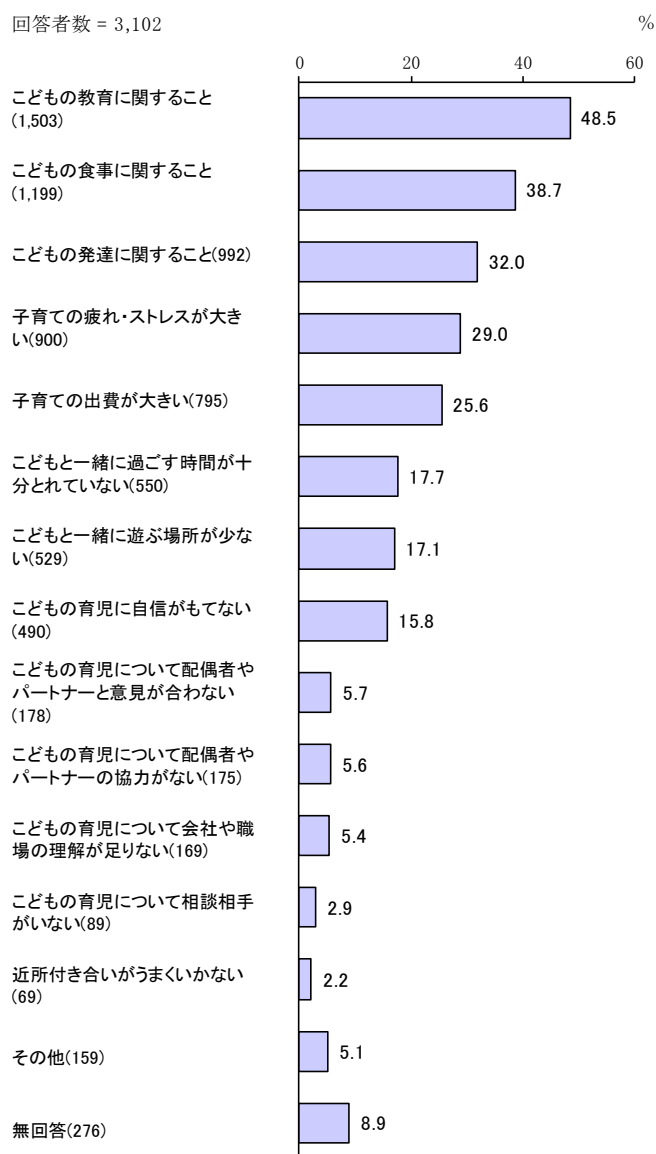


問9で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

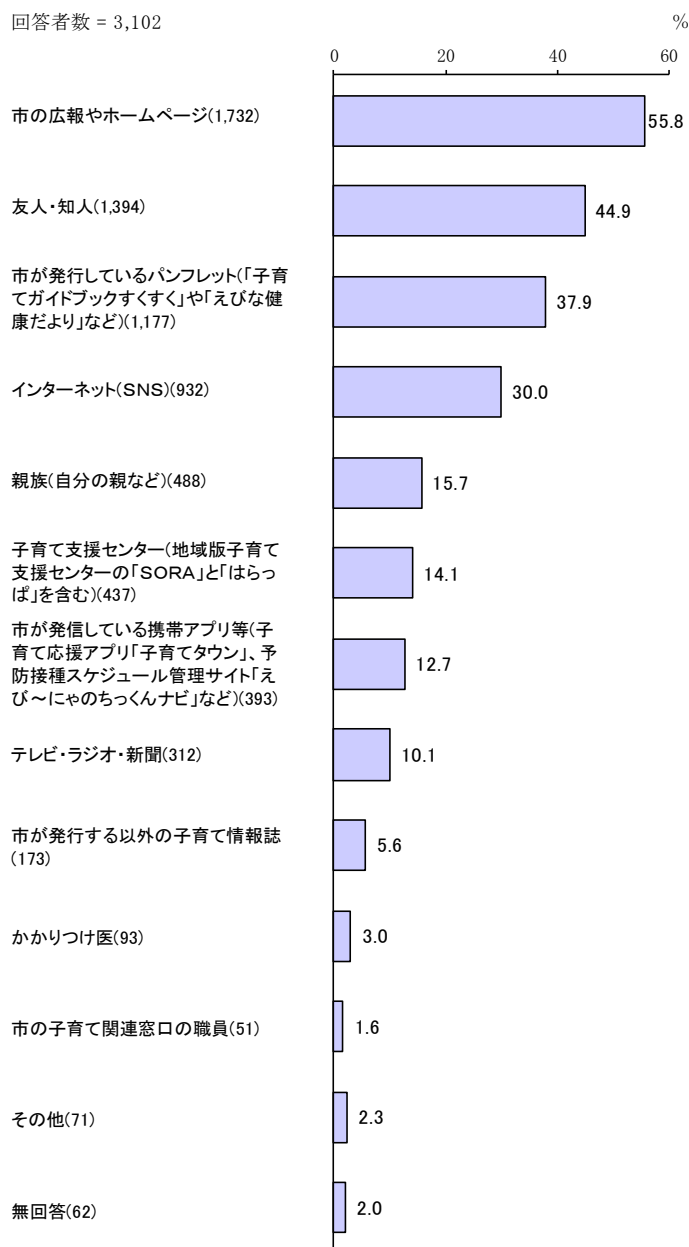


問 10 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

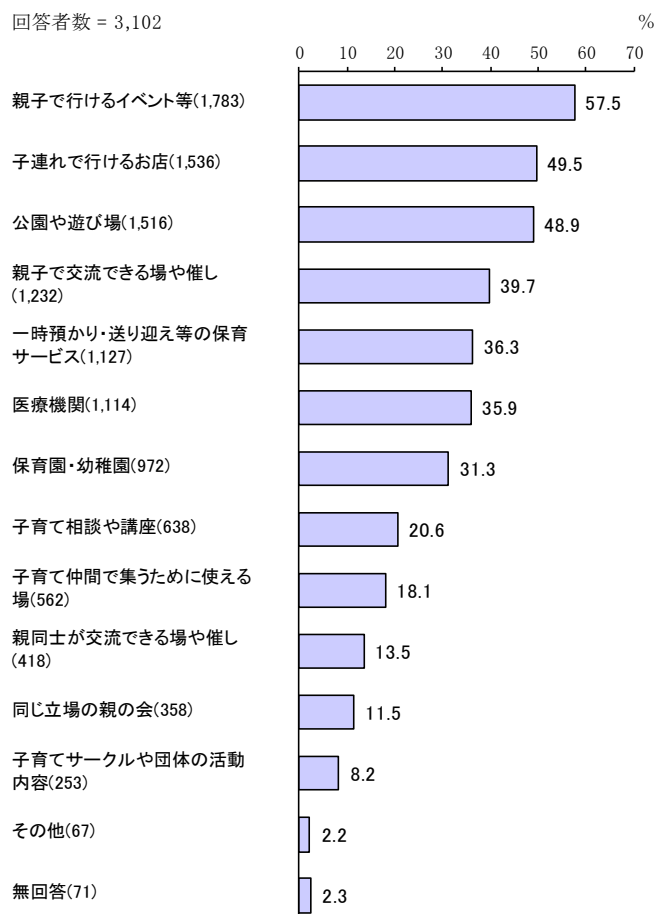


問 11 子育て支援に関する情報をどこから主に入手していますか。
当てはまる番号にすべてに○をつけてください。

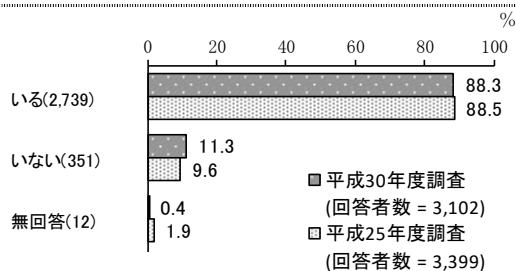
回答者数 = 3,102



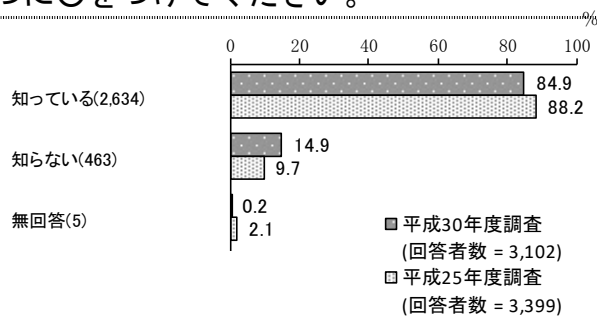
問 12 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。



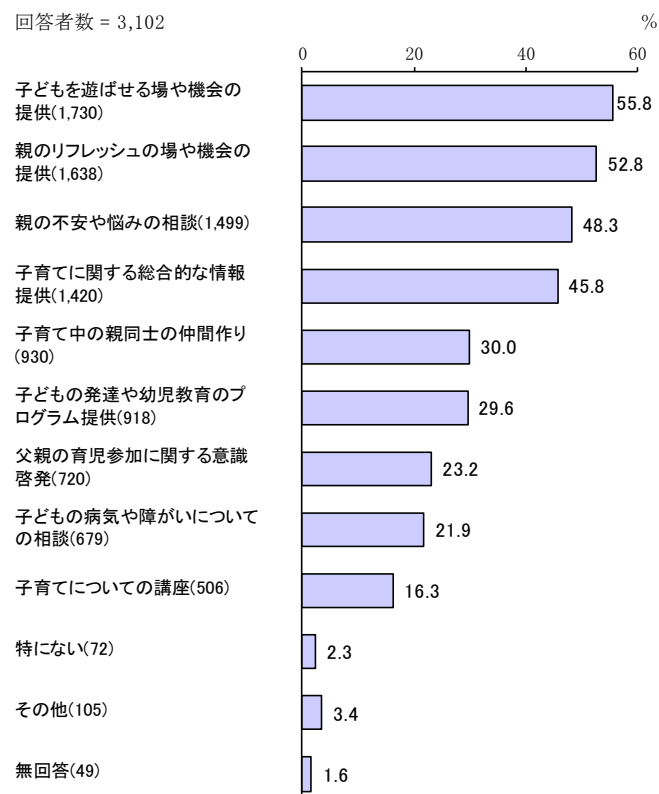
問 13 対象のお子さんのかかりつけの（病気や発達について相談できる）医者がいますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 14 休日や夜間にお子さん（対象のお子さんに限りません）が病気になったときに受診できる医療機関を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



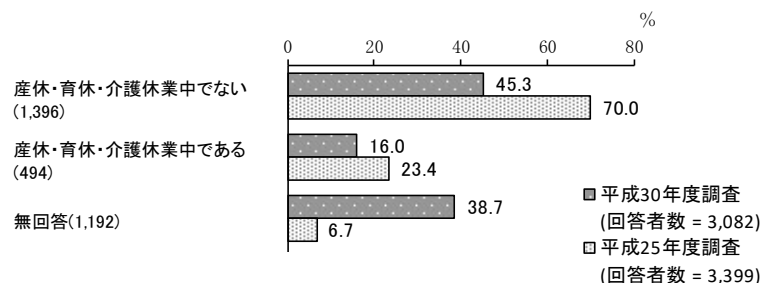
問 15 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサポートはどのようなものだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



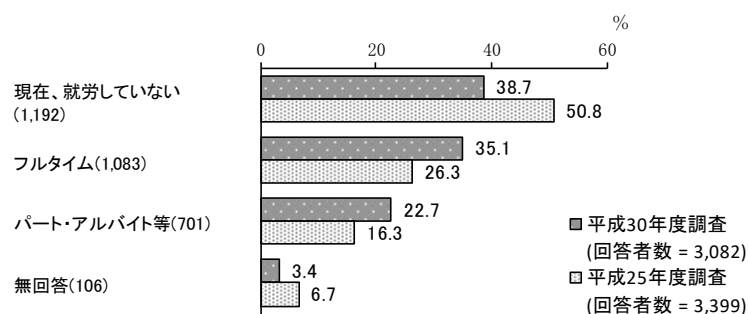
4. 保護者の就労状況について

問 16 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。①産休・育休・介護休業の取得状況、②就労形態ともに、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

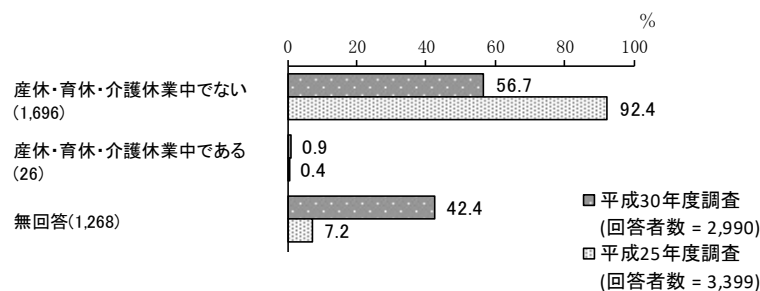
（１）－１【母親の就労状況】産休・育休・介護休業の取得状況



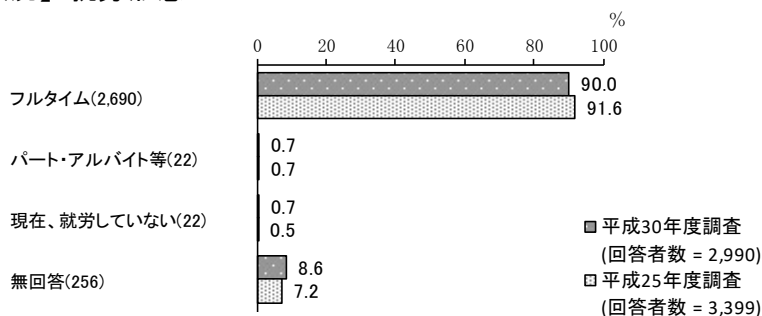
（１）－２【母親の就労状況】就労形態



（２）－１【父親の就労状況】産休・育休・介護休業の取得状況



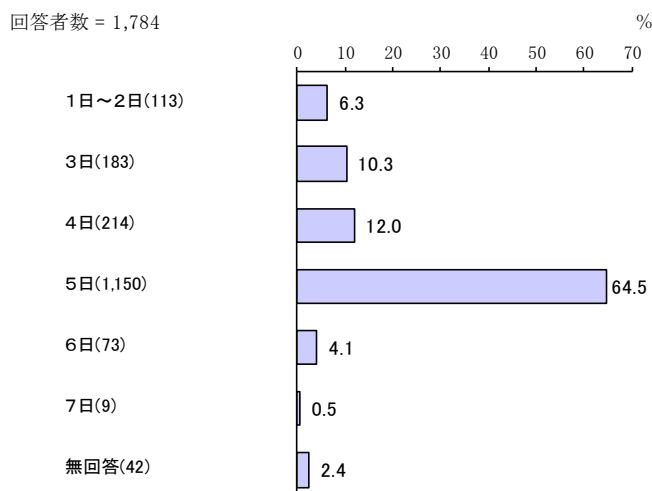
（２）－２【父親の就労状況】就労形態



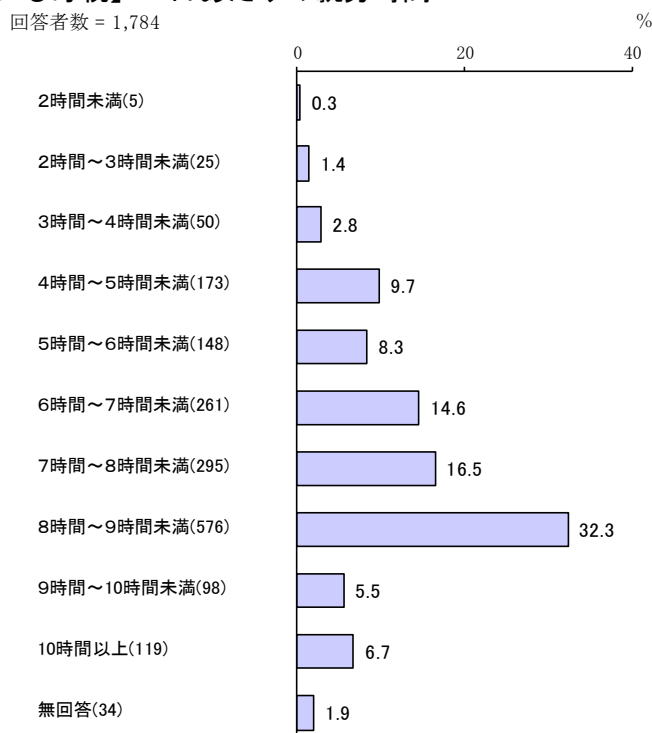
問 16 の（１）母親または（２）父親の②就労形態で「１．フルタイム」「２．パート・アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

問 16－１ １週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、平均的なパターンについてお答えください。□内に数字でご記入ください。

（１）－１【就労している母親】１週当たりの就労日数

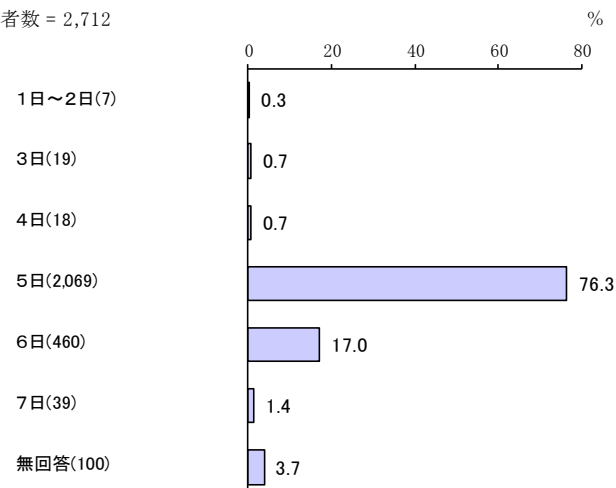


（１）－２【就労している母親】１日あたりの就労時間



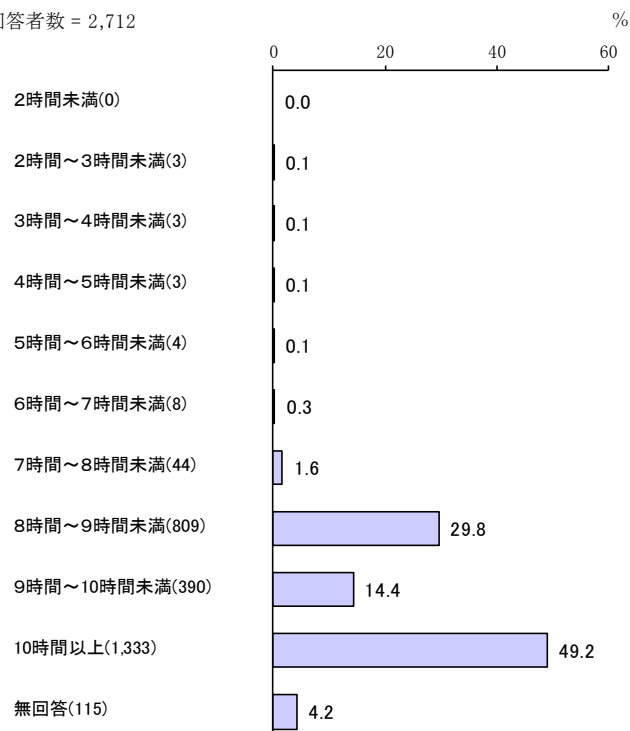
(2) - 1 【就労している父親】 1 週当たりの就労日数

回答者数 = 2,712



(2) - 2 【就労している父親】 1 日あたりの就労時間

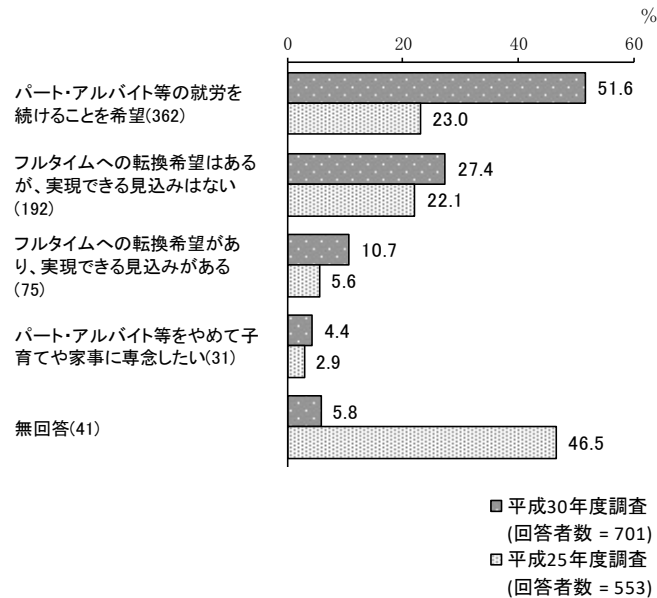
回答者数 = 2,712



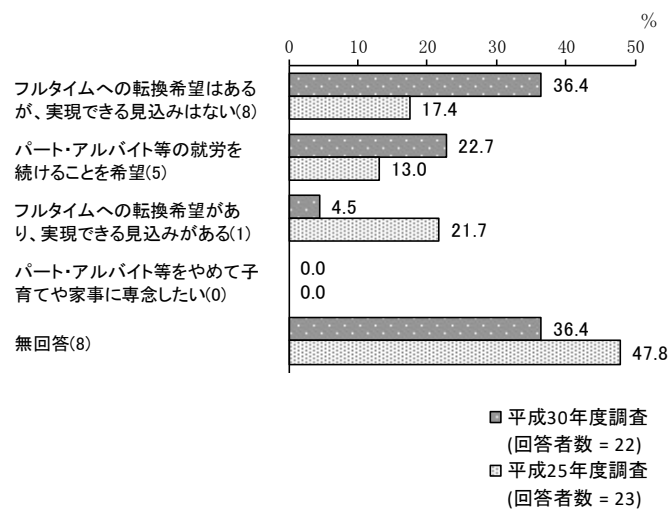
問 16 の（１）母親または（２）父親の②就労形態で「２．パート・アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

問 16－２ フルタイムへの転換希望はありますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（１）【パート・アルバイト等をしている母親】フルタイムへの転換希望



（２）【パート・アルバイト等をしている父親】フルタイムへの転換希望

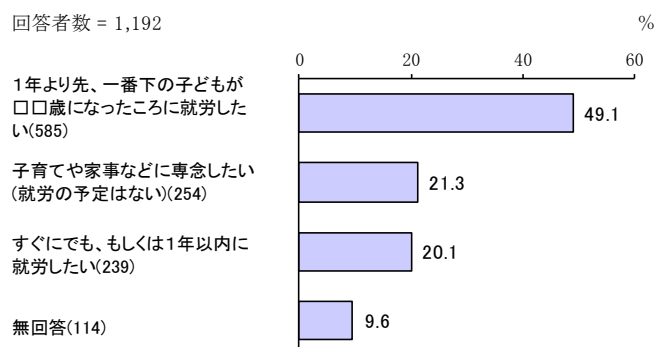


問 16 の（１）母親または（２）父親の②就労形態で「３．現在、就労していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 16－３ 就労したいという希望はありますか。
当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する口内には数字で
ご記入ください。

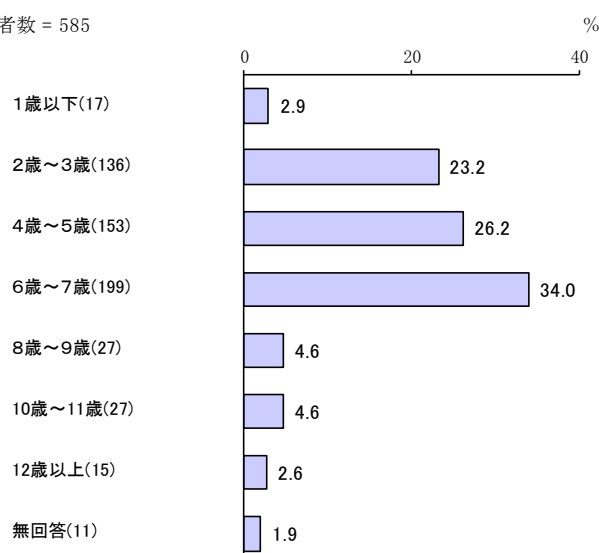
（１）－１【就労していない母親】就労希望

回答者数 = 1,192



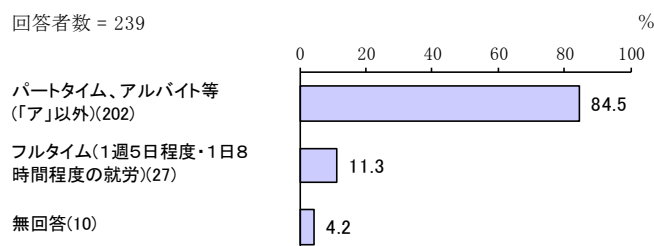
（１）－２【就労していない母親】就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢
（1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい人）

回答者数 = 585

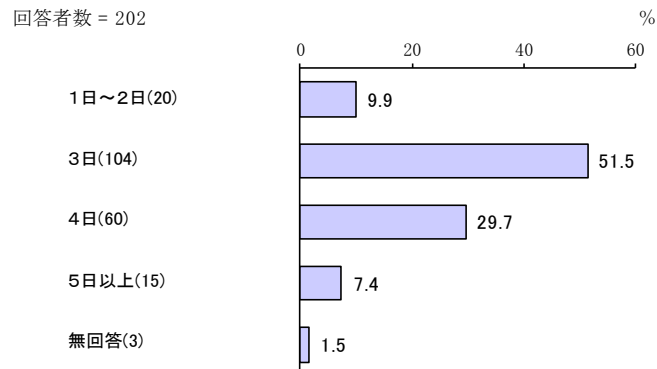


（１）－３【就労していない母親】1年以内に就労を希望する場合の就労形態

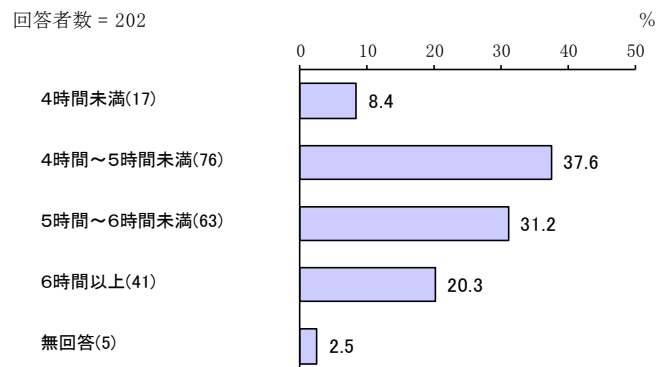
回答者数 = 239



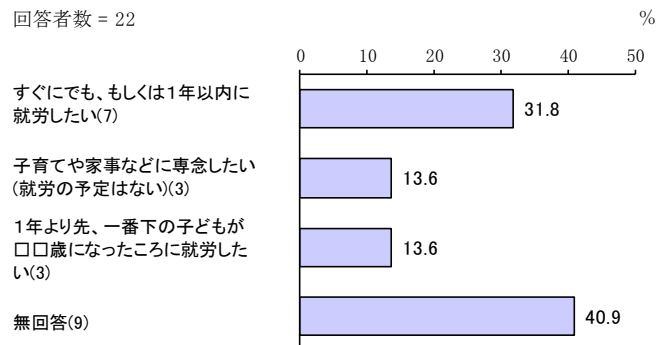
(1) - 4 【就労していない母親】 1年以内に就労を希望する場合の1週当たりの就労日数



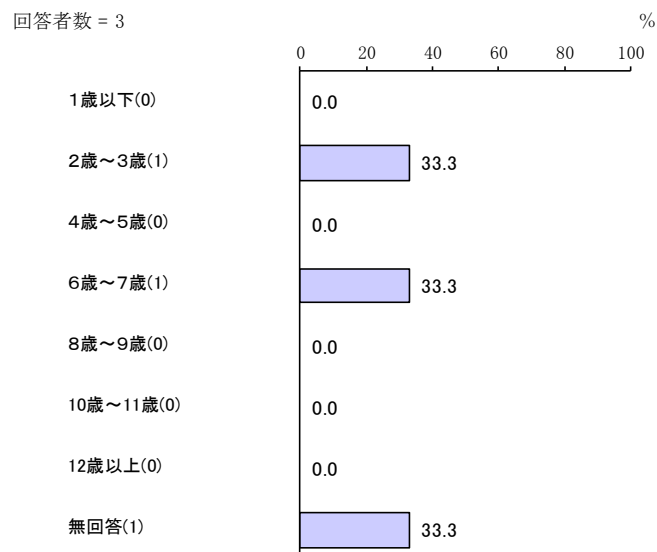
(1) - 5 【就労していない母親】 1年以内に就労を希望する場合の1日当たりの就労時間



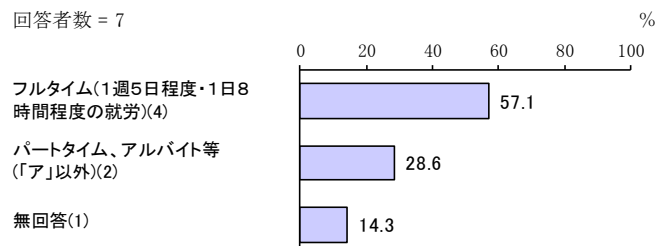
(2) - 1 【就労していない父親】 就労希望



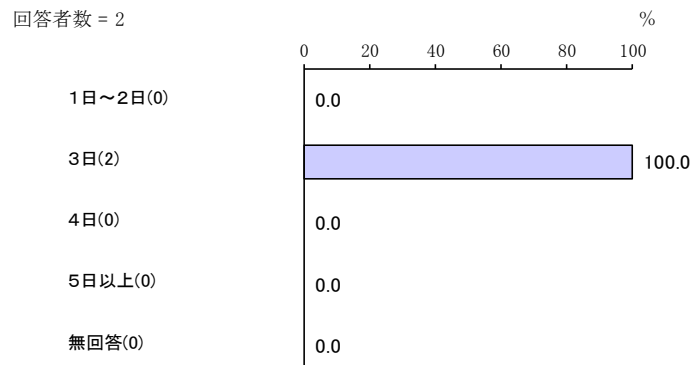
(2) - 2 【就労していない父親】 就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢
(1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい人)



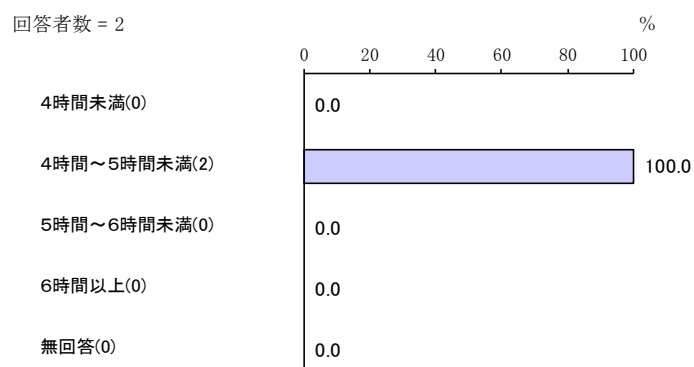
(2) - 3 【就労していない父親】 1年以内に就労を希望する場合の就労形態



(2) - 4 【就労していない父親】 1年以内に就労を希望する場合の1週当たりの就労日数

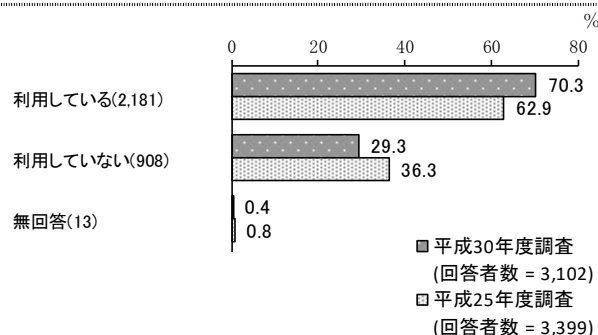


(2) - 5 【就労していない父親】 1年以内に就労を希望する場合の1日当たりの就労時間



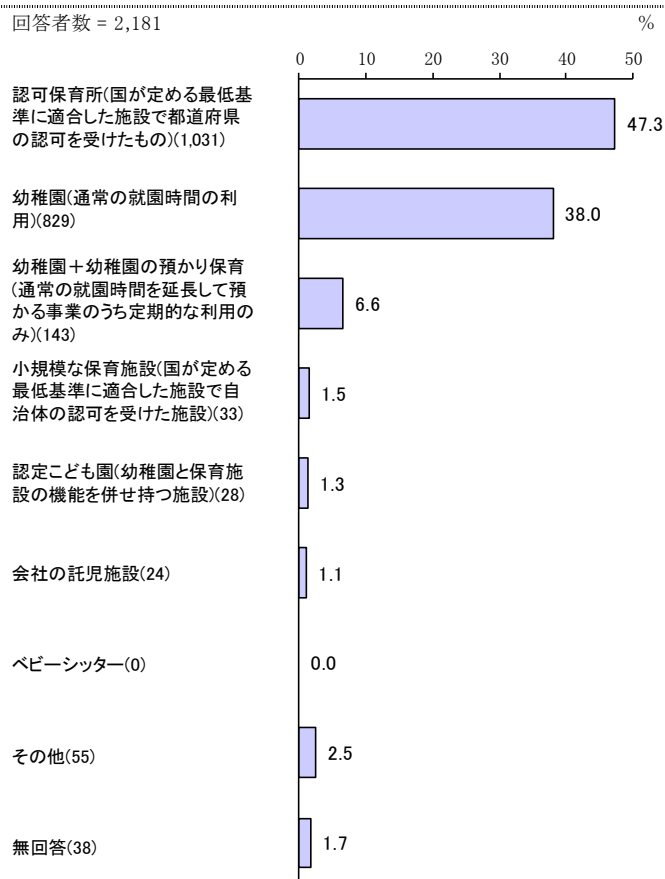
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 17 対象のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 17-1～17-4 は、問 17 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

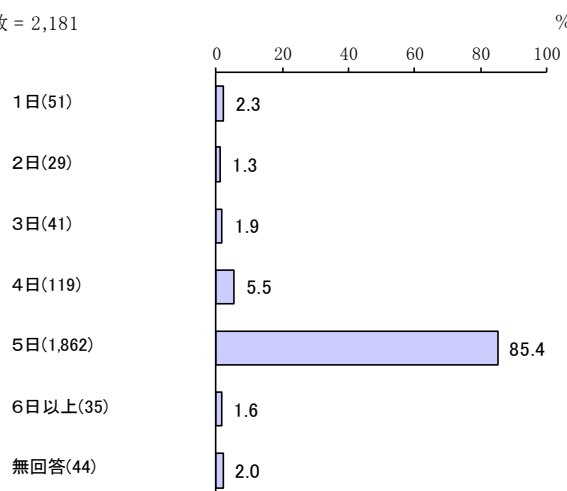
問 17-1 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 17－2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか
(数字は1 枠に1 字)。

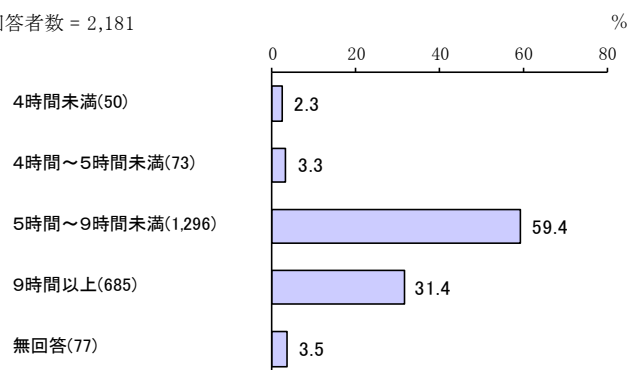
(1)－1 【現在】平日の定期的な教育・保育事業の1 週当たりの利用日数

回答者数 = 2,181



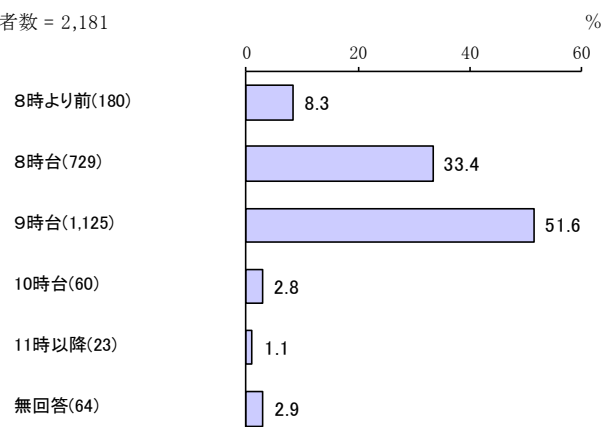
(1)－2 【現在】平日の定期的な教育・保育事業の1 日あたりの利用時間

回答者数 = 2,181

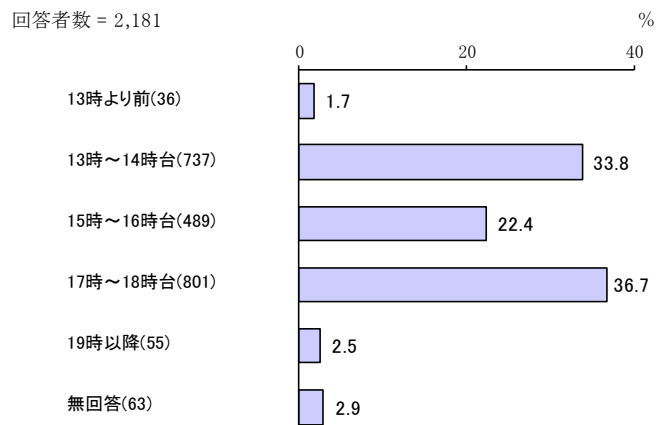


(1)－3 【現在】平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時刻

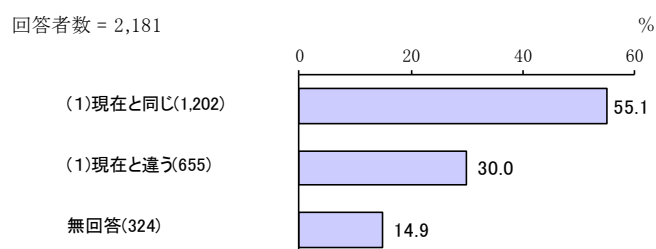
回答者数 = 2,181



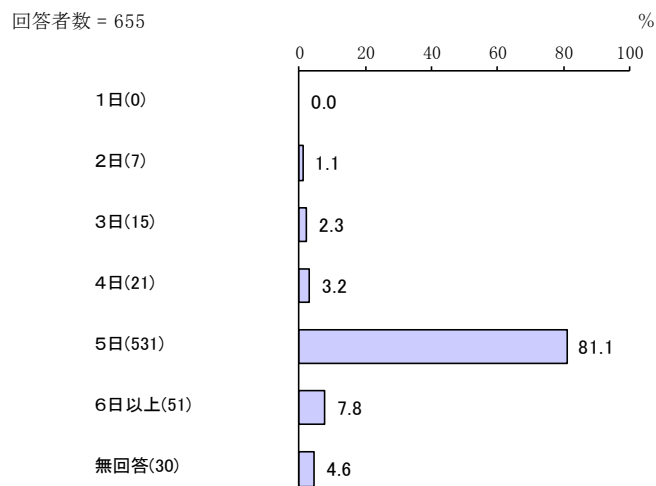
(1) - 4 【現在】 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時刻



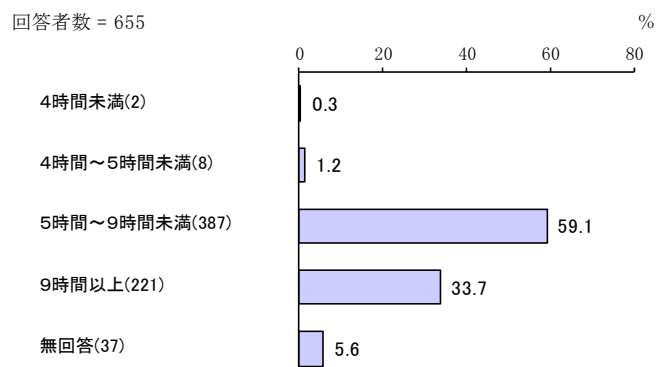
(2) - 1 【希望】 平日の定期的な教育・保育事業の希望について



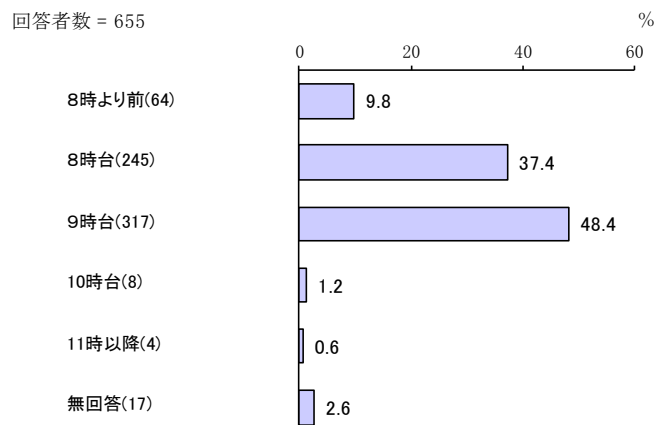
(2) - 2 【希望】 平日の定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数



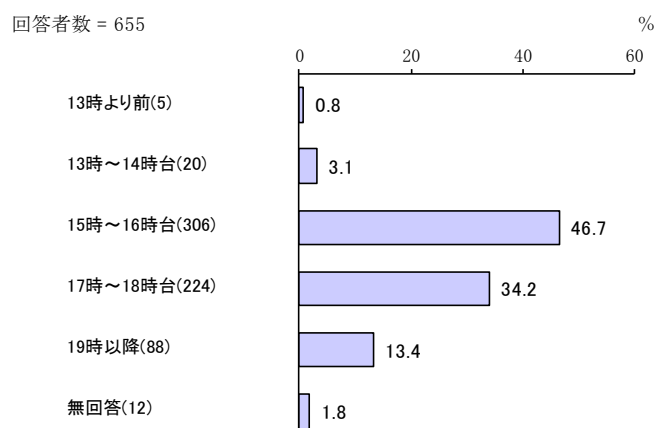
(2) - 3 【希望】 平日の定期的な教育・保育事業の1日あたりの利用時間



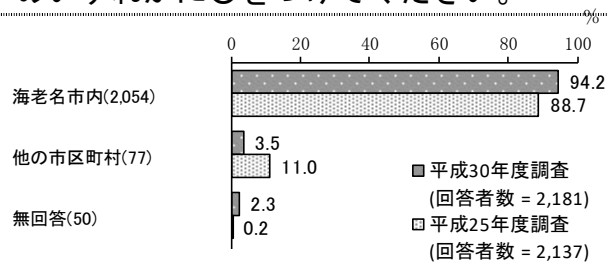
(2) - 4 【希望】 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時刻



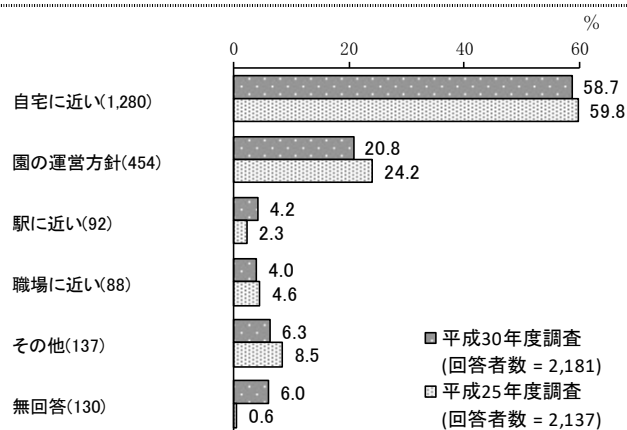
(2) - 5 【希望】 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時刻



問 17- 3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

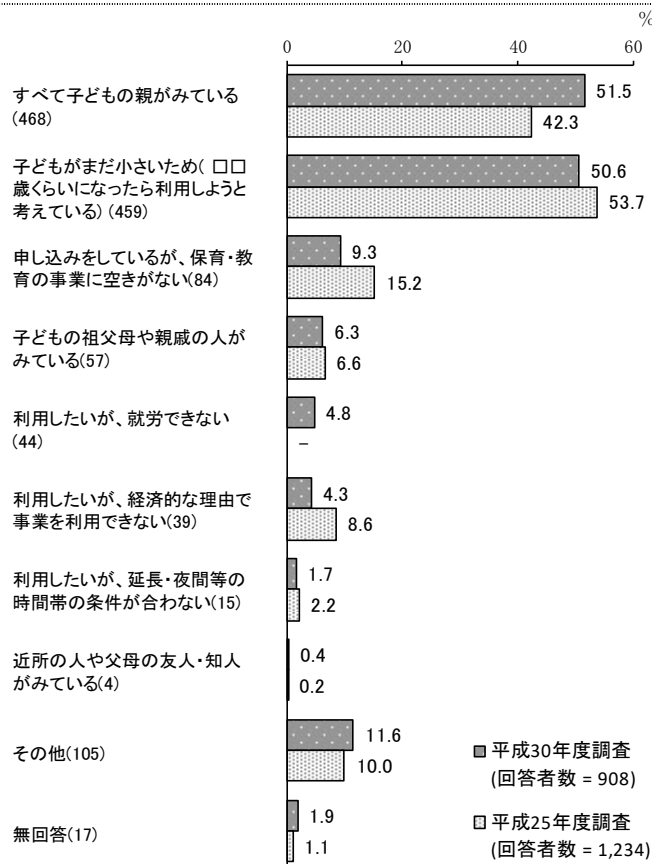


問 17- 4 お子さんが通う教育・保育事業（幼稚園、保育所等）を決める理由は何を第1として考えますか。1つに○をつけてください。
理由の3番は駅名もご記入ください。

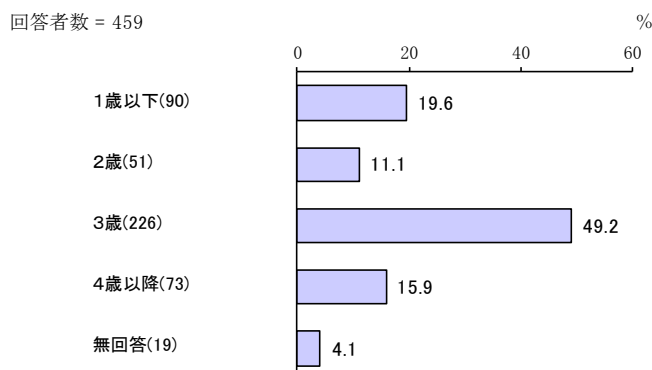


問 17 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 17ー5 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。理由の8番は年齢もご記入ください。

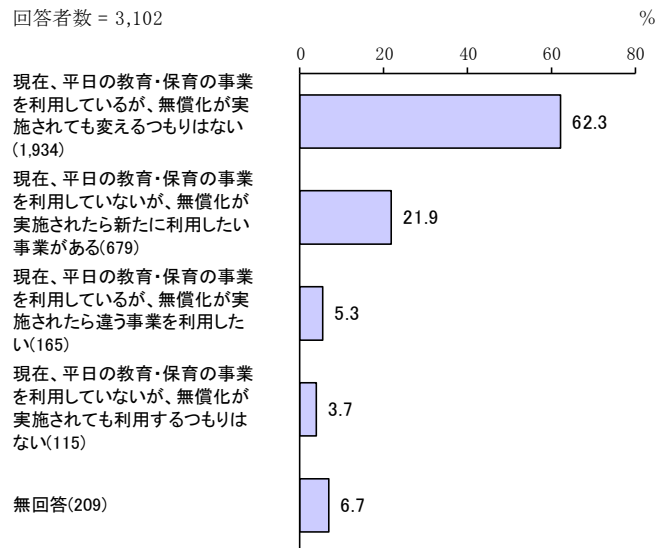


8. 教育・保育の事業を利用しようとする年齢 (「子どもがまだ小さいため」と回答した人)



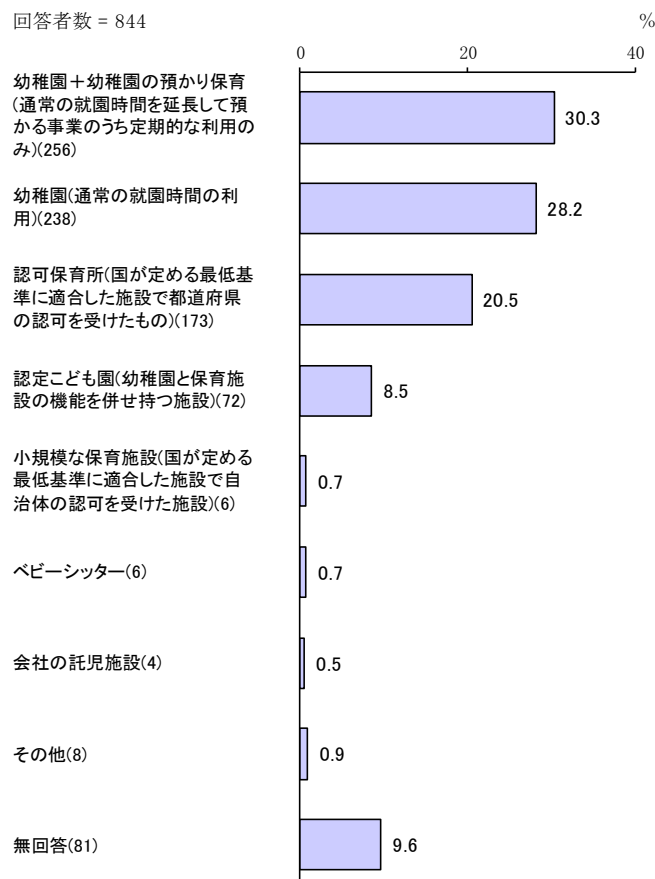
問 18 すべての方にうかがいます。以下の幼児教育無償化が実施されることを想定して
お答えください。

消費税率引き上げの時期に合わせて、認可・認可外を問わず幼稚園、保育所、認定こども園において、3歳から5歳までのすべての子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、現在は利用料が発生しますが、無償になる方向です。



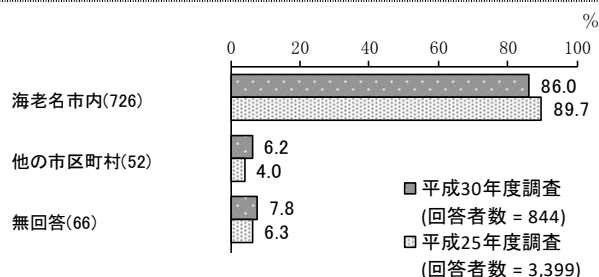
問 18 で「2. 現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されたら違う事業を利用したい」「3. 現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されたら新たに利用したい事業がある」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 18－1 無償化が実施されたら利用したいと考える事業を1つに○をつけてください。



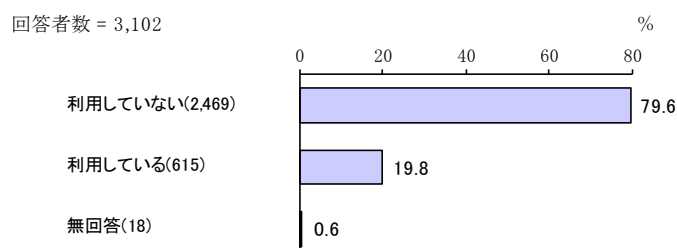
問 18 で「2. 現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されたら違う事業を利用したい」「3. 現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されたら新たに利用したい事業がある」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 18－2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。
「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

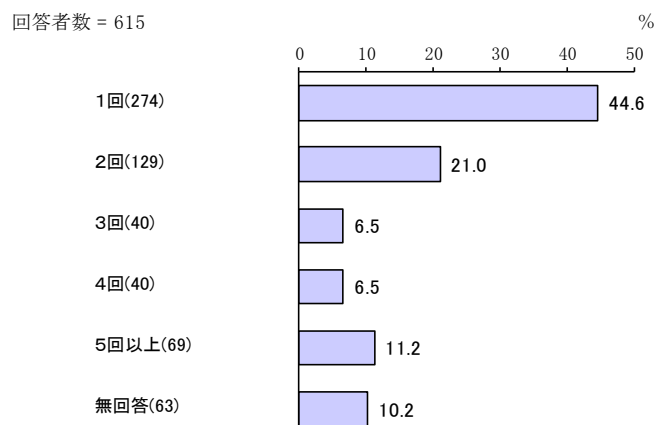


6. 子育て支援センターの利用状況について

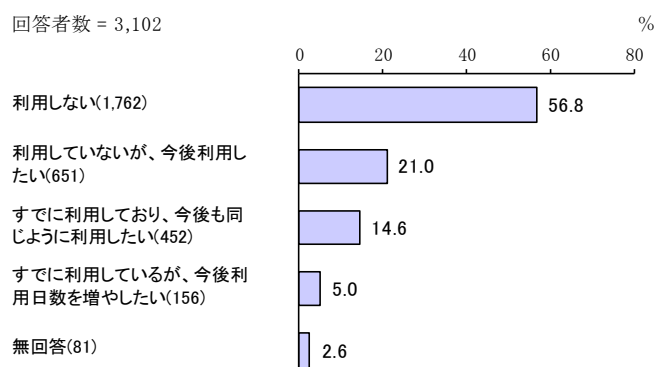
問 19 現在の子育て支援センター（地域版子育て支援センターの「SORA」と「はらっぱ」を含む）の利用状況についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は1枠に1字）。



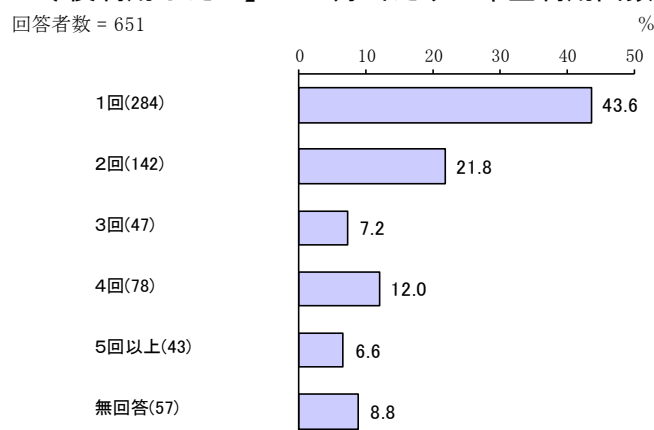
利用している人の1か月当たり利用回数



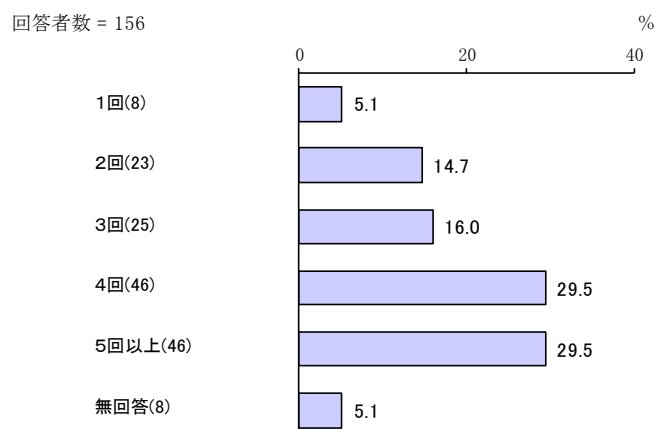
問 20 今後の子育て支援センターの利用希望についてうかがいます。今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。



（１）【利用していないが今後利用したい】 1 か月当たりの希望利用回数



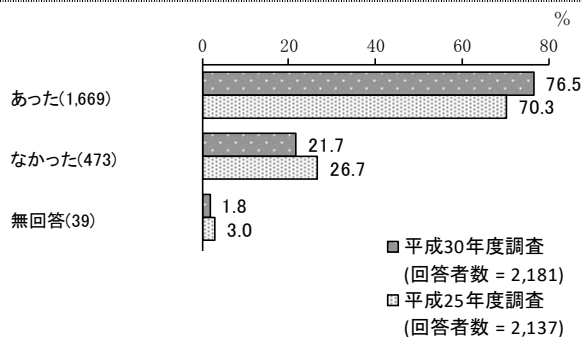
（２）【すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい】 1 か月当たりの希望利用回数



7. 子どもの病気の際の対応について

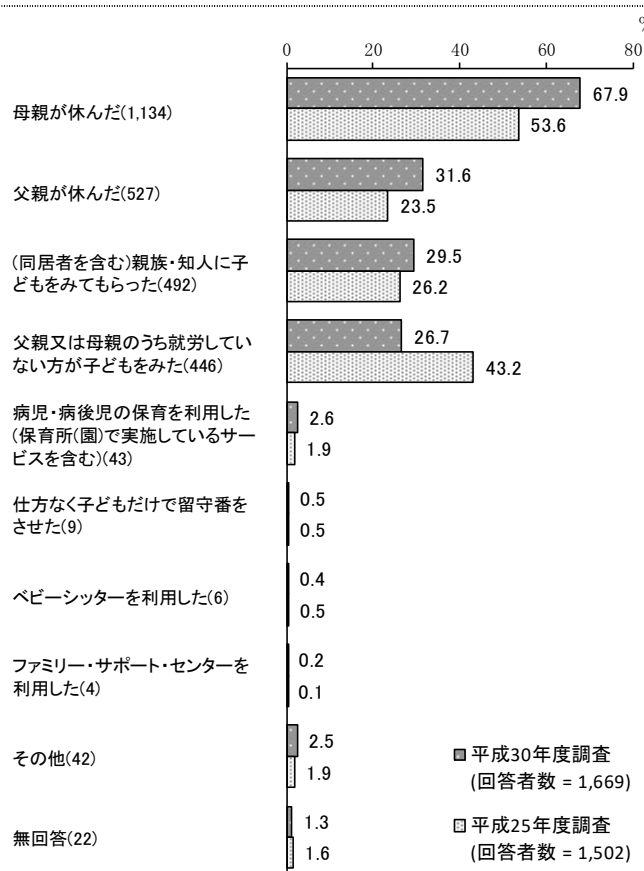
平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方にうかがいます

問 21 この１年間に、対象のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。
当てはまる番号１つに○をつけてください。



問 21 で「１. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 21－１ 対象のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は１枠に１字）。



【お子さんの病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがある方】 1年間の対処方法別日数

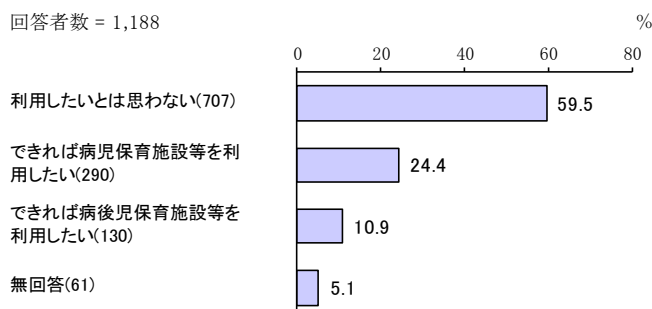
上段：実数 下段：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 7日	8日 ～ 9日	10日 以上	無回答
ア. 父親が休んだ	527 100.0	86 16.3	212 40.2	104 19.7	26 4.9	7 1.3	63 12.0	29 5.5
イ. 母親が休んだ	1134 100.0	85 7.5	249 22.0	233 20.5	92 8.1	30 2.6	392 34.6	53 4.7
ウ. (同居者を含む)親族・知人に 子どもをみてもらった	492 100.0	62 12.6	138 28.0	98 19.9	31 6.3	4 0.8	122 24.8	37 7.5
エ. 父親又は母親のうち就労していない 方が子どもをみた	446 100.0	32 7.2	87 19.5	95 21.3	44 9.9	9 2.0	150 33.6	29 6.5
オ. 病児・病後児の保育を利用した (保育所(園)で実施している サービスを含む)	43 100.0	5 11.6	18 41.9	8 18.6	1 2.3	－	7 16.3	4 9.3
カ. ベビーシッターを利用した	6 100.0	－	3 50.0	1 16.7	1 16.7	－	－	1 16.7
キ. ファミリー・サポート・センターを 利用した	4 100.0	－	2 50.0	－	－	－	－	2 50.0
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9 100.0	4 44.4	2 22.2	2 22.2	－	－	－	1 11.1
ケ. その他	42 100.0	3 7.1	6 14.3	7 16.7	6 14.3	－	11 26.2	9 21.4

問 21-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

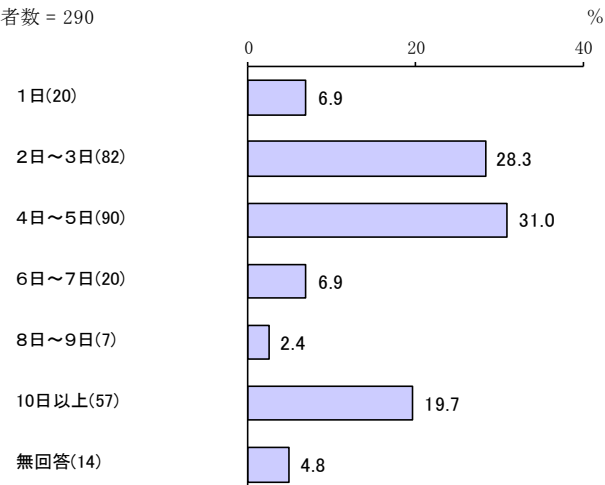
問 21-2 保護者が休んだその際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

回答者数 = 1,188



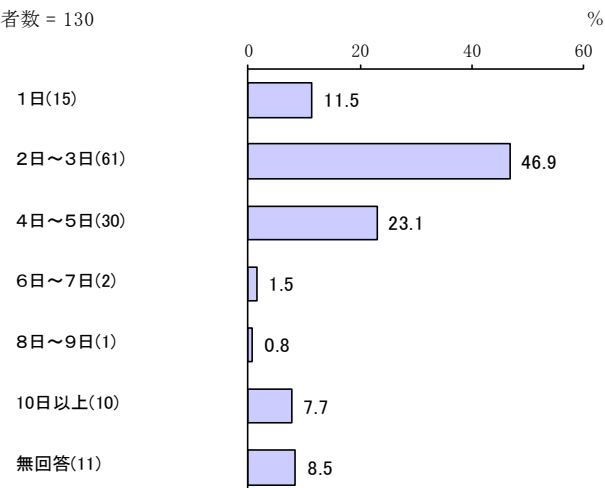
【病児保育を利用したい方】利用日数

回答者数 = 290



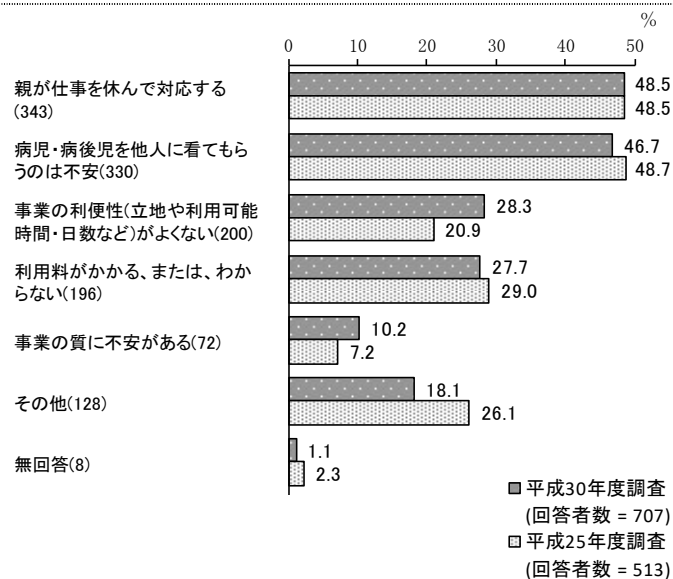
【病後児保育を利用したい方】利用日数

回答者数 = 130



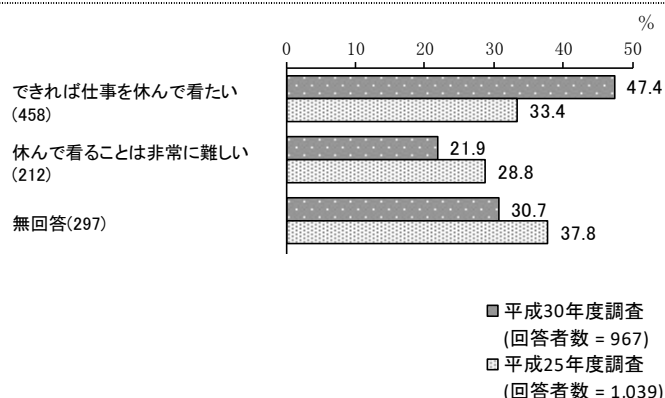
問 21-2 で「3. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



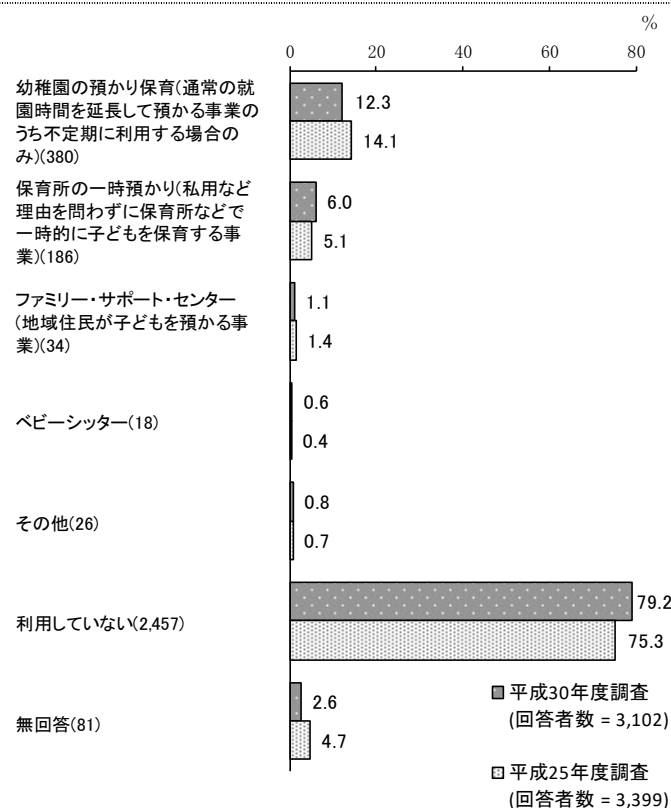
問 21-1 で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 21-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 22 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は1枠に1字）。



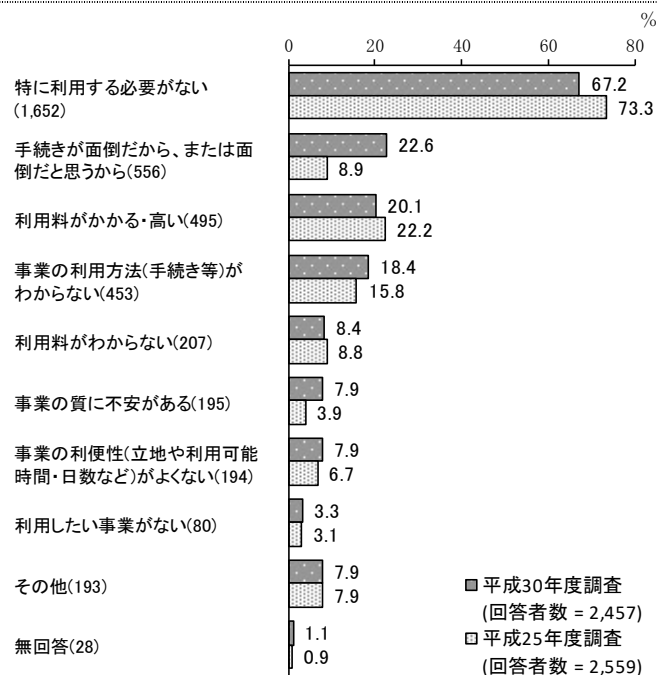
【病気やケガ以外で、私用など不規則の教育・保育事業を利用したことがある方】 1年間の事業別利用日数

上段：実数 下段：%

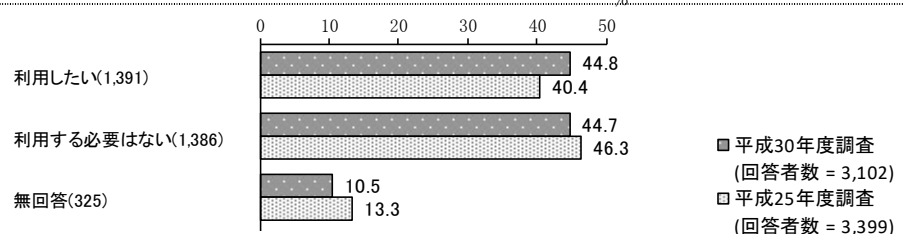
区分	回答者数 (件)	1 日	2 日 ～ 3 日	4 日 ～ 5 日	6 日 ～ 7 日	8 日 ～ 9 日	10 日 以上	無 回 答
1. 保育所の一時預かり	186 100.0	33 17.7	27 14.5	25 13.4	9 4.8	3 1.6	79 42.5	10 5.4
2. 幼稚園の預かり保育	380 100.0	18 4.7	46 12.1	70 18.4	14 3.7	6 1.6	207 54.5	19 5.0
3. ファミリー・サポート・センター	34 100.0	6 17.6	7 20.6	2 5.9	1 2.9	— —	15 44.1	3 8.8
4. ベビーシッター	18 100.0	2 11.1	4 22.2	2 11.1	1 5.6	— —	6 33.3	3 16.7
5. その他	26 100.0	1 3.8	5 19.2	2 7.7	2 7.7	— —	6 23.1	10 38.5

問 22 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

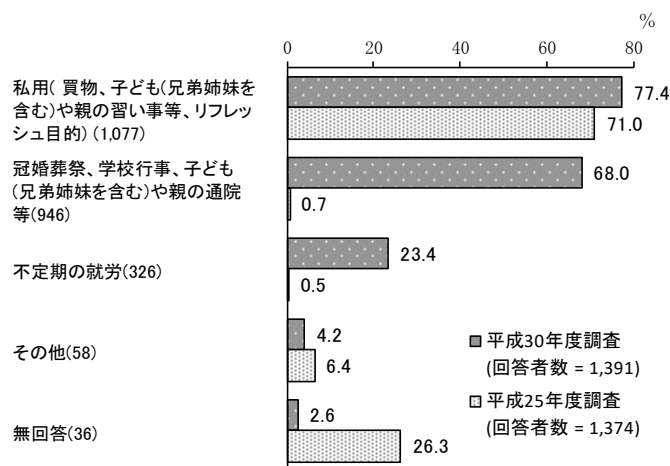
問 22－1 現在利用していない理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問 23 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数は、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください(数字は1枠に1字)。

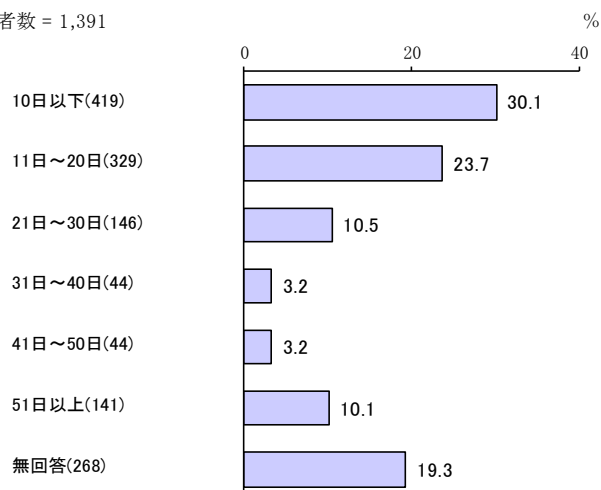


(1) 【不定期の教育・保育事業を利用したい方】利用したい目的



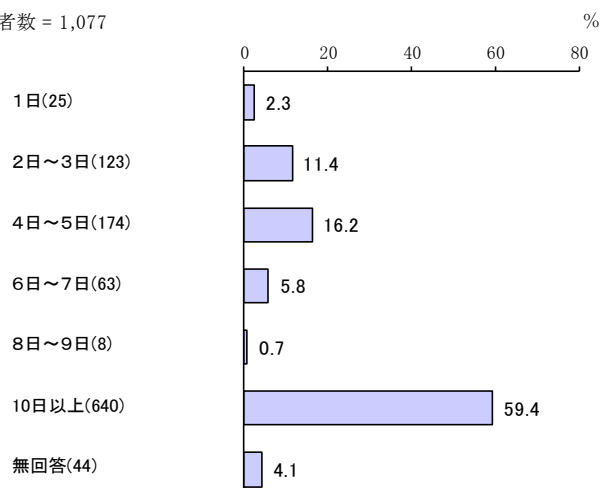
(2) - 1 【不定期の教育・保育事業を利用したい方】1年間に利用したい日数(合計)

回答者数 = 1,391



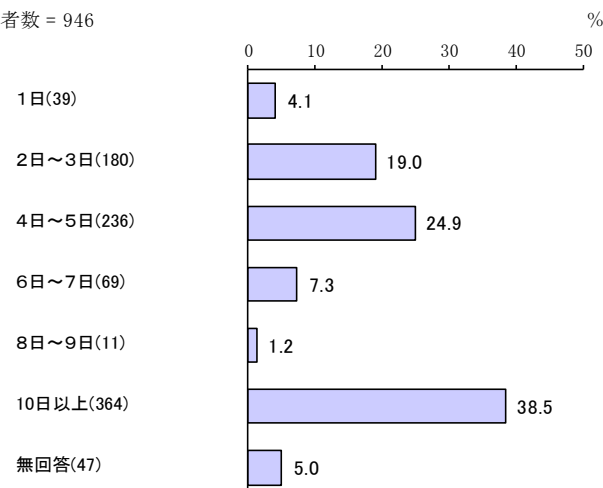
(2) - 2 【不定期の教育・保育事業を利用したい方】1年間に利用したい日数(私用)

回答者数 = 1,077



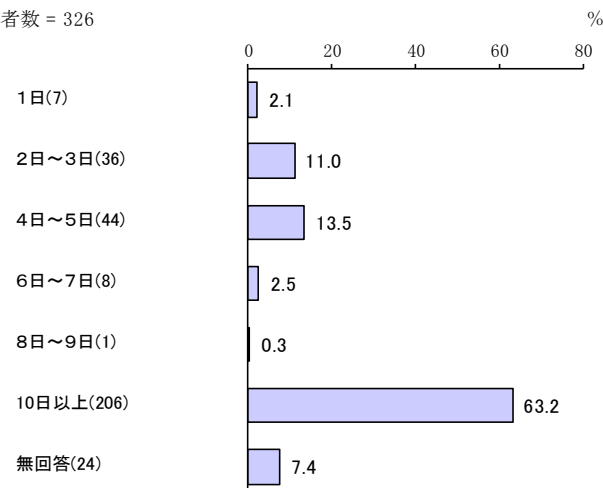
(2) - 3 【不定期の教育・保育事業を利用したい方】 1年間に利用したい日数（冠婚葬祭等）

回答者数 = 946



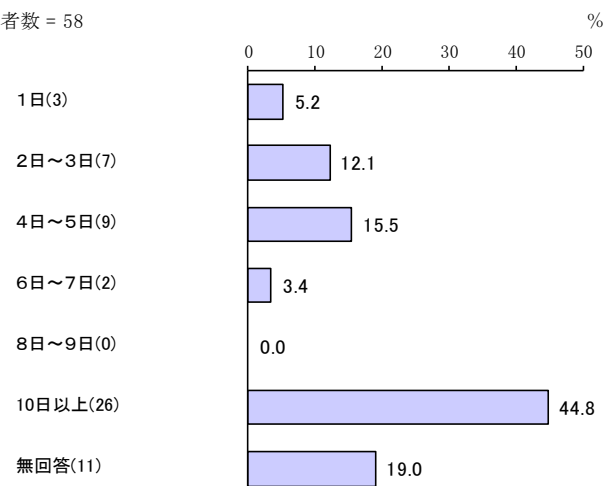
(2) - 4 【不定期の教育・保育事業を利用したい方】 1年間に利用したい日数（不定期の就労）

回答者数 = 326

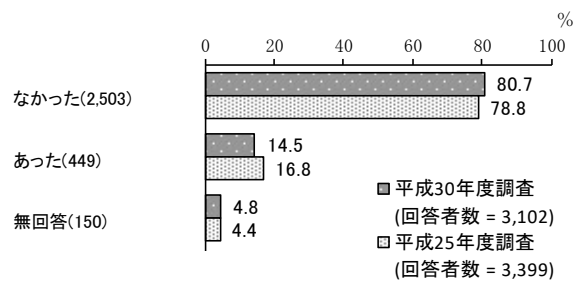


(2) - 5 【不定期の教育・保育事業を利用したい方】 1年間に利用したい日数（その他）

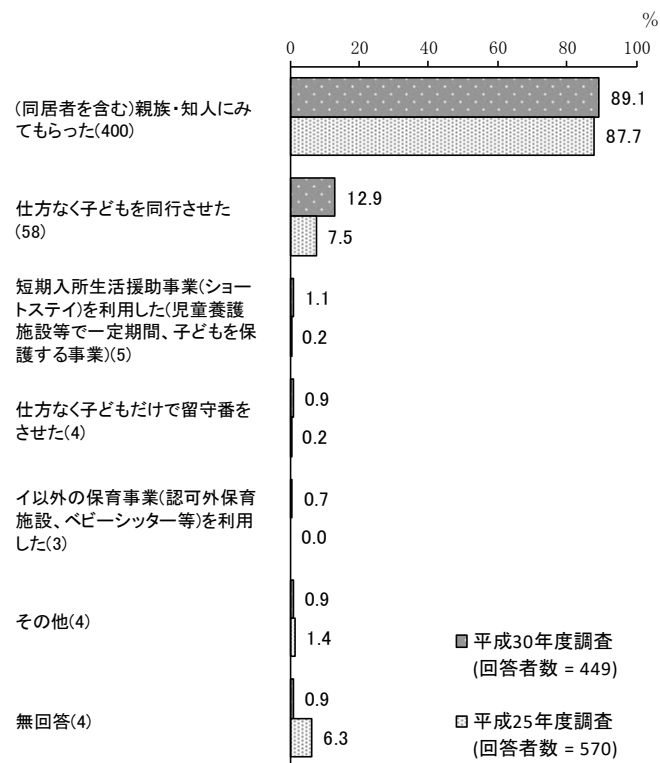
回答者数 = 58



問 24 この1年間に、保護者の用事により、対象のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。 あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は1枠に1字）。



(1) 【お子さんを泊りがけで家族以外に預けたことがある方】 対処方法



(2) 【お子さんを泊りがけで家族以外に預けたことがある方】 1年間の対処方法別の日数

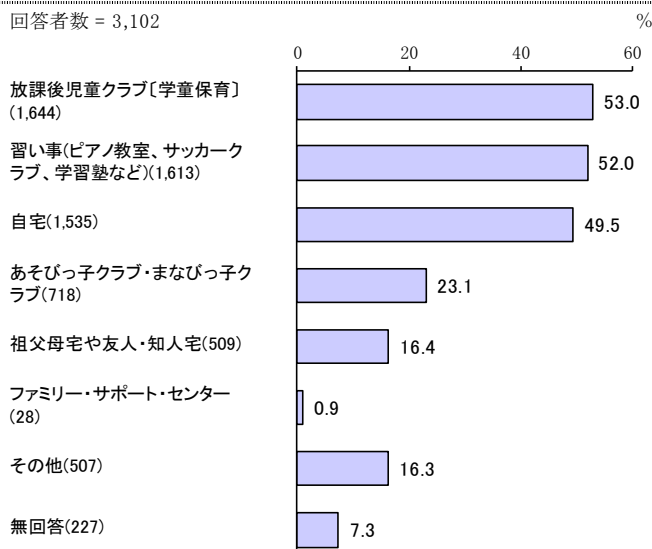
上段：実数 下段：%

区分	回答者数 (件)	1泊	2泊 ～ 3泊	4泊 ～ 5泊	6泊 ～ 7泊	8泊 ～ 9泊	10泊 以上	無回答
ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	400 100.0	117 29.3	118 29.5	61 15.3	27 6.8	5 1.3	55 13.8	17 4.3
イ. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ)を利用した	5 100.0	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -	4 80.0
ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、 ベビーシッター等)を利用した	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -
エ. 仕方なく子どもを同行させた	58 100.0	23 39.7	14 24.1	8 13.8	3 5.2	1 1.7	4 6.9	5 8.6
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
カ. その他	4 100.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0	2 50.0

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 25 対象のお子さんについて、小学校に就学した際に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

回答者数 = 3,102



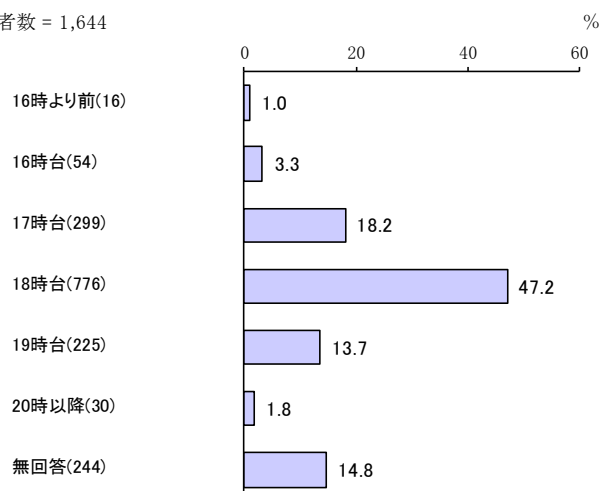
(1) 【放課後に過ごさせたい場所】 場所別の希望利用日数

上段：実数 下段：%

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
1. 自宅	1535 100.0	284 18.5	364 23.7	317 20.7	132 8.6	236 15.4	15 1.0	38 2.5	149 9.7
2. 祖父母宅や友人・ 知人宅	509 100.0	258 50.7	125 24.6	36 7.1	9 1.8	30 5.9	－ －	2 0.4	49 9.6
3. 習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)	1613 100.0	555 34.4	767 47.6	188 11.7	23 1.4	14 0.9	1 0.1	1 0.1	64 4.0
4. 放課後児童クラブ 〔学童保育〕	1644 100.0	76 4.6	142 8.6	267 16.2	153 9.3	752 45.7	11 0.7	－ －	243 14.8
5. あそびっ子クラブ・ まなびっ子クラブ	718 100.0	248 34.5	201 28.0	108 15.0	17 2.4	76 10.6	1 0.1	－ －	67 9.3
6. ファミリー・サポート・ センター	28 100.0	7 25.0	4 14.3	4 14.3	－ －	6 21.4	－ －	－ －	7 25.0
7. その他	507 100.0	151 29.8	159 31.4	88 17.4	21 4.1	35 6.9	－ －	5 1.0	48 9.5

(2) 【放課後に過ごさせたい場所】 放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時間

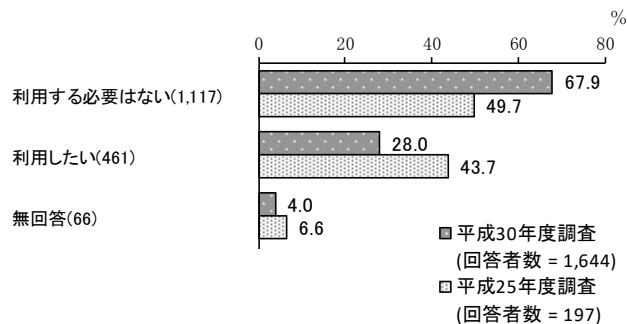
回答者数 = 1,644



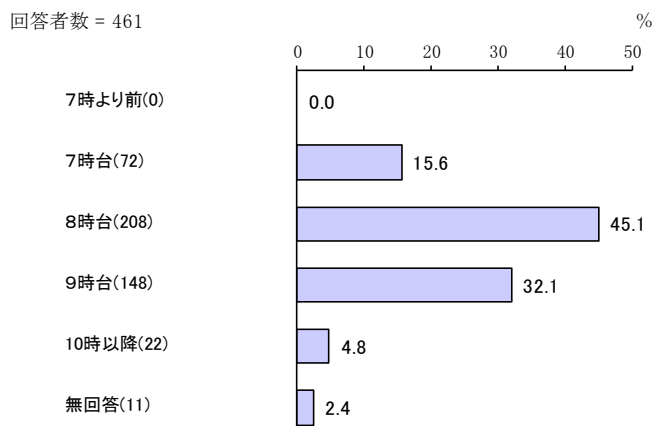
問 25 で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問 25－1 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

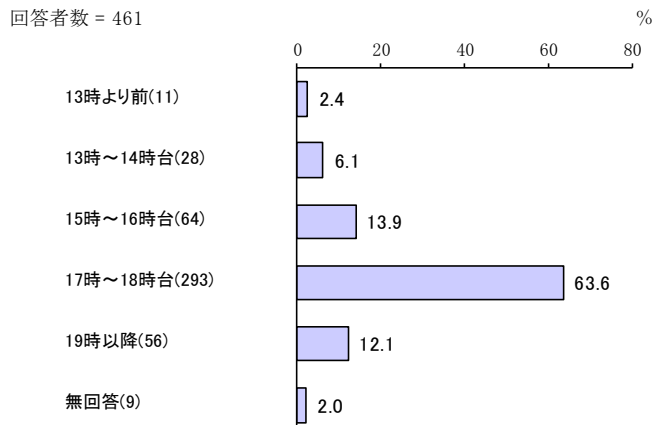
（1）－1 【土曜日の利用希望】希望の有無



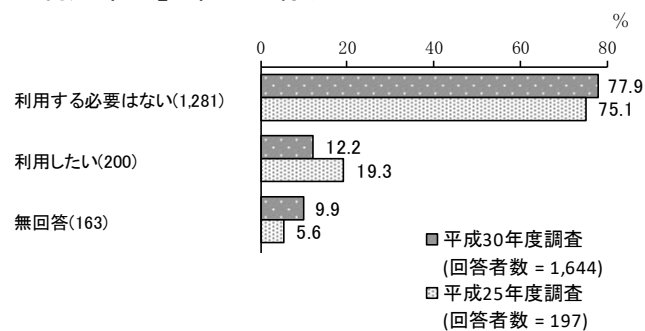
（1）－2 【土曜日の利用希望】利用開始時刻



（1）－3 【土曜日の利用希望】利用終了時刻

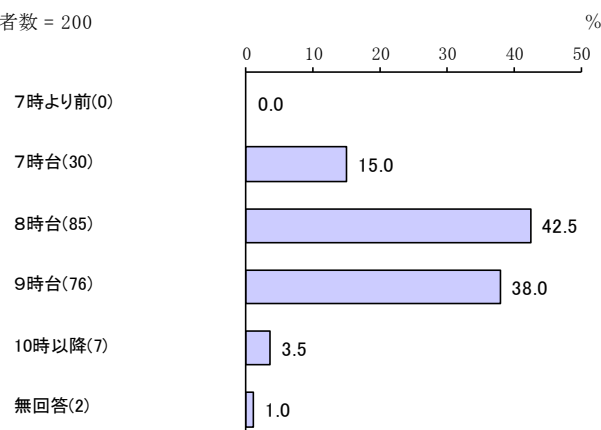


(2) - 1 【日曜日・祝日の利用希望】希望の有無



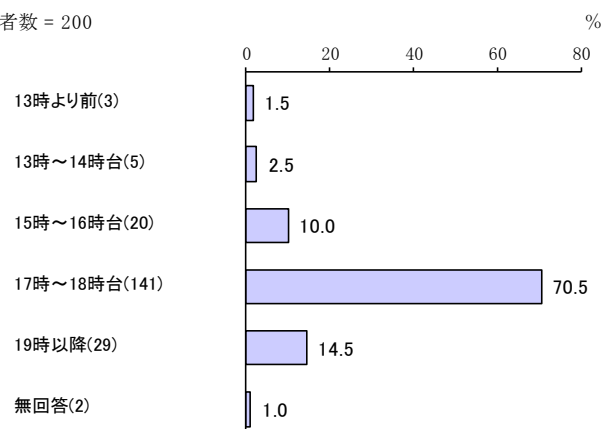
(2) - 2 【日曜日・祝日の利用希望】利用開始時刻

回答者数 = 200

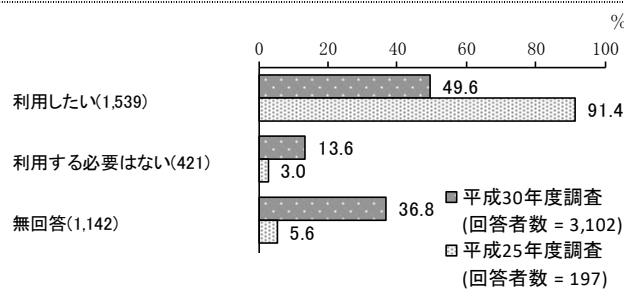


(2) - 3 【日曜日・祝日の利用希望】利用終了時刻

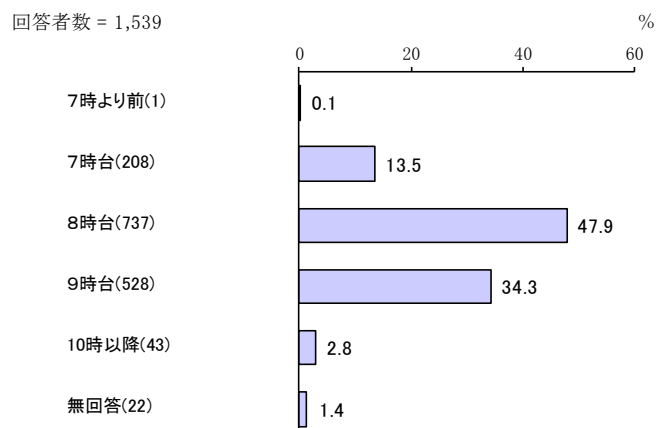
回答者数 = 200



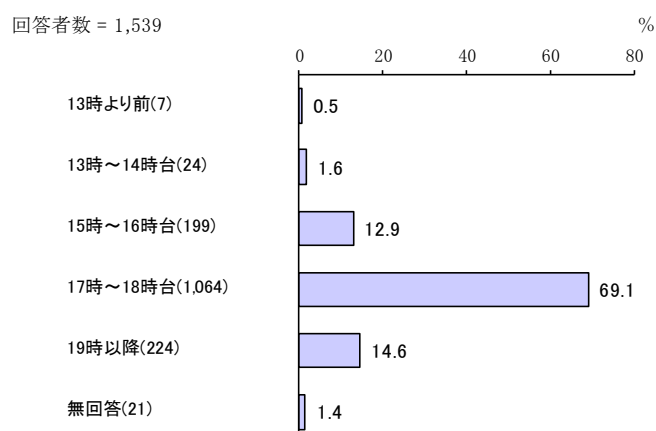
問 25-2 対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。



(1) 【夏休み・冬休みなどに放課後児童クラブを利用したい方】 利用開始時刻



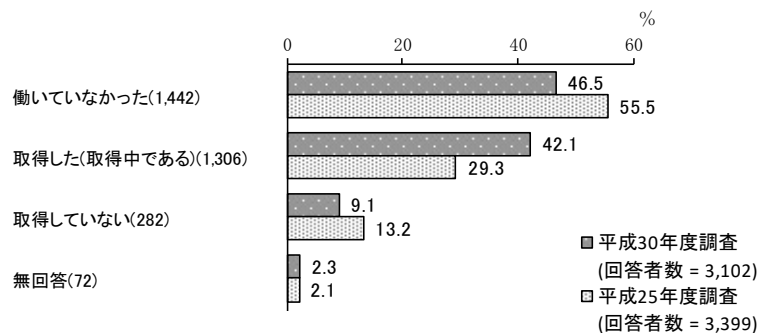
(2) 【夏休み・冬休みなどに放課後児童クラブを利用したい方】 利用終了時刻



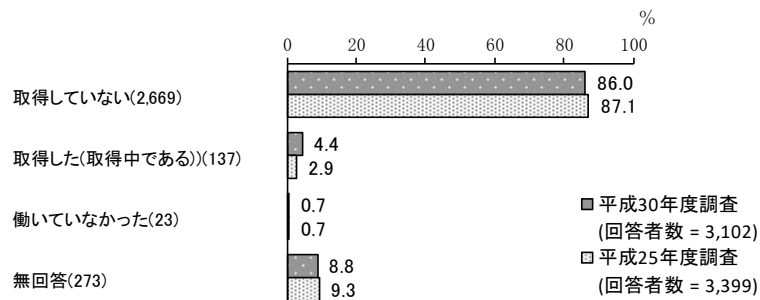
10. 職場の両立支援制度について

問 26 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親



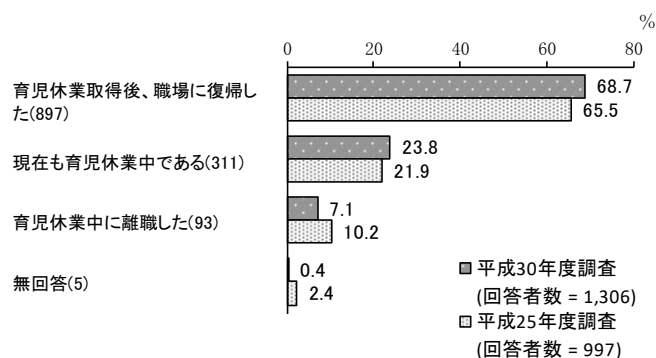
(2) 父親



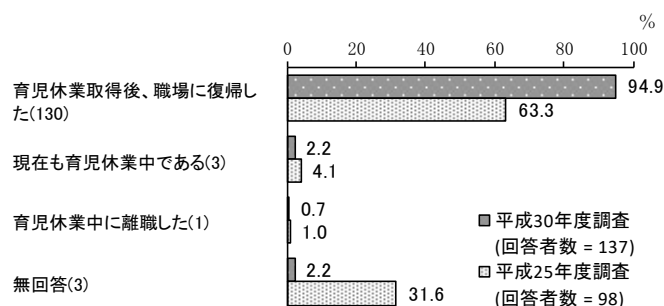
問 26 で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 26－1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（１）母親



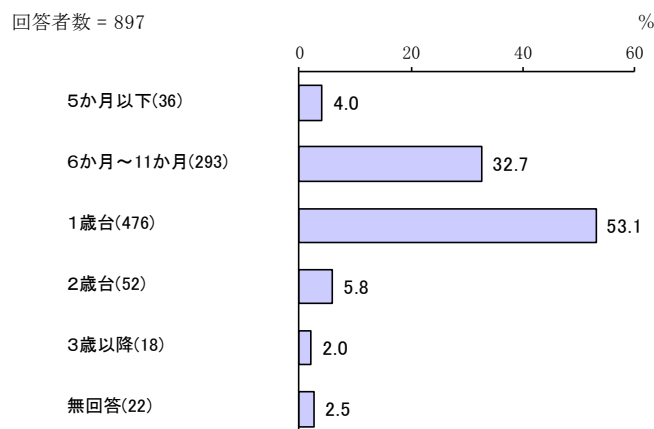
（２）父親



問 26－1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

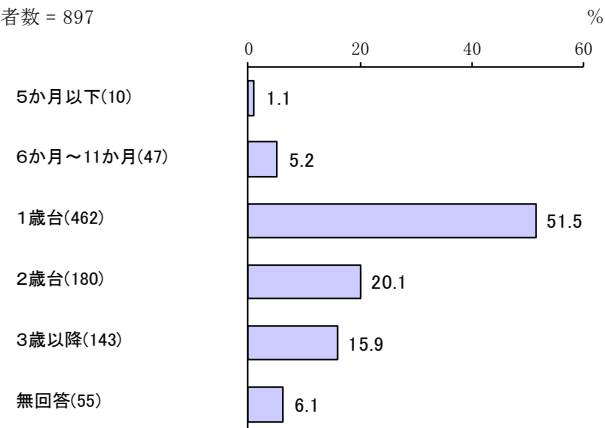
問 26－2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は1 枠に1 字）。

（１）－１【育児休業取得後に職場復帰した母親】実際の取得期間



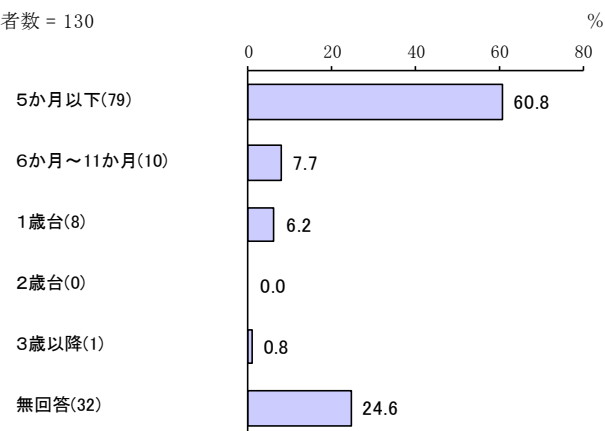
(1) - 2 【育児休業取得後に職場復帰した母親】希望する取得期間

回答者数 = 897



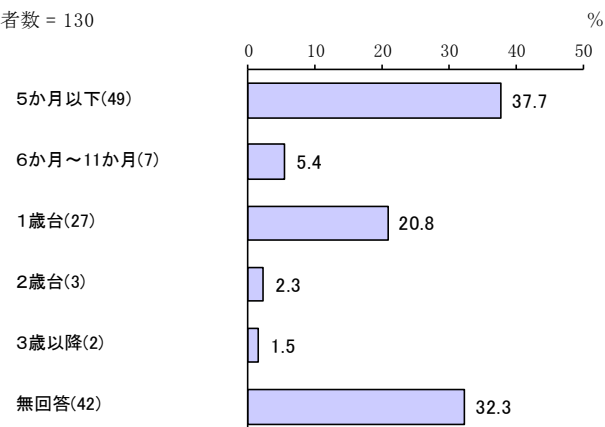
(2) - 1 【育児休業取得後に職場復帰した父親】実際の取得期間

回答者数 = 130



(2) - 2 【育児休業取得後に職場復帰した父親】希望する取得期間

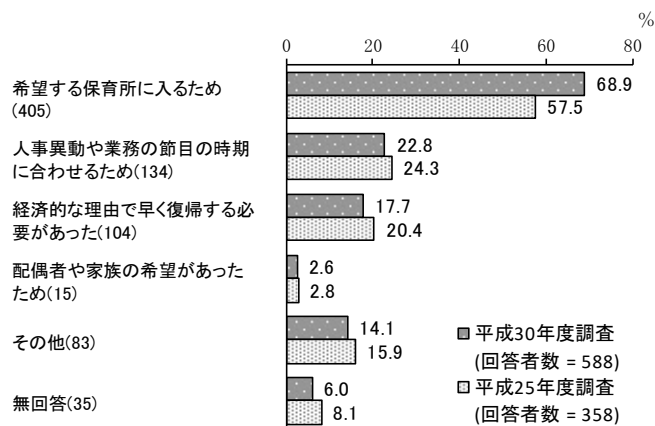
回答者数 = 130



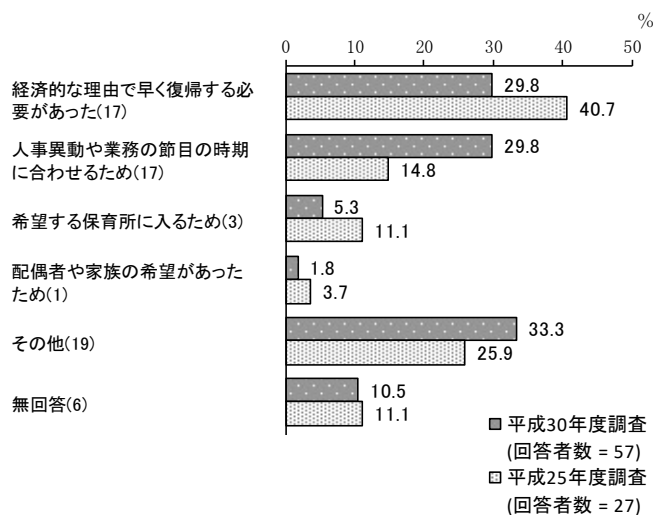
問 26-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 26-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

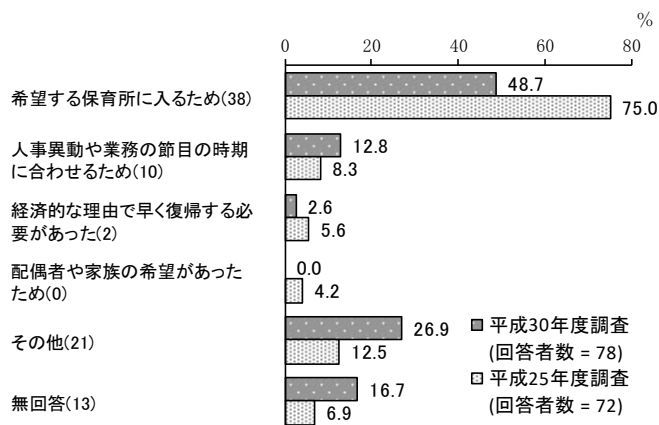
(1) - 1 【希望より早く復帰した方】 母親



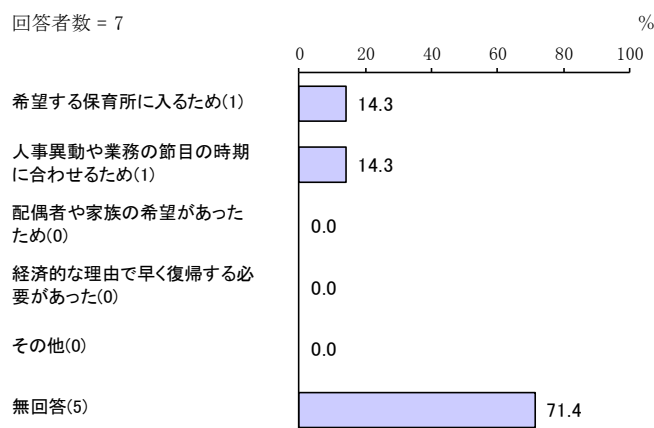
(1) - 2 【希望より早く復帰した方】 父親



(2) - 1 【希望より遅く復帰した方】 母親



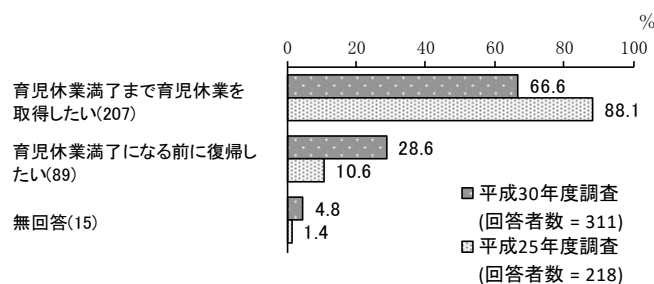
(2) - 2 【希望より遅く復帰した方】父親



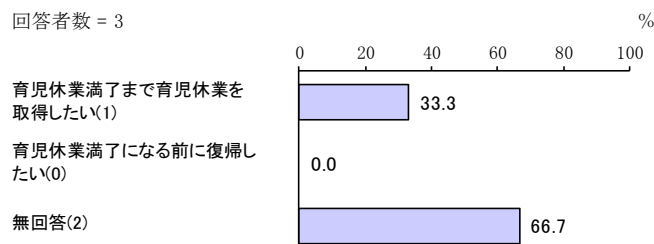
問 26- 1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 26- 4 お子さんが必ず利用できる事業があれば、育児休業満了時まで取得しますか。または、預けられる事業があっても満了になる前に復帰しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

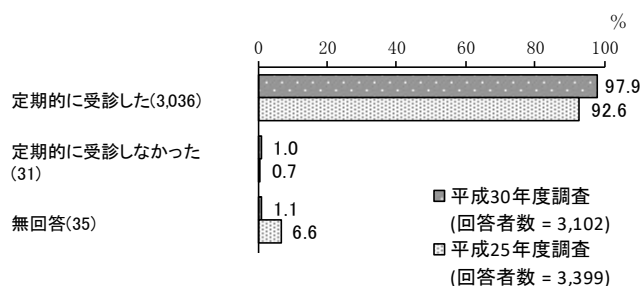


(2) 父親



11. 母親の妊娠、出産等について

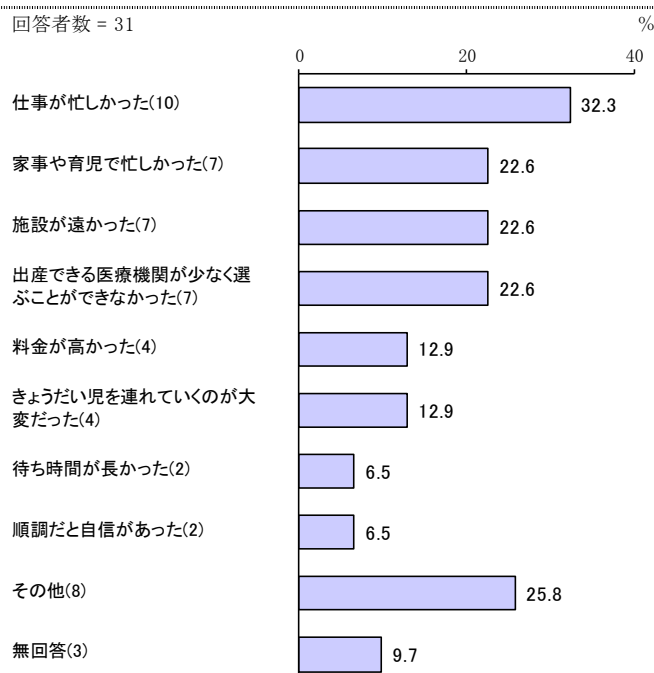
問 27 対象のお子さんの妊娠中に妊婦健康診査を受診しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 27 で「2. 定期的に受診しなかった」に○をつけた方にうかがいます。

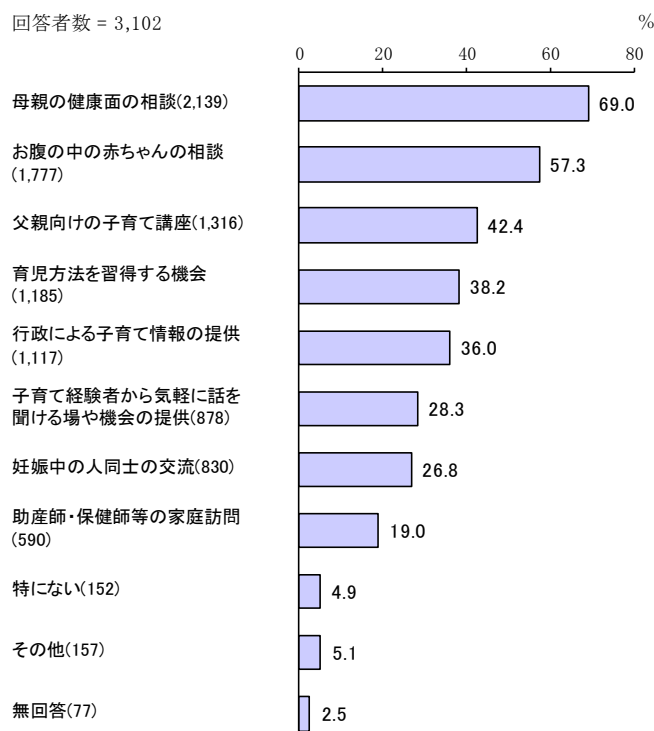
問 27－1 理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答者数 = 31



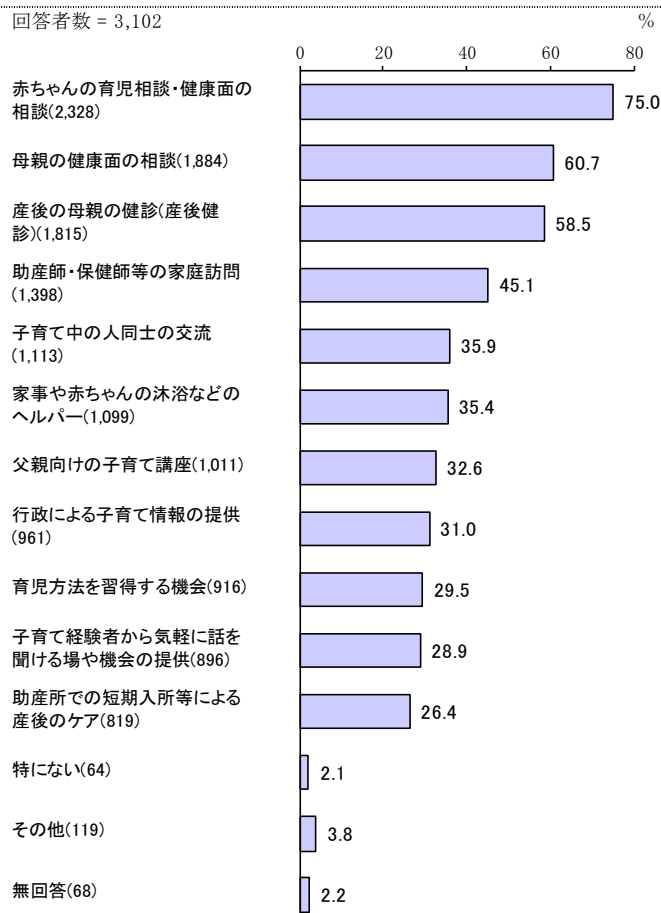
問 28 妊娠中に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答者数 = 3,102



問 29 出産後に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答者数 = 3,102

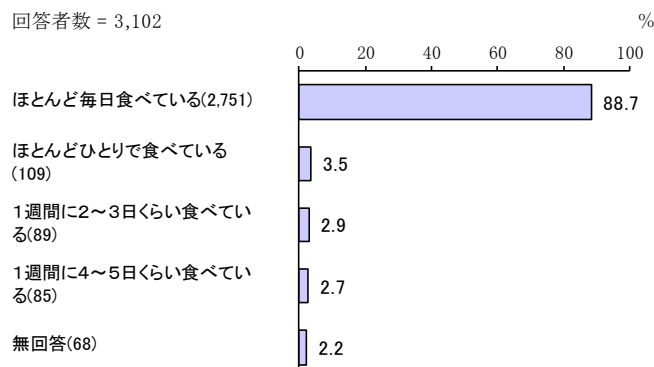


12. 子育てと子育て支援について

問 30 お子さんは食事を誰かといっしょに食べていますか。
それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

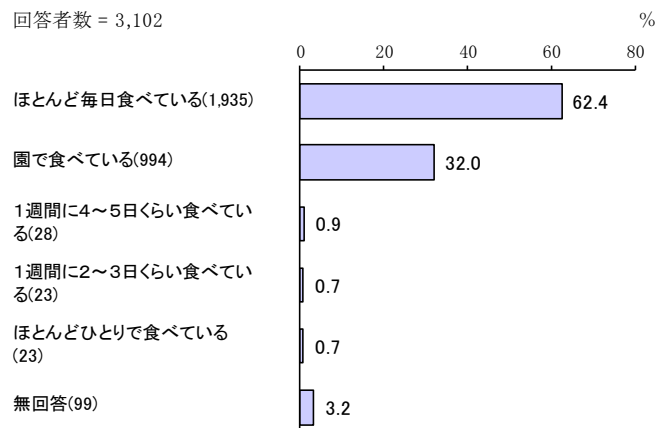
(1) 朝食

回答者数 = 3,102



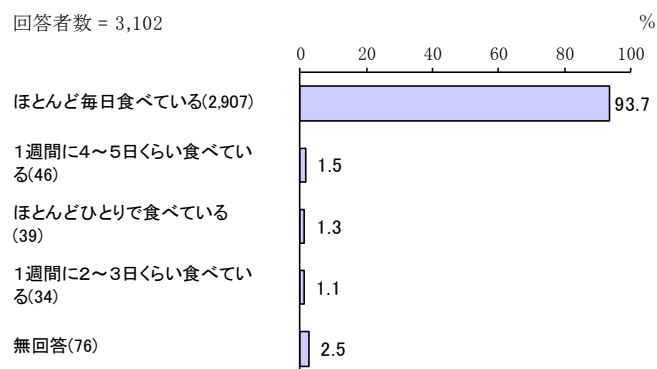
(2) 昼食

回答者数 = 3,102



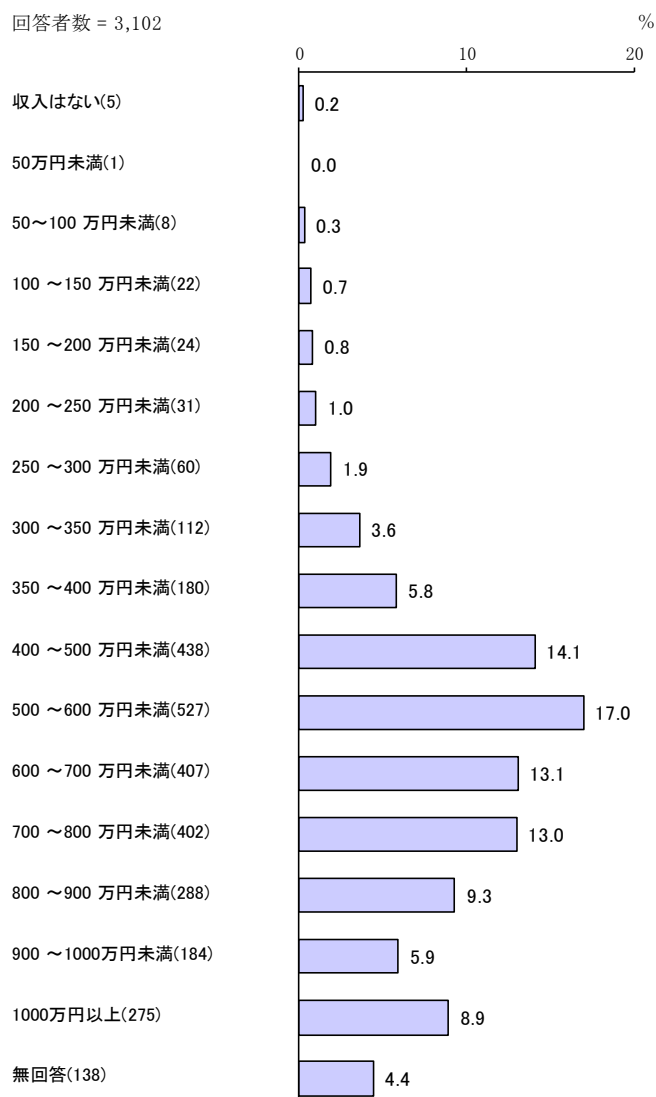
(3) 夕食

回答者数 = 3,102



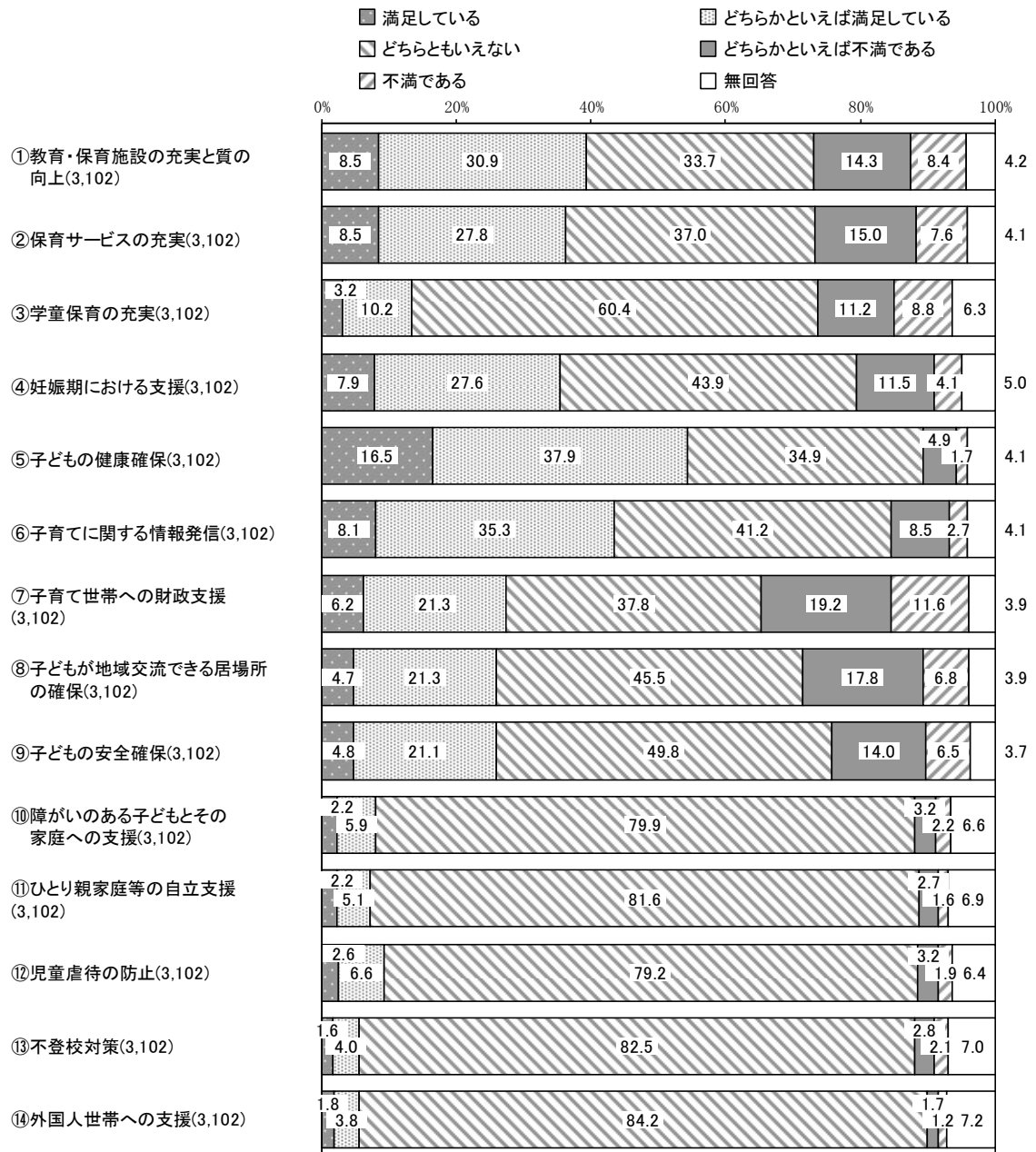
問 31 あなたのご家庭の全員の収入を合わせた年間の「世帯の収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

回答者数 = 3,102

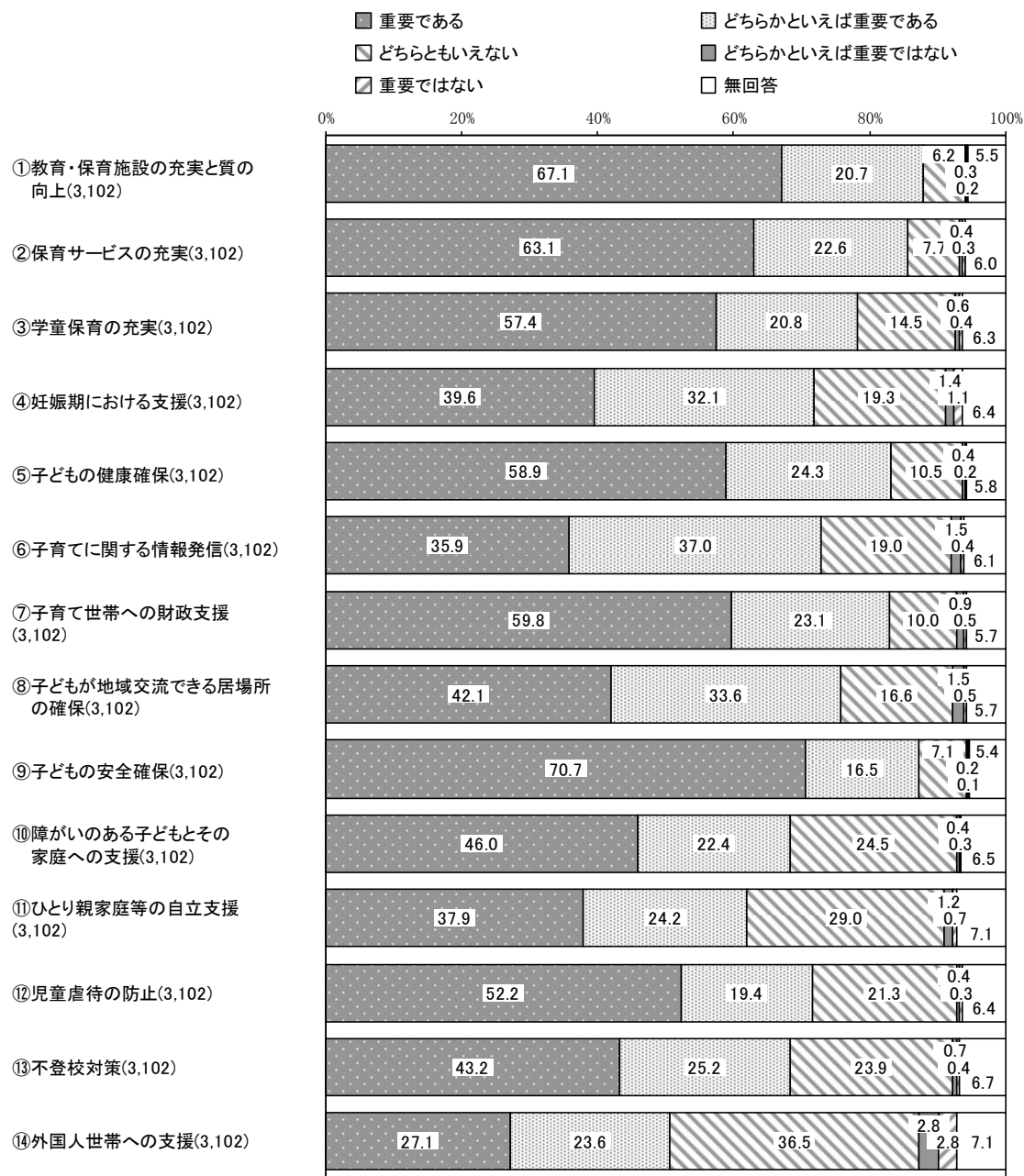


問 32 市の子育て支援の取組について、(1) 現状の満足度、(2) 今後の重要度、それぞれの項目についてあなたの考えに近い番号 1 つずつに○をつけてください。

(1) 現状の満足度

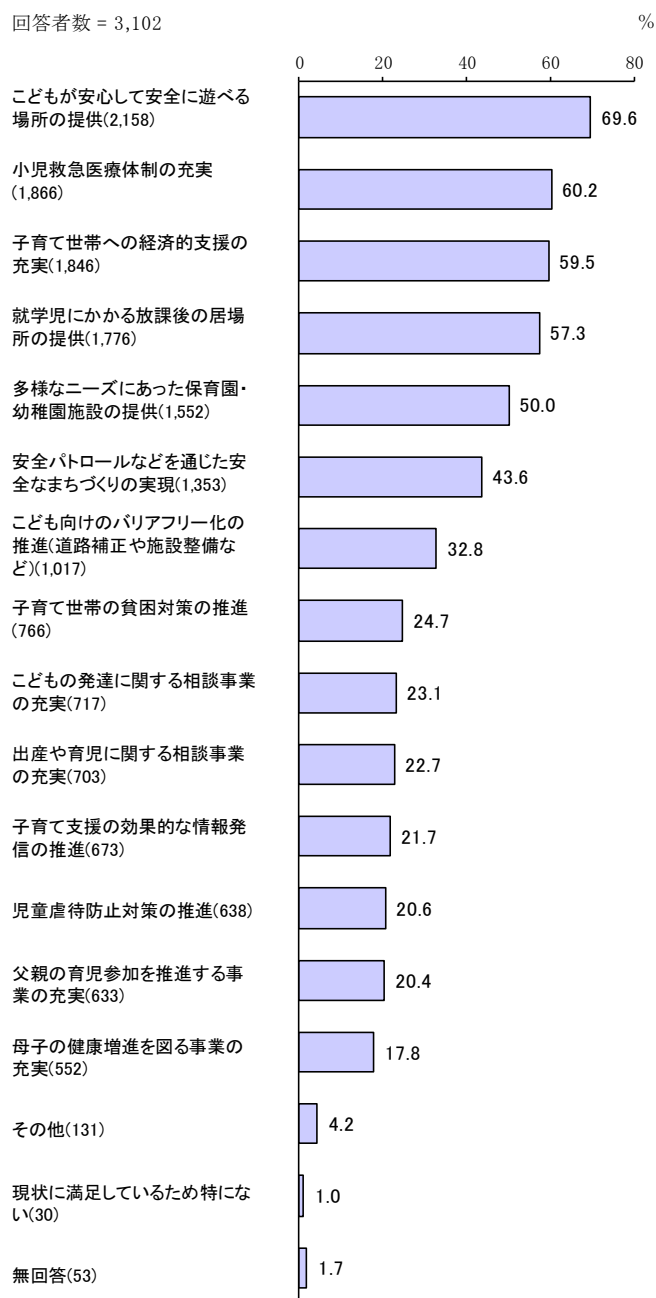


(2) 今後の重要度

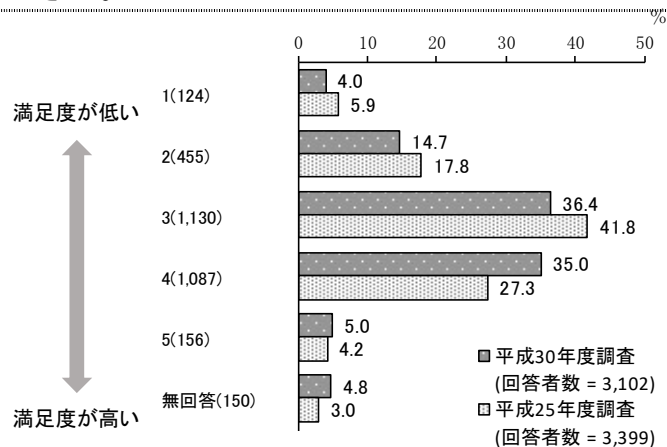


問 33 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答者数 = 3,102



問 34 海老名市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



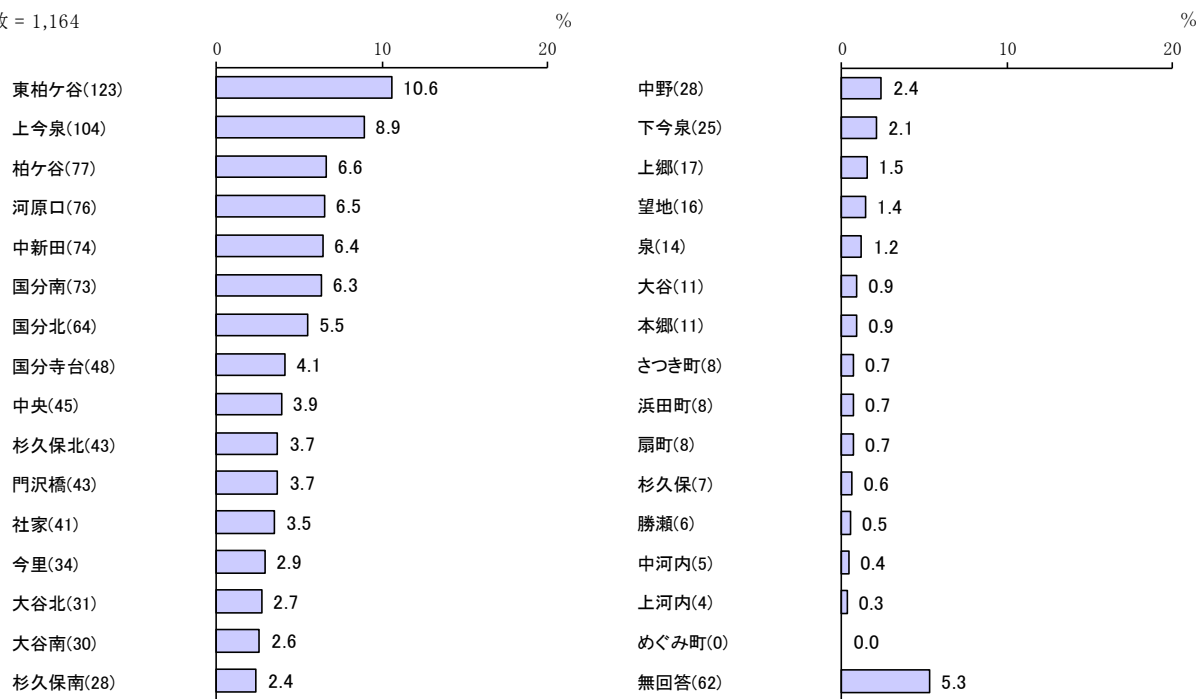
第3章 調査結果（小学生用）

第3章 調査結果（小学生用）

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまるところ1つに○をつけてください。

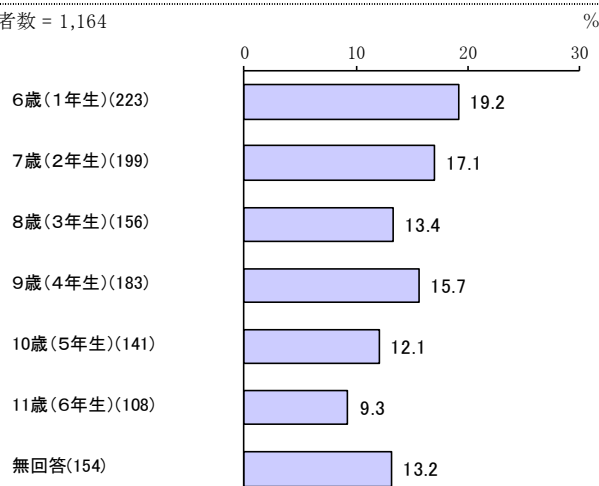
回答者数 = 1,164



2. お子さんとご家族の状況について

問2 対象のお子さんの生年月を西暦でご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）

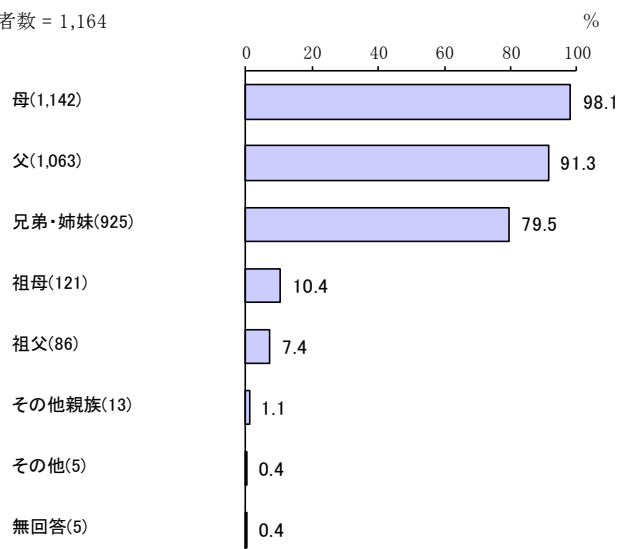
回答者数 = 1,164



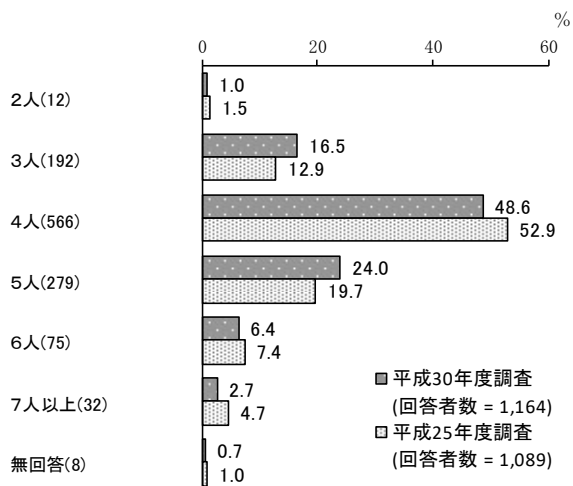
問3 対象のお子さんと同居されている方、すべてに○をつけてください。続柄はお子さんから見た関係です。また、同居している家族全員（保護者と該当のお子さんを含む）の人数をご記入ください。

(1) 子どもと同居している方

回答者数 = 1,164

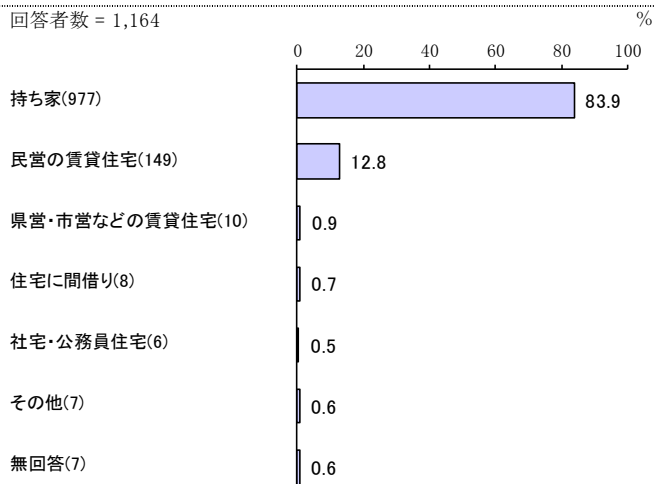


(2) 同居している家族の人数

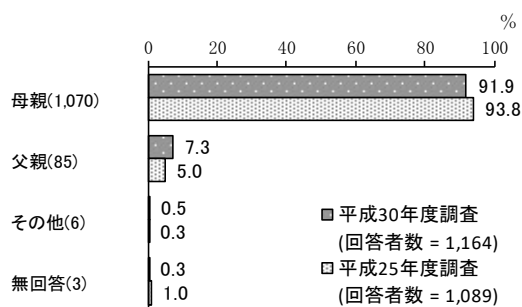


問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

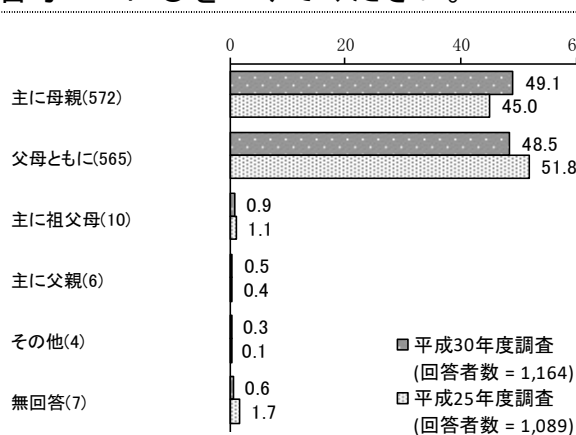
回答者数 = 1,164



問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

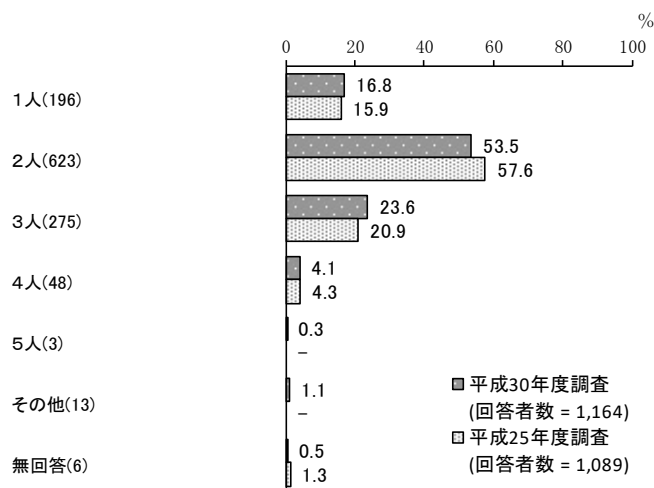


問6 対象のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



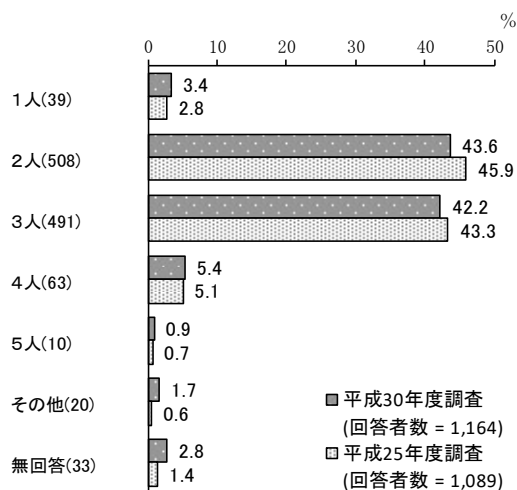
問7 あなたには、何人お子さんがいらっしゃいますか。また、理想的なお子さんの人数は何人ですか。それぞれ、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 実際のお子さんの人数



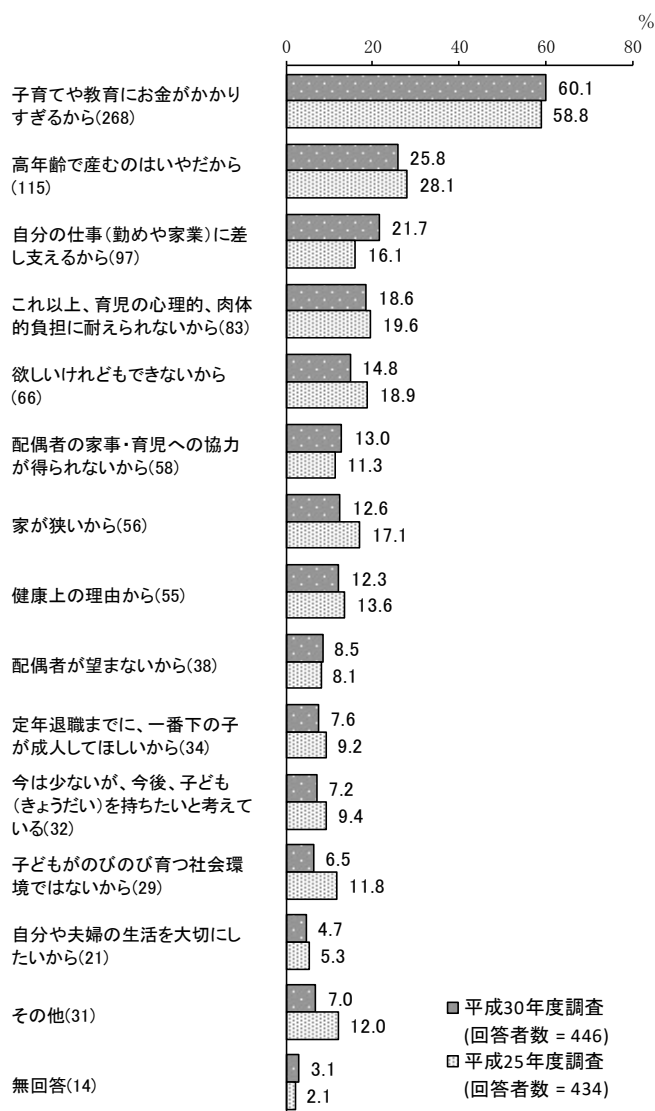
※「4人」については平成25年度調査では「4人以上」の値。

(2) 理想のお子さんの人数



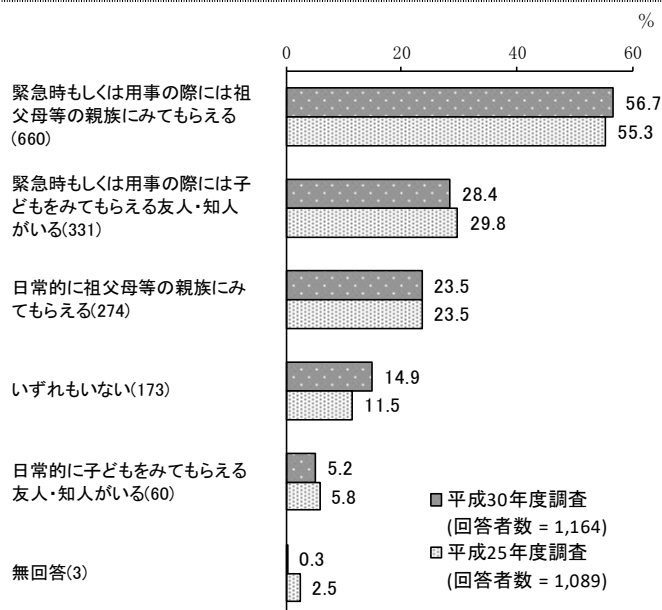
「理想的な子どもの人数」より「実際の子どもの人数」が少ない方にうかがいます。

問7-1 少ない理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

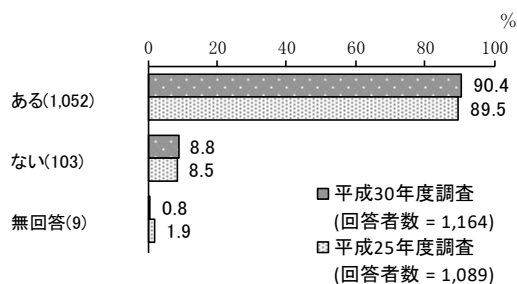


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 日頃、対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

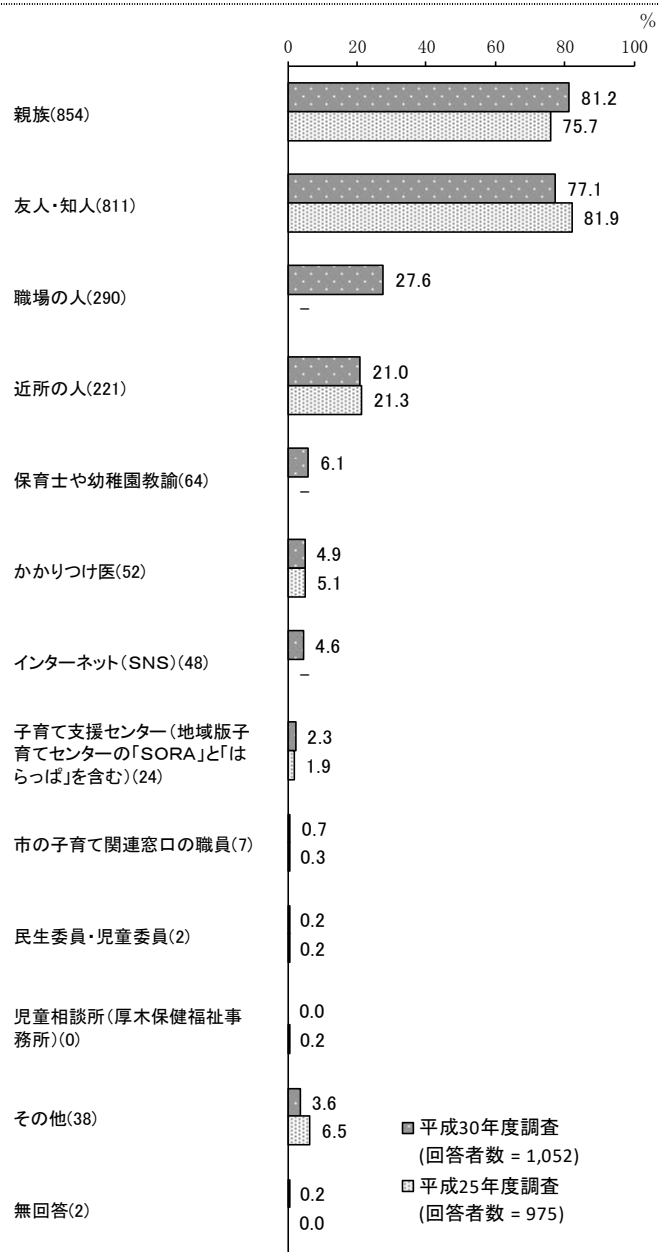


問9 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問9で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。

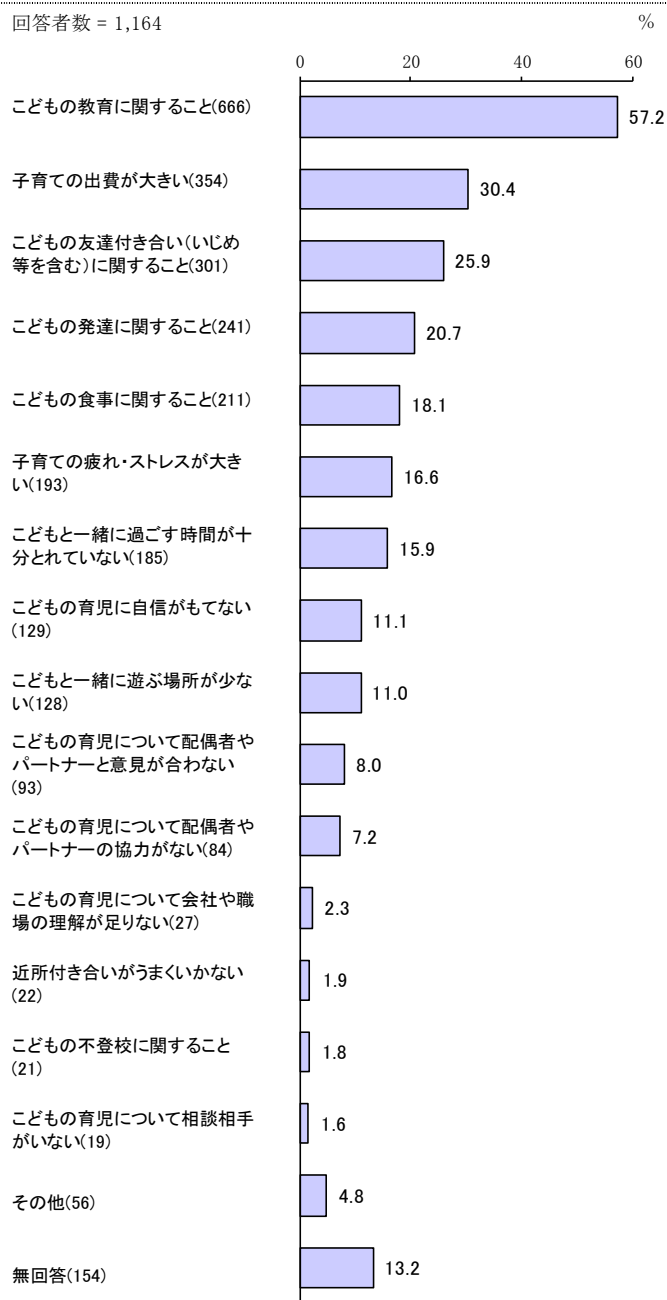
問9－1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当
てはまる番号すべてに○をつけてください。



※「職場の人」「インターネット（SNS）」は平成30年度調査から新たに追加した。また、平成30年度調査の「保育士や幼稚園教諭」は平成25年度調査では「保育士」「幼稚園教諭」に分けて集計している。

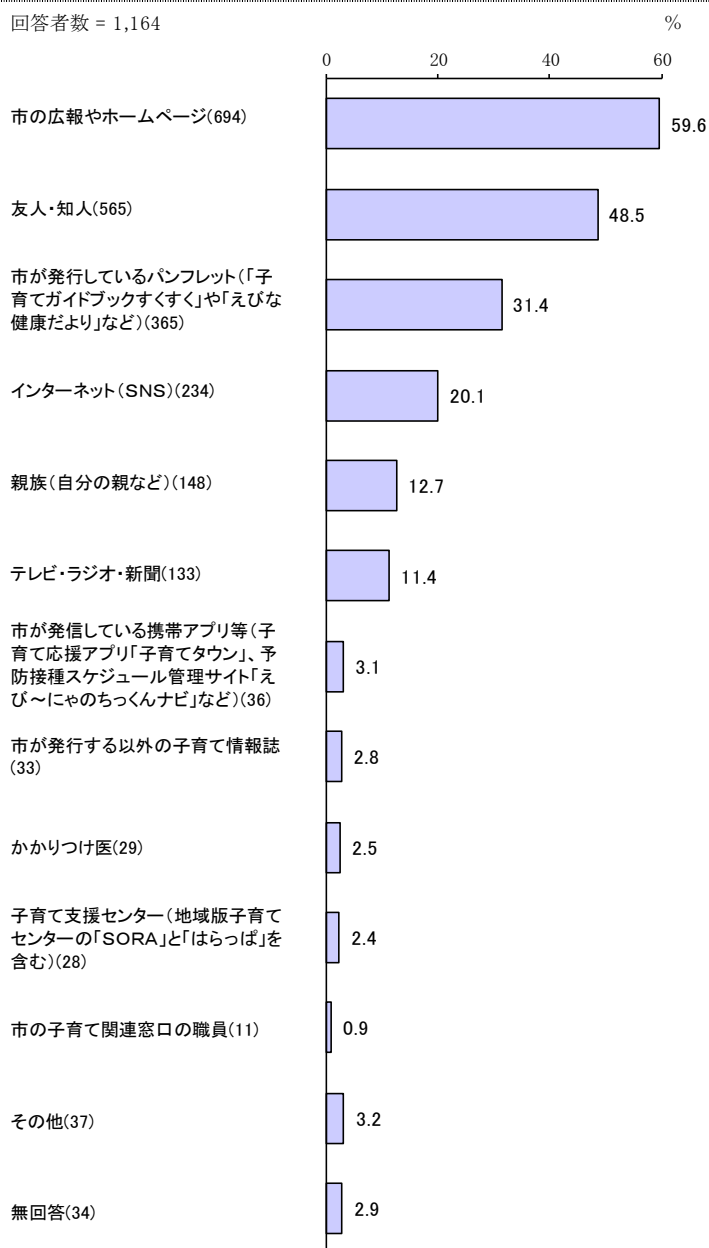
問 10 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答者数 = 1,164

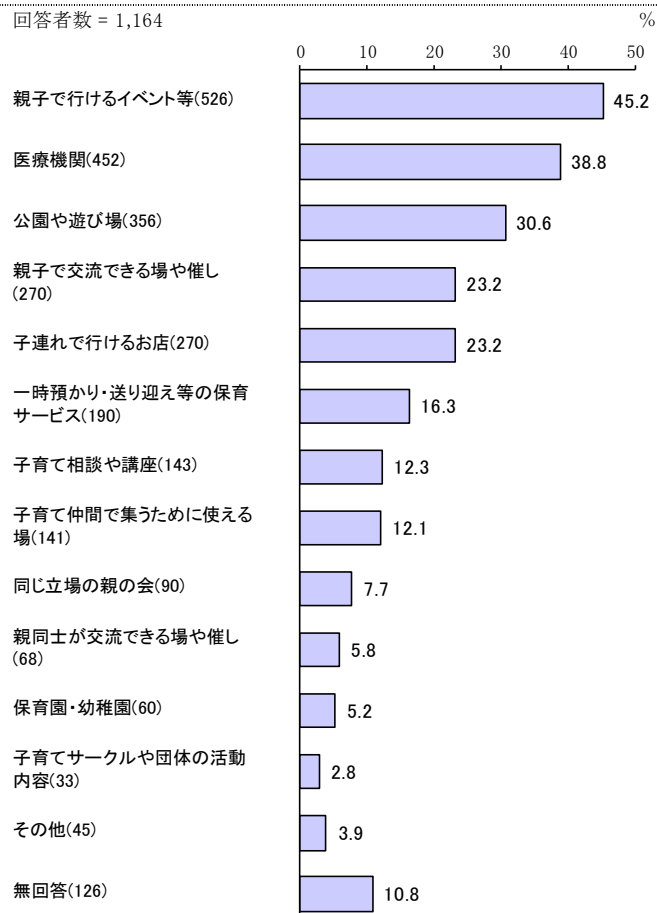


問 11 子育て支援に関する情報をどこから主に入手していますか。当てはまる番号にすべてに○をつけてください。

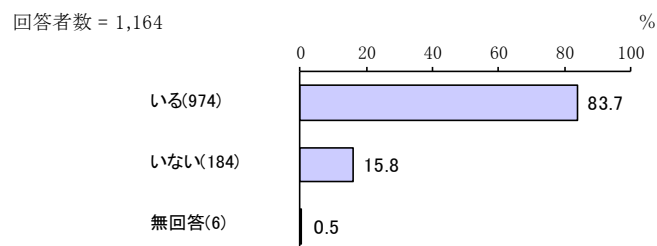
回答者数 = 1,164



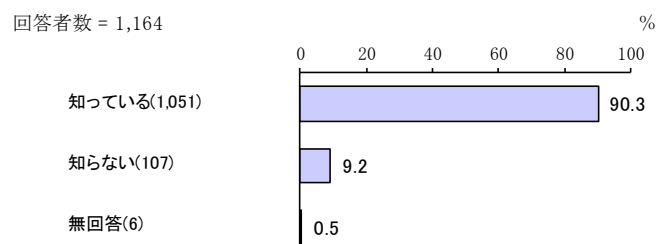
問 12 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



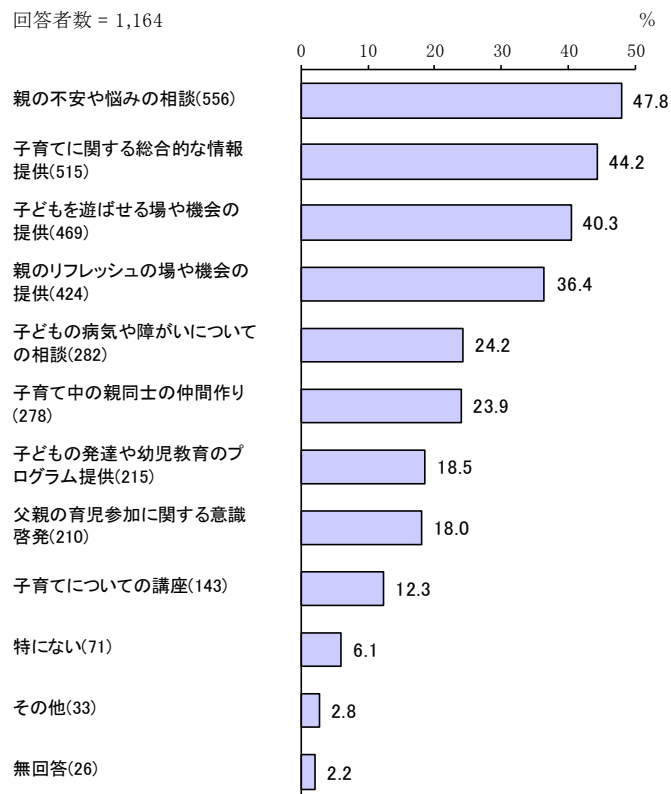
問 13 対象のお子さんのかかりつけの（病気や発達について相談できる）医者がいますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 14 休日や夜間にお子さん（対象のお子さんに限りません）が病気になったときに受診できる医療機関を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



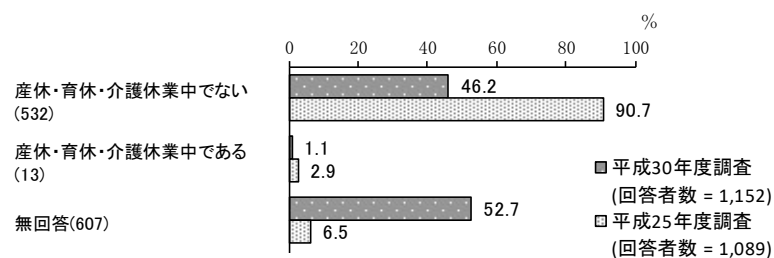
問 15 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサポートはどのようなものだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください



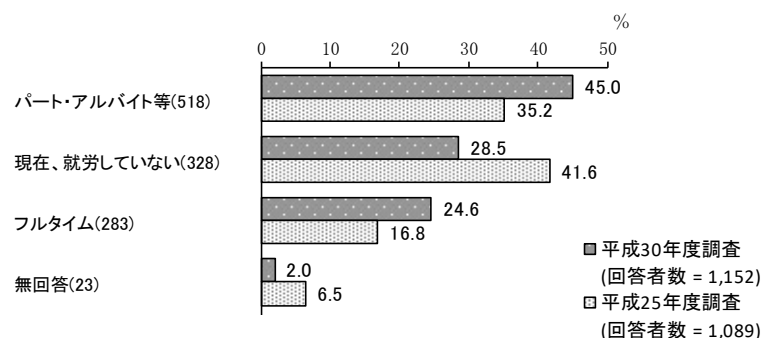
4. 保護者の就労状況について

問 16 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。①産休・育休・介護休業の取得状況、②就労形態ともに、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

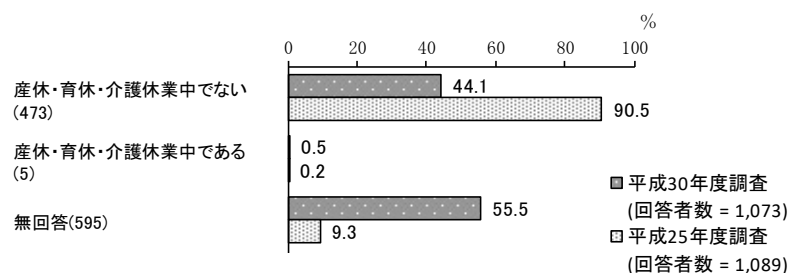
(1) - 1 【母親の就労状況】産休・育休・介護休業の取得状況



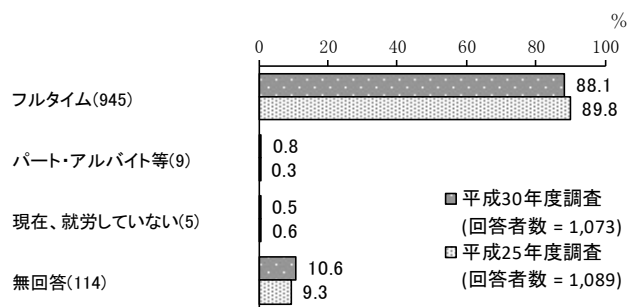
(1) - 2 【母親の就労状況】就労形態



(2) - 1 【父親の就労状況】産休・育休・介護休業の取得状況



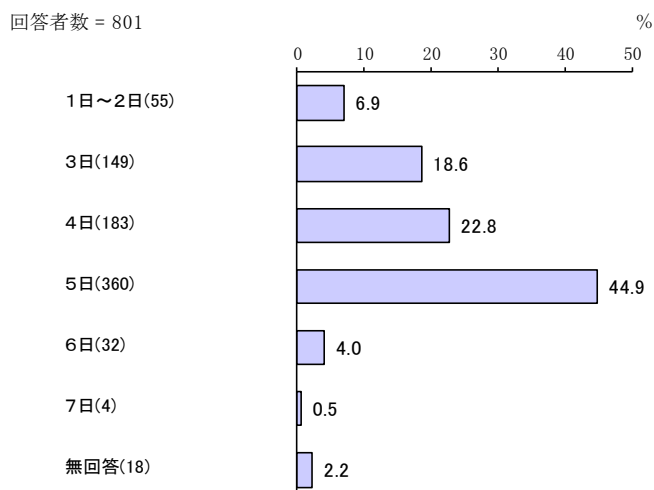
(2) - 2 【父親の就労状況】就労形態



問 16 の (1) 母親または (2) 父親の②就労形態で「1. フルタイム」「2. パート・アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

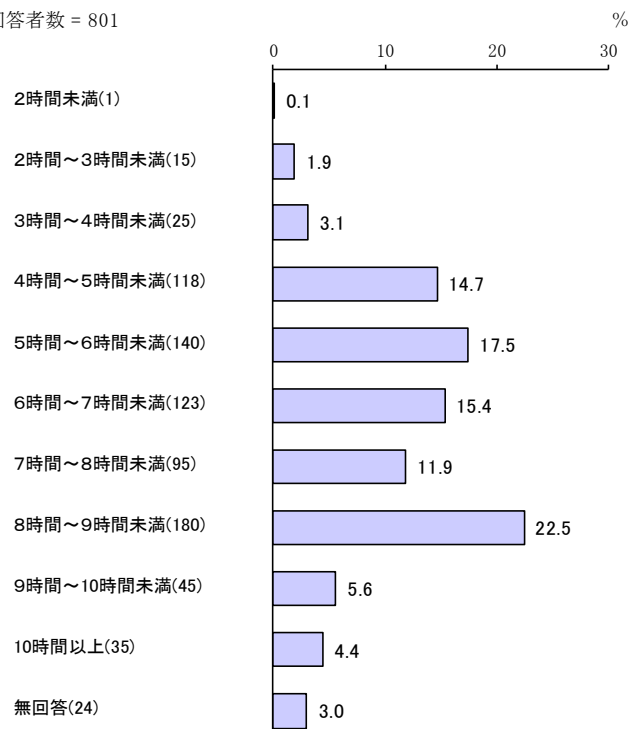
問 16-1 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、平均的なパターンについてお答えください。□内に数字でご記入ください。

(1) - 1 【就労している母親】1 週当たりの就労日数



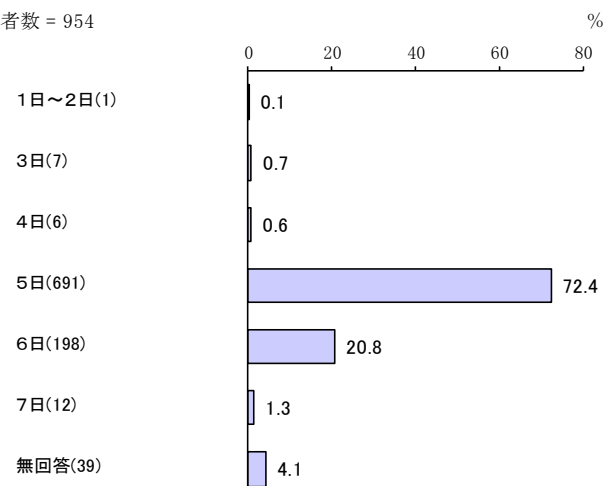
(1) - 2 【就労している母親】 1日あたりの就労時間

回答者数 = 801

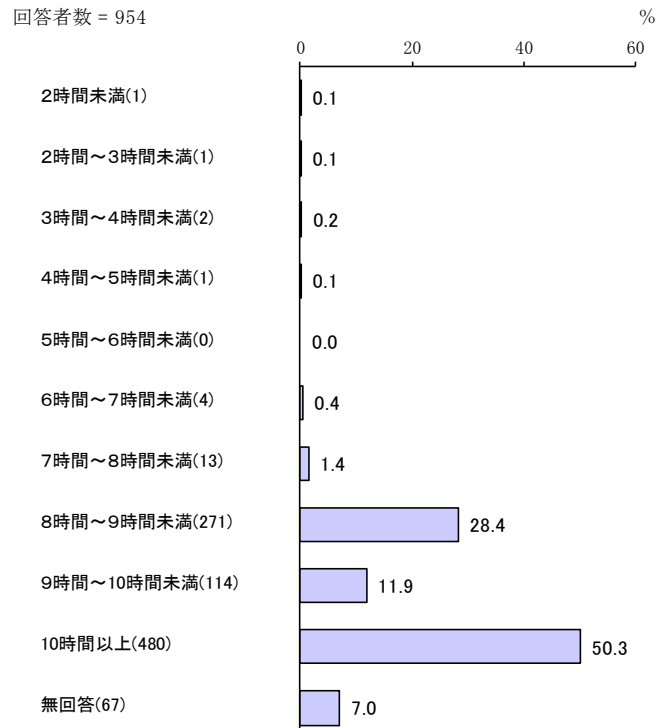


(2) - 1 【就労している父親】 1週当たりの就労日数

回答者数 = 954



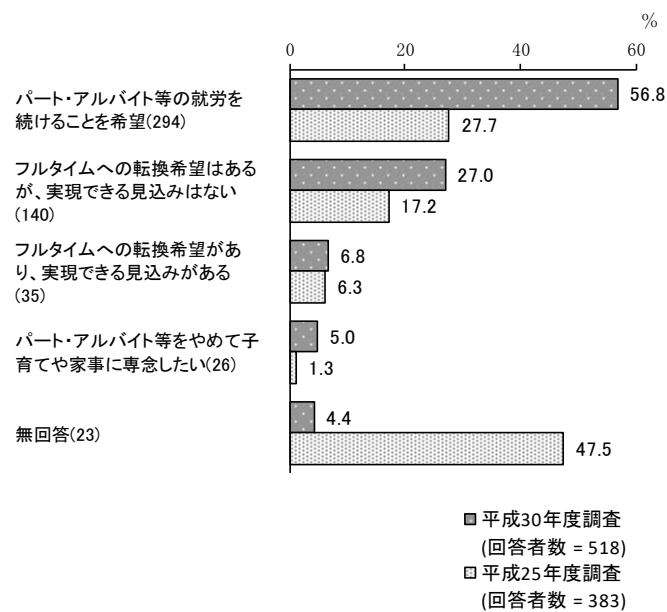
(2) - 2 【就労している父親】 1日あたりの就労時間



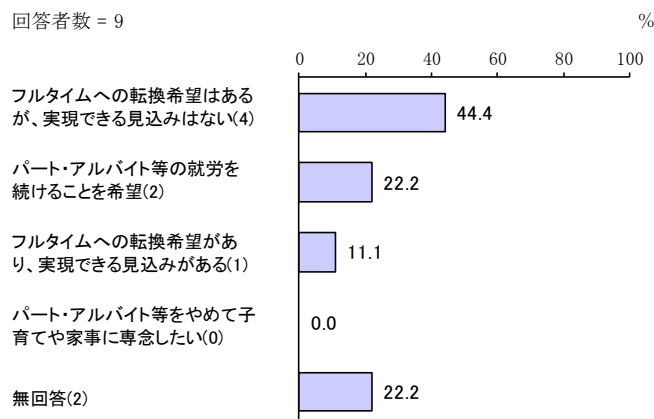
問 16 の (1) 母親または (2) 父親の②就労形態で「2. パート・アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 【パート・アルバイト等をしている母親】フルタイムへの転換希望



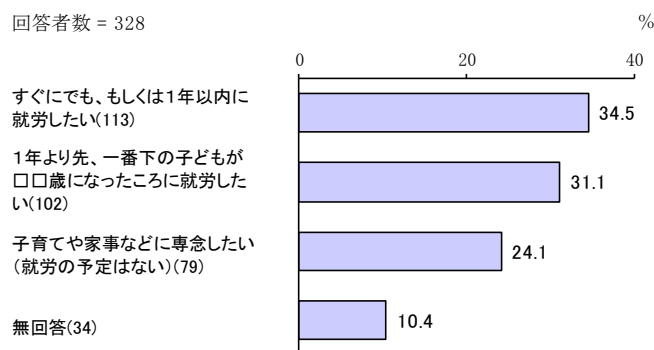
(2) 【パート・アルバイト等をしている父親】フルタイムへの転換希望



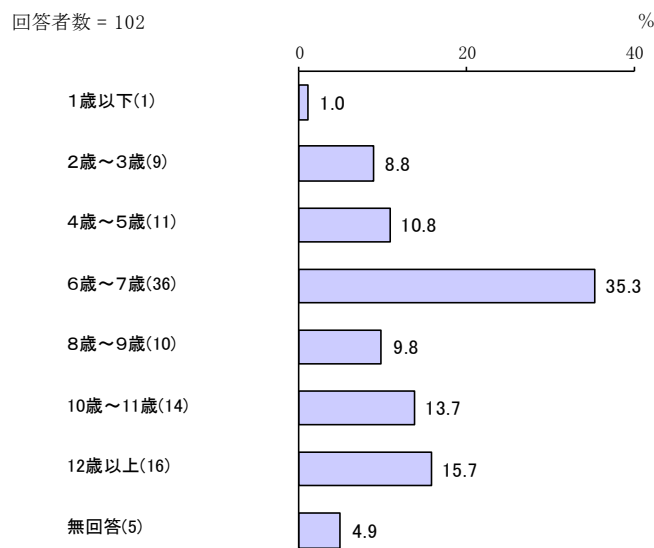
問 16 の (1) 母親または (2) 父親の②就労形態で「3. 現在、就労していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 16－3 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字でご記入ください。

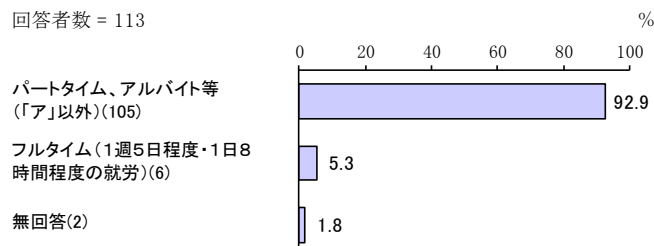
(1) － 1 【就労していない母親】就労希望



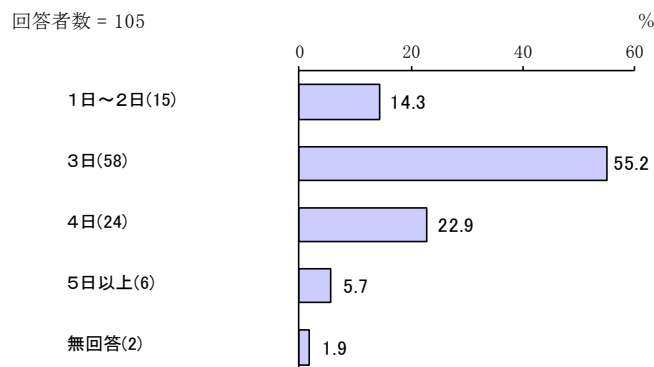
(1) － 2 【就労していない母親】就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢
(1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい人)



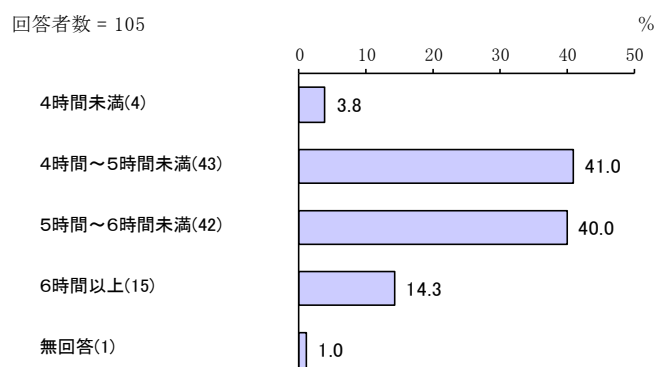
(1) - 3 【就労していない母親】 1年以内に就労を希望する場合の就労形態



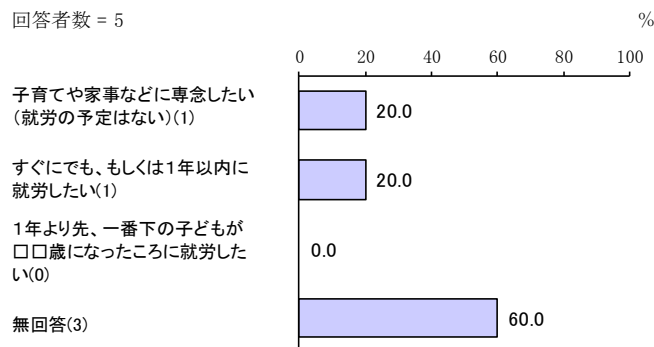
(1) - 4 【就労していない母親】 1年以内に就労を希望する場合の1週当たりの就労日数



(1) - 5 【就労していない母親】 1年以内に就労を希望する場合の1日当たりの就労時間



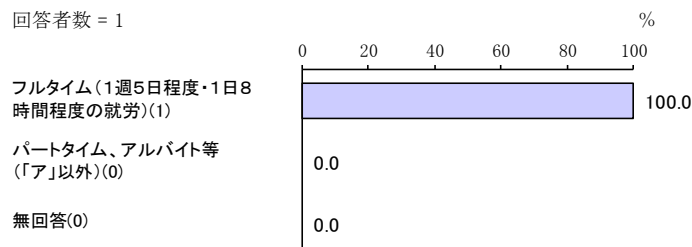
(2) - 1 【就労していない父親】 就労希望



(2) - 2 【就労していない父親】 就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢
(1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい人)

有効回答がありませんでした。

(2) - 3 【就労していない父親】 1年以内に就労を希望する場合の就労形態



(2) - 4 【就労していない父親】 1年以内に就労を希望する場合の1週当たりの就労日数

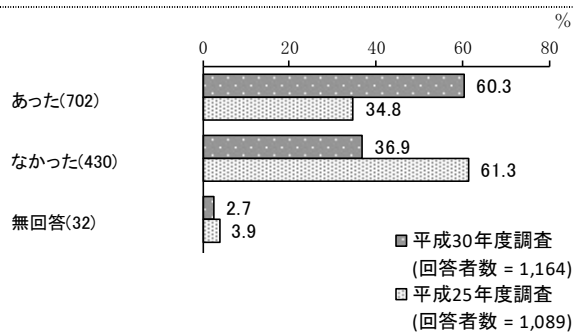
有効回答がありませんでした。

(2) - 5 【就労していない父親】 1年以内に就労を希望する場合の1日当たりの就労時間

有効回答がありませんでした。

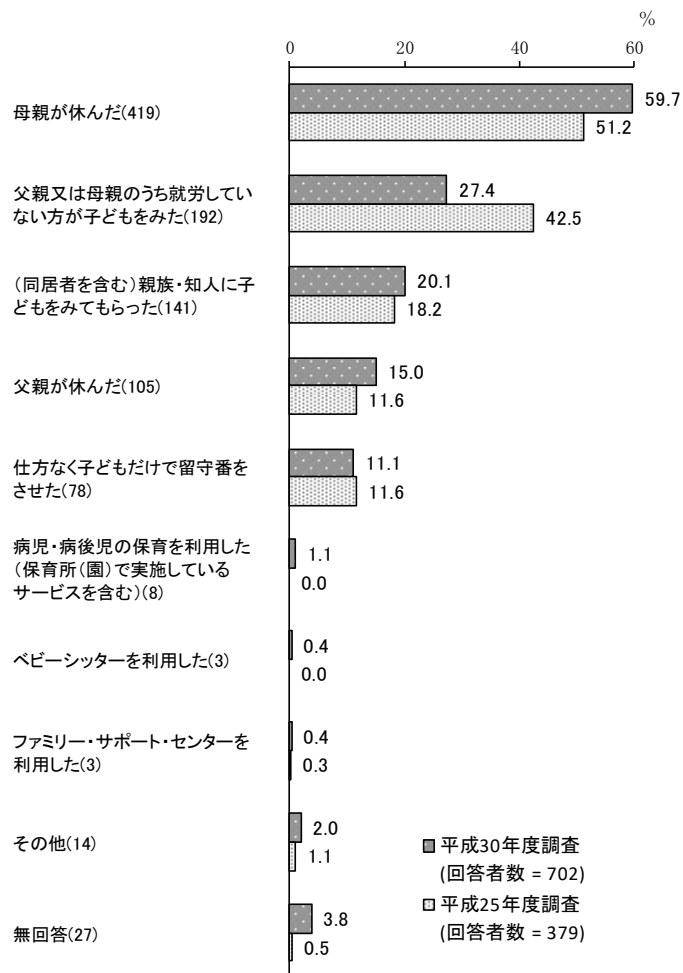
5. 病気の際の対応について

問 17 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで小学校に行けなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問17で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問17ー1 対象のお子さんが病気やけがで普段利用している小学校に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は1枠に1字）。



【お子さんの病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがある方】 1年間の対処方法別日数

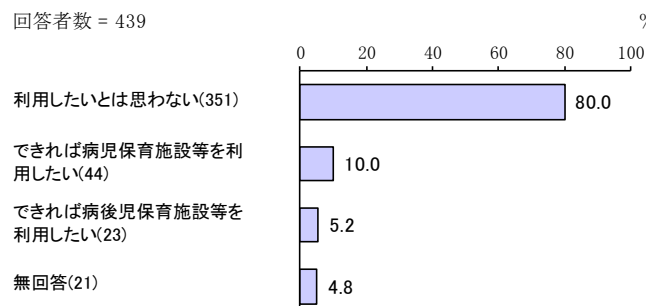
上段：実数 下段：％

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日 ～ 3 日	4 日 ～ 5 日	6 日 ～ 7 日	8 日 ～ 9 日	10 日 以上	無 回 答
ア. 父親が休んだ	105 100.0	55 52.4	32 30.5	11 10.5	－ －	－ －	2 1.9	5 4.8
イ. 母親が休んだ	419 100.0	112 26.7	157 37.5	67 16.0	21 5.0	5 1.2	48 11.5	9 2.1
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	141 100.0	38 27.0	60 42.6	22 15.6	5 3.5	1 0.7	10 7.1	5 3.5
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	192 100.0	41 21.4	60 31.3	39 20.3	15 7.8	4 2.1	18 9.4	15 7.8
オ. 病児・病後児の保育を利用した(保育所(園)で実施しているサービスを含む)	8 100.0	3 37.5	2 25.0	－ －	1 12.5	－ －	－ －	2 25.0
カ. ベビーシッターを利用した	3 100.0	－ －	－ －	－ －	1 33.3	－ －	－ －	2 66.7
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	3 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	3 100.0
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	78 100.0	28 35.9	32 41.0	10 12.8	－ －	－ －	4 5.1	4 5.1
ケ. その他	14 100.0	3 21.4	3 21.4	1 7.1	1 7.1	－ －	－ －	6 42.9

問 17-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

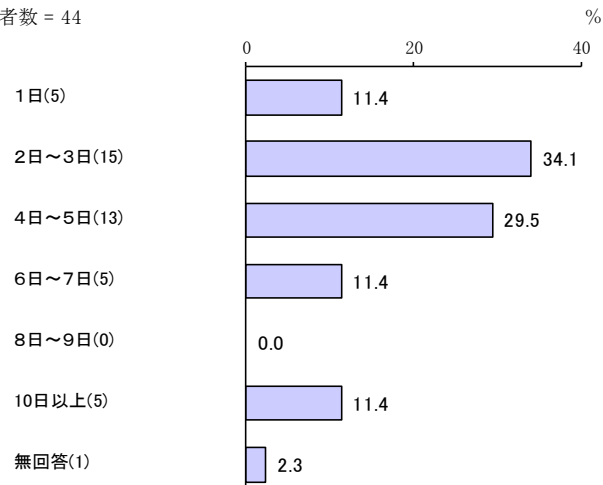
問 17-2 保護者が休んだその際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

回答者数 = 439



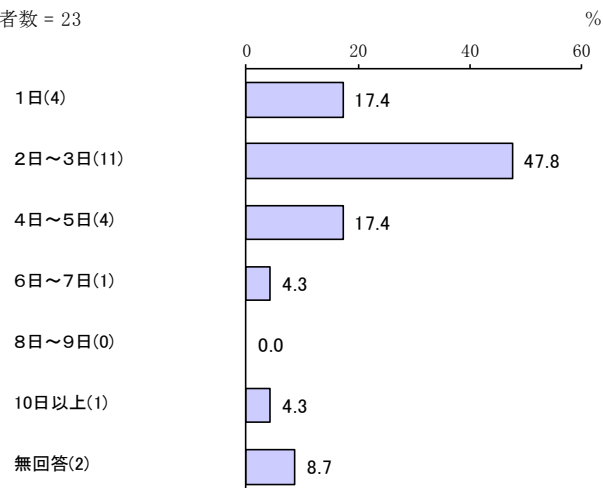
【病児保育を利用したい方】利用日数

回答者数 = 44



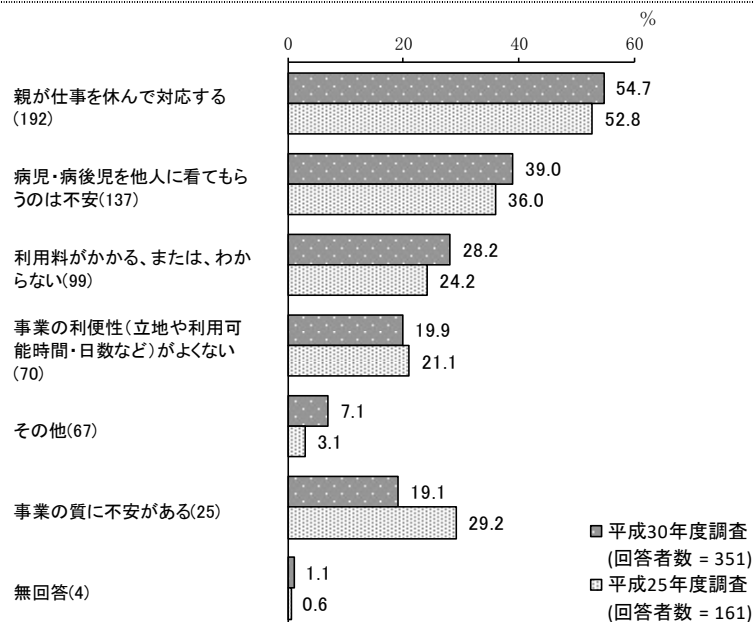
【病後児保育を利用したい方】利用日数

回答者数 = 23



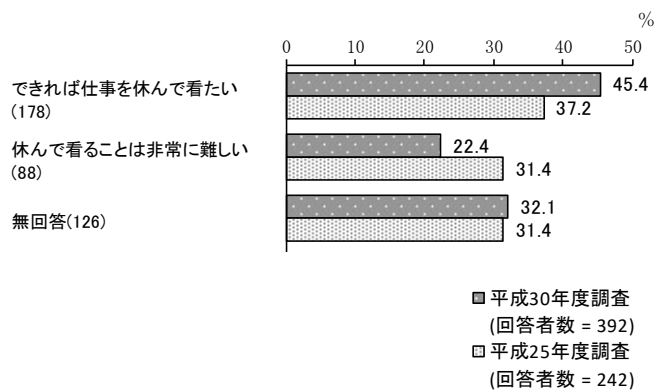
問 17-2 で「3. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



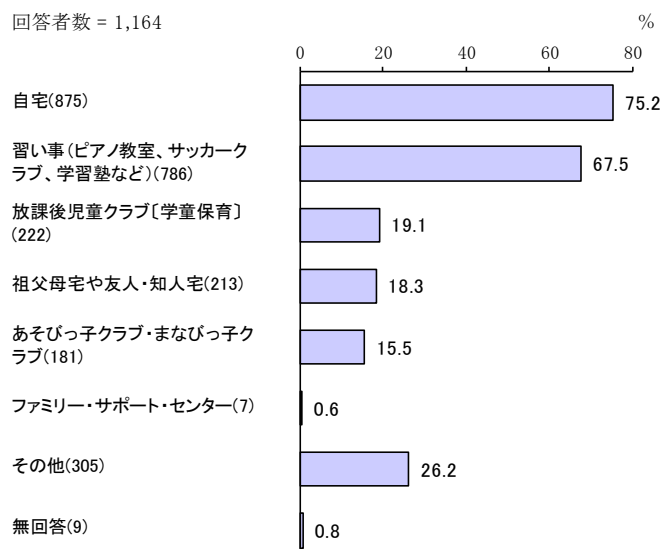
問 17-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 17-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



6. 放課後の過ごし方について

問 18 対象のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用している週当たり日数を数字でご記入ください。



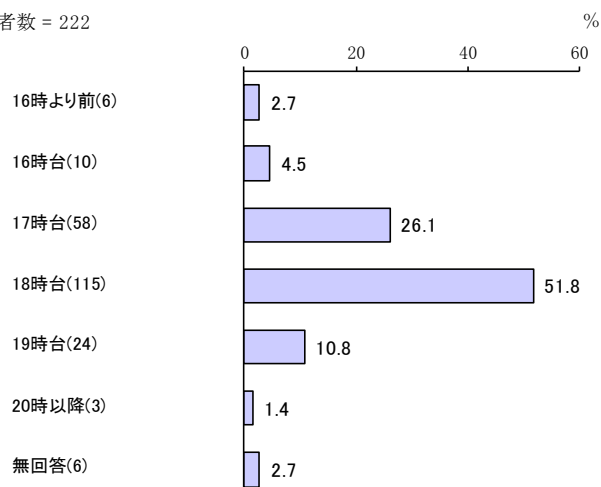
(1) 【放課後に過ごしている場所】場所別の利用日数

上段：実数 下段：%

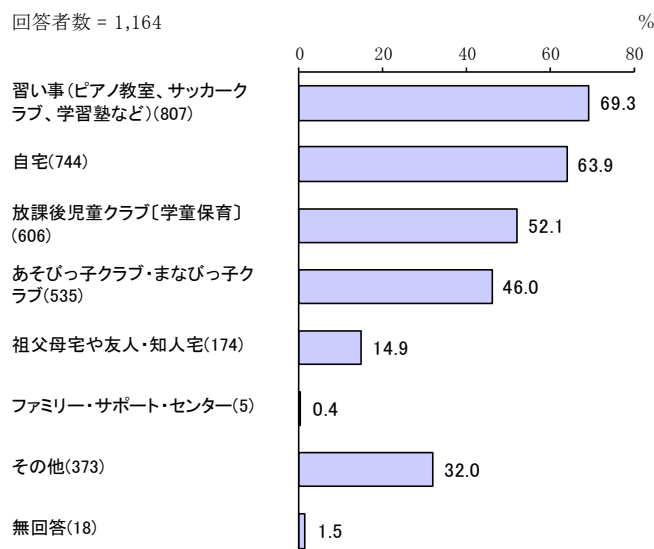
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	875 100.0	153 17.5	214 24.5	163 18.6	94 10.7	193 22.1	5 0.6	27 3.1	26 3.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	213 100.0	117 54.9	45 21.1	16 7.5	9 4.2	12 5.6	1 0.5	1 0.5	12 5.6
3. 習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)	786 100.0	182 23.2	278 35.4	191 24.3	85 10.8	33 4.2	5 0.6	1 0.1	11 1.4
4. 放課後児童クラブ(学童保育)	222 100.0	11 5.0	14 6.3	34 15.3	34 15.3	115 51.8	4 1.8	— —	10 4.5
5. あそびっ子クラブ・まな びっ子クラブ	181 100.0	91 50.3	41 22.7	25 13.8	6 3.3	3 1.7	— —	— —	15 8.3
6. ファミリー・サポート・センター	7 100.0	5 71.4	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 28.6
7. その他	305 100.0	119 39.0	90 29.5	52 17.0	17 5.6	14 4.6	3 1.0	1 0.3	9 3.0

(2) 【放課後に過ごしている場所】放課後児童クラブ（学童保育）の終了時間

回答者数 = 222



問 19 対象のお子さんは、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。



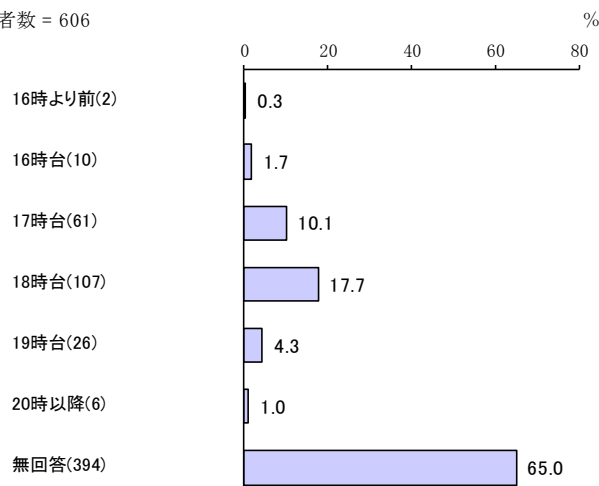
(1) 【放課後に過ごさせたい場所】場所別の希望利用日数

上段：実数 下段：%

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答
1. 自宅	744	177	211	136	54	115	1	14	36
	100.0	23.8	28.4	18.3	7.3	15.5	0.1	1.9	4.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	174	93	43	13	3	12	1	1	8
	100.0	53.4	24.7	7.5	1.7	6.9	0.6	0.6	4.6
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	807	154	312	221	71	27	2	-	20
	100.0	19.1	38.7	27.4	8.8	3.3	0.2	-	2.5
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	606	12	30	54	32	85	2	-	391
	100.0	2.0	5.0	8.9	5.3	14.0	0.3	-	64.5
5. あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブ	535	144	93	40	8	19	-	-	231
	100.0	26.9	17.4	7.5	1.5	3.6	-	-	43.2
6. ファミリー・サポート・センター	5	3	-	2	-	-	-	-	-
	100.0	60.0	-	40.0	-	-	-	-	-
7. その他	373	108	132	72	16	24	1	3	17
	100.0	29.0	35.4	19.3	4.3	6.4	0.3	0.8	4.6

(2) 【放課後に過ごさせたい場所】放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時間

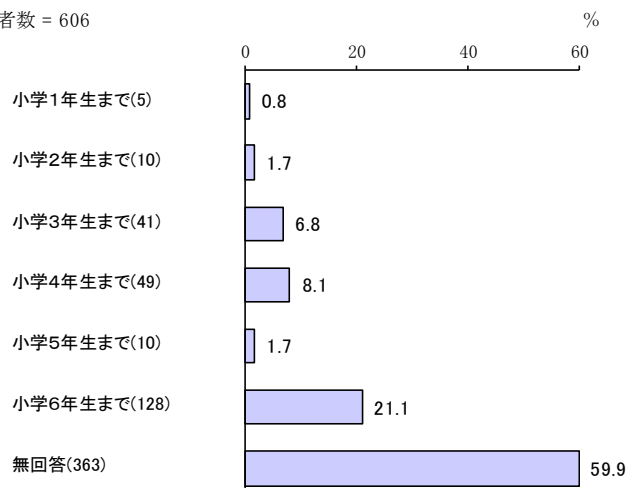
回答者数 = 606



問 19 で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

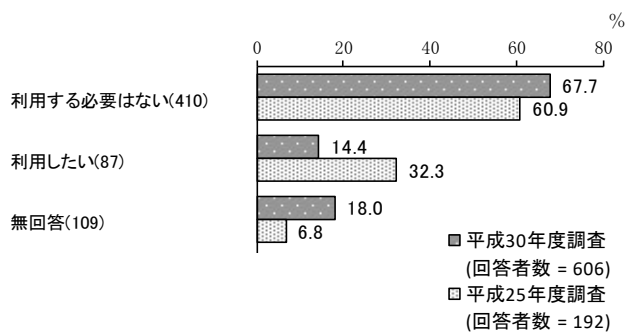
問 19－1 対象のお子さんについて、何年生まで、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

回答者数 = 606



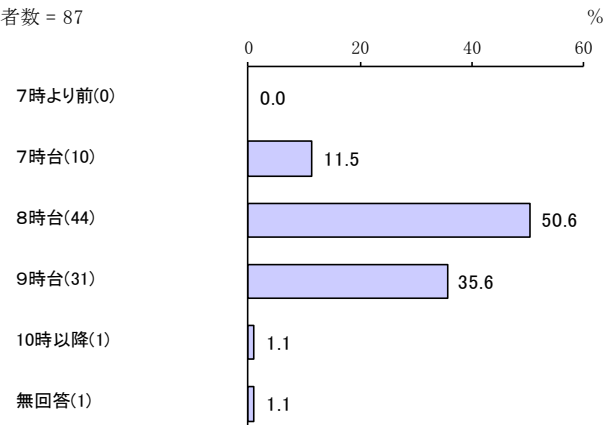
問 19－2 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1)－1 【土曜日】利用希望の有無



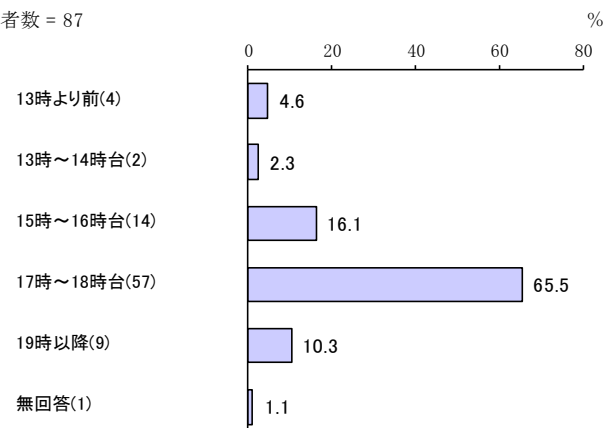
(1) - 2 【土曜日】利用開始時刻

回答者数 = 87

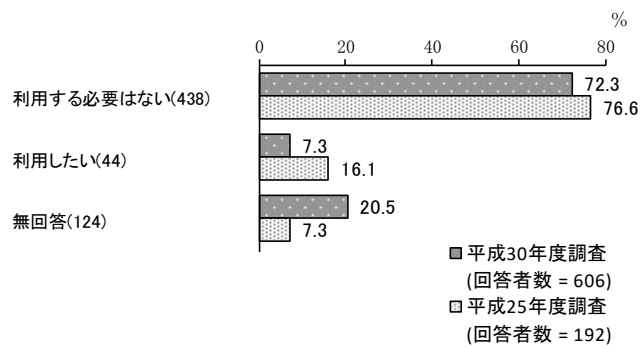


(1) - 3 【土曜日】利用終了時刻

回答者数 = 87

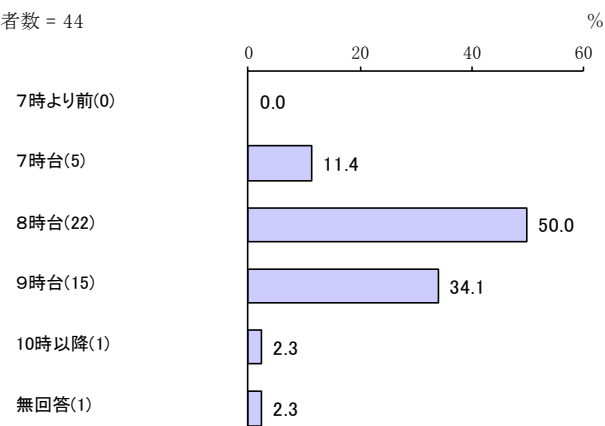


(2) - 1 【日曜日・祝日】利用希望の有無



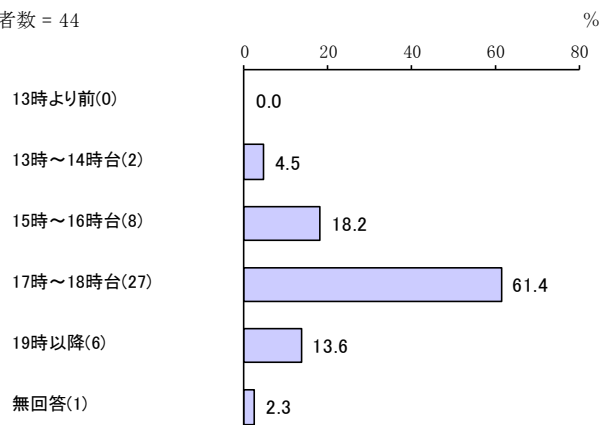
(2) - 2 【日曜日・祝日】利用開始時刻

回答者数 = 44

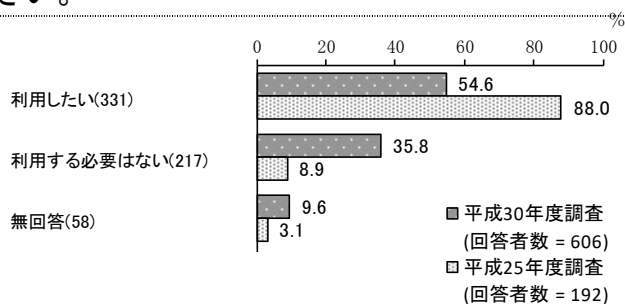


(2) - 3 【日曜日・祝日】利用終了時刻

回答者数 = 44

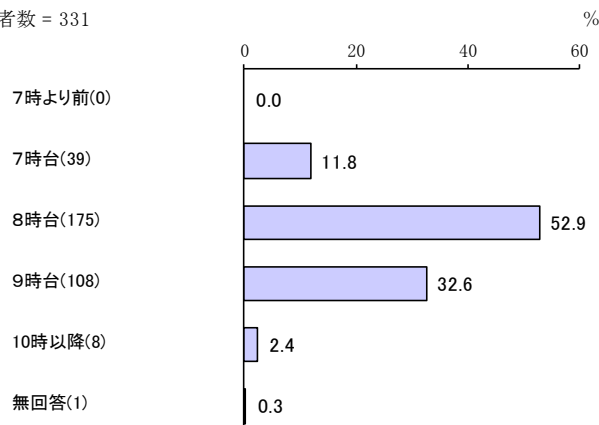


問 19- 3 対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



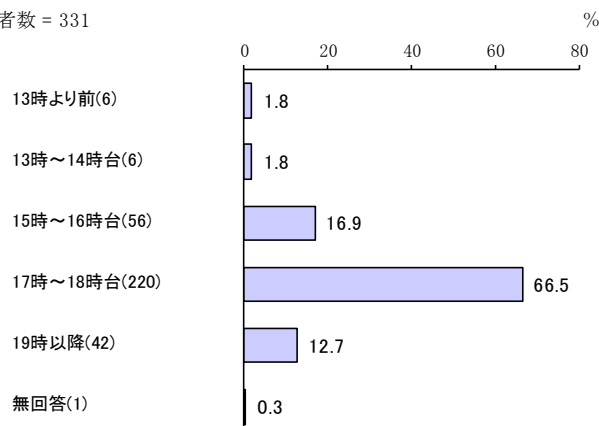
(1) 【夏休み・冬休みなどに放課後児童クラブを利用したい方】利用開始時刻

回答者数 = 331



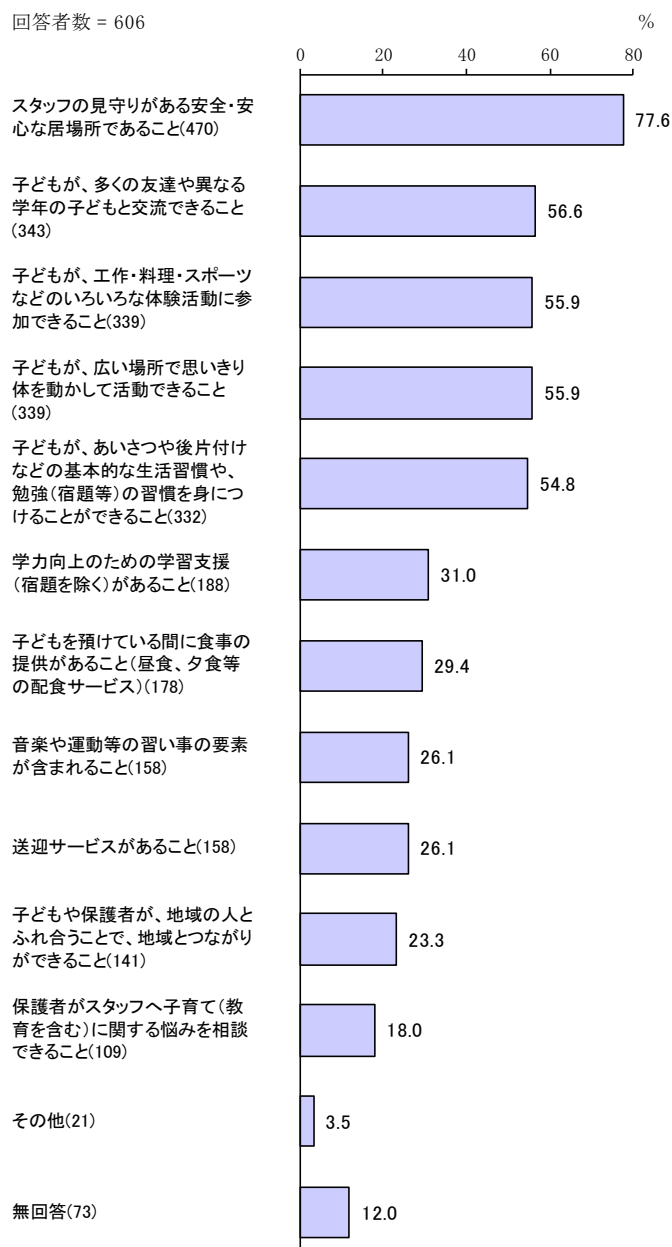
(2) 【夏休み・冬休みなどに放課後児童クラブを利用したい方】利用終了時刻

回答者数 = 331



問 19－ 4 放課後児童クラブに期待することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

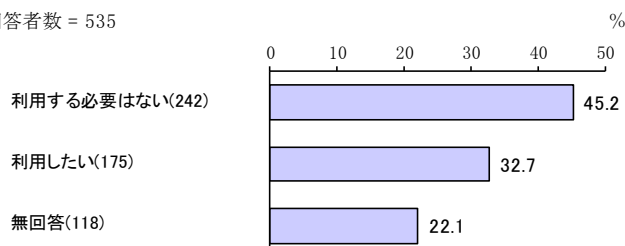
回答者数 = 606



問 19 で「5. あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

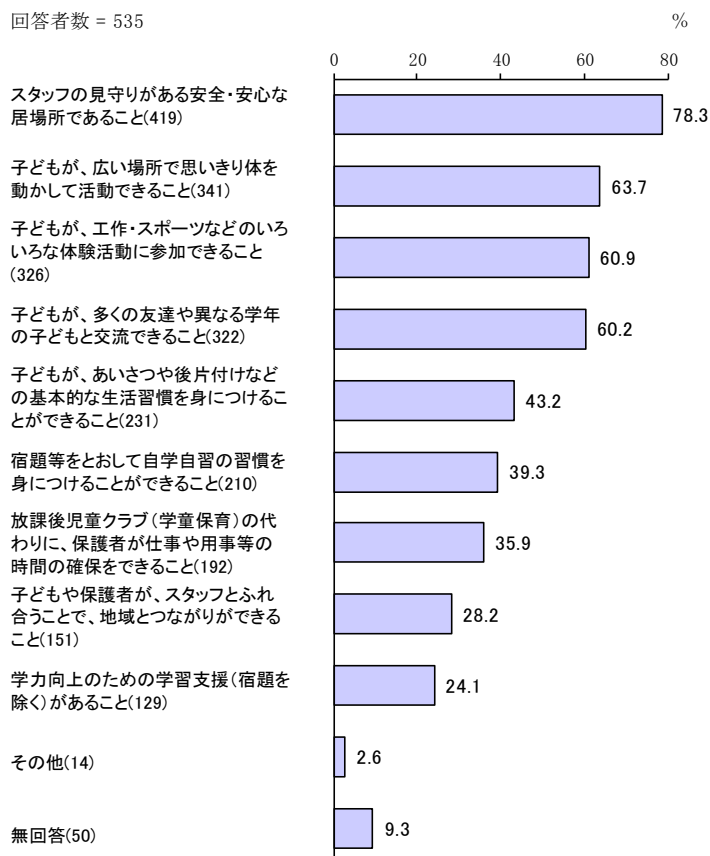
問 19－6 対象のお子さんについて、土曜日に、あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。”

回答者数 = 535

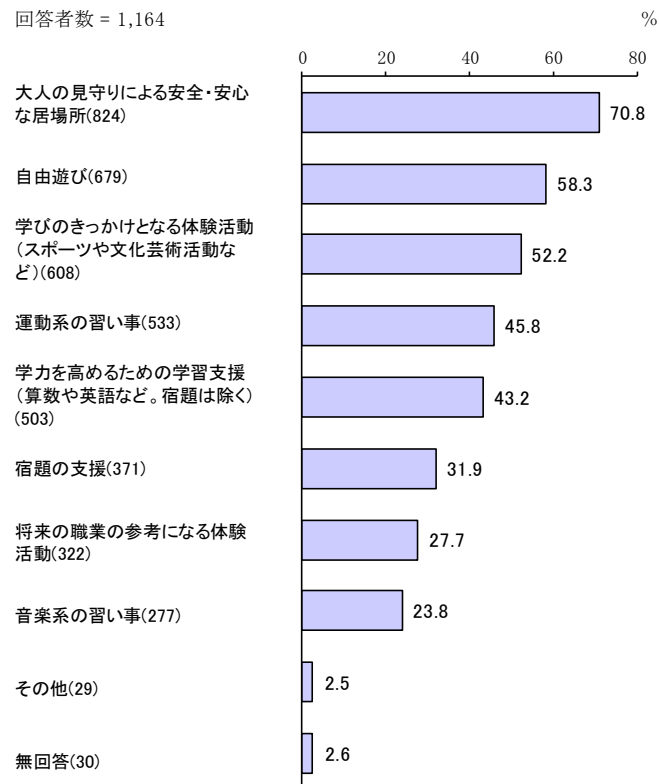


問 19－7 あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブに期待することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答者数 = 535



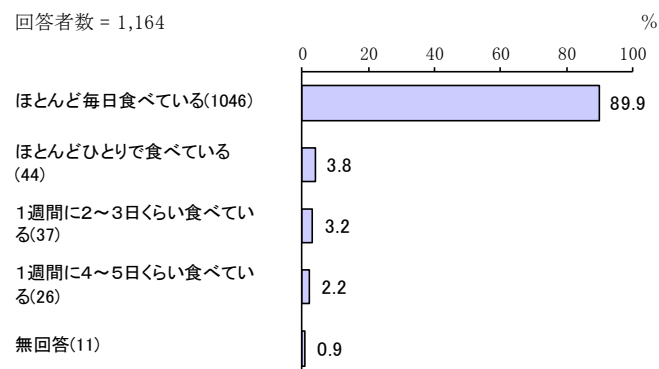
問 20 お子さんの放課後に必要と思うものは次のうちどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



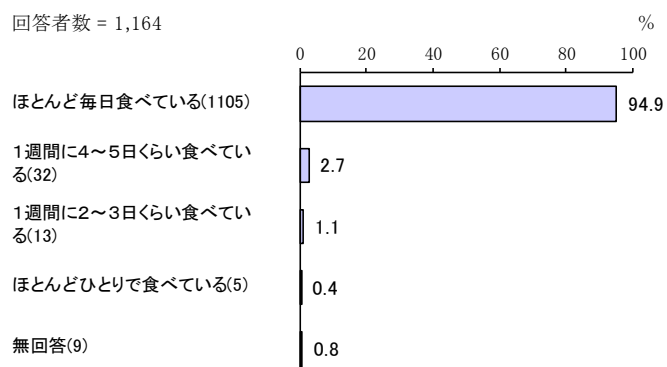
7. 子育てと子育て支援について

問 21 お子さんは食事を家族の誰かといっしょに食べていますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

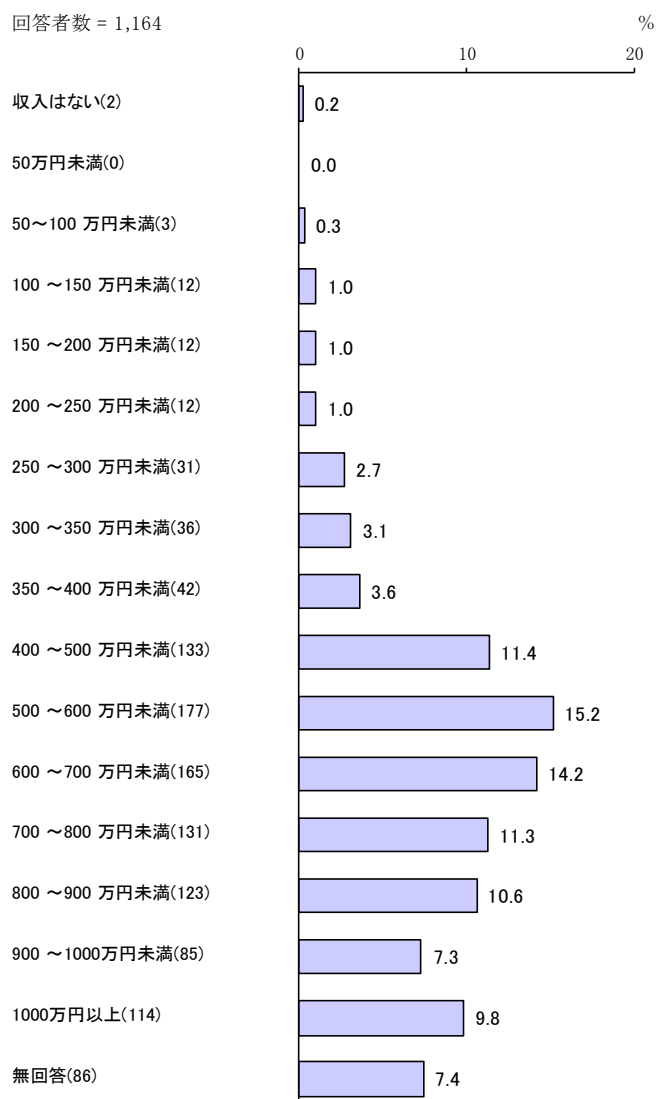
(1) 朝食



(2) 夕食

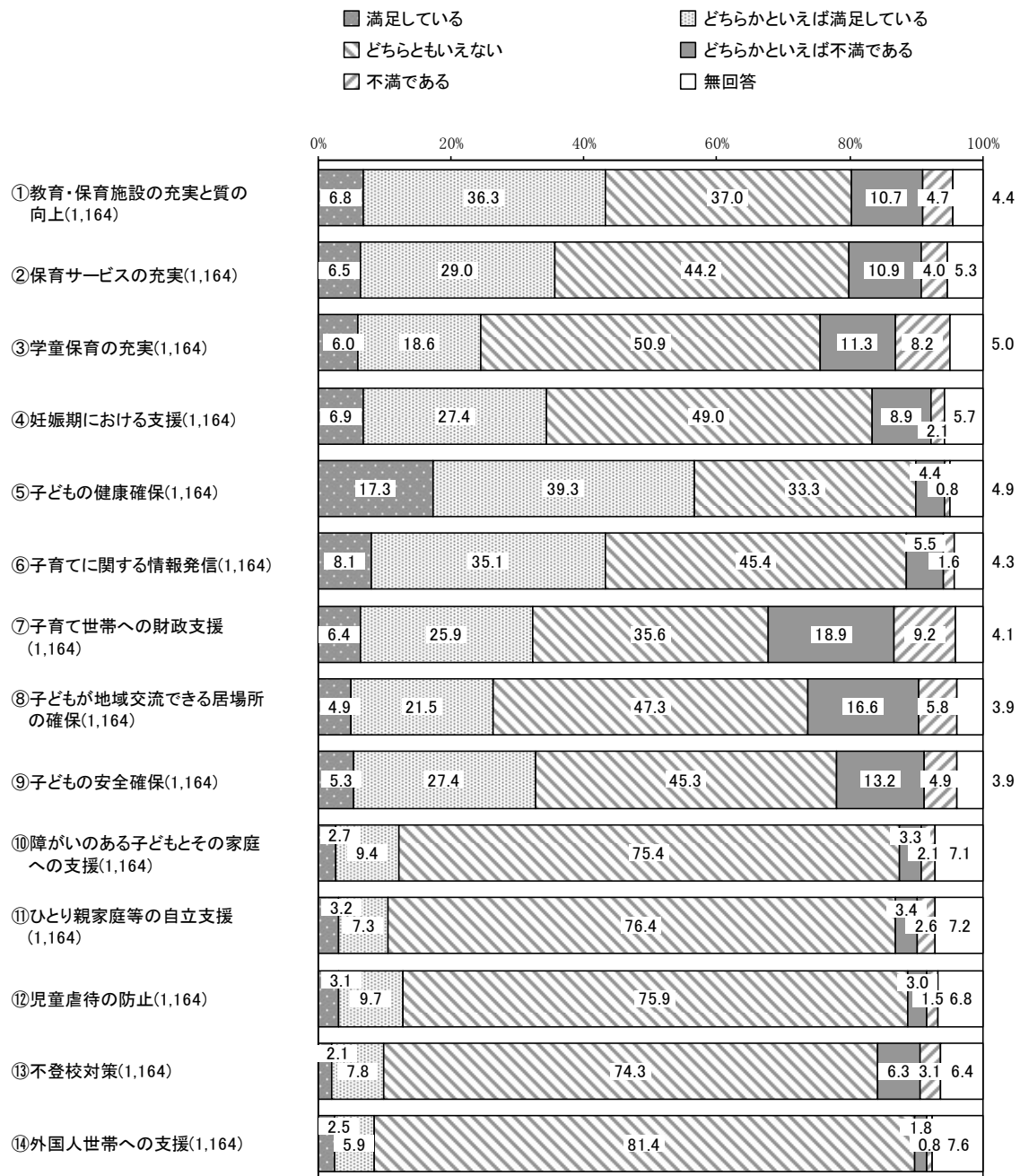


問 22 あなたのご家庭の全員の収入を合わせた年間の「世帯の収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

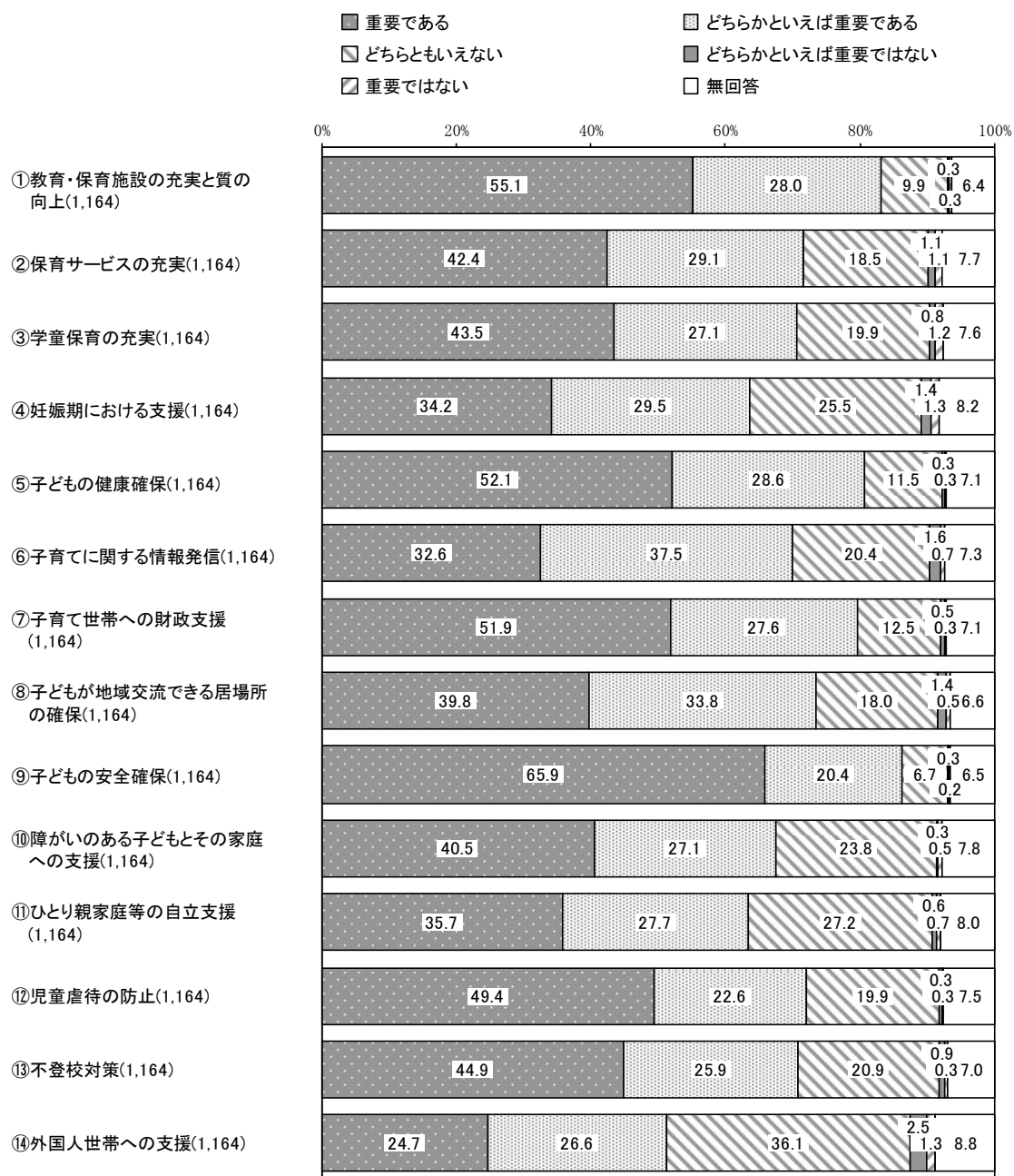


問 23 市の子育て支援の取組について、(1) 現状の満足度、(2) 今後の重要度、それぞれの項目についてあなたの考えに近い番号 1 つずつに○をつけてください。

(1) 現状の満足度

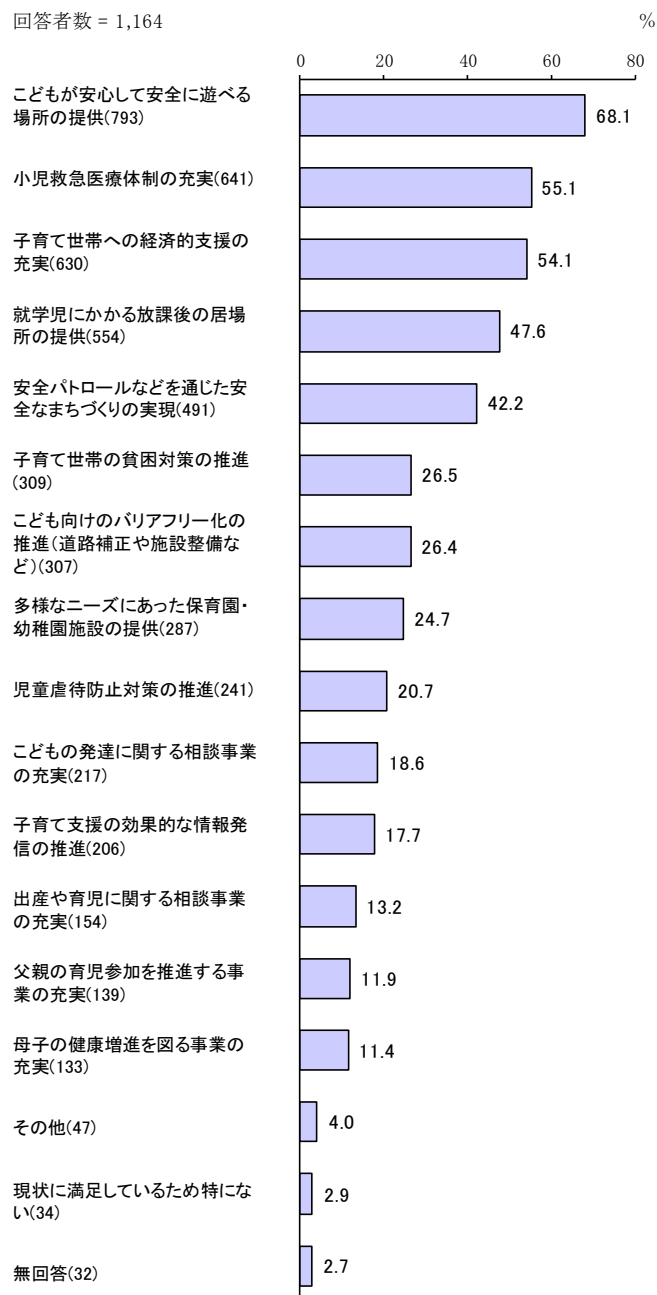


(2) 今後の重要度

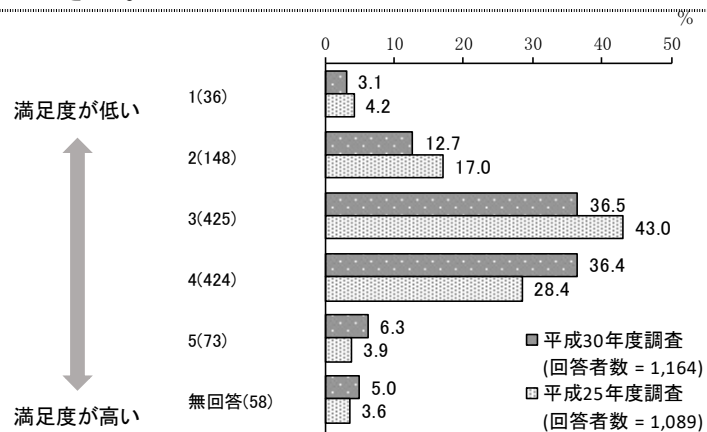


問 24 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

回答者数 = 1,164



問 25 海老名市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



第4章 クロス集計結果

第4章 クロス集計結果

1. 子どもの年齢別にみる集計

(1) 就学前児童用

問 17-1 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：%

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園 幼稚園の預かり保育	認可 保育所	認定こども 園	小規模な 保育施設	会社の託児施設	ベビーシッター	その他	無回答
0歳 (平成 30 年4月～)	13 100.0	- -	- -	7 53.8	- -	- -	3 23.1	- -	3 23.1	- -
0歳(平成 29 年4月 ～平成 30 年3月)	115 100.0	- -	3 2.6	95 82.6	- -	5 4.3	6 5.2	- -	4 3.5	2 1.7
1歳	223 100.0	15 6.7	6 2.7	175 78.5	1 0.4	15 6.7	3 1.3	- -	3 1.3	5 2.2
2歳	294 100.0	57 19.4	2 0.7	193 65.6	1 0.3	10 3.4	4 1.4	- -	21 7.1	6 2.0
3歳	431 100.0	216 50.1	31 7.2	164 38.1	6 1.4	- -	1 0.2	- -	7 1.6	6 1.4
4歳	429 100.0	223 52.0	43 10.0	142 33.1	12 2.8	- -	1 0.2	- -	2 0.5	6 1.4
5歳	366 100.0	200 54.6	33 9.0	112 30.6	6 1.6	- -	1 0.3	- -	7 1.9	7 1.9

年齢別でみると、他に比べ、0歳（平成 30 年4月～）で「会社の託児施設」の割合が、0歳（平成 29 年4月～平成 30 年月）で「認可保育所」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「幼稚園」の割合が高くなっています。

問 18 すべての方にうかがいます。以下の幼児教育無償化が実施されることを想定してお答えください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されても変えるつもりはない	現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されたら違う事業を利用したい	現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されたら新たに利用したい事業がある	現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されても利用するつもりはない	無回答
0歳(平成 30 年4月～)	260 100.0	19 7.3	5 1.9	198 76.2	18 6.9	20 7.7
0歳 (平成 29 年4月～平成 30 年月)	375 100.0	101 26.9	22 5.9	193 51.5	35 9.3	24 6.4
1歳	362 100.0	183 50.6	23 6.4	105 29.0	15 4.1	36 9.9
2歳	401 100.0	268 66.8	25 6.2	68 17.0	16 4.0	24 6.0
3歳	452 100.0	387 85.6	21 4.6	15 3.3	4 0.9	25 5.5
4歳	436 100.0	398 91.3	16 3.7	－ －	－ －	22 5.0
5歳	372 100.0	307 82.5	19 5.1	8 2.2	9 2.4	29 7.8

年齢別でみると、他に比べ、4歳で「現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されても変えるつもりはない」の割合が、0歳(平成 30 年4月～)で「現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されたら新たに利用したい事業がある」の割合が高くなっています。

問 21－2 保護者が休んだその際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児保育施設等を利用したい	できれば病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
0歳(平成 30 年4月～)	7 100.0	3 42.9	－ －	4 57.1	－ －
0歳(平成 29 年4月～平成 30 年月)	94 100.0	27 28.7	16 17.0	44 46.8	7 7.4
1歳	177 100.0	47 26.6	17 9.6	101 57.1	12 6.8
2歳	190 100.0	46 24.2	27 14.2	107 56.3	10 5.3
3歳	204 100.0	46 22.5	21 10.3	128 62.7	9 4.4
4歳	197 100.0	43 21.8	18 9.1	123 62.4	13 6.6
5歳	149 100.0	27 18.1	16 10.7	98 65.8	8 5.4

年齢別でみると、他に比べ、0歳（平成 29 年 4 月～平成 30 年月）、1歳で「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が、0歳（平成 29 年 4 月～平成 30 年月）で「できれば病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっています。また、5歳で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

問 25 対象のお子さんについて、小学校に就学した際に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、 サッカークラブ、学習塾 など）	放課後児童クラブ 〔学童保育〕	あそびっ子クラブ・ まなびっ子クラブ	ファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
0歳 (平成 30 年4月～)	260 100.0	128 49.2	55 21.2	142 54.6	123 47.3	56 21.5	8 3.1	41 15.8	37 14.2
0歳(平成 29 年4月 ～平成 30 年3月)	375 100.0	159 42.4	67 17.9	187 49.9	196 52.3	62 16.5	2 0.5	67 17.9	53 14.1
1歳	362 100.0	141 39.0	54 14.9	168 46.4	215 59.4	58 16.0	3 0.8	47 13.0	34 9.4
2歳	401 100.0	174 43.4	49 12.2	189 47.1	238 59.4	83 20.7	2 0.5	56 14.0	27 6.7
3歳	452 100.0	249 55.1	91 20.1	260 57.5	224 49.6	114 25.2	2 0.4	70 15.5	23 5.1
4歳	436 100.0	233 53.4	70 16.1	222 50.9	235 53.9	140 32.1	3 0.7	77 17.7	17 3.9
5歳	372 100.0	226 60.8	41 11.0	201 54.0	172 46.2	109 29.3	2 0.5	70 18.8	4 1.1

年齢別でみると、2歳以下に比べ、3歳以上で「自宅」の割合が高くなっています。また、1歳、2歳で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が、3歳で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

(2) 小学生用

問 18 対象のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用している週当たり日数を数字でご記入ください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、 サッカークラブ、学習塾 など）	放課後児童クラブ 〔学童保育〕	あそびっ子クラブ・ まなびっ子クラブ	ファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
6歳(1年生)	223 100.0	145 65.0	33 14.8	141 63.2	68 30.5	57 25.6	1 0.4	39 17.5	－ －
7歳(2年生)	199 100.0	141 70.9	37 18.6	121 60.8	56 28.1	36 18.1	3 1.5	38 19.1	1 0.5
8歳(3年生)	156 100.0	110 70.5	31 19.9	108 69.2	31 19.9	29 18.6	－ －	48 30.8	－ －
9歳(4年生)	183 100.0	149 81.4	38 20.8	132 72.1	25 13.7	21 11.5	2 1.1	59 32.2	3 1.6
10歳(5年生)	141 100.0	120 85.1	36 25.5	106 75.2	8 5.7	7 5.0	－ －	49 34.8	－ －
11歳(6年生)	108 100.0	96 88.9	16 14.8	75 69.4	5 4.6	6 5.6	－ －	35 32.4	1 0.9

年齢別でみると、他に比べ、9歳（4年生）で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が、10歳（5年生）、11歳（6年生）で「自宅」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれて「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が高くなっています。

問 19-3 対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する 必要はない	無回答
6歳(1年生)	119 100.0	87 73.1	22 18.5	10 8.4
7歳(2年生)	119 100.0	74 62.2	34 28.6	11 9.2
8歳(3年生)	80 100.0	47 58.8	25 31.3	8 10.0
9歳(4年生)	85 100.0	40 47.1	35 41.2	10 11.8
10歳(5年生)	69 100.0	24 34.8	40 58.0	5 7.2
11歳(6年生)	50 100.0	11 22.0	33 66.0	6 12.0

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「利用したい」の割合が高くなっています。

問 19-6 対象のお子さんについて、土曜日に、あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する 必要はない	無回答
6歳(1年生)	137 100.0	49 35.8	70 51.1	18 13.1
7歳(2年生)	97 100.0	39 40.2	31 32.0	27 27.8
8歳(3年生)	65 100.0	18 27.7	34 52.3	13 20.0
9歳(4年生)	76 100.0	23 30.3	34 44.7	19 25.0
10歳(5年生)	46 100.0	8 17.4	26 56.5	12 26.1
11歳(6年生)	38 100.0	9 23.7	18 47.4	11 28.9

年齢別でみると、他に比べ、7歳（2年生）で「利用したい」の割合が高くなっています。また、10歳（5年生）で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

2. 母親の就労状況別にみる集計

(1) 就学前児童用

問7 あなたには、何人お子さんがいらっしゃいますか。また、理想的なお子さんの人数は何人ですか。それぞれ、当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 実際のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答
フルタイム	1,083 100.0	480 44.3	455 42.0	116 10.7	13 1.2	－ －	11 1.0	8 0.7
パート・アルバイト等	701 100.0	230 32.8	332 47.4	121 17.3	10 1.4	－ －	4 0.6	4 0.6
現在、就労していない	1,192 100.0	480 40.3	553 46.4	126 10.6	20 1.7	3 0.3	6 0.5	4 0.3

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで「1人」の割合が、パート・アルバイト等、現在、就労していないで「2人」の割合が高くなっています。

イ 理想のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答
フルタイム	1,083 100.0	26 2.4	562 51.9	421 38.9	42 3.9	8 0.7	12 1.1	12 1.1
パート・アルバイト等	701 100.0	21 3.0	362 51.6	257 36.7	30 4.3	4 0.6	9 1.3	18 2.6
現在、就労していない	1,192 100.0	52 4.4	656 55.0	416 34.9	37 3.1	7 0.6	10 0.8	14 1.2

母親の就労状況別でみると、いずれも「2人」の割合が高くなっています。

問 18 すべての方にうかがいます。以下の幼児教育無償化が実施されることを想定してお答えください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されても変えるつもりはない	現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されたら違う事業を利用したい	現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されたら新たに利用したい事業がある	現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されても利用するつもりはない	無回答
フルタイム	1,083 100.0	767 70.8	51 4.7	169 15.6	22 2.0	74 6.8
パート・アルバイト等	701 100.0	514 73.3	63 9.0	70 10.0	12 1.7	42 6.0
現在、就労していない	1,192 100.0	589 49.4	45 3.8	406 34.1	78 6.5	74 6.2

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム、パート・アルバイト等で「現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されても変えるつもりはない」の割合が、現在、就労していないで「現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されたら新たに利用したい事業がある」の割合が高くなっています。

(2) 小学生用

問7 あなたには、何人お子さんがいらっしゃいますか。また、理想的なお子さんの人数は何人ですか。それぞれ、当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 実際のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答
フルタイム	283 100.0	48 17.0	153 54.1	67 23.7	6 2.1	－ －	8 2.8	1 0.4
パート・アルバイト等	518 100.0	83 16.0	281 54.2	126 24.3	19 3.7	1 0.2	4 0.8	4 0.8
現在、就労していない	328 100.0	58 17.7	174 53.0	74 22.6	19 5.8	2 0.6	1 0.3	－ －

母親の就労状況別でみると、いずれも「2人」の割合が高くなっています。

イ 理想のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答
フルタイム	283 100.0	9 3.2	106 37.5	136 48.1	15 5.3	1 0.4	8 2.8	8 2.8
パート・アルバイト等	518 100.0	17 3.3	238 45.9	217 41.9	21 4.1	4 0.8	9 1.7	12 2.3
現在、就労していない	328 100.0	13 4.0	145 44.2	131 39.9	23 7.0	5 1.5	3 0.9	8 2.4

母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等、現在、就労していないで「2人」の割合が高くなっています。また、フルタイムで「3人」の割合が高くなっています。

3. 教育・保育事業の決定理由別にみる集計

(1) 就学前児童用

問 17－1 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園＋ 幼稚園の預かり保育	認可 保育所	認定こども 園	小規模な 保育施設	会社の託児施設	ベビーシッター	その他	無回答
自宅に近い	1,280 100.0	484 37.8	85 6.6	642 50.2	9 0.7	15 1.2	4 0.3	－ －	25 2.0	16 1.3
職場に近い	88 100.0	4 4.5	4 4.5	64 72.7	1 1.1	3 3.4	12 13.6	－ －	－ －	－ －
駅に近い	92 100.0	8 8.7	3 3.3	70 76.1	3 3.3	6 6.5	－ －	－ －	－ －	2 2.2
園の運営方針	454 100.0	264 58.1	36 7.9	116 25.6	8 1.8	4 0.9	3 0.7	－ －	18 4.0	5 1.1
その他	137 100.0	30 21.9	6 4.4	79 57.7	3 2.2	5 3.6	3 2.2	－ －	4 2.9	7 5.1

教育・保育事業の決定理由別でみると、他に比べ、職場に近い、駅に近いで「認可保育所」の割合が高くなっています。また、園の運営方針で「幼稚園」の割合が高くなっています。

4. 地域別にみる集計

(1) 就学前児童用

問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：%

区分	回答者数 (件)	持ち家	民営の賃貸住宅	県営・市営などの 賃貸住宅	社宅・公務員住宅	住宅に間借り	その他	無回答
柏ヶ谷	226 100.0	148 65.5	69 30.5	3 1.3	5 2.2	- -	- -	1 0.4
東柏ヶ谷	177 100.0	118 66.7	50 28.2	2 1.1	1 0.6	1 0.6	4 2.3	1 0.6
上今泉	268 100.0	204 76.1	54 20.1	-	2 0.7	2 0.7	4 1.5	2 0.7
下今泉	84 100.0	53 63.1	27 32.1	-	2 2.4	1 1.2	1 1.2	-
上郷	74 100.0	47 63.5	24 32.4	2 2.7	-	-	1 1.4	-
国分北	201 100.0	143 71.1	48 23.9	-	3 1.5	2 1.0	5 2.5	-
国分南	196 100.0	127 64.8	64 32.7	-	4 2.0	1 0.5	-	-
望地	41 100.0	34 82.9	3 7.3	2 4.9	-	-	2 4.9	-
中央	215 100.0	116 54.0	84 39.1	2 0.9	8 3.7	3 1.4	1 0.5	1 0.5
河原口	213 100.0	152 71.4	50 23.5	3 1.4	4 1.9	1 0.5	1 0.5	2 0.9
さつき町	20 100.0	14 70.0	5 25.0	-	-	-	1 5.0	-
中新田	194 100.0	108 55.7	73 37.6	4 2.1	1 0.5	3 1.5	3 1.5	2 1.0
勝瀬	35 100.0	19 54.3	11 31.4	3 8.6	1 2.9	-	1 2.9	-
大谷	14 100.0	11 78.6	3 21.4	-	-	-	-	-
大谷北	149 100.0	77 51.7	67 45.0	-	2 1.3	1 0.7	2 1.3	-
大谷南	64 100.0	49 76.6	14 21.9	1 1.6	-	-	-	-
国分寺台	86 100.0	80 93.0	4 4.7	-	-	-	1 1.2	1 1.2
浜田町	24 100.0	19 79.2	5 20.8	-	-	-	-	-
杉久保	12 100.0	7 58.3	4 33.3	-	-	-	1 8.3	-
杉久保北	82 100.0	63 76.8	16 19.5	-	-	1 1.2	2 2.4	-
杉久保南	45 100.0	37 82.2	6 13.3	-	1 2.2	-	1 2.2	-
上河内	8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	-	-	-	-
中河内	9 100.0	8 88.9	-	-	-	-	-	1 11.1
本郷	33 100.0	28 84.8	4 12.1	-	-	1 3.0	-	-
社家	103 100.0	71 68.9	26 25.2	-	3 2.9	1 1.0	1 1.0	1 1.0
今里	101 100.0	73 72.3	27 26.7	-	1 1.0	-	-	-
中野	58 100.0	45 77.6	8 13.8	-	1 1.7	1 1.7	2 3.4	1 1.7
門沢橋	138 100.0	95 68.8	39 28.3	-	1 0.7	-	2 1.4	1 0.7
扇町	62 100.0	46 74.2	16 25.8	-	-	-	-	-
泉	132 100.0	121 91.7	10 7.6	-	1 0.8	-	-	-
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、国分寺台、泉で「持ち家」の割合が高くなっています。

問 17 対象のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
柏ヶ谷	226 100.0	155 68.6	70 31.0	1 0.4
東柏ヶ谷	177 100.0	82 46.3	94 53.1	1 0.6
上今泉	268 100.0	183 68.3	84 31.3	1 0.4
下今泉	84 100.0	60 71.4	24 28.6	-
上郷	74 100.0	48 64.9	26 35.1	-
国分北	201 100.0	152 75.6	48 23.9	1 0.5
国分南	196 100.0	156 79.6	39 19.9	1 0.5
望地	41 100.0	30 73.2	11 26.8	-
中央	215 100.0	155 72.1	59 27.4	1 0.5
河原口	213 100.0	166 77.9	46 21.6	1 0.5
さつき町	20 100.0	18 90.0	2 10.0	-
中新田	194 100.0	137 70.6	56 28.9	1 0.5
勝瀬	35 100.0	28 80.0	7 20.0	-
大谷	14 100.0	13 92.9	1 7.1	-
大谷北	149 100.0	102 68.5	46 30.9	1 0.7
大谷南	64 100.0	42 65.6	21 32.8	1 1.6
国分寺台	86 100.0	62 72.1	23 26.7	1 1.2
浜田町	24 100.0	19 79.2	5 20.8	-
杉久保	12 100.0	10 83.3	2 16.7	-
杉久保北	82 100.0	64 78.0	18 22.0	-
杉久保南	45 100.0	34 75.6	11 24.4	-
上河内	8 100.0	8 100.0	-	-
中河内	9 100.0	7 77.8	2 22.2	-
本郷	33 100.0	19 57.6	14 42.4	-
社家	103 100.0	76 73.8	27 26.2	-
今里	101 100.0	77 76.2	24 23.8	-
中野	58 100.0	47 81.0	11 19.0	-
門沢橋	138 100.0	82 59.4	55 39.9	1 0.7
扇町	62 100.0	46 74.2	16 25.8	-
泉	132 100.0	70 53.0	62 47.0	-
めぐみ町	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、さつき町、大谷で「利用している」の割合が、東柏ヶ谷で「利用していない」の割合が高くなっています。

問 17-1 対象のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園＋ 幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な 保育施設	会社の託児施設	ベビーシッター	その他	無回答
柏ヶ谷	155 100.0	52 33.5	18 11.6	79 51.0	1 0.6	－	2 1.3	－	1 0.6	2 1.3
東柏ヶ谷	82 100.0	6 7.3	2 2.4	63 76.8	2 2.4	2 2.4	1 1.2	－	3 3.7	3 3.7
上今泉	183 100.0	81 44.3	14 7.7	73 39.9	2 1.1	4 2.2	2 1.1	－	4 2.2	3 1.6
下今泉	60 100.0	25 41.7	5 8.3	27 45.0	－	2 3.3	－	－	－	1 1.7
上郷	48 100.0	17 35.4	3 6.3	23 47.9	1 2.1	－	1 2.1	－	1 2.1	2 4.2
国分北	152 100.0	58 38.2	7 4.6	73 48.0	－	2 1.3	1 0.7	－	5 3.3	6 3.9
国分南	156 100.0	56 35.9	8 5.1	74 47.4	4 2.6	4 2.6	2 1.3	－	3 1.9	5 3.2
望地	30 100.0	9 30.0	－	19 63.3	－	1 3.3	－	－	－	1 3.3
中央	155 100.0	61 39.4	5 3.2	82 52.9	2 1.3	1 0.6	1 0.6	－	3 1.9	－
河原口	166 100.0	74 44.6	18 10.8	63 38.0	2 1.2	1 0.6	2 1.2	－	4 2.4	2 1.2
さつき町	18 100.0	6 33.3	3 16.7	7 38.9	－	1 5.6	－	－	1 5.6	－
中新田	137 100.0	47 34.3	13 9.5	65 47.4	2 1.5	2 1.5	3 2.2	－	2 1.5	3 2.2
勝瀬	28 100.0	9 32.1	1 3.6	15 53.6	－	1 3.6	－	－	1 3.6	1 3.6
大谷	13 100.0	7 53.8	2 15.4	4 30.8	－	－	－	－	－	－
大谷北	102 100.0	41 40.2	8 7.8	45 44.1	1 1.0	1 1.0	3 2.9	－	3 2.9	－
大谷南	42 100.0	12 28.6	4 9.5	23 54.8	－	1 2.4	－	－	2 4.8	－
国分寺台	62 100.0	28 45.2	6 9.7	27 43.5	－	1 1.6	－	－	－	－
浜田町	19 100.0	9 47.4	1 5.3	6 31.6	－	－	－	－	1 5.3	2 10.5
杉久保	10 100.0	3 30.0	－	6 60.0	－	－	1 10.0	－	－	－
杉久保北	64 100.0	22 34.4	5 7.8	30 46.9	1 1.6	1 1.6	2 3.1	－	2 3.1	1 1.6
杉久保南	34 100.0	14 41.2	2 5.9	15 44.1	－	1 2.9	－	－	1 2.9	1 2.9
上河内	8 100.0	3 37.5	－	5 62.5	－	－	－	－	－	－
中河内	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	－	－	－	－	2 28.6	－
本郷	19 100.0	9 47.4	1 5.3	7 36.8	－	1 5.3	－	－	1 5.3	－
社家	76 100.0	30 39.5	4 5.3	33 43.4	1 1.3	－	－	－	5 6.6	3 3.9
今里	77 100.0	37 48.1	5 6.5	32 41.6	1 1.3	－	－	－	2 2.6	－
中野	47 100.0	30 63.8	－	15 31.9	1 2.1	1 2.1	－	－	－	－
門沢橋	82 100.0	37 45.1	1 1.2	34 41.5	3 3.7	1 1.2	2 2.4	－	3 3.7	1 1.2
扇町	46 100.0	11 23.9	2 4.3	31 67.4	1 2.2	1 2.2	－	－	－	－
泉	70 100.0	22 31.4	2 2.9	36 51.4	3 4.3	3 4.3	1 1.4	－	2 2.9	1 1.4
めぐみ町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

地域別でみると、他に比べ、中野で「幼稚園」の割合が、東柏ヶ谷で「認可保育所」の割合が高くなっています。

問 19 現在の子育て支援センター（地域版子育て支援センターの「SORA」と「はらっぱ」を含む）の利用状況についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は1枠に1字）。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回 答
柏ヶ谷	226 100.0	41 18.1	184 81.4	1 0.4
東柏ヶ谷	177 100.0	50 28.2	127 71.8	-
上今泉	268 100.0	43 16.0	223 83.2	2 0.7
下今泉	84 100.0	16 19.0	68 81.0	-
上郷	74 100.0	24 32.4	50 67.6	-
国分北	201 100.0	37 18.4	163 81.1	1 0.5
国分南	196 100.0	43 21.9	151 77.0	2 1.0
望地	41 100.0	4 9.8	37 90.2	-
中央	215 100.0	48 22.3	166 77.2	1 0.5
河原口	213 100.0	36 16.9	176 82.6	1 0.5
さつき町	20 100.0	2 10.0	18 90.0	-
中新田	194 100.0	47 24.2	146 75.3	1 0.5
勝瀬	35 100.0	6 17.1	29 82.9	-
大谷	14 100.0	2 14.3	12 85.7	-
大谷北	149 100.0	34 22.8	112 75.2	3 2.0
大谷南	64 100.0	14 21.9	49 76.6	1 1.6
国分寺台	86 100.0	16 18.6	70 81.4	-
浜田町	24 100.0	4 16.7	20 83.3	-
杉久保	12 100.0	2 16.7	10 83.3	-
杉久保北	82 100.0	9 11.0	73 89.0	-
杉久保南	45 100.0	11 24.4	34 75.6	-
上河内	8 100.0	2 25.0	6 75.0	-
中河内	9 100.0	3 33.3	6 66.7	-
本郷	33 100.0	5 15.2	27 81.8	1 3.0
社家	103 100.0	15 14.6	87 84.5	1 1.0
今里	101 100.0	17 16.8	84 83.2	-
中野	58 100.0	8 13.8	50 86.2	-
門沢橋	138 100.0	24 17.4	113 81.9	1 0.7
扇町	62 100.0	13 21.0	49 79.0	-
泉	132 100.0	35 26.5	95 72.0	2 1.5
めぐみ町	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、上郷で「利用している」の割合が、望地、さつき町で「利用していない」の割合が高くなっています。

問 25 対象のお子さんについて、小学校に就学した際に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	放課後児童クラブ〔学童保育〕	あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
柏ヶ谷	226 100.0	101 44.7	41 18.1	115 50.9	127 56.2	73 32.3	2 0.9	38 16.8	16 7.1
東柏ヶ谷	177 100.0	74 41.8	29 16.4	66 37.3	91 51.4	34 19.2	2 1.1	21 11.9	29 16.4
上今泉	268 100.0	146 54.5	45 16.8	149 55.6	134 50.0	74 27.6	2 0.7	40 14.9	14 5.2
下今泉	84 100.0	41 48.8	16 19.0	53 63.1	41 48.8	18 21.4	-	14 16.7	4 4.8
上郷	74 100.0	42 56.8	11 14.9	42 56.8	33 44.6	14 18.9	-	18 24.3	7 9.5
国分北	201 100.0	88 43.8	29 14.4	101 50.2	125 62.2	55 27.4	2 1.0	34 16.9	11 5.5
国分南	196 100.0	88 44.9	22 11.2	97 49.5	120 61.2	42 21.4	4 2.0	22 11.2	11 5.6
望地	41 100.0	19 46.3	9 22.0	20 48.8	24 58.5	10 24.4	-	7 17.1	5 12.2
中央	215 100.0	96 44.7	37 17.2	132 61.4	110 51.2	50 23.3	3 1.4	17 7.9	21 9.8
河原口	213 100.0	109 51.2	23 10.8	114 53.5	111 52.1	38 17.8	2 0.9	39 18.3	11 5.2
さつき町	20 100.0	10 50.0	5 25.0	7 35.0	7 35.0	5 25.0	-	7 35.0	1 5.0
中新田	194 100.0	101 52.1	24 12.4	93 47.9	114 58.8	44 22.7	1 0.5	35 18.0	10 5.2
勝瀬	35 100.0	13 37.1	3 8.6	14 40.0	22 62.9	9 25.7	-	8 22.9	4 11.4
大谷	14 100.0	9 64.3	3 21.4	8 57.1	7 50.0	4 28.6	-	1 7.1	1 7.1
大谷北	149 100.0	73 49.0	24 16.1	77 51.7	81 54.4	38 25.5	3 2.0	26 17.4	9 6.0
大谷南	64 100.0	33 51.6	13 20.3	44 68.8	31 48.4	13 20.3	1 1.6	9 14.1	3 4.7
国分寺台	86 100.0	43 50.0	19 22.1	48 55.8	40 46.5	20 23.3	-	15 17.4	10 11.6
浜田町	24 100.0	11 45.8	1 4.2	12 50.0	10 41.7	4 16.7	-	4 16.7	2 8.3
杉久保	12 100.0	5 41.7	3 25.0	5 41.7	6 50.0	4 33.3	-	1 8.3	1 8.3
杉久保北	82 100.0	44 53.7	17 20.7	42 51.2	44 53.7	22 26.8	1 1.2	11 13.4	2 2.4
杉久保南	45 100.0	22 48.9	7 15.6	18 40.0	23 51.1	13 28.9	-	8 17.8	2 4.4
上河内	8 100.0	4 50.0	1 12.5	5 62.5	5 62.5	4 50.0	1 12.5	-	-
中河内	9 100.0	4 44.4	1 11.1	5 55.6	4 44.4	1 11.1	-	1 11.1	1 11.1
本郷	33 100.0	20 60.6	6 18.2	18 54.5	14 42.4	12 36.4	1 3.0	6 18.2	1 3.0
社家	103 100.0	66 64.1	19 18.4	55 53.4	40 38.8	27 26.2	-	23 22.3	9 8.7
今里	101 100.0	59 58.4	25 24.8	54 53.5	50 49.5	14 13.9	-	18 17.8	7 6.9
中野	58 100.0	34 58.6	13 22.4	24 41.4	24 41.4	8 13.8	1 1.7	21 36.2	6 10.3
門沢橋	138 100.0	81 58.7	32 23.2	66 47.8	73 52.9	22 15.9	1 0.7	31 22.5	9 6.5
扇町	62 100.0	22 35.5	7 11.3	33 53.2	40 64.5	6 9.7	-	5 8.1	5 8.1
泉	132 100.0	58 43.9	19 14.4	82 62.1	75 56.8	32 24.2	1 0.8	19 14.4	10 7.6
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、大谷、社家で「自宅」の割合が、大谷南で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。また、国分北、国分南、勝瀬、上河内、扇町で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が高くなっています。

問 32 市の子育て支援の取組について、(1) 現状の満足度、(2) 今後の重要度、それぞれの項目についてあなたの考えに近い番号 1 つずつに○をつけてください。

ア 現状の満足度（「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合）

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	①教育・保育施設の充実 と質の向上	②保育サービスの充実	③学童保育の充実	④妊娠期における支援	⑤子どもの健康確保	⑥子育てに関する情報 発信	⑦子育て世帯への財政 支援	⑧子どもが地域交流 できる居場所の確保	⑨子どもの安全確保	⑩障がいのある子どもと その家庭への支援	⑪ひとり親家庭等の 自立支援	⑫児童虐待の防止	⑬不登校対策	⑭外国人世帯への支援
柏ヶ谷	226 100.0	90 39.8	77 34.1	28 12.4	78 34.5	119 52.6	91 40.2	61 27.0	49 21.7	53 23.5	16 7.1	16 7.1	21 9.3	15 6.7	16 7.1
東柏ヶ谷	177 100.0	47 26.6	42 23.7	17 9.6	61 34.4	90 50.9	77 43.5	39 22.0	44 24.9	50 28.2	14 7.9	15 8.4	15 8.5	11 6.2	12 6.7
上今泉	268 100.0	109 40.7	93 34.7	38 14.2	85 31.8	155 57.9	117 43.7	64 23.9	68 25.3	69 25.7	8 2.9	15 5.6	23 8.6	8 3.0	7 2.6
下今泉	84 100.0	33 39.3	30 35.7	13 15.5	32 38.1	51 60.7	40 47.6	27 32.2	19 22.6	18 21.4	6 7.2	6 7.2	5 6.0	2 2.4	3 3.6
上郷	74 100.0	32 43.2	28 37.9	11 14.9	26 35.1	47 63.5	35 47.3	19 25.7	18 24.3	15 20.3	5 6.8	2 2.8	4 5.5	1 1.4	1 1.4
国分北	201 100.0	69 34.4	60 29.9	26 13.0	66 32.9	109 54.2	86 42.8	59 29.4	39 19.4	48 23.9	14 7.0	15 7.5	16 8.0	8 4.0	8 4.0
国分南	196 100.0	87 44.3	83 42.3	27 13.8	72 36.7	97 49.4	79 40.3	54 27.6	54 27.5	47 24.0	16 8.1	12 6.1	19 9.7	12 6.1	11 5.6
望地	41 100.0	18 43.9	16 39.1	3 7.3	16 39.0	25 61.0	21 51.2	12 29.3	12 29.3	13 31.8	5 12.2	6 14.6	6 14.7	4 9.8	3 7.3
中央	215 100.0	67 31.2	64 29.7	21 9.8	76 35.4	116 53.9	92 42.8	69 32.1	49 22.8	54 25.1	17 7.9	14 6.5	23 10.7	11 5.2	12 5.6
河原口	213 100.0	84 39.4	85 39.9	31 14.5	94 44.1	129 60.5	107 50.3	60 28.1	62 29.1	58 27.2	25 11.8	21 9.8	21 9.9	15 7.1	11 5.1
さつき町	20 100.0	9 45.0	10 50.0	2 10.0	10 50.0	14 70.0	8 40.0	4 20.0	6 30.0	7 35.0	4 20.0	2 10.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0
中新田	194 100.0	78 40.2	74 38.2	22 11.4	67 34.5	103 53.1	93 47.9	51 26.2	68 35.0	56 28.9	19 9.8	14 7.2	18 9.3	14 7.2	12 6.2
勝瀬	35 100.0	15 42.9	16 45.7	7 20.0	12 34.3	18 51.4	15 42.9	10 28.6	10 28.6	11 31.5	5 14.3	4 11.5	4 11.4	3 8.6	3 8.6
大谷	14 100.0	6 42.9	5 35.7	1 7.1	4 28.6	6 42.8	4 28.6	3 21.4	3 21.4	2 14.2	2 14.2	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1
大谷北	149 100.0	71 47.7	56 37.6	20 13.4	59 39.6	93 62.4	69 46.3	46 30.8	55 36.9	47 31.6	14 9.4	11 7.4	16 10.8	13 8.7	10 6.7
大谷南	64 100.0	29 45.3	31 48.4	12 18.8	26 40.6	38 59.3	33 51.5	18 28.2	19 29.7	24 37.5	4 6.3	7 10.9	8 12.5	4 6.3	5 7.9
国分寺台	86 100.0	29 33.7	23 26.8	10 11.7	30 34.9	43 50.0	34 39.5	27 31.4	21 24.4	17 19.7	3 3.5	3 3.5	4 4.7	1 1.2	1 1.2
浜田町	24 100.0	11 45.8	10 41.7	5 20.8	7 29.1	13 54.2	8 33.3	8 33.3	4 16.7	6 25.0	3 12.5	1 4.2	2 8.4	2 8.4	2 8.4
杉久保	12 100.0	3 25.0	6 50.0	-	4 33.3	5 41.7	1 8.3	-	3 25.0	-	1 8.3	-	-	-	-
杉久保北	82 100.0	39 47.6	38 46.3	16 19.5	33 40.3	41 50.0	34 41.4	27 32.9	20 24.4	16 19.5	3 3.7	3 3.7	4 4.9	4 4.9	2 2.4
杉久保南	45 100.0	30 66.6	27 60.0	16 35.6	16 35.5	27 60.0	25 55.5	13 28.9	19 42.2	16 35.5	7 15.6	3 6.6	6 13.3	3 6.7	4 8.9
上河内	8 100.0	6 75.0	7 87.5	1 12.5	2 25.0	5 62.5	6 75.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	-	-	-	-	-
中河内	9 100.0	6 66.7	5 55.5	1 11.1	3 33.3	6 66.6	6 66.7	4 44.4	2 22.2	3 33.3	1 11.1	1 11.1	-	-	-
本郷	33 100.0	15 45.5	11 33.4	7 21.3	10 30.3	17 51.5	13 39.4	6 18.2	7 21.2	11 33.3	4 12.1	5 15.2	6 18.2	5 15.2	5 15.2
社家	103 100.0	47 45.7	49 47.5	14 13.6	37 35.9	58 56.3	43 41.7	30 29.1	31 30.1	36 35.0	13 12.6	14 13.6	15 14.6	9 8.7	10 9.7
今里	101 100.0	46 45.6	43 42.6	15 14.9	42 41.6	64 63.4	53 52.5	25 24.8	30 29.7	33 32.7	13 12.9	9 8.9	15 14.9	8 7.9	7 6.9
中野	58 100.0	24 41.4	24 41.3	9 15.5	19 32.7	27 46.5	20 34.5	14 24.1	10 17.3	13 22.4	2 3.4	2 3.4	2 3.4	1 1.7	2 3.4
門沢橋	138 100.0	46 33.3	44 31.9	19 13.8	60 43.5	67 48.6	54 39.1	32 23.1	27 19.6	29 21.0	14 10.1	10 7.2	13 9.4	9 6.5	8 5.8
扇町	62 100.0	25 40.3	21 33.8	8 12.9	19 30.6	35 56.5	24 38.7	16 25.8	17 27.4	15 24.2	5 8.1	2 3.2	3 4.8	2 3.2	3 4.8
泉	132 100.0	39 29.6	39 29.5	9 6.8	29 21.9	60 45.5	51 38.6	44 33.4	33 25.0	30 22.7	7 5.3	8 6.1	9 6.8	4 3.0	9 6.8
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、上河内で「①教育・保育施設の充実と質の向上」「②保育サービスの充実」「⑥子育てに関する情報発信」の満足度の割合が高くなっています。

イ 今後の重要度（「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合）

上段：件数、下段：％

区分	回答者数（件）	①教育・保育施設の充実と質の向上	②保育サービスの充実	③学童保育の充実	④妊娠期における支援	⑤子どもの健康確保	⑥子育てに関する情報発信	⑦子育て世帯への財政支援	⑧子どもが地域交流できる居場所の確保	⑨子どもの安全確保	⑩障がいのある子どもとその家庭への支援	⑪ひとり親家庭等の自立支援	⑫児童虐待の防止	⑬不登校対策	⑭外国人世帯への支援
柏ヶ谷	226 100.0	207 91.6	197 87.2	179 79.2	179 79.2	196 86.7	182 80.5	191 84.5	174 77.0	197 87.2	161 71.2	147 65.0	162 71.6	156 69.0	126 55.8
東柏ヶ谷	177 100.0	147 83.1	143 80.7	125 70.6	117 66.1	133 75.1	119 67.2	136 76.8	117 66.1	144 81.4	115 65.0	100 56.5	122 68.9	116 65.5	81 45.7
上今泉	268 100.0	238 88.8	232 86.6	218 81.3	203 75.8	229 85.4	202 75.4	221 82.5	209 77.9	236 88.1	187 69.8	174 65.0	198 73.9	182 67.9	135 50.4
下今泉	84 100.0	73 86.9	71 84.6	67 79.7	60 71.4	69 82.1	61 72.6	70 83.4	66 78.6	74 88.1	58 69.0	51 60.7	60 71.4	58 69.1	36 42.8
上郷	74 100.0	65 87.9	62 83.8	57 77.1	56 75.6	64 86.5	51 68.9	62 83.8	57 77.0	62 83.8	51 68.9	49 66.2	52 70.3	53 71.6	45 60.8
国分北	201 100.0	184 91.5	178 88.6	168 83.6	151 75.1	170 84.6	146 72.6	161 80.1	157 78.1	175 87.0	134 66.7	127 63.2	143 71.1	139 69.2	109 54.2
国分南	196 100.0	166 84.7	167 85.2	149 76.0	129 65.8	155 79.1	129 65.8	151 77.0	147 75.0	169 86.3	122 62.3	108 55.1	127 64.8	128 65.3	90 45.9
望地	41 100.0	39 95.2	38 92.7	36 87.8	30 73.1	34 82.9	31 75.6	36 87.8	34 82.9	36 87.8	27 65.9	26 63.4	27 65.9	25 61.0	22 53.6
中央	215 100.0	195 90.7	190 88.4	169 78.6	149 69.3	174 80.9	154 71.6	171 79.6	161 74.9	191 88.8	144 67.0	129 60.0	153 71.2	143 66.5	109 50.7
河原口	213 100.0	194 91.0	187 87.8	175 82.1	153 71.8	185 86.8	166 78.0	184 86.4	162 76.1	190 89.2	155 72.8	141 66.2	155 72.8	147 69.0	115 54.0
さつき町	20 100.0	19 95.0	19 95.0	18 90.0	18 90.0	19 95.0	16 80.0	18 90.0	18 90.0	17 85.0	16 80.0	14 70.0	15 75.0	13 65.0	11 55.0
中新田	194 100.0	168 86.6	166 85.5	155 79.9	140 72.2	164 84.6	141 72.6	174 89.7	152 78.3	168 86.6	129 66.5	123 63.4	142 73.2	143 73.7	105 54.1
勝瀬	35 100.0	32 91.4	29 82.9	25 71.4	20 57.1	27 77.2	22 62.9	27 77.1	25 71.4	30 85.7	21 60.0	20 57.1	22 62.9	18 51.4	15 42.9
大谷	14 100.0	13 92.8	12 85.7	13 92.9	11 78.6	13 92.9	12 85.7	13 92.8	11 78.5	12 85.7	10 71.4	10 71.4	11 78.6	10 71.4	6 42.8
大谷北	149 100.0	127 85.2	125 83.9	114 76.5	101 67.8	129 86.5	106 71.1	124 83.2	108 72.5	136 91.2	99 66.4	88 59.1	114 76.5	109 73.1	71 47.6
大谷南	64 100.0	55 85.9	54 84.3	47 73.4	50 78.1	53 82.8	50 78.1	56 87.5	53 82.9	58 90.6	46 71.9	44 68.7	45 70.3	44 68.8	30 46.9
国分寺台	86 100.0	75 87.2	75 87.2	71 82.6	61 70.9	73 84.9	65 75.6	70 81.4	69 80.2	76 88.4	61 71.0	58 67.4	63 73.3	58 67.4	46 53.5
浜田町	24 100.0	20 83.3	20 83.4	19 79.1	17 70.9	18 75.0	15 62.5	20 83.4	16 66.7	19 79.2	15 62.5	14 58.3	15 62.5	14 58.3	11 45.8
杉久保	12 100.0	9 75.0	10 83.3	7 58.3	6 50.0	8 66.7	7 58.4	10 83.3	8 66.7	9 75.0	7 58.3	6 50.0	7 58.3	7 58.3	4 33.3
杉久保北	82 100.0	72 87.8	71 86.5	60 73.2	62 75.6	68 82.9	59 71.9	72 87.8	60 73.1	70 85.4	58 70.7	54 65.9	64 78.0	62 75.7	45 54.8
杉久保南	45 100.0	41 91.1	39 86.6	35 77.7	32 71.1	39 86.6	37 82.2	41 91.1	36 80.0	40 88.9	32 71.2	30 66.6	37 82.2	33 73.4	28 62.2
上河内	8 100.0	8 100.0	8 100.0	8 100.0	8 100.0	8 100.0	6 75.0	7 87.5	7 87.5	8 100.0	7 87.5	6 75.0	7 87.5	6 75.0	3 37.5
中河内	9 100.0	8 88.8	8 88.9	7 77.7	8 88.9	6 66.7	5 55.6	7 77.7	8 88.8	6 66.7	7 77.7	5 55.5	6 66.7	5 55.5	3 33.3
本郷	33 100.0	30 90.9	28 84.9	22 66.7	23 69.7	27 81.8	24 72.8	26 78.7	27 81.8	29 87.9	22 66.7	22 66.7	23 69.7	27 81.9	15 45.4
社家	103 100.0	91 88.3	89 86.4	76 73.8	76 73.8	90 87.3	71 68.9	85 82.6	75 72.8	91 88.4	71 69.0	61 59.2	74 71.9	69 67.0	51 49.5
今里	101 100.0	92 91.1	89 88.2	83 82.1	75 74.3	87 86.2	78 77.3	90 89.1	82 81.2	91 90.1	72 71.3	62 61.4	78 77.2	76 75.2	61 60.4
中野	58 100.0	46 79.3	47 81.1	41 70.7	41 70.7	44 75.8	39 67.2	44 75.8	36 62.1	50 86.2	38 65.5	36 62.1	41 70.7	36 62.1	28 48.2
門沢橋	138 100.0	102 73.9	100 72.5	94 68.1	94 68.1	106 76.8	96 69.6	105 76.0	92 66.6	114 82.6	98 71.0	80 58.0	96 69.6	91 65.9	62 45.0
扇町	62 100.0	52 83.9	51 82.3	51 82.3	42 67.7	49 79.1	40 64.5	53 85.5	49 79.0	53 85.5	36 58.1	34 54.9	37 59.7	36 58.1	27 43.5
泉	132 100.0	123 93.2	122 92.4	111 84.1	94 71.2	114 86.4	106 80.3	118 89.4	109 82.6	122 92.4	93 70.5	81 61.3	95 72.0	91 69.0	65 49.2
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、上河内で「①教育・保育施設の充実と質の向上」「②保育サービスの充実」「③学童保育の充実」「⑤子どもの健康確保」の重要度の割合が高くなっています。

問 33 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

区分	回答者数 (件)	出産や育児に関する相談事業の 充実	母子の健康増進を図る事業の充 実	小児救急医療体制の充実	こどもの発達に関する相談事業 の充実	こどもが安心して安全に遊べる 場所の提供	安全なまちづくりの実現	多様なニーズにあった保育園・ 幼稚園施設の提供	子育て世帯への経済的支援の充 実	就学児にかかる放課後の居場所 の提供	子育て世帯の貧困対策の推進	児童虐待防止対策の推進	こども向けのバリアフリー化の 推進(道路補正や施設整備など)	子育て支援の効果的な情報発信 の推進	父親の育児参加を推進する事業 の充実	その他	現状に満足しているため特にな し	無回 答
柏ヶ谷	64 28.3	49 21.7	136 60.2	58 25.7	157 69.5	109 48.2	115 50.9	136 60.2	139 61.5	57 25.2	51 22.6	81 35.8	62 27.4	48 21.2	7 3.1	4 1.8	4 1.8	64 28.3
東柏ヶ谷	52 29.4	34 19.2	95 53.7	46 26.0	114 64.4	74 41.8	109 61.6	96 54.2	93 52.5	40 22.6	52 29.4	58 32.8	43 23.7	40 22.6	11 6.2	2 1.1	4 2.3	52 29.4
上今泉	65 24.3	49 18.3	140 52.2	63 23.5	199 74.3	107 39.9	150 56.0	164 61.2	151 56.3	74 27.6	54 20.1	82 30.6	61 22.8	55 20.5	6 2.2	0.4	1.1	65 24.3
下今泉	18 21.4	13 15.5	55 65.5	16 19.0	58 69.0	44 52.4	43 51.2	50 59.5	45 53.6	24 28.6	14 16.7	33 39.3	22 26.2	11 13.1	1 1.2	2 2.4	2 2.4	18 21.4
上郷	18 24.3	12 16.2	38 51.4	15 20.3	48 64.9	31 41.9	34 45.9	43 58.1	32 43.2	13 17.6	13 17.6	27 36.5	17 23.0	12 16.2	8 10.8	2 2.7	1 1.4	18 24.3
国分北	36 17.9	30 14.9	109 54.2	47 23.4	145 72.1	80 39.8	99 49.3	107 53.2	124 61.7	39 19.4	42 20.9	68 33.8	39 19.4	37 18.4	18 9.0	1 0.5	3 1.5	36 17.9
国分南	44 22.4	32 16.3	120 61.2	47 24.0	133 67.9	86 43.9	100 51.0	104 53.1	119 60.7	44 22.4	35 17.9	64 32.7	46 23.5	34 17.3	6 3.1	3 1.5	3 1.5	44 22.4
望地	8 19.5	4 9.8	27 65.9	10 24.4	26 63.4	13 31.7	17 41.5	24 58.5	28 68.3	8 19.5	5 12.2	14 34.1	5 12.2	7 17.1	2 4.9	-	-	8 19.5
中央	55 25.6	46 21.4	128 59.5	60 27.9	146 67.9	91 42.3	116 54.0	103 47.9	128 59.5	50 23.3	51 23.7	69 32.1	42 19.5	47 21.9	12 5.6	-	2 0.9	55 25.6
河原口	42 19.7	41 19.2	139 65.3	47 22.1	147 69.0	99 46.5	95 44.6	125 58.7	125 58.7	39 18.3	33 15.5	66 31.0	44 20.7	44 20.7	3 1.4	4 1.9	7 3.3	42 19.7
さつき町	6 30.0	4 20.0	15 75.0	5 25.0	15 75.0	11 55.0	7 35.0	16 80.0	12 60.0	9 45.0	5 25.0	8 40.0	3 15.0	3 15.0	3 15.0	-	-	6 30.0
中新田	41 21.1	40 20.6	122 62.9	46 23.7	119 61.3	89 45.9	100 51.5	130 67.0	117 60.3	53 27.3	40 20.6	57 29.4	44 22.7	46 23.7	5 2.6	-	1 0.5	41 21.1
勝瀬	5 14.3	7 20.0	20 57.1	9 25.7	25 71.4	15 42.9	17 48.6	18 51.4	21 60.0	6 17.1	6 17.1	12 34.3	5 14.3	9 25.7	2 5.7	1 2.9	1 2.9	5 14.3
大谷	1 7.1	2 14.3	9 64.3	4 28.6	10 71.4	4 28.6	7 50.0	10 71.4	8 57.1	7 50.0	6 42.9	7 50.0	5 35.7	2 14.3	-	-	-	1 7.1
大谷北	32 21.5	25 16.8	95 63.8	35 23.5	106 71.1	61 40.9	70 47.0	91 61.1	82 55.0	29 19.5	31 20.8	54 36.2	30 20.1	31 20.8	6 4.0	1 0.7	5 3.4	32 21.5
大谷南	12 18.8	10 15.6	40 62.5	14 21.9	40 62.5	24 37.5	29 45.3	45 70.3	34 53.1	14 21.9	8 12.5	15 23.4	10 15.6	13 20.3	4 6.3	-	3 4.7	12 18.8
国分寺台	24 27.9	17 19.8	63 73.3	22 25.6	62 72.1	37 43.0	41 47.7	50 58.1	44 51.2	20 23.3	9 10.5	29 33.7	24 27.9	19 22.1	2 2.3	1 1.2	1 1.2	24 27.9
浜田町	3 12.5	7 29.2	14 58.3	7 29.2	17 70.8	3 12.5	6 25.0	14 58.3	7 29.2	6 25.0	3 12.5	10 41.7	7 29.2	5 20.8	2 8.3	-	1 4.2	3 12.5
杉久保	1 8.3	-	5 41.7	3 25.0	8 66.7	5 41.7	8 66.7	8 66.7	6 50.0	2 16.7	3 25.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	-	8 8.3	1 8.3
杉久保北	19 23.2	21 25.6	52 63.4	17 20.7	62 75.6	46 56.1	35 42.7	48 58.5	52 63.4	26 31.7	28 34.1	31 37.8	20 24.4	21 25.6	4 4.9	1 1.2	3 3.7	19 23.2
杉久保南	7 15.6	4 8.9	30 66.7	12 26.7	34 75.6	19 42.2	13 28.9	29 64.4	21 46.7	14 31.1	10 22.2	13 28.9	4 8.9	9 20.0	2 4.4	1 2.2	-	7 15.6
上河内	2 25.0	-	4 50.0	2 25.0	6 75.0	2 25.0	-	4 50.0	5 62.5	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	-	-	2 25.0
中河内	1 11.1	1 11.1	5 55.6	2 22.2	7 77.8	-	3 33.3	6 66.7	3 33.3	3 22.2	2 11.1	1 11.1	-	1 11.1	1 11.1	-	-	1 11.1
本郷	9 27.3	5 15.2	22 66.7	9 27.3	28 84.8	20 60.6	22 66.7	21 63.6	15 45.5	8 24.2	12 36.4	4 12.1	9 27.3	-	-	2 6.1	-	9 27.3
社家	26 25.2	18 17.5	75 72.8	21 20.4	72 69.9	45 43.7	45 43.7	72 69.9	52 50.5	26 25.2	21 20.4	30 29.1	22 21.4	21 20.4	7 6.8	-	-	26 25.2
今里	21 20.8	18 17.8	60 59.4	22 21.8	72 71.3	60 59.4	39 38.6	70 69.3	57 56.4	26 25.7	21 20.8	37 36.6	20 19.8	18 17.8	4 4.0	1 1.0	1 1.0	21 20.8
中野	10 17.2	5 8.6	29 50.0	9 15.5	35 60.3	23 39.7	25 43.1	34 58.6	33 56.9	20 34.5	16 27.6	16 27.6	7 12.1	13 22.4	2 3.4	1 1.7	1 1.7	10 17.2
門沢橋	31 22.5	21 15.2	78 56.5	22 15.9	91 65.9	54 39.1	64 46.4	88 63.8	72 52.2	50 36.2	33 23.9	36 26.1	25 18.1	25 18.1	5 3.6	1 0.7	2 1.4	31 22.5
扇町	10 16.1	6 9.7	35 56.5	8 12.9	53 85.5	31 50.0	39 62.9	36 58.1	42 67.7	10 16.1	8 12.9	25 40.3	10 16.1	15 24.2	2 3.2	-	1 1.6	10 16.1
泉	34 25.8	25 18.9	85 64.4	31 23.5	97 73.5	57 43.2	87 65.9	81 61.4	83 62.9	28 21.2	22 16.7	46 34.8	39 29.5	27 20.5	3 2.3	-	3 2.3	34 25.8
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、さつき町で「子育て世帯への経済的支援の充実」の割合が、大谷で「子育て世帯の貧困対策の推進」「児童虐待防止対策の推進」の割合が高くなっています。

問 34 海老名市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに
○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1	2	3	4	5	無回答
柏ヶ谷	226 100.0	9 4.0	41 18.1	80 35.4	70 31.0	17 7.5	9 4.0
東柏ヶ谷	177 100.0	14 7.9	23 13.0	66 37.3	53 29.9	6 3.4	15 8.5
上今泉	268 100.0	6 2.2	43 16.0	98 36.6	96 35.8	14 5.2	11 4.1
下今泉	84 100.0	4 4.8	14 16.7	24 28.6	27 32.1	8 9.5	7 8.3
上郷	74 100.0	3 4.1	16 21.6	27 36.5	20 27.0	4 5.4	4 5.4
国分北	201 100.0	4 2.0	32 15.9	84 41.8	68 33.8	5 2.5	8 4.0
国分南	196 100.0	9 4.6	31 15.8	66 33.7	72 36.7	10 5.1	8 4.1
望地	41 100.0	1 2.4	7 17.1	13 31.7	13 31.7	4 9.8	3 7.3
中央	215 100.0	16 7.4	29 13.5	79 36.7	71 33.0	9 4.2	11 5.1
河原口	213 100.0	10 4.7	25 11.7	72 33.8	85 39.9	11 5.2	10 4.7
さつき町	20 100.0	1 5.0	4 20.0	6 30.0	8 40.0	1 5.0	—
中新田	194 100.0	5 2.6	24 12.4	67 34.5	81 41.8	10 5.2	7 3.6
勝瀬	35 100.0	5 14.3	4 11.4	8 22.9	16 45.7	1 2.9	1 2.9
大谷	14 100.0	—	4 28.6	6 42.9	3 21.4	1 7.1	—
大谷北	149 100.0	2 1.3	13 8.7	51 34.2	62 41.6	10 6.7	11 7.4
大谷南	64 100.0	1 1.6	5 7.8	33 51.6	19 29.7	4 6.3	2 3.1
国分寺台	86 100.0	2 2.3	6 7.0	46 53.5	28 32.6	1 1.2	3 3.5
浜田町	24 100.0	1 4.2	5 20.8	8 33.3	8 33.3	—	2 8.3
杉久保	12 100.0	—	3 25.0	5 41.7	2 16.7	—	2 16.7
杉久保北	82 100.0	2 2.4	11 13.4	30 36.6	27 32.9	2 2.4	10 12.2
杉久保南	45 100.0	1 2.2	7 15.6	9 20.0	23 51.1	3 6.7	2 4.4
上河内	8 100.0	—	1 12.5	5 62.5	2 25.0	—	—
中河内	9 100.0	1 11.1	—	3 33.3	5 55.6	—	—
本郷	33 100.0	2 6.1	2 6.1	16 48.5	8 24.2	2 6.1	3 9.1
社家	103 100.0	3 2.9	20 19.4	31 30.1	38 36.9	7 6.8	4 3.9
今里	101 100.0	—	21 20.8	32 31.7	40 39.6	5 5.0	3 3.0
中野	58 100.0	1 1.7	5 8.6	29 50.0	18 31.0	3 5.2	2 3.4
門沢橋	138 100.0	5 3.6	21 15.2	62 44.9	43 31.2	3 2.2	4 2.9
扇町	62 100.0	5 8.1	8 12.9	17 27.4	24 38.7	6 9.7	2 3.2
泉	132 100.0	9 6.8	21 15.9	41 31.1	49 37.1	8 6.1	4 3.0
めぐみ町	—	—	—	—	—	—	—

地域別でみると、他に比べ、杉久保南、中河内で「4」と「5」を合わせた割合が高くなっています。

(2) 小学生用

問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	持ち家	民営の 賃貸住宅	県営・市営などの 賃貸住宅	社宅・公務員住宅	住宅に 間借り	その他	無回答
柏ヶ谷	77 100.0	62 80.5	9 11.7	2 2.6	1 1.3	-	2 2.6	1 1.3
東柏ヶ谷	123 100.0	108 87.8	14 11.4	-	-	1 0.8	-	-
上今泉	104 100.0	85 81.7	17 16.3	-	-	1 1.0	1 1.0	-
下今泉	25 100.0	20 80.0	5 20.0	-	-	-	-	-
上郷	17 100.0	12 70.6	2 11.8	1 5.9	-	2 11.8	-	-
国分北	64 100.0	52 81.3	10 15.6	-	1 1.6	1 1.6	-	-
国分南	73 100.0	61 83.6	12 16.4	-	-	-	-	-
望地	16 100.0	15 93.8	1 6.3	-	-	-	-	-
中央	45 100.0	33 73.3	10 22.2	-	1 2.2	-	1 2.2	-
河原口	76 100.0	66 86.8	7 9.2	2 2.6	-	-	-	1 1.3
さつき町	8 100.0	6 75.0	2 25.0	-	-	-	-	-
中新田	74 100.0	55 74.3	11 14.9	5 6.8	2 2.7	-	1 1.4	-
勝瀬	6 100.0	3 50.0	3 50.0	-	-	-	-	-
大谷	11 100.0	9 81.8	1 9.1	-	-	-	-	1 9.1
大谷北	31 100.0	21 67.7	9 29.0	-	-	1 3.2	-	-
大谷南	30 100.0	25 83.3	5 16.7	-	-	-	-	-
国分寺台	48 100.0	48 100.0	-	-	-	-	-	-
浜田町	8 100.0	7 87.5	-	-	-	1 12.5	-	-
杉久保	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-	-	-	-	-
杉久保北	43 100.0	38 88.4	4 9.3	-	-	-	1 2.3	-
杉久保南	28 100.0	22 78.6	4 14.3	-	1 3.6	-	1 3.6	-
上河内	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-
中河内	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-	-	-
本郷	11 100.0	9 81.8	-	-	-	-	-	2 18.2
社家	41 100.0	36 87.8	5 12.2	-	-	-	-	-
今里	34 100.0	32 94.1	2 5.9	-	-	-	-	-
中野	28 100.0	25 89.3	2 7.1	-	-	-	-	1 3.6
門沢橋	43 100.0	38 88.4	4 9.3	-	-	1 2.3	-	-
扇町	8 100.0	7 87.5	1 12.5	-	-	-	-	-
泉	14 100.0	12 85.7	1 7.1	-	-	-	-	1 7.1
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、望地、国分寺台、中河内、今里で「持ち家」の割合が高くなっています。

問 18 対象のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用している週当たり日数を数字でご記入ください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父 母宅 や友人・知 人宅	習い事（ピアノ教 室、サッカークラ ブ、学習塾など）	放課後児童クラブ 〔学童保育〕	あそびっ子クラブ・ まなびっ子クラブ	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回 答
柏ヶ谷	77	77.9	20.8	77.9	13.0	32.5	—	24.7	1.3
東柏ヶ谷	123	75.6	17.1	77.2	10.6	18.7	1.6	31.7	0.8
上今泉	104	76.9	16.3	67.3	15.4	17.3	—	32.7	—
下今泉	25	76.0	16.0	52.0	16.0	8.0	—	32.0	—
上郷	17	76.5	11.8	70.6	17.6	—	—	41.2	—
国分北	64	79.7	9.4	76.6	21.9	23.4	—	21.9	—
国分南	73	80.8	19.2	67.1	19.2	5.5	—	13.7	1.4
望地	16	81.3	18.8	62.5	12.5	12.5	—	25.0	—
中央	45	80.0	28.9	68.9	20.0	11.1	2.2	15.6	—
河原口	76	71.1	21.1	72.4	17.1	10.5	1.3	35.5	2.6
さつき町	8	75.0	12.5	75.0	12.5	37.5	—	37.5	—
中新田	74	77.0	16.2	64.9	20.3	18.9	—	27.0	—
勝瀬	6	66.7	16.7	83.3	50.0	—	16.7	33.3	—
大谷	11	72.7	18.2	72.7	36.4	18.2	—	9.1	—
大谷北	31	74.2	19.4	51.6	25.8	6.5	—	22.6	3.2
大谷南	30	63.3	16.7	53.3	46.7	13.3	3.3	13.3	—
国分寺台	48	62.5	16.7	68.8	29.2	14.6	—	27.1	—
浜田町	8	25.0	—	62.5	50.0	12.5	12.5	37.5	—
杉久保	7	57.1	14.3	71.4	42.9	14.3	—	14.3	—
杉久保北	43	79.1	23.3	51.2	23.3	11.6	—	18.6	2.3
杉久保南	28	67.9	21.4	46.4	25.0	35.7	—	21.4	3.6
上河内	4	100.0	—	50.0	—	25.0	—	50.0	—
中河内	5	40.0	20.0	80.0	20.0	—	—	60.0	—
本郷	11	100.0	18.2	63.6	9.1	63.6	—	9.1	—
社家	41	80.5	26.8	65.9	12.2	4.9	—	26.8	2.4
今里	34	76.5	32.4	67.6	17.6	11.8	—	17.6	—
中野	28	75.0	21.4	67.9	14.3	7.1	—	53.6	—
門沢橋	43	69.8	20.9	53.5	18.6	4.7	—	37.2	—
扇町	8	87.5	37.5	87.5	12.5	25.0	—	12.5	—
泉	14	78.6	—	64.3	14.3	21.4	—	21.4	—
めぐみ町	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地域別でみると、他に比べ、本郷で「自宅」の割合が、柏ヶ谷、東柏ヶ谷、国分北、さつき町で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

問 19 対象のお子さんは、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父 母宅 や友人・ 知人宅	習い事（ピアノ教 室、サッカークラ ブ、学習塾など）	放課後児童クラブ 〔学童保育〕	あそびっ子クラブ・ まなびっ子クラブ	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回 答
柏ヶ谷	77	61.0	15.6	72.7	51.9	66.2	—	22.1	2.6
東柏ヶ谷	123	60.2	13.0	81.3	52.0	52.8	0.8	42.3	0.8
上今泉	104	69.2	13.5	66.3	45.2	42.3	1.0	33.7	—
下今泉	25	64.0	16.0	56.0	48.0	32.0	—	40.0	4.0
上郷	17	76.5	29.4	70.6	47.1	35.3	—	47.1	—
国分北	64	73.4	10.9	76.6	51.6	48.4	—	26.6	—
国分南	73	69.9	15.1	71.2	53.4	38.4	—	20.5	1.4
望地	16	68.8	18.8	68.8	50.0	43.8	—	37.5	6.3
中央	45	62.2	20.0	73.3	55.6	46.7	—	24.4	—
河原口	76	63.2	17.1	71.1	52.6	32.9	—	39.5	2.6
さつき町	8	62.5	—	62.5	12.5	37.5	—	37.5	—
中新田	74	67.6	9.5	73.0	54.1	56.8	—	35.1	2.7
勝瀬	6	50.0	33.3	66.7	83.3	33.3	16.7	33.3	16.7
大谷	11	63.6	9.1	81.8	36.4	54.5	—	9.1	—
大谷北	31	58.1	19.4	54.8	51.6	45.2	—	25.8	3.2
大谷南	30	53.3	6.7	60.0	70.0	36.7	—	10.0	—
国分寺台	48	45.8	6.3	54.2	47.9	39.6	—	31.3	4.2
浜田町	8	25.0	—	62.5	50.0	37.5	—	37.5	—
杉久保	7	42.9	14.3	85.7	71.4	42.9	—	14.3	—
杉久保北	43	62.8	23.3	58.1	48.8	34.9	—	30.2	2.3
杉久保南	28	60.7	21.4	46.4	60.7	60.7	—	25.0	—
上河内	4	50.0	—	50.0	50.0	75.0	—	25.0	25.0
中河内	5	60.0	—	100.0	60.0	80.0	—	60.0	—
本郷	11	81.8	27.3	72.7	36.4	72.7	—	9.1	—
社家	41	75.6	24.4	70.7	43.9	41.5	—	29.3	—
今里	34	79.4	26.5	73.5	58.8	55.9	—	32.4	—
中野	28	64.3	17.9	64.3	42.9	39.3	—	57.1	3.6
門沢橋	43	60.5	16.3	67.4	60.5	30.2	—	48.8	2.3
扇町	8	37.5	25.0	87.5	62.5	62.5	—	12.5	—
泉	14	42.9	—	71.4	35.7	50.0	—	42.9	—
めぐみ町	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地域別でみると、他に比べ、本郷で「自宅」の割合が、東柏ヶ谷、大谷で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

問 19-1 対象のお子さんについて、何年生まで、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	小学 1年生まで	小学 2年生まで	小学 3年生まで	小学 4年生まで	小学 5年生まで	小学 6年生まで	無 回 答
柏ヶ谷	40	—	2.5	—	10.0	2.5	12.5	72.5
東柏ヶ谷	64	1.6	4.7	7.8	4.7	1.6	9.4	70.3
上今泉	47	—	6.4	4.3	10.6	—	21.3	57.4
下今泉	12	—	—	—	16.7	—	25.0	58.3
上郷	8	—	—	25.0	—	—	25.0	50.0
国分北	33	—	—	15.2	—	—	27.3	57.6
国分南	39	2.6	—	7.7	7.7	5.1	20.5	56.4
望地	8	—	—	25.0	—	—	12.5	62.5
中央	25	—	—	8.0	8.0	—	20.0	64.0
河原口	40	2.5	—	2.5	12.5	5.0	15.0	62.5
さつき町	1	—	—	—	100.0	—	—	—
中新田	40	—	2.5	2.5	2.5	2.5	22.5	67.5
勝瀬	5	—	—	20.0	—	—	40.0	40.0
大谷	4	—	—	—	25.0	—	50.0	25.0
大谷北	16	—	—	6.3	6.3	—	31.3	56.3
大谷南	21	4.8	—	14.3	9.5	—	33.3	38.1
国分寺台	23	—	4.3	4.3	4.3	—	39.1	47.8
浜田町	4	—	—	—	—	—	100.0	—
杉久保	5	—	—	40.0	20.0	—	—	40.0
杉久保北	21	—	—	4.8	4.8	—	42.9	47.6
杉久保南	17	—	—	11.8	—	5.9	23.5	58.8
上河内	2	—	—	—	—	—	—	100.0
中河内	3	—	—	—	—	—	33.3	66.7
本郷	4	—	—	25.0	25.0	—	—	50.0
社家	18	—	—	—	16.7	5.6	5.6	72.2
今里	20	—	—	5.0	10.0	—	30.0	55.0
中野	12	—	—	—	8.3	—	16.7	75.0
門沢橋	26	—	3.8	7.7	11.5	3.8	11.5	61.5
扇町	5	—	—	20.0	—	—	40.0	40.0
泉	5	—	—	—	—	—	20.0	80.0
めぐみ町	—	—	—	—	—	—	—	—

地域別でみると、他に比べ、杉久保北で「小学6年生まで」の割合が、社家、下今泉で「小学4年生まで」の割合が高くなっています。

問 23 市の子育て支援の取組について、(1) 現状の満足度、(2) 今後の重要度、それぞれの項目についてあなたの考えに近い番号 1 つずつに○をつけてください。

ア 現状の満足度（「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合）

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	①教育・保育施設の充実 と質の向上	②保育サービスの充実	③学童保育の充実	④妊娠期における支援	⑤子どもの健康確保	⑥子育てに関する情報 発信	⑦子育て世帯への財政 支援	⑧子どもが地域交流 できる居場所の確保	⑨子どもの安全確保	⑩障がいのある子どもと その家庭への支援	⑪ひとり親家庭等の 自立支援	⑫児童虐待の防止	⑬不登校対策	⑭外国人世帯への支援
柏ヶ谷	77 100.0	26 33.8	25 32.5	16 20.8	27 35.1	46 59.8	31 40.3	20 26.0	20 26.0	22 28.6	5 6.5	7 9.1	8 10.4	8 10.4	3 3.9
東柏ヶ谷	123 100.0	55 44.7	41 33.3	31 25.2	42 34.2	67 54.5	53 43.1	50 40.7	39 31.7	46 37.4	17 13.9	11 9.0	18 14.6	14 11.4	11 9.0
上今泉	104 100.0	43 41.3	37 35.6	22 21.2	39 37.5	64 61.5	46 44.2	32 30.8	27 25.9	34 32.7	10 9.6	12 11.5	13 12.5	8 7.7	11 10.5
下今泉	25 100.0	13 52.0	11 44.0	5 20.0	7 28.0	15 60.0	10 40.0	10 40.0	6 24.0	11 44.0	4 16.0	4 16.0	4 16.0	4 16.0	3 12.0
上郷	17 100.0	8 47.1	8 47.1	4 23.5	5 29.4	12 70.6	10 58.8	9 52.9	5 29.4	5 29.4	2 11.8	2 11.8	3 17.7	1 5.9	1 5.9
国分北	64 100.0	28 43.7	24 37.6	16 25.0	19 29.7	31 48.4	28 43.7	25 39.1	17 26.6	19 29.7	7 11.0	7 11.0	8 12.5	6 9.4	6 9.4
国分南	73 100.0	33 45.2	25 34.2	14 19.2	20 27.4	39 53.4	24 32.9	13 17.8	9 12.3	25 34.2	8 11.0	4 5.4	8 10.9	5 6.9	5 6.8
望地	16 100.0	10 62.5	6 37.5	3 18.8	6 37.5	12 75.1	10 62.5	6 37.5	4 25.0	5 31.3	1 6.3	2 12.5	2 12.5	3 18.8	1 6.3
中央	45 100.0	16 35.5	16 35.5	15 33.4	19 42.2	25 55.6	15 33.3	17 37.8	8 17.8	17 37.8	6 13.3	4 8.8	4 8.9	3 6.6	3 6.6
河原口	76 100.0	28 36.9	20 26.4	13 17.1	28 36.8	41 53.9	38 50.0	20 26.3	22 29.0	23 30.3	9 11.9	7 9.2	9 11.9	8 10.6	7 9.2
さつき町	8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	5 62.5	6 75.0	4 50.0	5 62.5	3 37.5	2 25.0	-	-	-	-	-
中新田	74 100.0	30 40.6	22 29.7	13 17.6	19 25.7	40 54.1	33 44.6	22 29.8	19 25.7	25 33.8	12 16.2	8 10.8	8 10.8	6 8.1	8 10.8
勝瀬	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	5 83.3	5 83.4	4 66.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7
大谷	11 100.0	6 54.6	6 54.6	3 27.3	4 36.4	6 54.6	5 45.5	4 36.4	3 27.3	3 27.3	1 9.1	1 9.1	-	-	1 9.1
大谷北	31 100.0	17 54.8	14 45.1	9 29.1	10 32.2	15 48.4	11 35.5	7 22.6	6 19.4	8 25.8	4 12.9	4 12.9	6 19.4	4 12.9	3 9.7
大谷南	30 100.0	16 53.4	14 46.7	12 40.0	8 26.7	16 53.3	11 36.7	7 23.3	6 20.0	8 26.7	3 10.0	3 10.0	2 6.6	1 3.3	1 3.3
国分寺台	48 100.0	19 39.6	16 33.4	15 31.2	18 37.5	30 62.5	23 47.9	17 35.4	15 31.2	16 33.4	5 10.4	3 6.3	6 12.5	3 6.3	2 4.2
浜田町	8 100.0	2 25.0	2 25.0	3 37.5	4 50.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	-
杉久保	7 100.0	3 42.9	2 28.6	2 28.6	1 14.3	4 57.2	2 28.6	2 28.6	1 14.3	3 42.9	-	-	-	-	-
杉久保北	43 100.0	20 46.5	19 44.2	11 25.6	15 34.9	25 58.2	20 46.5	12 27.9	8 18.6	15 34.9	4 9.4	5 11.6	5 11.6	5 11.6	3 7.0
杉久保南	28 100.0	13 46.4	13 46.5	10 35.7	13 46.4	16 57.1	13 46.4	10 35.7	9 32.1	11 39.2	7 25.0	8 28.6	5 17.8	8 28.6	6 21.4
上河内	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-
中河内	5 100.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	-	-	-	-	-
本郷	11 100.0	5 45.5	6 54.6	4 36.4	4 36.4	7 63.7	5 45.5	5 45.5	4 36.4	3 27.3	1 9.1	-	1 9.1	1 9.1	-
社家	41 100.0	18 43.9	15 36.6	12 29.3	14 34.1	19 46.3	15 36.6	13 31.7	13 31.7	12 29.3	8 19.5	4 9.7	8 19.5	3 7.3	2 4.9
今里	34 100.0	15 44.2	11 32.4	7 20.5	9 26.4	22 64.7	13 38.2	12 35.3	6 17.6	7 20.5	6 17.6	4 11.7	5 14.7	4 11.8	4 11.8
中野	28 100.0	14 50.0	11 39.3	10 35.7	14 50.0	16 57.2	15 53.6	13 46.4	11 39.2	13 46.4	6 21.4	6 21.4	6 21.5	6 21.4	5 17.8
門沢橋	43 100.0	17 39.6	13 30.2	12 27.9	14 32.6	26 60.5	18 41.9	12 27.9	13 30.3	11 25.6	3 7.0	7 16.3	7 16.3	4 9.4	5 11.7
扇町	8 100.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	4 50.0	2 25.0	2 25.0	-	1 12.5	-	-	-	-	-
泉	14 100.0	8 57.1	5 35.7	5 35.7	7 50.0	9 64.3	11 78.5	7 50.0	9 64.3	8 57.2	1 7.1	1 7.1	4 28.6	3 21.4	1 7.1
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、中河内で「②保育サービスの充実」「⑥子育てに関する情報発信」、勝瀬で「④妊娠期における支援」、泉で「⑧子どもが地域交流できる居場所の確保」の満足度の割合が高くなっています。

イ 今後の重要度（「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合）

上段：件数、下段：％

区分	回答者数（件）	①教育・保育施設の充実と質の向上	②保育サービスの充実	③学童保育の充実	④妊娠期間における支援	⑤子どもの健康確保	⑥子育てに関する情報発信	⑦子育て世帯への財政支援	⑧子どもが地域交流できる居場所の確保	⑨子どもの安全確保	⑩障がいのある子どもとその家庭への支援	⑪ひとり親家庭等の自立支援	⑫児童虐待の防止	⑬不登校対策	⑭外国人世帯への支援
柏ヶ谷	77 100.0	63 81.8	55 71.5	55 71.5	47 61.1	56 72.8	55 71.5	60 77.9	63 81.9	65 84.4	53 68.9	53 68.9	55 71.5	54 70.2	40 52.0
東柏ヶ谷	123 100.0	97 78.9	85 69.1	79 64.2	79 64.2	91 74.0	77 62.6	93 75.6	84 68.3	100 81.3	82 66.7	71 57.7	83 67.5	84 68.3	59 48.0
上今泉	104 100.0	85 81.7	78 75.0	81 77.9	69 66.3	84 80.7	79 76.0	89 85.6	84 80.8	89 85.6	72 69.2	66 63.5	76 73.1	76 73.1	57 54.8
下今泉	25 100.0	22 88.0	14 56.0	17 68.0	12 48.0	22 88.0	17 68.0	22 88.0	18 72.0	24 96.0	17 68.0	18 72.0	20 80.0	20 80.0	12 48.0
上郷	17 100.0	16 94.1	14 82.4	15 88.3	14 82.4	16 94.1	16 94.1	17 100.0	17 100.0	17 100.0	15 88.3	15 88.3	16 94.1	16 94.1	13 76.5
国分北	64 100.0	49 76.6	45 70.4	47 73.4	44 68.8	54 84.4	49 76.6	48 75.0	46 71.9	54 84.4	43 67.2	41 64.0	45 70.3	47 73.5	38 59.4
国分南	73 100.0	62 84.9	53 72.6	52 71.2	45 61.6	60 82.1	46 63.0	56 76.7	53 72.6	64 87.7	49 67.1	46 63.0	53 72.6	52 71.2	42 57.5
望地	16 100.0	13 81.3	10 62.5	9 56.3	9 56.3	14 87.6	12 75.0	13 81.3	10 62.6	13 81.3	10 62.5	8 50.1	9 56.3	9 56.3	5 31.3
中央	45 100.0	32 71.1	29 64.5	28 62.2	23 51.1	35 77.8	32 71.1	30 66.6	30 66.7	34 75.6	25 55.5	25 55.5	27 60.0	26 57.8	20 44.4
河原口	76 100.0	65 85.6	49 64.5	52 68.4	46 60.6	60 79.0	53 69.7	57 75.0	52 68.4	65 85.5	47 61.8	41 53.9	50 65.8	48 63.2	33 43.5
さつき町	8 100.0	7 87.5	5 62.5	3 37.5	5 62.5	6 75.0	5 62.5	6 75.0	4 50.0	7 87.5	3 37.5	3 37.5	5 62.5	5 62.5	3 37.5
中新田	74 100.0	69 93.3	59 79.7	57 77.0	50 67.5	66 89.2	56 75.7	64 86.5	56 75.6	68 91.9	50 67.6	50 67.6	58 78.4	56 75.7	44 59.5
勝瀬	6 100.0	4 66.7	3 50.0	4 66.7	5 83.3	5 83.4	5 83.3	4 66.7	3 50.0	5 83.4	3 50.0	2 33.3	4 66.7	4 66.7	3 50.0
大谷	11 100.0	10 90.9	9 81.8	10 90.9	8 72.8	10 90.9	8 72.8	11 100.0	10 91.0	10 90.9	8 72.7	9 81.9	8 72.7	7 63.6	5 45.5
大谷北	31 100.0	24 77.4	21 67.8	23 74.2	18 58.0	24 77.4	18 58.1	25 80.6	22 71.0	27 87.1	21 67.8	21 67.7	23 74.2	21 67.8	11 35.5
大谷南	30 100.0	27 90.0	25 83.3	22 73.3	24 80.0	27 90.0	24 80.0	24 80.0	21 70.0	28 93.3	23 76.7	21 70.0	22 73.3	23 76.6	16 53.3
国分寺台	48 100.0	41 85.4	32 66.7	36 75.0	28 58.3	35 73.0	31 64.6	32 66.7	33 68.7	37 77.1	35 72.9	30 62.5	35 72.9	34 70.8	17 35.4
浜田町	8 100.0	6 75.0	4 50.0	5 62.5	4 50.0	4 50.0	3 37.5	6 75.0	4 50.0	5 62.5	4 50.0	3 37.5	4 50.0	5 62.5	3 37.5
杉久保	7 100.0	4 57.1	6 85.7	5 71.5	5 71.5	5 71.4	5 71.4	5 71.5	4 57.1	6 85.7	4 57.2	4 57.2	5 71.5	5 71.4	5 71.4
杉久保北	43 100.0	38 88.3	36 83.8	31 72.1	30 69.7	39 90.7	29 67.5	37 86.1	32 74.4	38 88.3	30 69.8	28 65.1	34 79.1	31 72.1	22 51.1
杉久保南	28 100.0	23 82.1	21 75.0	20 71.5	19 67.9	24 85.7	22 78.6	23 82.2	21 75.0	25 89.3	20 71.4	20 71.4	23 82.1	24 85.7	18 64.3
上河内	4 100.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0
中河内	5 100.0	5 100.0	5 100.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	5 100.0	4 80.0	4 80.0	4 80.0	4 80.0	4 80.0
本郷	11 100.0	7 63.6	6 54.5	5 45.5	5 45.5	8 72.7	7 63.7	7 63.6	10 91.0	9 81.8	7 63.6	7 63.7	8 72.8	7 63.7	4 36.4
社家	41 100.0	36 87.8	31 75.6	31 75.6	29 70.7	30 73.2	29 70.8	34 82.9	33 80.5	39 95.1	32 78.1	33 80.5	34 82.9	34 82.9	25 61.0
今里	34 100.0	30 88.2	23 67.6	23 67.6	22 64.7	30 88.2	25 73.6	27 79.4	28 82.4	33 97.0	24 70.6	21 61.8	25 73.5	24 70.6	16 47.0
中野	28 100.0	23 82.2	20 71.4	18 64.3	19 67.9	24 85.7	21 75.0	24 85.7	21 75.0	24 85.7	21 75.0	19 67.8	23 82.1	21 75.0	18 64.3
門沢橋	43 100.0	35 81.4	32 74.4	24 55.9	24 55.8	37 86.1	32 74.4	38 88.4	31 72.1	39 90.7	31 72.1	28 65.1	34 79.0	33 76.7	23 53.5
扇町	8 100.0	8 100.0	7 87.5	6 75.0	5 62.5	7 87.5	4 50.0	6 75.0	7 87.5	7 87.5	5 62.5	5 62.5	7 87.5	7 87.5	4 50.0
泉	14 100.0	14 100.0	10 71.5	10 71.4	10 71.4	13 92.9	12 85.7	12 85.7	12 85.7	14 100.0	10 71.5	10 71.5	12 85.7	11 78.6	9 64.3
めぐみ町	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

地域別でみると、他に比べ、上郷で「⑧子どもが地域交流できる居場所の確保」「⑪ひとり親家庭等の自立支援」、中河内で「②保育サービスの充実」「⑭外国人世帯への支援」の重要度の割合が高くなっています。

問 24 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

区分	回答者数 (件)	出産や育児に関する相談事業の 充実	母子の健康増進を図る事業の充 実	小児救急医療体制の充実	こどもの発達に関する相談事業 の充実	こどもが安心して安全に遊べる 場所の提供	安全なまちづくりの実現	多様なニーズにあった保育園・ 幼稚園施設の提供	子育て世帯への経済的支援の充 実	就学児にかかる放課後の居場所 の提供	子育て世帯の貧困対策の推進	児童虐待防止対策の推進	こども向けのバリアフリー化の 推進(道路補正や施設整備など)	子育て支援の効果的な情報発信 の推進	父親の育児参加を推進する事業 の充実	その他	現状に満足しているため特にな い	無回 答
柏ヶ谷	77 100.0	10 13.0	8 10.4	41 53.2	14 18.2	58 75.3	37 48.1	24 31.2	47 61.0	47 61.0	27 35.1	15 19.5	27 35.1	17 22.1	15 19.5	6 7.8	- -	3 3.9
東柏ヶ谷	123 100.0	14 11.4	12 9.8	65 52.8	22 17.9	82 66.7	53 43.1	29 23.6	60 48.8	54 43.9	29 23.6	20 16.3	18 14.6	27 22.0	18 14.6	6 4.9	3 2.4	2 1.6
上今泉	104 100.0	10 9.6	11 10.6	51 49.0	22 21.2	71 68.3	39 37.5	23 22.1	60 57.7	41 39.4	33 31.7	29 27.9	29 27.9	21 20.2	14 13.5	3 2.9	6 5.8	3 2.9
下今泉	25 100.0	4 16.0	2 8.0	13 52.0	6 24.0	17 68.0	9 36.0	2 8.0	13 52.0	9 36.0	5 20.0	5 20.0	8 32.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	- -
上郷	17 100.0	4 23.5	3 17.6	8 47.1	5 29.4	14 82.4	9 52.9	5 29.4	9 52.9	11 64.7	7 41.2	7 41.2	7 41.2	3 17.6	2 11.8	1 5.9	- -	- -
国分北	64 100.0	8 12.5	3 4.7	34 53.1	10 15.6	50 78.1	29 45.3	14 21.9	32 50.0	30 46.9	15 23.4	11 17.2	19 29.7	10 15.6	8 12.5	6 9.4	4 6.3	1 1.6
国分南	73 100.0	10 13.7	8 11.0	42 57.5	14 19.2	52 71.2	29 39.7	16 21.9	37 50.7	33 45.2	19 26.0	13 17.8	20 27.4	14 19.2	7 9.6	4 5.5	1 1.4	1 1.4
望地	16 100.0	4 25.0	1 6.3	9 56.3	6 37.5	11 68.8	9 56.3	5 31.3	13 81.3	8 50.0	3 18.8	2 12.5	3 18.8	3 18.8	5 31.3	- -	- -	- -
中央	45 100.0	5 11.1	3 6.7	22 48.9	10 22.2	34 75.6	14 31.1	13 28.9	18 40.0	18 40.0	11 24.4	9 20.0	10 22.2	9 20.0	7 15.6	- -	1 2.2	1 2.2
河原口	76 100.0	11 14.5	10 13.2	42 55.3	13 17.1	46 60.5	25 32.9	17 22.4	34 44.7	38 50.0	16 21.1	10 13.2	17 22.4	10 13.2	5 6.6	1 1.3	2 2.6	3 3.9
さつき町	8 100.0	2 25.0	2 25.0	4 50.0	-	5 62.5	4 50.0	4 50.0	4 50.0	5 62.5	-	1 12.5	3 37.5	2 25.0	-	-	1 12.5	1 12.5
中新田	74 100.0	11 14.9	12 16.2	46 62.2	16 21.6	51 68.9	30 40.5	23 31.1	41 55.4	41 55.4	24 32.4	22 29.7	18 24.3	12 16.2	9 12.2	2 2.7	2 2.7	1 1.4
勝瀬	6 100.0	1 16.7	-	3 50.0	1 16.7	5 83.3	1 16.7	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	-	3 50.0	1 16.7	-	-	-	-
大谷	11 100.0	1 9.1	2 18.2	6 54.5	-	6 54.5	6 54.5	2 18.2	8 72.7	5 45.5	3 27.3	4 36.4	4 36.4	2 18.2	1 9.1	-	-	-
大谷北	31 100.0	2 6.5	2 6.5	20 64.5	6 19.4	17 54.8	12 38.7	7 22.6	22 71.0	18 58.1	8 25.8	6 19.4	11 35.5	5 16.1	4 12.9	2 6.5	1 3.2	2 6.5
大谷南	30 100.0	3 10.0	3 10.0	20 66.7	6 20.0	19 63.3	13 43.3	6 20.0	23 76.7	14 46.7	13 43.3	4 13.3	5 16.7	6 20.0	1 3.3	1 3.3	-	1 3.3
国分寺台	48 100.0	2 4.2	4 8.3	25 52.1	10 20.8	27 56.3	15 31.3	9 18.8	21 43.8	25 52.1	7 14.6	5 10.4	11 22.9	9 18.8	4 8.3	1 2.1	5 10.4	-
浜田町	8 100.0	-	-	4 50.0	2 25.0	6 75.0	3 37.5	4 50.0	4 50.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	-	1 12.5	-	-
杉久保	7 100.0	1 14.3	-	4 57.1	1 14.3	4 57.1	-	2 28.6	4 57.1	2 28.6	1 14.3	-	1 14.3	-	-	1 14.3	1 14.3	-
杉久保北	43 100.0	7 16.3	5 11.6	28 65.1	9 20.9	28 65.1	19 44.2	9 20.9	22 51.2	26 60.5	14 32.6	15 34.9	16 37.2	10 23.3	7 16.3	1 2.3	-	2 4.7
杉久保南	28 100.0	3 10.7	4 14.3	16 57.1	5 17.9	21 75.0	12 42.9	11 39.3	20 71.4	13 46.4	10 35.7	5 17.9	10 35.7	4 14.3	4 14.3	-	1 3.6	2 7.1
上河内	4 100.0	-	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0
中河内	5 100.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	-	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-	-	-	-
本郷	11 100.0	2 18.2	3 27.3	8 72.7	2 18.2	9 81.8	6 54.5	3 27.3	5 45.5	3 27.3	1 9.1	2 18.2	4 36.4	1 9.1	-	-	-	-
社家	41 100.0	6 14.6	6 14.6	24 58.5	8 19.5	31 75.6	18 43.9	7 17.1	24 58.5	17 41.5	11 26.8	10 24.4	13 31.7	9 22.0	6 14.6	2 4.9	-	3 7.3
今里	34 100.0	8 23.5	7 20.6	20 58.8	5 14.7	27 79.4	24 70.6	11 32.4	18 52.9	16 47.1	8 23.5	9 26.5	10 29.4	6 17.6	4 11.8	2 5.9	1 2.9	1 2.9
中野	28 100.0	2 7.1	1 3.6	20 71.4	4 14.3	17 60.7	15 53.6	7 25.0	16 57.1	13 46.4	6 21.4	6 21.4	4 14.3	6 21.4	5 17.9	-	-	1 3.6
門沢橋	43 100.0	9 20.9	10 23.3	25 58.1	6 14.0	28 65.1	17 39.5	11 25.6	29 67.4	20 46.5	13 30.2	14 32.6	14 32.6	5 11.6	4 9.3	2 4.7	-	-
扇町	8 100.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	5 62.5	4 50.0	2 25.0	3 37.5	5 62.5	1 12.5	-	3 37.5	1 12.5	-	1 12.5	-	-
泉	14 100.0	-	-	5 35.7	2 14.3	11 78.6	6 42.9	4 28.6	6 42.9	8 57.1	2 14.3	3 21.4	5 35.7	1 7.1	1 7.1	-	2 14.3	-
めぐみ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域別でみると、他に比べ、上郷で「児童虐待防止対策の推進」の割合が、勝瀬で「こども向けのバリアフリー化の推進（道路補正や施設整備など）」の割合が、浜田町で「多様なニーズにあった保育園・幼稚園施設の提供」の割合が、中河内で「児童虐待防止対策の推進」の割合が、今里で「安全パトロールなどを通じた安全なまちづくりの実現」の割合が、高くなっています。

問 25 海老名市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに
○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1	2	3	4	5	無回答
柏ヶ谷	77 100.0	2 2.6	6 7.8	36 46.8	23 29.9	5 6.5	5 6.5
東柏ヶ谷	123 100.0	3 2.4	10 8.1	51 41.5	41 33.3	12 9.8	6 4.9
上今泉	104 100.0	3 2.9	10 9.6	37 35.6	39 37.5	10 9.6	5 4.8
下今泉	25 100.0	3 12.0	2 8.0	9 36.0	7 28.0	1 4.0	3 12.0
上郷	17 100.0	— —	1 5.9	7 41.2	7 41.2	2 11.8	— —
国分北	64 100.0	— —	11 17.2	22 34.4	28 43.8	3 4.7	— —
国分南	73 100.0	4 5.5	9 12.3	29 39.7	21 28.8	6 8.2	4 5.5
望地	16 100.0	— —	4 25.0	5 31.3	6 37.5	1 6.3	— —
中央	45 100.0	1 2.2	3 6.7	11 24.4	24 53.3	1 2.2	5 11.1
河原口	76 100.0	4 5.3	10 13.2	28 36.8	27 35.5	5 6.6	2 2.6
さつき町	8 100.0	1 12.5	— —	3 37.5	3 37.5	— —	1 12.5
中新田	74 100.0	2 2.7	16 21.6	28 37.8	22 29.7	4 5.4	2 2.7
勝瀬	6 100.0	— —	1 16.7	3 50.0	2 33.3	— —	— —
大谷	11 100.0	— —	— —	7 63.6	4 36.4	— —	— —
大谷北	31 100.0	1 3.2	5 16.1	12 38.7	10 32.3	1 3.2	2 6.5
大谷南	30 100.0	1 3.3	2 6.7	9 30.0	13 43.3	3 10.0	2 6.7
国分寺台	48 100.0	3 6.3	3 6.3	14 29.2	25 52.1	1 2.1	2 4.2
浜田町	8 100.0	— —	— —	3 37.5	4 50.0	— —	1 12.5
杉久保	7 100.0	— —	2 28.6	2 28.6	3 42.9	— —	— —
杉久保北	43 100.0	2 4.7	8 18.6	15 34.9	14 32.6	2 4.7	2 4.7
杉久保南	28 100.0	1 3.6	4 14.3	11 39.3	10 35.7	2 7.1	— —
上河内	4 100.0	— —	1 25.0	1 25.0	2 50.0	— —	— —
中河内	5 100.0	— —	1 20.0	3 60.0	1 20.0	— —	— —
本郷	11 100.0	— —	— —	5 45.5	4 36.4	1 9.1	1 9.1
社家	41 100.0	— —	7 17.1	14 34.1	19 46.3	1 2.4	— —
今里	34 100.0	— —	7 20.6	12 35.3	10 29.4	1 2.9	4 11.8
中野	28 100.0	1 3.6	5 17.9	9 32.1	7 25.0	4 14.3	2 7.1
門沢橋	43 100.0	1 2.3	7 16.3	14 32.6	14 32.6	3 7.0	4 9.3
扇町	8 100.0	1 12.5	— —	2 25.0	3 37.5	— —	2 25.0
泉	14 100.0	1 7.1	2 14.3	2 14.3	8 57.1	1 7.1	— —
めぐみ町	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

地域別でみると、他に比べ、泉で「4」と「5」を合わせた割合が高くなっています。

5. 世帯構成別にみる集計

(1) 就学前児童用

問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	持ち家	民営の賃貸住宅	県営・市営などの賃貸住宅	社宅・公務員住宅	住宅に間借り	その他	無回答
ひとり親世帯	132 100.0	60 45.5	49 37.1	6 4.5	1 0.8	6 4.5	9 6.8	1 0.8
2世代世帯	2,740 100.0	1877 68.5	761 27.8	17 0.6	39 1.4	11 0.4	23 0.8	12 0.4
3世代世帯	93 100.0	85 91.4	5 5.4	— —	— —	— —	2 2.2	1 1.1
多子世帯	445 100.0	355 79.8	64 14.4	10 2.2	4 0.9	2 0.4	9 2.0	1 0.2
その他の世帯	122 100.0	111 91.0	4 3.3	— —	1 0.8	2 1.6	3 2.5	1 0.8

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり親世帯で「民営の賃貸住宅」の割合が高くなっています。

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	母親	父親	その他	無回答
ひとり親世帯	132 100.0	121 91.7	10 7.6	1 0.8	— —
2世代世帯	2,740 100.0	2396 87.4	335 12.2	6 0.2	3 0.1
3世代世帯	93 100.0	83 89.2	10 10.8	— —	— —
多子世帯	445 100.0	406 91.2	36 8.1	2 0.4	1 0.2
その他の世帯	122 100.0	105 86.1	12 9.8	4 3.3	1 0.8

世帯構成別でみると、大きな差異はみられません。

問 33 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数（件）	出産や育児に関する相談事業の充実	母子の健康増進を図る事業の充実	小児救急医療体制の充実	こどもの発達に関する相談事業の充実	こどもが安心して安全に遊べる場所の提供	安全パトロールなどを通じた安全なまちづくりの実現	多様なニーズにあった保育園・幼稚園施設の提供	子育て世帯への経済的支援の充実	就学児にかかる放課後の居場所の提供	子育て世帯の貧困対策の推進	児童虐待防止対策の推進	子育て支援の効果的な情報発信の推進 （道路補正や施設整備など）	子育て支援の効果的な情報発信の推進	父親の育児参加を推進する事業の充実	その他	現状に満足しているため特でない	無回答
ひとり親世帯	132 100.0	28 21.2	31 23.5	80 60.6	32 24.2	79 59.8	51 38.6	71 53.8	91 68.9	85 64.4	76 57.6	40 30.3	46 34.8	39 29.5	27 20.5	6 4.5	1 0.8	1 0.8
2世代世帯	2,740 100.0	619 22.6	480 17.5	1649 60.2	633 23.1	1901 69.4	1185 43.2	1381 50.4	1612 58.8	1580 57.7	621 22.7	541 19.7	900 32.8	590 21.5	555 20.3	111 4.1	26 0.9	45 1.6
3世代世帯	93 100.0	23 24.7	13 14.0	54 58.1	19 20.4	74 79.6	43 46.2	40 43.0	61 65.6	52 55.9	33 35.5	23 24.7	27 29.0	22 23.7	23 24.7	6 6.5	2 2.2	- -
多子世帯	445 100.0	80 18.0	74 16.6	252 56.6	91 20.4	307 69.0	177 39.8	188 42.2	280 62.9	233 52.4	111 24.9	89 20.0	135 30.3	77 17.3	73 16.4	16 3.6	6 1.3	8 1.8
その他の世帯	122 100.0	31 25.4	24 19.7	74 60.7	30 24.6	94 77.0	70 57.4	54 44.3	72 59.0	51 41.8	32 26.2	33 27.0	39 32.0	20 16.4	25 20.5	8 6.6	1 0.8	6 4.9

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり親世帯で「母子の健康増進を図る事業の充実」「子育て世帯の貧困対策の推進」「子育て支援の効果的な情報発信の推進」の割合が高くなっています。

(2) 小学生用

問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	持ち家	民営の賃貸住宅	県営・市営などの賃貸住宅	社宅・公務員住宅	住宅に間借り	その他	無回答
ひとり親世帯	103 100.0	55 53.4	40 38.8	2 1.9	－ －	4 3.9	1 1.0	1 1.0
2世代世帯	947 100.0	819 86.5	107 11.3	7 0.7	6 0.6	1 0.1	4 0.4	3 0.3
3世代世帯	50 100.0	48 96.0	－ －	1 2.0	－ －	－ －	1 2.0	－ －
多子世帯	339 100.0	284 83.8	38 11.2	6 1.8	3 0.9	2 0.6	5 1.5	1 0.3
その他の世帯	59 100.0	52 88.1	2 3.4	－ －	－ －	3 5.1	1 1.7	1 1.7

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり親世帯で「民営の賃貸住宅」の割合が高くなっています。

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。対象のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	母親	父親	その他	無回答
ひとり親世帯	103 100.0	91 88.3	9 8.7	3 2.9	－ －
2世代世帯	947 100.0	872 92.1	72 7.6	1 0.1	2 0.2
3世代世帯	50 100.0	48 96.0	2 4.0	－ －	－ －
多子世帯	339 100.0	313 92.3	24 7.1	1 0.3	1 0.3
その他の世帯	59 100.0	55 93.2	2 3.4	2 3.4	－ －

世帯構成別でみると、他に比べ、3世代世帯で「母親」の割合が高くなっています。

問 24 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数（件）	出産や育児に関する相談事業の充実	母子の健康増進を図る事業の充実	小児救急医療体制の充実	こどもの発達に関する相談事業の充実	こどもが安心して安全に遊べる場所の提供	安全パトロールなどを通じた安全なまちづくりの実現	多様なニーズにあった保育園・幼稚園施設の提供	子育て世帯への経済的支援の充実	就学児にかかる放課後の居場所の提供	子育て世帯の貧困対策の推進	児童虐待防止対策の推進	こども向けのバリアフリー化の推進（道路補正や施設整備など）	子育て支援の効果的な情報発信の推進	父親の育児参加を推進する事業の充実	その他	現状に満足しているため特にない	無回答
ひとり親世帯	103 100.0	10 9.7	18 17.5	53 51.5	26 25.2	66 64.1	50 48.5	27 26.2	67 65.0	53 51.5	48 46.6	26 25.2	34 33.0	13 12.6	6 5.8	1 1.0	1 1.0	5 4.9
2世代世帯	947 100.0	130 13.7	98 10.3	520 54.9	167 17.6	644 68.0	387 40.9	235 24.8	494 52.2	451 47.6	224 23.7	187 19.7	242 25.6	169 17.8	120 12.7	43 4.5	28 3.0	23 2.4
3世代世帯	50 100.0	5 10.0	4 8.0	27 54.0	8 16.0	37 74.0	19 38.0	15 30.0	30 60.0	24 48.0	16 32.0	13 26.0	12 24.0	10 20.0	6 12.0	1 2.0	3 6.0	- -
多子世帯	339 100.0	45 13.3	37 10.9	176 51.9	64 18.9	226 66.7	125 36.9	97 28.6	200 59.0	151 44.5	92 27.1	63 18.6	86 25.4	58 17.1	46 13.6	12 3.5	8 2.4	10 2.9
その他の世帯	59 100.0	9 15.3	11 18.6	39 66.1	16 27.1	44 74.6	33 55.9	9 15.3	38 64.4	23 39.0	20 33.9	15 25.4	18 30.5	14 23.7	7 11.9	1 1.7	2 3.4	3 5.1

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり親世帯で「母子の健康増進を図る事業の充実」「こどもの発達に関する相談事業の充実」「安全パトロールなどを通じた安全なまちづくりの実現」「子育て世帯への経済的支援の充実」「子育て世帯の貧困対策の推進」「こども向けのバリアフリー化の推進（道路補正や施設整備など）」の割合が高くなっています。

6. 所得階層別にみる集計

(1) 就学前児童用

問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：%

区分	回答者数 (件)	持ち家	民営の賃貸住宅	県営・市営などの賃貸住宅	社宅・公務員住宅	住宅に間借り	その他	無回答
収入はない	5 100.0	- -	5 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
50万円未満	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
50～100万円未満	8 100.0	3 37.5	- -	4 50.0	- -	- -	1 12.5	- -
100～150万円未満	22 100.0	6 27.3	13 59.1	1 4.5	- -	- -	1 4.5	1 4.5
150～200万円未満	24 100.0	10 41.7	8 33.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	3 12.5	- -
200～250万円未満	31 100.0	12 38.7	17 54.8	1 3.2	1 3.2	- -	- -	- -
250～300万円未満	60 100.0	25 41.7	30 50.0	3 5.0	1 1.7	1 1.7	- -	- -
300～350万円未満	112 100.0	56 50.0	46 41.1	3 2.7	2 1.8	1 0.9	- -	4 3.6
350～400万円未満	180 100.0	102 56.7	63 35.0	2 1.1	3 1.7	2 1.1	6 3.3	2 1.1
400～500万円未満	438 100.0	279 63.7	140 32.0	2 0.5	2 0.5	4 0.9	7 1.6	4 0.9
500～600万円未満	527 100.0	402 76.3	106 20.1	2 0.4	6 1.1	3 0.6	7 1.3	1 0.2
600～700万円未満	407 100.0	289 71.0	104 25.6	1 0.2	6 1.5	3 0.7	3 0.7	1 0.2
700～800万円未満	402 100.0	295 73.4	99 24.6	- -	3 0.7	- -	3 0.7	2 0.5
800～900万円未満	288 100.0	211 73.3	64 22.2	2 0.7	4 1.4	1 0.3	1 0.3	5 1.7
900～1000万円未満	184 100.0	135 73.4	39 21.2	1 0.5	5 2.7	2 1.1	1 0.5	1 0.5
1000万円以上	275 100.0	213 77.5	52 18.9	- -	6 2.2	- -	2 0.7	2 0.7

所得階層別でみると、他に比べ、500万円以上で「持ち家」の割合が高くなっています。

問 7 あなたには、何人お子さんがいらっしゃいますか。また、理想的なお子さんの人数は何人ですか。それぞれ、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

ア 実際のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答
収入はない	5 100.0	3 60.0	2 40.0	－	－	－	－	－
50万円未満	1 100.0	1 100.0	－	－	－	－	－	－
50～100万円未満	8 100.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	－	－	1 12.5	－
100～150万円未満	22 100.0	9 40.9	6 27.3	6 27.3	－	－	－	1 4.5
150～200万円未満	24 100.0	13 54.2	6 25.0	3 12.5	1 4.2	－	1 4.2	－
200～250万円未満	31 100.0	17 54.8	11 35.5	2 6.5	－	－	1 3.2	－
250～300万円未満	60 100.0	30 50.0	23 38.3	6 10.0	－	－	1 1.7	－
300～350万円未満	112 100.0	56 50.0	45 40.2	9 8.0	1 0.9	－	－	1 0.9
350～400万円未満	180 100.0	72 40.0	78 43.3	29 16.1	－	－	－	1 0.6
400～500万円未満	438 100.0	196 44.7	179 40.9	51 11.6	7 1.6	－	2 0.5	3 0.7
500～600万円未満	527 100.0	197 37.4	245 46.5	71 13.5	8 1.5	1 0.2	5 0.9	－
600～700万円未満	407 100.0	165 40.5	186 45.7	42 10.3	9 2.2	－	4 1.0	1 0.2
700～800万円未満	402 100.0	161 40.0	189 47.0	41 10.2	5 1.2	1 0.2	3 0.7	2 0.5
800～900万円未満	288 100.0	115 39.9	134 46.5	29 10.1	4 1.4	1 0.3	2 0.7	3 1.0
900～1000万円未満	184 100.0	70 38.0	85 46.2	25 13.6	3 1.6	－	－	1 0.5
1000万円以上	275 100.0	93 33.8	138 50.2	34 12.4	6 2.2	－	3 1.1	1 0.4

所得階層別でみると、他に比べ、150～200万円未満、200～250万円未満で「1人」の割合が、1000万円以上で「2人」の割合が高くなっています。また、100～150万円未満で「3人」の割合が高くなっています。

イ 理想のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答
収入はない	5 100.0	- -	3 60.0	1 20.0	- -	- -	- -	1 20.0
50万円未満	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
50～100万円未満	8 100.0	- -	5 62.5	2 25.0	- -	- -	1 12.5	- -
100～150万円未満	22 100.0	- -	11 50.0	9 40.9	- -	- -	- -	2 9.1
150～200万円未満	24 100.0	2 8.3	8 33.3	8 33.3	3 12.5	1 4.2	1 4.2	1 4.2
200～250万円未満	31 100.0	4 12.9	16 51.6	9 29.0	- -	- -	1 3.2	1 3.2
250～300万円未満	60 100.0	2 3.3	32 53.3	24 40.0	1 1.7	- -	1 1.7	- -
300～350万円未満	112 100.0	4 3.6	55 49.1	40 35.7	8 7.1	- -	1 0.9	4 3.6
350～400万円未満	180 100.0	6 3.3	86 47.8	72 40.0	9 5.0	3 1.7	- -	4 2.2
400～500万円未満	438 100.0	11 2.5	250 57.1	145 33.1	19 4.3	6 1.4	1 0.2	6 1.4
500～600万円未満	527 100.0	19 3.6	278 52.8	195 37.0	20 3.8	2 0.4	7 1.3	6 1.1
600～700万円未満	407 100.0	11 2.7	225 55.3	150 36.9	13 3.2	1 0.2	5 1.2	2 0.5
700～800万円未満	402 100.0	16 4.0	206 51.2	154 38.3	16 4.0	2 0.5	3 0.7	5 1.2
800～900万円未満	288 100.0	10 3.5	148 51.4	114 39.6	5 1.7	2 0.7	3 1.0	6 2.1
900～1000万円未満	184 100.0	5 2.7	101 54.9	70 38.0	7 3.8	- -	- -	1 0.5
1000万円以上	275 100.0	6 2.2	153 55.6	100 36.4	6 2.2	1 0.4	5 1.8	4 1.5

所得階層別でみると、他に比べ、100～150万円未満、250～300万円未満、350～400万円未満で「3人」の割合が、400～500万円未満で「2人」の割合が高くなっています。

問 18 すべての方にうかがいます。以下の幼児教育無償化が実施されることを想定してお答えください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	現在、平日の教育・保育の事業を 利用しているが、無償化が実施さ れても変えるつもりはない	現在、平日の教育・保育の事業を 利用しているが、無償化が実施さ れたら違う事業を利用したい	現在、平日の教育・保育の事業を 利用していないが、無償化が実施 されたら新たに利用したい事業 がある	現在、平日の教育・保育の事業を 利用していないが、無償化が実施 されても利用するつもりはない	無回答
収入はない	5 100.0	2 40.0	1 20.0	－ －	1 20.0	1 20.0
50 万円未満	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －
50～100 万円未満	8 100.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	－ －	－ －
100～150 万円未満	22 100.0	15 68.2	4 18.2	1 4.5	1 4.5	1 4.5
150～200 万円未満	24 100.0	17 70.8	－ －	5 20.8	1 4.2	1 4.2
200～250 万円未満	31 100.0	16 51.6	2 6.5	9 29.0	1 3.2	3 9.7
250～300 万円未満	60 100.0	30 50.0	2 3.3	25 41.7	2 3.3	1 1.7
300～350 万円未満	112 100.0	53 47.3	10 8.9	37 33.0	5 4.5	7 6.3
350～400 万円未満	180 100.0	95 52.8	16 8.9	55 30.6	7 3.9	7 3.9
400～500 万円未満	438 100.0	237 54.1	21 4.8	133 30.4	19 4.3	28 6.4
500～600 万円未満	527 100.0	329 62.4	32 6.1	104 19.7	26 4.9	36 6.8
600～700 万円未満	407 100.0	269 66.1	17 4.2	79 19.4	16 3.9	26 6.4
700～800 万円未満	402 100.0	260 64.7	17 4.2	76 18.9	14 3.5	35 8.7
800～900 万円未満	288 100.0	191 66.3	18 6.3	50 17.4	9 3.1	20 6.9
900～1000 万円未満	184 100.0	126 68.5	6 3.3	33 17.9	5 2.7	14 7.6
1000 万円以上	275 100.0	205 74.5	13 4.7	37 13.5	5 1.8	15 5.5

所得階層別でみると、250 万円以上では、年収が低くなるにつれ「現在、平日の教育・保育の事業を利用していないが、無償化が実施されたら新たに利用したい事業がある」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、1000 万円以上で「現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されても変えるつもりはない」の割合が、100～150 万円未満で「現在、平日の教育・保育の事業を利用しているが、無償化が実施されたら違う事業を利用したい」の割合が高くなっています。

問 26 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

ア 母親

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	働いていなかった	取得した (取得中である)	取得していない	無回答
収入はない	5 100.0	1 20.0	2 40.0	－ －	2 40.0
50 万円未満	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －
50～100 万円未満	8 100.0	4 50.0	－ －	4 50.0	－ －
100～150 万円未満	22 100.0	16 72.7	2 9.1	2 9.1	2 9.1
150～200 万円未満	24 100.0	12 50.0	8 33.3	4 16.7	－ －
200～250 万円未満	31 100.0	11 35.5	11 35.5	7 22.6	2 6.5
250～300 万円未満	60 100.0	26 43.3	28 46.7	6 10.0	－ －
300～350 万円未満	112 100.0	64 57.1	31 27.7	16 14.3	1 0.9
350～400 万円未満	180 100.0	103 57.2	49 27.2	25 13.9	3 1.7
400～500 万円未満	438 100.0	261 59.6	111 25.3	58 13.2	8 1.8
500～600 万円未満	527 100.0	288 54.6	179 34.0	46 8.7	14 2.7
600～700 万円未満	407 100.0	192 47.2	183 45.0	24 5.9	8 2.0
700～800 万円未満	402 100.0	153 38.1	213 53.0	30 7.5	6 1.5
800～900 万円未満	288 100.0	86 29.9	176 61.1	19 6.6	7 2.4
900～1000 万円未満	184 100.0	57 31.0	115 62.5	7 3.8	5 2.7
1000 万円以上	275 100.0	91 33.1	162 58.9	18 6.5	4 1.5

所得階層別でみると、他に比べ、100～150 万円未満で「働いていなかった」の割合が、800～900 万円未満、900～1000 万円未満で「取得した（取得中である）」の割合が高くなっています。

イ 父親

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	働いていなかった	取得した(取得中 ある)	取得していない	無回答
収入はない	5 100.0	- -	- -	5 100.0	- -
50 万円未満	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -
50～100 万円未満	8 100.0	1 12.5	- -	5 62.5	2 25.0
100～150 万円未満	22 100.0	- -	- -	10 45.5	12 54.5
150～200 万円未満	24 100.0	1 4.2	2 8.3	12 50.0	9 37.5
200～250 万円未満	31 100.0	- -	1 3.2	18 58.1	12 38.7
250～300 万円未満	60 100.0	4 6.7	1 1.7	48 80.0	7 11.7
300～350 万円未満	112 100.0	1 0.9	5 4.5	91 81.3	15 13.4
350～400 万円未満	180 100.0	1 0.6	9 5.0	156 86.7	14 7.8
400～500 万円未満	438 100.0	2 0.5	20 4.6	385 87.9	31 7.1
500～600 万円未満	527 100.0	2 0.4	17 3.2	464 88.0	44 8.3
600～700 万円未満	407 100.0	2 0.5	23 5.7	360 88.5	22 5.4
700～800 万円未満	402 100.0	2 0.5	20 5.0	351 87.3	29 7.2
800～900 万円未満	288 100.0	4 1.4	14 4.9	249 86.5	21 7.3
900～1000 万円未満	184 100.0	- -	11 6.0	160 87.0	13 7.1
1000 万円以上	275 100.0	2 0.7	9 3.3	246 89.5	18 6.5

所得階層別でみると、他に比べ、すべての区分で「取得していない」の割合が高くなっています。

(2) 小学生用

問4 あなたのご家庭は、どのような住宅にお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	持ち家	民営の賃貸住宅	県営・市営などの賃貸住宅	社宅・公務員住宅	住宅に間借り	その他	無回答
収入はない	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
50万円未満	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
50～100万円未満	3 100.0	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -
100～150万円未満	12 100.0	6 50.0	5 41.7	1 8.3	- -	- -	- -	- -
150～200万円未満	12 100.0	4 33.3	8 66.7	- -	- -	- -	- -	- -
200～250万円未満	12 100.0	3 25.0	8 66.7	- -	- -	1 8.3	- -	- -
250～300万円未満	31 100.0	17 54.8	7 22.6	4 12.9	1 3.2	1 3.2	- -	1 3.2
300～350万円未満	36 100.0	20 55.6	13 36.1	2 5.6	- -	1 2.8	- -	- -
350～400万円未満	42 100.0	33 78.6	5 11.9	1 2.4	1 2.4	- -	2 4.8	- -
400～500万円未満	133 100.0	108 81.2	22 16.5	- -	1 0.8	- -	2 1.5	- -
500～600万円未満	177 100.0	155 87.6	18 10.2	- -	- -	2 1.1	1 0.6	1 0.6
600～700万円未満	165 100.0	149 90.3	13 7.9	- -	1 0.6	2 1.2	- -	- -
700～800万円未満	131 100.0	120 91.6	8 6.1	- -	- -	1 0.8	- -	2 1.5
800～900万円未満	123 100.0	114 92.7	7 5.7	- -	1 0.8	- -	1 0.8	- -
900～1000万円未満	85 100.0	75 88.2	9 10.6	- -	- -	- -	1 1.2	- -
1000万円以上	114 100.0	106 93.0	8 7.0	- -	- -	- -	- -	- -

所得階層別でみると、他に比べ、350万円以上で「持ち家」の割合が高くなっています。

問 7 あなたには、何人お子さんがいらっしゃいますか。また、理想的小子さんの人数は何人ですか。それぞれ、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

ア 実際のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	そ 他	無 回 答
収入はない	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -
50 万円未満	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
50～100 万円未満	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	- -
100～150 万円未満	12 100.0	- -	7 58.3	2 16.7	2 16.7	- -	- -	1 8.3
150～200 万円未満	12 100.0	3 25.0	6 50.0	2 16.7	1 8.3	- -	- -	- -
200～250 万円未満	12 100.0	4 33.3	7 58.3	1 8.3	- -	- -	- -	- -
250～300 万円未満	31 100.0	8 25.8	17 54.8	4 12.9	2 6.5	- -	- -	- -
300～350 万円未満	36 100.0	11 30.6	13 36.1	10 27.8	1 2.8	1 2.8	- -	- -
350～400 万円未満	42 100.0	10 23.8	20 47.6	9 21.4	3 7.1	- -	- -	- -
400～500 万円未満	133 100.0	22 16.5	77 57.9	28 21.1	6 4.5	- -	- -	- -
500～600 万円未満	177 100.0	35 19.8	89 50.3	41 23.2	9 5.1	1 0.6	2 1.1	- -
600～700 万円未満	165 100.0	24 14.5	90 54.5	42 25.5	5 3.0	1 0.6	2 1.2	1 0.6
700～800 万円未満	131 100.0	21 16.0	68 51.9	34 26.0	6 4.6	- -	1 0.8	1 0.8
800～900 万円未満	123 100.0	16 13.0	79 64.2	22 17.9	6 4.9	- -	- -	- -
900～1000 万円未満	85 100.0	11 12.9	44 51.8	26 30.6	2 2.4	- -	2 2.4	- -
1000 万円以上	114 100.0	7 6.1	68 59.6	32 28.1	1 0.9	- -	5 4.4	1 0.9

所得階層別でみると、他に比べ、200～250 万円未満で「1 人」の割合が、800～900 万円未満で「2 人」の割合が高くなっています。また、900～1000 万円未満で「3 人」の割合が高くなっています。

イ 理想のお子さんの人数

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答
収入はない	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -
50万円未満	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
50～100万円未満	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -
100～150万円未満	12 100.0	- -	5 41.7	5 41.7	1 8.3	- -	- -	1 8.3
150～200万円未満	12 100.0	2 16.7	4 33.3	4 33.3	2 16.7	- -	- -	- -
200～250万円未満	12 100.0	2 16.7	3 25.0	4 33.3	- -	- -	- -	3 25.0
250～300万円未満	31 100.0	2 6.5	14 45.2	10 32.3	3 9.7	- -	1 3.2	1 3.2
300～350万円未満	36 100.0	1 2.8	17 47.2	14 38.9	2 5.6	2 5.6	- -	- -
350～400万円未満	42 100.0	- -	15 35.7	20 47.6	4 9.5	2 4.8	- -	1 2.4
400～500万円未満	133 100.0	5 3.8	69 51.9	50 37.6	6 4.5	- -	1 0.8	2 1.5
500～600万円未満	177 100.0	5 2.8	84 47.5	70 39.5	9 5.1	3 1.7	4 2.3	2 1.1
600～700万円未満	165 100.0	2 1.2	79 47.9	68 41.2	9 5.5	1 0.6	5 3.0	1 0.6
700～800万円未満	131 100.0	4 3.1	49 37.4	63 48.1	9 6.9	1 0.8	1 0.8	4 3.1
800～900万円未満	123 100.0	5 4.1	57 46.3	54 43.9	5 4.1	- -	- -	2 1.6
900～1000万円未満	85 100.0	4 4.7	28 32.9	42 49.4	6 7.1	1 1.2	3 3.5	1 1.2
1000万円以上	114 100.0	1 0.9	43 37.7	59 51.8	4 3.5	- -	4 3.5	3 2.6

所得階層別でみると、他に比べ、150～200万円未満、200～250万円未満で「1人」の割合が、400～500万円未満で「2人」の割合が高くなっています。また、1000万円以上で「3人」の割合が高くなっています。

問 18 対象のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用している週当たり日数を数字でご記入ください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父 母宅 や友人・知 人宅	習い事（ピアノ教 室、サッカークラ ブ、学習塾など）	放課後児童クラブ 〔学童保育〕	あそびっ子クラブ・ まなびっ子クラブ	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回 答
収入はない	2 100.0	1 50.0	2 100.0	－ －	－ －	1 50.0	－ －	－ －	－ －
50 万円未満	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
50～100 万円未満	3 100.0	3 100.0	1 33.3	2 66.7	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －
100～150 万円未満	12 100.0	8 66.7	1 8.3	4 33.3	4 33.3	2 16.7	－ －	1 8.3	－ －
150～200 万円未満	12 100.0	11 91.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	3 25.0	－ －	3 25.0	－ －
200～250 万円未満	12 100.0	5 41.7	1 8.3	4 33.3	6 50.0	1 8.3	－ －	2 16.7	1 8.3
250～300 万円未満	31 100.0	23 74.2	6 19.4	15 48.4	5 16.1	6 19.4	－ －	8 25.8	1 3.2
300～350 万円未満	36 100.0	27 75.0	3 8.3	16 44.4	9 25.0	11 30.6	－ －	12 33.3	－ －
350～400 万円未満	42 100.0	34 81.0	11 26.2	20 47.6	7 16.7	12 28.6	－ －	13 31.0	－ －
400～500 万円未満	133 100.0	108 81.2	31 23.3	85 63.9	25 18.8	18 13.5	－ －	43 32.3	1 0.8
500～600 万円未満	177 100.0	140 79.1	33 18.6	122 68.9	25 14.1	26 14.7	1 0.6	54 30.5	1 0.6
600～700 万円未満	165 100.0	134 81.2	30 18.2	123 74.5	19 11.5	25 15.2	－ －	46 27.9	2 1.2
700～800 万円未満	131 100.0	101 77.1	21 16.0	93 71.0	20 15.3	18 13.7	－ －	25 19.1	2 1.5
800～900 万円未満	123 100.0	83 67.5	20 16.3	85 69.1	30 24.4	16 13.0	1 0.8	30 24.4	－ －
900～1000 万円未満	85 100.0	58 68.2	13 15.3	62 72.9	26 30.6	12 14.1	－ －	19 22.4	－ －
1000 万円以上	114 100.0	74 64.9	18 15.8	92 80.7	34 29.8	11 9.6	4 3.5	25 21.9	－ －

所得階層別でみると、他に比べ、150～200 万円未満で「自宅」の割合が、200～250 万円未満で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が高くなっています。また、1000 万円以上で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

問 19 対象のお子さんは、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父 母宅 や友人・知 人宅	習い事（ピアノ教 室、サッカークラ ブ、学習塾など）	放課後児童クラブ 〔学童保育〕	あそびっ子クラブ・ まなびっ子クラブ	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回 答
収入はない	2 100.0	1 50.0	2 100.0	－ －	1 50.0	2 100.0	－ －	－ －	－ －
50 万円未満	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
50～100 万円未満	3 100.0	3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	－ －	1 33.3	－ －
100～150 万円未満	12 100.0	3 25.0	2 16.7	5 41.7	7 58.3	4 33.3	－ －	1 8.3	1 8.3
150～200 万円未満	12 100.0	7 58.3	3 25.0	4 33.3	7 58.3	8 66.7	－ －	3 25.0	－ －
200～250 万円未満	12 100.0	5 41.7	2 16.7	6 50.0	8 66.7	4 33.3	－ －	3 25.0	－ －
250～300 万円未満	31 100.0	21 67.7	6 19.4	19 61.3	20 64.5	13 41.9	－ －	15 48.4	－ －
300～350 万円未満	36 100.0	24 66.7	3 8.3	15 41.7	15 41.7	19 52.8	－ －	14 38.9	－ －
350～400 万円未満	42 100.0	31 73.8	9 21.4	22 52.4	22 52.4	22 52.4	－ －	17 40.5	－ －
400～500 万円未満	133 100.0	85 63.9	25 18.8	90 67.7	68 51.1	68 51.1	－ －	55 41.4	1 0.8
500～600 万円未満	177 100.0	122 68.9	25 14.1	125 70.6	88 49.7	79 44.6	2 1.1	65 36.7	3 1.7
600～700 万円未満	165 100.0	110 66.7	25 15.2	125 75.8	73 44.2	68 41.2	－ －	54 32.7	1 0.6
700～800 万円未満	131 100.0	91 69.5	17 13.0	100 76.3	63 48.1	63 48.1	1 0.8	37 28.2	2 1.5
800～900 万円未満	123 100.0	72 58.5	13 10.6	92 74.8	73 59.3	59 48.0	－ －	33 26.8	2 1.6
900～1000 万円未満	85 100.0	46 54.1	12 14.1	57 67.1	52 61.2	41 48.2	－ －	21 24.7	1 1.2
1000 万円以上	114 100.0	70 61.4	13 11.4	90 78.9	71 62.3	41 36.0	2 1.8	28 24.6	3 2.6

所得階層別でみると、他に比べ、350～400 万円未満で「自宅」の割合が、1000 万円以上で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。また、150～200 万円未満で「あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブ」の割合が高くなっています。

問 19－1 対象のお子さんについて、何年生まで、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	小学1年生まで	小学2年生まで	小学3年生まで	小学4年生まで	小学5年生まで	小学6年生まで	無回答
収入はない	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －
50 万円未満	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
50～100 万円未満	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －
100～150 万円未満	7 100.0	－ －	－ －	－ －	1 14.3	－ －	2 28.6	4 57.1
150～200 万円未満	7 100.0	－ －	－ －	－ －	1 14.3	－ －	3 42.9	3 42.9
200～250 万円未満	8 100.0	－ －	－ －	1 12.5	1 12.5	－ －	3 37.5	3 37.5
250～300 万円未満	20 100.0	－ －	－ －	－ －	2 10.0	1 5.0	3 15.0	14 70.0
300～350 万円未満	15 100.0	－ －	1 6.7	1 6.7	4 26.7	1 6.7	3 20.0	5 33.3
350～400 万円未満	22 100.0	2 9.1	－ －	－ －	－ －	－ －	5 22.7	15 68.2
400～500 万円未満	68 100.0	1 1.5	－ －	6 8.8	3 4.4	2 2.9	16 23.5	40 58.8
500～600 万円未満	88 100.0	2 2.3	1 1.1	5 5.7	9 10.2	－ －	15 17.0	56 63.6
600～700 万円未満	73 100.0	－ －	2 2.7	6 8.2	3 4.1	－ －	10 13.7	52 71.2
700～800 万円未満	63 100.0	－ －	3 4.8	5 7.9	4 6.3	－ －	12 19.0	39 61.9
800～900 万円未満	73 100.0	－ －	1 1.4	3 4.1	8 11.0	2 2.7	16 21.9	43 58.9
900～1000 万円未満	52 100.0	－ －	1 1.9	7 13.5	5 9.6	2 3.8	15 28.8	22 42.3
1000 万円以上	71 100.0	－ －	1 1.4	5 7.0	6 8.5	1 1.4	17 23.9	41 57.7

所得階層別でみると、他に比べ、900～1000 万円未満で「小学6年生まで」の割合が、300～350 万円未満で「小学4年生まで」の割合が高くなっています。

問 19－3 対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
収入はない	1 100.0	－ －	－ －	1 100.0
50 万円未満	－ －	－ －	－ －	－ －
50～100 万円未満	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －
100～150 万円未満	7 100.0	5 71.4	2 28.6	－ －
150～200 万円未満	7 100.0	5 71.4	2 28.6	－ －
200～250 万円未満	8 100.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5
250～300 万円未満	20 100.0	9 45.0	7 35.0	4 20.0
300～350 万円未満	15 100.0	11 73.3	4 26.7	－ －
350～400 万円未満	22 100.0	10 45.5	8 36.4	4 18.2
400～500 万円未満	68 100.0	41 60.3	21 30.9	6 8.8
500～600 万円未満	88 100.0	47 53.4	30 34.1	11 12.5
600～700 万円未満	73 100.0	35 47.9	32 43.8	6 8.2
700～800 万円未満	63 100.0	39 61.9	19 30.2	5 7.9
800～900 万円未満	73 100.0	37 50.7	31 42.5	5 6.8
900～1000 万円未満	52 100.0	29 55.8	17 32.7	6 11.5
1000 万円以上	71 100.0	38 53.5	25 35.2	8 11.3

所得階層別でみると、他に比べ、300～350 万円未満で「利用したい」の割合が、600～700 万円未満、800～900 万円未満で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

問 19－6 対象のお子さんについて、土曜日に、あそびっ子クラブ・まなびっ子クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

上段：件数、下段：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
収入はない	2 100.0	－ －	1 50.0	1 50.0
50 万円未満	－ －	－ －	－ －	－ －
50～100 万円未満	2 100.0	1 50.0	1 50.0	－ －
100～150 万円未満	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
150～200 万円未満	8 100.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5
200～250 万円未満	4 100.0	3 75.0	－ －	1 25.0
250～300 万円未満	13 100.0	5 38.5	4 30.8	4 30.8
300～350 万円未満	19 100.0	9 47.4	8 42.1	2 10.5
350～400 万円未満	22 100.0	5 22.7	12 54.5	5 22.7
400～500 万円未満	68 100.0	29 42.6	28 41.2	11 16.2
500～600 万円未満	79 100.0	22 27.8	44 55.7	13 16.5
600～700 万円未満	68 100.0	24 35.3	28 41.2	16 23.5
700～800 万円未満	63 100.0	16 25.4	33 52.4	14 22.2
800～900 万円未満	59 100.0	18 30.5	26 44.1	15 25.4
900～1000 万円未満	41 100.0	14 34.1	14 34.1	13 31.7
1000 万円以上	41 100.0	14 34.1	15 36.6	12 29.3

所得階層別でみると、他に比べ、300～350 万円未満で「利用したい」の割合が、350～400 万円未満、500～600 万円未満で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

第5章 満足度・重要度の調査

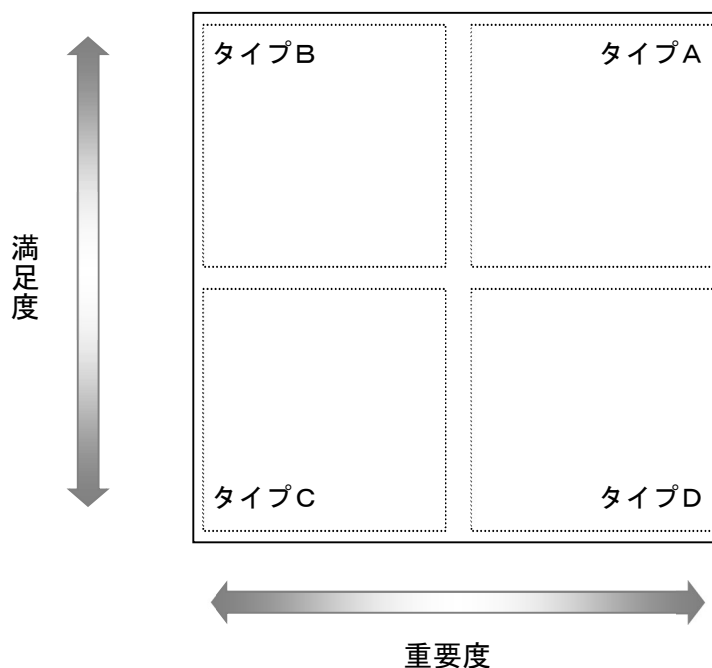
第5章 満足度・重要度の調査

ポートフォリオ分析による満足度・重要度の調査

散布図の右上は、重要度が高く、かつ満足度も高い項目が位置し、今後も維持していく項目となっています。右下は、重要だが不満な項目が位置しており、要改善項目が並んでいます。

※ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



◆タイプA

継続推進（重要度：平均点以上 満足度：平均点以上）

重要性の認識も取組に対する満足度もともに高く、現在の水準を下げないように継続的な対応が望めます。

◆タイプB

成果検証（重要度：平均点未満 満足度：平均点以上）

重要性の認識は低いが、取組に対する満足度は高く、一定の成果を上げているため、必要性を検証し適切な対応が望めます。

◆タイプC

検討課題（重要度：平均点未満 満足度：平均点未満）

重要性の認識は低く、取組に対する満足度も低く、必要性の検証や取組内容の見直しなどを検討し適切な対応が求められます。

◆タイプD

重点課題（重要度：平均点以上 満足度：平均点未満）

重要性の認識は高いが、取組に対する満足度は低く、他区分の取組に優先した重点的な対応が望めます。

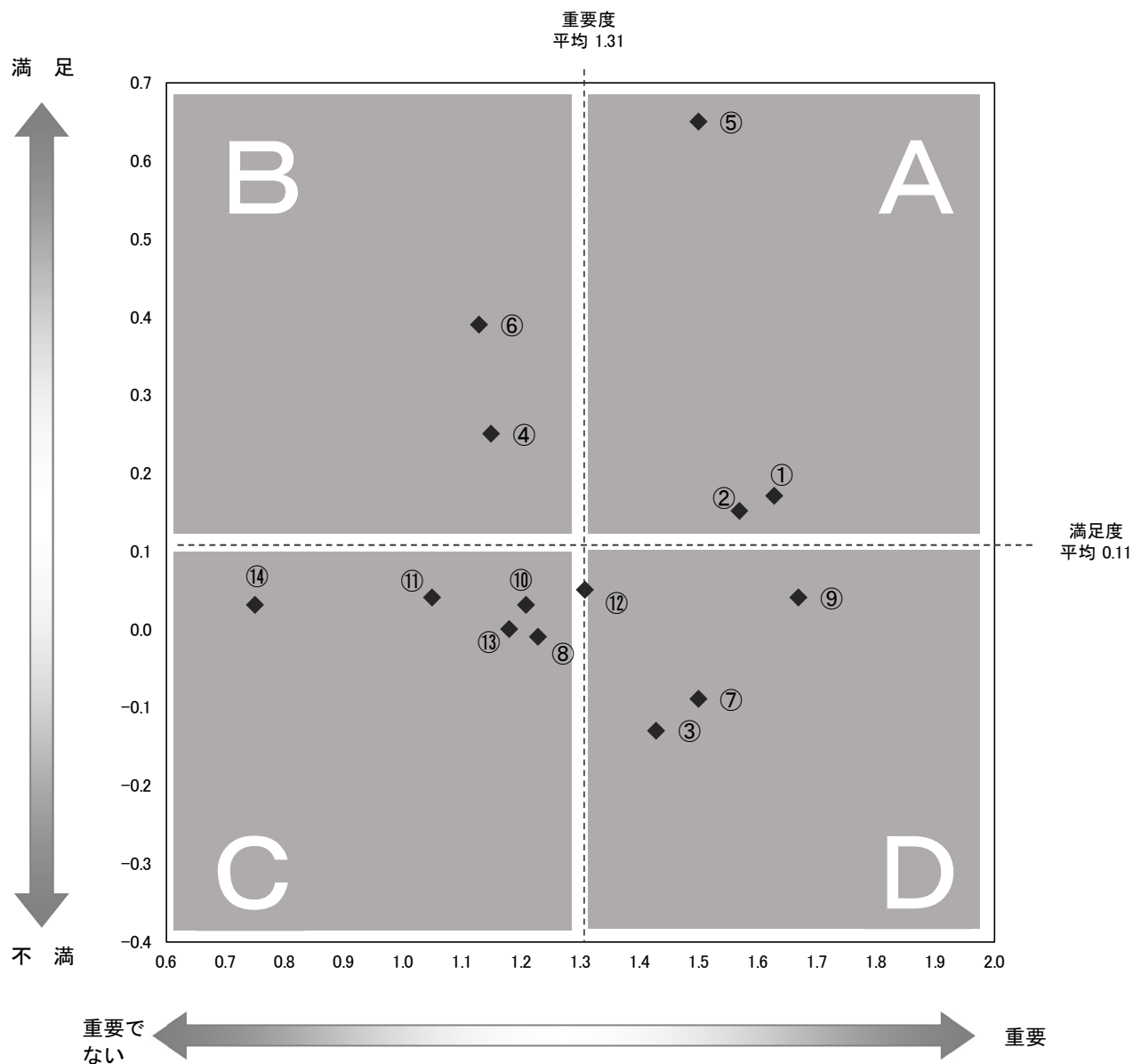
<加点方法>

満足度…「満足」1点、「やや満足」0.5点、「やや不満」-0.5点、「不満」-1点

重要度…「高い」1点、「やや高い」0.5点、「やや低い」-0.5点、「低い」-1点

ア 就学前児童用

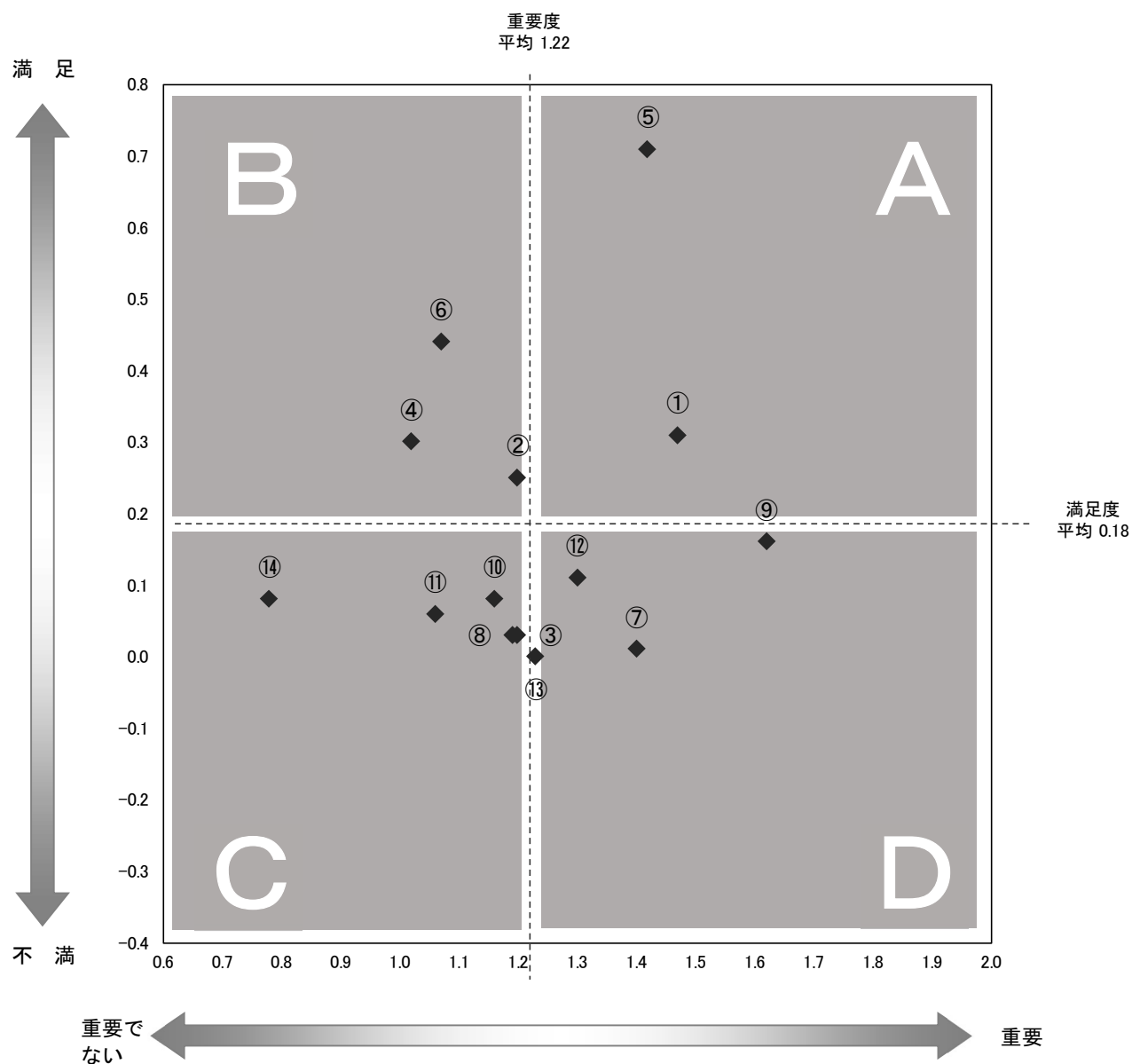
「問 32」の項目であげている 14 の取り組みについてポートフォリオによる分析を実施しています。



①	教育・保育施設の充実と質の向上	A	⑧	子どもが地域交流できる居場所の確保	C
②	保育サービスの充実	A	⑨	子どもの安全確保	D
③	学童保育の充実	D	⑩	障がいのある子どもとその家庭への支援	C
④	妊娠期における支援	B	⑪	ひとり親家庭等の自立支援	C
⑤	子どもの健康確保	A	⑫	児童虐待の防止	D
⑥	子育てに関する情報発信	B	⑬	不登校対策	C
⑦	子育て世帯への財政支援	D	⑭	外国人世帯への支援	C

イ 小学生用

「問 23」の項目であげている 14 の取り組みについてポートフォリオによる分析を実施しています。



①	教育・保育施設の充実と質の向上	A	⑧	子どもが地域交流できる居場所の確保	C
②	保育サービスの充実	B	⑨	子どもの安全確保	D
③	学童保育の充実	C	⑩	障がいのある子どもとその家庭への支援	C
④	妊娠期における支援	B	⑪	ひとり親家庭等の自立支援	C
⑤	子どもの健康確保	A	⑫	児童虐待の防止	D
⑥	子育てに関する情報発信	B	⑬	不登校対策	D
⑦	子育て世帯への財政支援	D	⑭	外国人世帯への支援	C

第 6 章 自由意見

第6章 自由意見

①教育・保育施設の充実と質の向上

- ・子どもが楽しめるような遊び場がとても少ない。子どもセンターは駅からも子どもを連れて歩いていける距離ではないので、足を運びにくい。施設も狭いし、古いので、アスレチックの要素など取り入れリニューアルしてほしい。
- ・保育園が少なくて入れない。
- ・保育所で習い事ができるようなところを海老名市でもあっても良いのではと思う。特に保育所に通っている家庭は、平日、時間が作れず、習い事をさせてあげられない家庭が多いと思う。
- ・中学校までは給食にしてほしい。

②保育サービスの充実

- ・子供が病気になった時、小児科ではいつも待ち人数が多く体調悪く中で仕方なく待っている状況は大変です。隣の厚木市と比べると医療機関が少なく、まだまだ不便と感じます。又、病児保育も充実しておらず、他市と比較してしまう。
- ・病児・病後児保育をしてくれるところが少なく、預けるにあたってのハードルも高い。
- ・子育て支援センターや市立図書館でのイベント等はぜひ今後も続けてほしい。

③学童保育の充実

- ・小学校内に学童クラブを作してほしい。
- ・学童保育の料金について、他の市に比べて高い。
- ・受け入れ人数が少なく入所できない。
- ・学童保育に市が参入するべきと感じる。学校と一緒に進めてほしい。

④妊娠期における支援

- ・マタニティスクールの開催を平日だけの日程だけでは仕事で参加できない人もいると思うので、難しいとは思いますが土日祝などうまく日にちの設定をしてもらえたらと思う。
- ・父親が参加できる講座なども充実させてもらえると有難いと思い。
- ・産院の少なさに驚いた。常にパンク状態なのか促進剤での出産が当たり前で産後のアフターも無く不安。

⑤子どもの健康確保

- ・小学校に入る前の健康診断をもっと多くしてほしい。
- ・医療費の支援が充実しているため、子どもの健康状態の相談がしやすい。
- ・保健師さん達が行っているサービスに対しては、とても満足している。
- ・インフルエンザの予防接種の費用を補助してほしい。

⑥子育てに関する情報発信

- ・HPでの情報検索がしづらい。健診や予防接種などのお知らせメールを利用しているが、接種済みのワクチンの入力が非常にやりにくい。入力できていないものもあり、正確な情報が入手できない。
- ・情報の発信方法。知りたい情報等もっと効率的に伝える方法を考える必要がある。子育てに手一杯で、情報をこちらから手に入れに行くのは時間的にも厳しい。
- ・学童に関しての資料が名前と場所しか記載されていない為、どのような感じなのか知る事が出来ない。

⑦子育て世帯への財政支援

- ・健康保険料が無料というのは本当にありがたいと思う。
- ・世帯収入が少ない家庭にはもっと財政支援をしてほしい。
- ・子育て用品等の支給がもっとあると良い。
- ・チャイルドシートを買う為の助成金やおむつ代の補助金等があってもいいと思う。
- ・沢山子供を産んで欲しいという考えがあるとするならば、3人以上の家庭にもっと手厚い支援を望む。

⑧子どもが地域交流できる居場所の確保

- ・地域交流の機会がありません。同じマンションや近所にどんな人が住んでいるか分からない点に不安を感じます。
- ・子育て支援センターを利用しているが、以前よりも親同士の交流の場（子育てサークルの募集など）が少なくなっている。
- ・駅前に子供、高齢者が集える施設があると良い。

⑨子どもの安全確保

- ・子供や地域の防犯対策の為、防犯カメラの設置をもっとして欲しい。
- ・住宅地区の狭い道路でも車がけっこうなスピードで通っていくため、ヒヤッとする事がある。
- ・放課後学童充実について、送迎サービスがあると助かります。
- ・子供が安全に遊べる公園、施設の充実。公園は柵を設けるなど、見守る人を常駐する。防犯カメラの設置等。24 時間体制の病院がほしい。

⑩障がいのある子どもとその家庭への支援

- ・障がいのある子の学習対策を充実させてほしい。
- ・発達障がいを持つ本人に対するサポートはあるが、兄弟児に対するサポートがなく困っている。
- ・発達障がいや不登校についての理解が学校の先生方の中でも乏しいように感じる。
- ・幼稚園に障害児理解がある所が少なすぎる。

⑪ひとり親家庭等の自立支援

- ・ひとり親家庭への支援をもう少し充実して頂きたい。子供が2人だと習い事の月謝も倍かかり生活に余裕がなく正直、続けさせられない。
- ・子どもや自分や親が病気の時、誰に頼めばいいのかわからない。
- ・ひとり親自立支援に対しての色々な対策や情報など、もっと発信して欲しい。

⑫児童虐待の防止

- ・虐待を受けている子供を素直に助けてと言える場を、その後その子どもたちが危険にさらされず明るい未来をケアする人たちや助け出す人たちにも周りの理解や一致した環境づくりを、と思うだけで何もできていない。
- ・虐待は家庭訪問を増やしたりすれば少しは減ると思うので人員確保して生活保護世帯を必頭にした方がよいと思う。
- ・虐待する親には必ず理由があると思うので、改善できる方法を一緒に考えてくれる方々が必要だと思う。

⑬不登校対策

- ・不登校の子が日中安心して過ごせる場所が各地にあると嬉しい。
- ・子供が不登校になりかけた時、「じゃあ今日は〇〇に行こう！」と気軽に行ける場所があったらとても気持ちが楽だと思う。
- ・市や県から専門的な方を派遣していただくなど、複数での対応を望む。スクールカウンセラーの対応日を増やしたり、2人以上のカウンセラーを入れてくれるといいと思う。

⑭外国人世帯への支援

- ・書類に英語の併記があればとても助かる。
- ・言語や経済や施設などの面から施策があればいいと思う。
- ・外国籍で日本語が話せない子が転入した場合のフォローも薄く、授業が遅れる。

⑮その他

- ・海老名市で子育てする事に不満を感じた事はない。
- ・海老名保育コンセルジュへの問い合わせ等丁寧にまたとても親身になって相談に乗って頂きとても感謝している。
- ・海老名市の子育て環境については現状でもおおむね満足している。
- ・全体的に子育て世代に手厚い市だと感じる。

海老名市子ども・子育て支援事業計画

平成30年度事業 実施状況報告書



令和元年5月

海老名市

事務局 | 保健福祉部 こども育成課 こども政策係

海老名市子ども・子育て支援事業計画 平成 30 年度事業 実施状況報告書

1 計画の概要

平成 27 年 3 月に「海老名市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、海老名市の実情に応じた地域の子ども・子育て支援の充実に取り組んでおります。

「社会全体で子育てを支援し、明るく元気なえびなの子どもたちを育てる」を基本理念に置き、6つの基本目標と 14 の基本施策の下に各事業を実施しております。

計画の期間は、「子ども・子育て支援法」に基づき平成 27 年度から平成 31 年度の 5 年間です。

2 計画の達成状況の点検・評価策定体制

各事業の進捗状況について、毎年度点検・評価を行っています。

（詳細は、別紙「子ども・子育て支援事業計画_平成 30 年度実施状況報告」参照。）

点検・評価の結果については、「海老名市子ども・子育て会議」の審議を経たのち、ホームページ等で公表しております。

なお、審議結果については、本報告書「4 子ども・子育て会議審議結果」をご確認ください。

3 計画の体系図

基本理念	基本目標	基本施策
社会全体で子育てを支援し、 明るく元気なえびなの子どもたちを育てる	1 新たなえびなの子育て施策	(1) 子ども・子育てに対する市民の意識醸成
		(2) 少子化対策の推進
		(3) 子どものスポーツへの支援
	2 幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進	(1) 幼児教育・保育施設の充実
		(2) 待機児童解消に向けた公立保育所のあり方
	3 地域における子育ての支援	(1) 地域における子育て支援の充実
		(2) 安全・安心な教育・保育環境の保全
		(3) 児童の健全育成の取組と推進
	4 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	(1) 母と子の健康の保持増進
		(2) 食育の推進
	5 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の推進	(1) 仕事と子育ての両立の推進
	6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の新進	(1) 児童虐待防止対策の充実
		(2) 母子家庭等の自立支援の推進
		(3) 障がい児施策の充実

4 平成 30 年度事業 実施状況報告書の要約

別紙「子ども・子育て支援事業計画_平成 30 年度実施状況報告」の各事業の実施状況を6つある基本目標ごとに要約したものです。

基本目標 1 新たなえびなの子育て施策

えびなこどもセンターの開設により、切れ目ない子育て支援を提供できる環境を整備したことは評価できる。平成 30 年度の課題を連携会議等によく検証し、今後の事業へ反映されたい。

また、年々医療費が増加していくなか、中学校修了まで所得制限なしの助成制度を維持している点は大いに評価できる。次年度への改善点でも挙げられているように、他市の動向に注視されたい。

基本目標 2 幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進

すべての保育需要に応えることは難しいと思われるが、今後も「えびな待機児童解消プラン」に基づき、必要な施設整備を実施されたい。

また、将来的な保育需要の減少と施設の老朽化を予想して「公立保育園のあり方」を策定されたことは評価できる。未就学児が減少していくなか、公立保育園の役割を果たせるよう努められたい。

基本目標 3 地域における子育ての支援

こどもが巻き込まれる悲惨な事故・事件が多いなか、保育園、幼稚園、学校の安全を確保する取り組みは重要である。こういった事故などを未然に防ぐために実施していただきたい。

地域版子育て支援センターについては市内3か所（北部・東部・南部）に設置されており、一定の機能は果たしていると思われる。えびなこどもセンターにある子育て支援センターも含め、各施設が連携を深め、利用者のニーズに応えられるよう努められたい。

基本目標 4 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

親と子の身体的・精神的な健康をサポートできるよう、乳幼児健診時の相談者への相談など、引き続き相談者に寄り添った対応を実施されたい。

基本目標 5 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

講演会や啓発活動を通じて、子育て世帯の保護者が仕事と子育てを両立するための方法を考える機会を提供している点は評価できる。各事業の成果は目に見える形では出てこないが、講演の内容や啓発のやり方など、工夫をして継続されたい。

基本目標 6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の新進

虐待通告の支援体制として、関係機関と連携し、切れ目のない支援環境を整備していることは大いに評価できる。障がいのある子どもと親へのサポートでは、インテークまでの待機時間解消のため、相談員を増員し、いつでも相談にのれるよう常駐させるなど、様々な取り組みを実施しており評価できる。

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。
評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
1 新たなえびなの子育て施策											
	1- (1) 子ども・子育てに対する市民の意識醸成										
		1- (1) -① 子ども憲章の制定	海老名市の未来を支える子どもたちを健やかに育めるよう、海老名市で暮らし・育つ子どもたちとその子育て家庭を、市民、地域全体で支える市民の意識づくり、さらには、子どもも大人もともに理解し合い、お互いがいきいきと暮らせる社会づくりに向け、「子ども憲章」を定め、その普及・啓発を図ります。	P65	こども育成課	子育て支援サイト・アプリ「HUG HUG えびな」の登録者数も1,500を超え、順調に登録者が増え続けている。 今年度からえびなこどもセンターが設置されたことに伴い、妊娠出産期・乳幼児期から義務教育、青少年期までの一貫した子育て支援を総合的に取り組む体制の整備として、「えびなこどもセンター連携会議」と4つの連携部会を設置した。 また、乳幼児の健診や予防接種などが掲載された「えびな健康だより（こども版）」を子育てガイドブックと合併し、子育て支援策の普及に努めた。	B	A	A	「HUG HUG えびな宣言」の普及・啓発に力を入れるとともに、えびなこどもセンターを柱に、わかば学園・教育支援センターの3施設が連携し、各種こども・子育て関連施策を推進する。	平成28年11月の市制45周年記念式典で宣言した「HUGHUG えびな宣言」を契機に、電子媒体を含めた様々な手法で子育て支援策を広く市民へ周知した。また、平成30年4月に設置された「えびなこどもセンター」に伴い、切れ目のない子育て支援を提供できる環境の体制を構築し、更なる子育て支援の充実を図った。
		1- (1) -② お宝一生米事業	海老名市の明日を担う“えびなっ子”誕生を海老名市全体でお祝いするため、出生届の受け付け時にお祝いの品として、海老名市産や姉妹都市である白石市のある宮城県産の米を贈呈します。	P65	こども育成課	平成27年度をもって事業廃止しております。					
		1- (1) -③ 紙おむつ支給事業	市で紙おむつを支給することで、海老名市全体で育児をサポートし、精神的にも経済的にも子育て世帯をサポートします。	P65	こども育成課	出生届提出時に3袋、4か月健康診査時に3袋の計6袋を贈呈した。 （生後4か月～6か月の間に転入した乳児には3袋を贈呈）災害時用として保管している大型備蓄倉庫では、年2回の入替作業（7月・2月）を行うことで、有事の際にできるだけ新しい紙オムツを提供できるようにしている。 配布者数 2,186名（前年比 +91名） 配付袋数 6,558袋（前年比 +273袋） 執行額 10,454,318円（前年比 +1,224,796円）	B	B	B	事業開始から5年目を迎えるため、今までの実績を検証し、関係機関とも調整したうえで事業展開を図る。	紙オムツの種類が少ないことや配布方法等に改善の余地はあるが、他市にも引けを取らない充実した内容となっており、対象者にも大変好評な事業であると感じている。平成29年度からは、災害用の備蓄としての機能を見直し、備蓄分のS・M・Lサイズの保管数を変更した。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
1-（2）少子化対策の推進											
		1-（2）-① 子ども医療費助成の継続	0歳から中学生までの市内在住の子どもを対象に、ケガや病気などで医療機関を受診した際の医療費の助成を行っています。医療機関受診時に保護者が支払う医療費のうち、保険診療の自己負担分を助成します。	P66	国保医療課	所得制限を設けず、市内在住の0歳から中学校修了までのお子様に対して通院・入院の医療費助成を行うことで、お子様の健やかな成長を助け、子育て家庭の経済的負担を軽減した。 助成対象者数 17,734名（前年比 △71名） 助成額 484,721,418円（前年比 ＋4,217,514円）	B	B	B	他市の動向を注視しつつ、引き続き市の単独事業を用いて中学校3年生までの医療費助成を実施するため、検証をしっかりと行い事業全般についての検討も進めていく。	平成23年度から対象年齢を中学3年生へと引き上げ、その後継続して実施しており、安心して子育てができるとの声が寄せられている。平成28年4月からは、医療証のサイズを携帯に便利なカード型に変更し、それまで就学児の医療証の有効期間が中学3年生までの9年間となっていたものを1年間の毎年更新とした。
		1-（2）-② 病後児保育	子育て支援センター内の専用スペース（病後児保育室（いちごルーム））で、病気の回復期にある生後8週間から小学3年生までの子どもを一時的に預かります。	P68	保育・幼稚園課	平成30年4月から、看護師1名、保育士1名の2名体制とし、1日当たりの預かり児童を2名から3名に拡大、利用される保護者の利用機会向上を図りました。 利用者数（延べ人数） 200人（前年比 ＋78人）	B	B	A	引き続き、事業の周知を図り、保護者の子育てと就労等の両立を支援します。	利用者数は、平成27年度70名から4年間で170%伸長しています。市内の保育園、小児科等にも周知が浸透してきており、一定の役割を果たすことができました。
		1-（2）-③ 病児保育	小学3年生までの市内在住の子どもを対象に、急な病気等の時に対応できるよう病院内に設けられた専用スペースで、治療中の児童を一時的に預かります。	P68	保育・幼稚園課	実施せず。	C	C	C	市内医療機関の動向を踏まえながら、医師会等関係機関と必要な調整を図ります。	病児保育には病院内のスペースを確保する等の関係機関の協力が不可欠ですが、実施体制の構築が困難だったため実施に至りませんでした。
		1-（2）-④ 不妊治療・不育症治療への助成	神奈川県が実施する「特定治療支援事業」で助成を受けた人を対象に、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）に要した保険診療外の費用の一部を助成します。また、不育症治療に要した保険給付対象外の費用の一部を助成します。	P69	こども育成課	特定不妊治療費助成金は、申請者数102人のうち、28人が妊娠届を提出され、不育症治療費助成金の申請者数は1件であった。 特定不妊治療費 申請者数 102人（前年比 ＋6人） 不育症治療費 申請者数1人（前年同様）	B	B	B	特定不妊治療費助成金については一定の効果を発揮している。特定不妊治療費に加え、一般不妊治療費に対する助成についても研究していきます。	特定不妊治療費の助成を行うことで妊娠につながる効果を発揮している。高度化する治療への助成を引き続き行い、妊娠・出産・子育てが充実する海老名市を目指します。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
1-（3）子どものスポーツへの支援											
		1-（3）-① オリンピック強化選手などへの支援	海老名市体育協会と連携し、少年少女スポーツクラブの育成、高度スポーツ誘致、また高度スポーツ誘致事業において合わせて実施している各競技別クリニックや教室を内容充実しながら継続して実施し、スポーツ競技力の向上を図るとともに、トップアスリートを輩出する環境づくりとして、日本代表選出やオリンピック強化指定を受けた選手などに、各競技大会参加に伴う遠征費用助成やスポンサー提携の斡旋など新たな支援策を整備します。	P71	文化スポーツ課	・高度スポーツ誘致事業 今年度実績なし ・各種競技別クリニックや教室 今年度実績なし ・オリンピック強化選手への助成（1件） 該当者：長崎 美柚さん 種 目：卓球 交付額：40万円	B	B	B	東京2020オリンピックに向けてオリンピック等強化指定選手に対する強化・サポート等の報奨金を交付する。	トップアスリートのパフォーマンスを間近で体感する機会および教室を設け、スポーツ技術および意識の向上を図ることができた。また、オリンピック等競技大会強化指定選手への支援策を構築し、海老名市出身の対象選手に報奨金を交付することができた。
		1-（3）-② 児童への屋内プール開放	天候に左右されずに快適な施設で安全管理のもと、夏季における小学生の健康増進・体力の向上、水泳に親しむ機会の提供と水泳競技人口の増加等を目的に、夏季休業期間中の屋内プールを小学生に無料開放します。	P71	文化スポーツ課	日 時 平成30年5月1日(火)～平成31年3月31日(日) 利用人数 14,952名(△416名) 内 訳 小学生低学年 4,459名／小学生高学年 7,085名／同伴者 3,265名／中学生 143名 ※7月1日～8月31日の2ヶ月間は、同伴者（中学生含む）も無料	B	B	B	平成31年4月1日から平成32年3月31日までの1年間を無料開放期間として、ホームページ・市広報等で周知を行い利用者の増加を図る。	天候による影響はあるが、一定の利用がされている。また、平成29年度に利用期間を拡大し、児童が一年を通して水泳に親しむ機会を提供できた。
		1-（3）-③ 部活動の充実	子どもが伸び伸びと、安全に部活動を実施できるよう、知識と経験を備えた指導者の派遣、地域社会の文化・スポーツの中心として地域活動推進に協力する部に支援するなど、生徒の心身の発達に重要な役割を担う、部活動の充実に努めます。	P72	教育支援課	・平成30年度は部活動指導員を12名、部活動支援員を41名派遣。 ・より専門的な技術指導が可能になり、教職員と共に指導にあたることで、指導体制の充実に努めています。	B	A	A	部活動指導員及び部活動支援員の拡充を図り、より一層の部活動支援を充実します。	平成30年4月1日より「海老名市部活動指導員派遣要綱」及び「海老名市部活動支援員派遣要綱」を施行し、部活動指導員及び部活動支援員体制を構築しました。
		1-（3）-④ 小学校スポーツ大会の実施	子どものスポーツに対する興味、自己記録への関心、意欲の向上を図るための小学校連合運動会を開催します。	P72	教育支援課	平成30年6月22日（金）に実施 参加児童数は市内小学校6年生1,227名	B	B	B	・競技種目に関しては、けがが起きないように安全性に十分に配慮して検討をします。	・自己の記録に対する関心を高めることができた。 ・市内6年生が一堂に会し、他校の児童と交流を深めることができた。
		1-（3）-⑤ 学校施設の開放	小中学校の運動場、体育館を休日等に開放していることを周知し、利用者を増やすとともに、夜間の照明付運動場の開放等、学校スポーツ施設の活用を図ります。	P72	教育総務課	夜間照明付運動場（市内5校で実施、534件、17,397名） 体育館（全校19校で実施、5,044件、115,707名）	B	B	B	引き続き、市民の交流の場として、学校体育施設を利用してもらえるよう周知を図る。	地域の交流活動やスポーツの振興を目的として活動をしている市民や団体が交流する場として、小中学校の運動場、体育館を休日等に開放することができた。
		1-（3）-⑥ 海老名市・白石市・登別市 少年少女スポーツ交流事業	宮城県白石市、北海道登別市は、海老名市と都市間交流事業を結んでおり、「水泳交流」や「少年野球交流」など、スポーツを通じた児童・生徒の交流を行っています。異年齢の子どもや幅広い世代との交流など、スポーツを通じて子どもの豊かな人間性・社会性を育てるため、今後も推進します。	P72	文化スポーツ課	日 時：平成30年7月28日（土）～30日（月） 訪問場所：宮城県白石市 種 目：新体操 参 加 者：えびな少年少女スポーツクラブ 23名（選手（女子）20名・指導者3名）	B	B	B	平成31年度は、姉妹都市である宮城県白石市に、ペラルーシの新体操オリンピック選手団が訪れて公開演技を行うため、えびな少年少女スポーツクラブの6年生の子どもたちを対象とし、世界トップレベルの演技の見学及び白石市との子どもたちと交流を図る予定。	スポーツ交流を通じ、仲間との協調性、自主性が養われるよい機会となっており、参加した子どもたちからも好評である。また、訪問した都市の歴史や文化に触れ、幅広い世代との交流は人間形成の育みにも繋がっている。平成30年度はオリンピック選手団との交流および高度演技を観戦し、競技種目に対する意識向上が図れた。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
2 幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進											
	2-（1） 幼児教育・保育施設の充実										
		2-（1）-① 教育・保育施設 （ア）幼稚園充実事業	幼稚園については、一定のニーズが見込まれます。市では、既存の園の施設を活用し、少しでも多くの児童が受け入れられる状況を確保できるよう取り組みます。定員を拡大する幼稚園や、地域型保育事業の連携施設として新制度の運用に積極的に取り組む幼稚園に対して運営費を助成し、待機児童解消のための環境整備を行います。	P77	保育・幼稚園課	定員数などハード面においては既存の体制のまま、低所得の方への経済的な支援（保育料の低額決定や就園奨励費補助金の交付）など、必要な支援を図りました。	B	B	B	幼児教育・保育の無償化が予定されているため、大きな制度改正が控えています。利用者の視点に立ち、必要な制度設計を図る必要があります。	当初予定していた定員拡大は実施しませんでした。施設側の定員を超える柔軟な対応により、入園希望者はおおむね希望通り施設を利用することができました。
		2-（1）-① 教育・保育施設 （イ）保育所充実事業	保育を必要とする児童の預け先として、国及び神奈川県が定める基準を満たし、就学前まで在園できる認可保育所を運営します。また、子育て家庭のニーズに応じて計画的に整備を進めていきます。整備に当たっては、新設のほか、現在の認定保育施設について、認可保育所に移行させることによって定員を確保します。	P78	保育・幼稚園課	前年4月比で、4施設（ナーサリースクールT＆Y本郷・ひなた保育園・ひよこ保育園・木下の保育園めぐみ町）を新設し、計260名の定員拡大を図りました。	B	B	B	4月時点での入所調整に際しては、保留者があ る一方で定員割れが発生する園があることか ら、施設整備に際しては、さらに地区別のニ ーズを見極め対応していきます。 また、幼児教育・保育の無償化が予定されて いるため、大きな制度改正が控えています。利 用者の視点に立ち、必要な制度設計を図る必要 があります。	当初は大幅なニーズの拡大が見込まれていたこ とから、初期の計画からは整備が遅延していま したが、実情を踏まえ改訂した「えびな待機児 童解消プラン」にはおおむね沿った整備を図る ことができました。しかしながら、海老名駅周 辺地区を中心に、まだ入所保留者が出てしまっ ており、すべての保育需要にこたえることはで きていません。
		2-（1）-① 教育・保育施設 （ウ）認定こども園充実事業	就学前の子どもの教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを合わせもっています。保護者の就労状況に関わらず、子どもの教育・保育の提供の他、子育て相談など地域での子育て支援の実施も行います。既存の幼稚園が認定こども園への移行することが見込まれます。ニーズ調査の結果から、子どもの定期的な教育・保育事業の今後の利用希望の傾向は、「低年齢の保育ニーズ・年中以上の教育ニーズ」が高くなっており、これを両立する施設である認定こども園の設置は、ある程度の需要が見込まれるものと考えられます。	P79	保育・幼稚園課	平成31年4月の1施設設置（旭たちばな幼稚園の認定こども園化）に向け、必要な準備を行いました。	B	B	B	市内で初めての設置となるため、旭たちばな幼稚園の状況を見極め、次年度以降の意向相談に応じていきます。	主に既存の幼稚園からの意向を見込んでいまし たが、移行にあたっての不安から、初期の計画 からは整備が遅延していましたが、実情を踏ま え改訂した「えびな待機児童解消プラン」には おおむね沿った整備を図ることができました。
		2-（1）-② 地域型保育事業 （ア）小規模保育事業	3歳未満の子どもを対象に、6人から19人を定員とし、家庭的な雰囲気の中で保育を実施する事業です。子ども・子育て支援制度では、市の新たな認可事業として位置づけられており、子育て家庭のニーズに応じて計画的に整備を進めていきます。	P80	保育・幼稚園課	前年4月比で、2施設（ぼとふ海老名・ぼとふ上今泉）を新設したほか、1施設（海老名キッズルーム）を定員拡大し、計44名の定員拡大を図りました。	B	B	B	認可保育所を設置できない規模の物件等でも開設が可能のため、ニーズを埋める施設として、引き続き整備を図ります。その一方で、卒園後の連携先等への不安から、希望が認可保育所を下回ることが多いため、連携先の充実について検討を図ります。	認可保育所を保管する施設として位置づけ、施設整備を進め、一定の役割を果たすことができ ました。
		2-（1）-② 地域型保育事業 （イ）家庭的保育事業	子ども・子育て支援制度では、市の新たな認可事業のひとつに位置づけられています。保育者の居宅等で、5人以下の3歳未満の子どもを家庭的な雰囲気の中で保育するものです。市の子育て家庭のニーズに応じて計画的に整備を進めていきます。	P81	保育・幼稚園課	施設の設置はありませんでした。	C	C	C	国の制度に基づき、施設の設置を計画しましたが、事業に対する制約が大きく、代替となる施設の設置も進んでいるため、全国的に普及は進んでいません。市内での整備についても慎重に対応します。	施設の設置はありませんでした。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。
評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
		2- (1) -② 地域型保育事業 (ツ) 居宅訪問型保育事業	3歳未満の乳幼児の居宅において1対1を基本とする保育を実施する事業です。保育所等では対応しきれないニーズ等、家庭の事情に応じて柔軟に利用できるため、個別的な保育を望む利用者からは評価されています。子ども・子育て支援制度では、小規模保育等と同様に、市の認可事業として位置づけられており、ニーズに応じた整備を進めます。	P81	保育・幼稚園課	施設の設置はありませんでした。	C	C	C	国の制度に基づき、施設の設置を計画しましたが、事業に対する制約が大きく、代替となる施設の設置も進んでいるため、全国的に普及は進んでいません。市内での整備についても慎重に対応します。	施設の設置はありませんでした。
		2- (1) -② 地域型保育事業 (工) 事業所内保育事業	企業が、仕事と子育ての両立を支援するため、従業員の子どもを預かり、保育することに加え、地域の3歳未満の子どもで保育を必要とする乳幼児も受け入れることができる施設として、事業所内保育事業の整備を進めます。	P82	保育・幼稚園課	施設の設置はありませんでした。	C	C	C	国の制度に基づき、施設の設置を計画しましたが、事業に対する制約が大きく、代替となる施設の設置も進んでいるため、全国的に普及は進んでいません。市内での整備についても慎重に対応します。	施設の設置はありませんでした。
		2- (1) -③ 従来型幼稚園への支援 (ア) 幼稚園就園奨励費補助 金支給事業	海老名市在住で、幼稚園に就園させている保護者を対象に、世帯の市民税課税額、対象児の兄弟の年齢・人数等を勘案し、所得制限はありますが補助金を支給します。	P83	保育・幼稚園課	新制度に移行した2園を除く市内6園のほか、市外の対象幼稚園に通園する児童に対しても、国庫補助を活用し補助しました。 平成30年度実績 1,187人（前年比 △54人）	B	B	B	平成31年10月から幼児教育無償化の開始に伴い、本制度は廃止の予定ですので適切な対応をとってまいります。	幼稚園児における入園料・保育料の一部を補助し、在園児保護者の経済的負担軽減が図られました。
		2- (1) -③ 従来型幼稚園への支援 (イ) 幼稚園就園奨励費補助 金支給事業	海老名市在住で、幼稚園に就園させている保護者を対象に、園児1人につき、保育料の一部を補助します。所得制限はありませんが、対象児の兄弟の年齢・人数等により補助金の額が異なります。	P83	保育・幼稚園課	新制度に移行した園も含め、すべての幼稚園に通う海老名市在住の児童に対し、補助しました。 平成30年度実績 2,145人（前年比 △97人）	B	B	B	平成31年10月から幼児教育無償化の開始に伴い、本制度は廃止の予定ですので適切な対応をとってまいります。	幼稚園児における入園料・保育料の一部を補助し、在園児保護者の経済的負担軽減が図られました。
	2- (2) 待機児童解消に向けた公立保育所のあり方										
		2- (2) -① 公立保育所による保育の需給 調整	民間保育所の整備に合わせた公立保育所の定員増を図ります。しかし、需要のピークが短期間であることが見込まれるため、定員増を図る保育所の施設は、基本的にリース物件による仮設園舎によるものとし、保育需要が供給量を下回り保育施設に余裕が生じる時期には、定員を減少させるなど需給調整を行い、民間保育所の経営を圧迫することがないよう運営していきます。中長期的には、保育需要はさらに減少することが見込まれるため、公立保育所の再編計画を別途策定します。この中で、地域ごとのニーズを慎重に見極めながら、既存の公立保育所においても定員の縮小を図るほか、民間保育所において地域の保育ニーズに対応できる場合は、公立保育所を廃止し、他の公立保育所に機能を統合することなどを定めていきます。	P86	保育・幼稚園課	今後も需要が見込まれる下今泉保育園については、運営の効率化を図り、保育サービスの向上を図るため、指定管理者制度を導入しました。また、その他の公立保育園について、具体的な方向性を示すため、「公立保育園のあり方」を策定し、公表しました。	B	A	A	指定管理者制度を導入した下今泉保育園においては、運営事業者が変わったことから、保護者から様々な意見をいただきました。アンケートも実施したことから、これらを踏まえ、指定管理者との協議を継続して行っており、これを次年度の保育所運営に生かしていきます。	中新田保育園の定員増（H27）、下今泉保育園の定員増（H29）、下今泉保育園の指定管理者制度導入（H30）により、保育需要の調整役を果たすとともに、運営の効率化に向け取り組みました。また、基本計画で定めた具体的な内容についても、「公立保育園のあり方」として策定しました。

別紙 子ども・子育て支援事業計画 平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A = 当該年度の想定基準以上に達成した、B = 当該年度の想定基準をおおむね達成した、C = 当該年度の想定基準を達成したとは言い難い

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
3 地域における子育ての支援											
	3-（1） 地域における子育て支援の充実										
	3-（1）-① 利用者支援事業	子ども・子育て支援新制度に伴い、今後は、市の子ども・子育て支援課担当窓口、子育て支援センターを総合窓口とし、相談する保護者がそれぞれ望む保育サービス、教育・施設等が選択できるよう、施設等の情報提供などをし、利用者支援の拡充に取り組みます。また、海老名市に住む外国籍の保護者が、市の子ども・子育て支援課担当窓口を利用しやすいよう、英語等での対応ができる職員の配置なども取り組みます。	P88	保育・幼稚園課	新たに「えびなこどもセンター」を設置し、子育てに関する相談窓口を一元化しました。	B	A	A	引き続き、えびなこどもセンターにおいて保健師・栄養士・助産師・相談員・教育委員会とも連携を図りながら、保育園・幼稚園に限らず、保護者の悩みに寄り添っていきます。	相談に対応する職員の資質向上といったソフト面に加え、総合窓口となるえびなこどもセンターの設置により、ハード面でも支援する体制を整えました。	
	3-（1）-② 地域子育て支援拠点事業	海老名市立子育て支援センター（すくすく）では、子育て中の保護者とその子ども、これから子育てを始める人を対象に、子育てを支援しています。現在、育児に関する不安や悩みの解消に役立つよう、サークル活動の場や育児情報等の提供、子育てサークルの育成、新しいサークルの立ち上げなどの支援等を行っており、今後も継続して取り組みます。	P89	子育て相談課	・2か所目となる地域版子育て支援センター（南部はぐはく広場）を設置しました。 ・地域版子育て支援センターと連携を図るための連絡会の開催により、課題の検討、イベントの共同開催などに取り組みしました。また、市の臨床心理士や保健師が月1回巡回して、専門の相談に対応しました。 ・親子プレイルームの開催時間を延長したり、駅前の商業施設を会場にして移動サロンを開催するなど、利用者のニーズに対応した柔軟な事業の運営を心がけました。	B	B	B	・3か所目となる北部はぐはく広場が開所するため、子育て支援センターとの連携の在り方を検討していきます。 ・利用者の意見を取り入れ、子育て支援センターの開所時間の拡大（昼休みの廃止）を行います。 ・子育て支援センターやはぐはく広場からも遠隔の地域においては、移動サロンを増回するなど対応してまいります。	27、28年度は子育て支援センター既存事業の拡大などにより、充実を図ってまいりました。 29年度からは、地域版子育て支援センターの設置など、より身近な場所できめ細かい支援が受けられる環境づくりを強化するとともに、連絡会を設置し、子育て支援センターとの情報交換や課題検討の場をとし、臨床心理士や保健師を巡回相談に派遣するなど、地域や関係機関をつなげる子育て支援のネットワークの構築を進めてまいりました。	
	3-（1）-③ 妊婦健康診査実施事業	基本目標4「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」の（1）「母と子の健康の保持増進」の①「妊婦健康診査」参照									
	3-（1）-④ 乳児家庭全戸訪問事業	基本目標4「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」の（1）「母と子の健康の保持増進」の③「妊産婦・新生児訪問指導」参照									
	3-（1）-⑤ 養育支援訪問事業	基本目標6「要保護児童への対応などきめやかな取組の推進」の（1）「児童虐待防止対策の充実」の②「養育支援訪問事業」参照									
	3-（1）-⑥ 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	見守りが必要な児童について、市のほか、警察や学校などの関係機関が連携し、ケース会議や訪問・面接を行う事業です。「子どもを守るネットワーク協議会」を設置して、要保護児童対策調整機関の職員や地域ネットワークを構成する関係機関等と連携を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応に努めています。	P91 P113	子育て相談課	①要保護児童対策地域協議会：代表者会議1回、就学前実務者会議6回、就学児実務者会議2回、児童相談所との実務者会議12回開催した。 ②市内全小学校へポケットティッシュ配布により児童虐待防止のPRをした。 ③虐待を発見した時の流れを各機関職員全員に理解してもらう為、自作の紙芝居を作成後、市内全中学校・放課後7'4ア・サ・ヒズ等事業所・新設保育園を巡回しPRに努めた。（紙芝居の巡回回数24回）	B	B	B	虐待を発見した時の流れを各機関職員全員に理解してもらう為、紙芝居を使用し、市内学童保育園団体を巡回しPRに努める。	平成27,28年度はリーフレットを幼稚園、保育園、小中学校へ、平成29、30年度はポケットティッシュを市内小学校へ配布し、児童虐待防止のPRをすることができた。 また、保育園、小学校等の関係機関に紙芝居を実施することにより、児童虐待対応への理解を深めることができました。	
	3-（1）-⑦ 子育て短期支援事業	保護者の疾病、仕事等により、家庭での子どもの養育が一時的に困難となった子どもを対象に、児童養護施設等で一定期間、養育・保護します。市の広報紙等で周知に努め、利用を促進します。	P92	保育・幼稚園課	利用相談はありませんでした。	B	B	B	市内に施設がないため、利用相談がある場合には、関係機関と連携し取り組みます。	利用相談はありませんでした。	

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。
評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとは言い難い

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
		3- (1) -㉔ ファミリー・サポート・セン ター事業	預かる側の援助会員、サービスを利用する側の利用会員がともに地 域住民同士であり、お互いを支援・援助するシステムです。今後も 、保育所の送迎等のほか、急な残業や緊急時等における子どもの 一時的な預かりなどにも対応できるよう、会員間で行う援助活動の 調整等を行っています。また、今後の子育て支援の充実に向け、 市では、会員条件、登録制度等についての情報提供を強化し、事業 の充実に努めます。	P94	子育て相談課	・援助会員を募集するためのチラシを市内のあらゆる公共施設や参加者 の多く見込まれるイベントなどで配布して、周知に努めました。 ・援助のコーディネートにおいては、利用者の状況を十分勘案して、最 適な援助会員をマッチングすることで、継続した援助が提供できるよう 努めました。 利用者数 1,068人（前年比 +79人） 援助会員数 114人（前年比 △12人） 両方会員数 52人（前年比 +4人）	B	B	B	利用会員に比べて援助会員の登録者数が少な く、地域によっては、利用会員のニーズに応え きれない場合もあるため、引き続き援助会員の 周知を強化します。	保育園、学童への送迎や預かりのほか、幼児教室や体 操教室、ハレエなどをはじめとした習い事の送迎など の援助が増加傾向にあるなど、保護者の多様化する ニーズに応えてまいりました。 会員同士をマッチングする際には、援助を「受け る」、「提供する」だけの関係だけでなく、地域の中 での助け合いという観点で、支援関係を維持できるよ う、お住まいの地域や家庭状況を勘案しコーディネ ートをしてまいりました。
		3- (1) -㉕ 一時預かり事業	「幼稚園の在園児を対象とした一時預かり」とは、保護者の要望等 により、保育時間終了後も引き続き子どもを預かり、延長保育を行 う事業です。「保育所における一時預かり」とは、保護者が、就労 や病気、出産のほか、リフレッシュなどで、一時的に家庭での保育 が困難な時に、保育所等で乳幼児を預かる事業です。	P96～97	保育・幼稚園課	(幼稚園)長時間預かりの単価が加算されました。利用者数・利用時間も 増加傾向です。(市内2園、市外6園) (保育園)前年度よりも一時預かり、緊急一時預かり共に利用者数が減少 しました。保育園数が増加したことにより、一時預かりを利用して就労 していた保護者が減少したと考えられます。	B	B	B	(幼稚園)幼児教育無償化の開始に伴い、適切な対 応を行います。 (保育園)来年度以降も継続して事業を実施しま す。	各家庭のニーズに合った保育のサービスが提供 できるよう体制を支援しました。
		3- (1) -㉖ 延長保育事業	保護者のニーズ等から、一定の利用希望者が見込まれるため、引き 続き各保育所で延長保育事業を継続して取り組めるよう、海老名市 では支援します。	P98	保育・幼稚園課	平成29年度に引き続き、保護者の就労形態に合わせ、基本の利用時間帯 以外での保育を実施しました。実施園が増加したことにより、利用者数 も増加しました。 利用者数（延べ人数） 66,432人（前年比 19,465人）	B	B	B	引き続き各保育所で延長保育事業を継続して実 施できるよう支援していきます。	延長保育事業の需要は伸び続けており、各家庭 のニーズに合った保育のサービスが提供できる よう体制を支援しました。
		3- (1) -㉗ 病児保育事業	基本目標1「新たなえびなの子育て施策」の（2）「少子化対策の推進」の③「病児保育」参照								
		3- (1) -㉘ 放課後児童クラブ（放課後児 童健全育成事業）	基本目標3「地域における子育ての支援」の（3）「児童の健全育成の取組と推進」の④「放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）」参照								
		3- (1) -㉙ 実費徴収に係る補足給付を行 う事業	保護者の世帯所得の状況等から、特定教育・保育施設等に対して保 護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品 の購入に要する費用の一部を助成します。世帯所得や補助要件など を設定し、助成します。	P99	保育・幼稚園課	平成29年度に引き続き、対象世帯に対し、保護者が支払うべき日用品、 文房具及び保育に必要な物品の購入にかかる費用の一部を助成しまし た。	B	B	B	来年度以降も、対象世帯が円滑に保育の利用が 行えるよう、継続して事業を実施します。	保護者の世帯所得の状況等から、特定教育・保 育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、 文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入 に要する費用の一部を助成し、保護者の経済的 負担軽減が図られました。
		3- (1) -㉚ 多様な主体が本制度に参入す ることを促進するための事業	民間事業者の参入の促進に関する調査研究を行い、その他多様な事 業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置、運営を促進し ます。保育施設等の事業を希望するが土地等に課題のある事業者な どの相談等に対応し、情報の提供などを行い、新規事業者参入促進 に努めます。待機児童が解消されるまで保育所誘致を進め、基準を 満たした民間事業者には、保育所設置認可を行います。	P100	保育・幼稚園課	保育所の設置を希望する事業者・地権者からの相談に応じ、平成30年度 中に認可保育所1園、認定こども園1園について着工しました。	B	B	B	引き続き、事業者及び地権者からの相談に対応 します。なお、特定の地区に保育需要が集中し ているため、地区ごとの保育ニーズを随時捕捉 します。	保育需要が増加するなか、待機児童の解消に向 け、今後も継続して事業者及び地権者からの相 談に対応します。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
3- (2) 安全・安心な教育・保育環境の保全											
		3- (2) -① 安全監視員配置	市内すべての保育所、小学校の通学路等で登下校時に、安全監視員を配置し、子どもの安全に努めています。子どもたちが事故等に巻き込まれないよう通学路周辺等を確認し、子どもたちへの注意等も含めた指導を行い、子どもたちの安全に努めます。	P101	保育・幼稚園課	各公立保育園に3名の安全監視員を配置して、送迎時の安全を監視している。平成30年4月から指定管理制度を導入した下今泉保育園も引き続き3名の監視員を配置している。	B	B	B	31年度も園児の安全を確保するために引き続き配置をしていく。 民間保育所については安全監視員の配置に対し、交付し配置しやすくなるように努めています。	在園児の安全を確保できた。また、安全監視以外での業務でも園に貢献できており、今後も継続して配置をしていきたい。
		3- (2) -② 安全・安心子どもバトロール	低年齢の子どもは、特に事故防止策が重要となります。子どもたちが安心して過ごせる環境となるよう、警察官OB等が市内の幼稚園・保育所などを巡回し、子どもの安全確保に取り組んでいます。	P101	保育・幼稚園課	平成30年度も継続して実施いたしました。 2人体制で市内全域のバトロールを毎日行っており、安全確保に努めております。また、「安心安全バトロール実施中」というマグネットを貼り、周囲への周知を行っております。	B	B	B	成果が見えにくい事業だが、来年度以降も継続していき海老名市内の園の安全確保に努めていく。また、バトロールを実施していることをマグネット等で周知します。	不審者情報がある場合は、現地に急行するなどの対応をし安全安心に努めてきました。成果がないことが安全の成果だと考えています。今後も継続していきます。
		3- (2) -③ 学校安全の確保	通学路安全バトロールの実施、小学校への安全監視員の配置など、子どもたちの登下校時や学校生活において子どもの安全確保となるよう努めています。更なる充実を図るとともに、保護者への安全意識の啓発を図ります。	P101	就学支援課	市内小学校の通学路に対して、1年生の下校時刻に合わせて通学路巡回員（計6名）がバトロールを実施し、下校時の児童の安全確保に努めた。また、小学校に3名ずつ（計39名）学校安全監視員を配置し、校門付近の立哨及び学校敷地内の巡回を行い、小学校の安全確保に努めた。通学路の現状を把握するため、市内小学校全13校の基幹通学路上のブロック等での現況調査を実施した。調査結果は、該当の小学校に情報提供し、学校においては、必要に応じて、通学路を点検し通学路の変更や児童に対する登下校指導を行うこととした。	B	A	B	児童・生徒の安全確保を図るため、今後も継続して実施。また、下校時の安全確保の更なる強化を図るため、青バト車を1台増やして3台とし、市内を北部、中部、南部の3ブロックに分けて小学校通学路を巡回バトロールする。	市内小学校の通学路に対して、1年生の下校時刻に合わせて通学路巡回員がバトロールを実施し、下校時の児童の安全確保に努めた。また、小学校に3名ずつ学校安全監視員を配置し、校門付近の立哨及び学校敷地内の巡回を行い、小学校の安全確保に努めた。平成30年度には通学路の現状を把握するため、市内小学校全13校の基幹通学路上のブロック等での現況調査を実施した。調査結果は、該当の小学校に情報提供し、必要に応じて、通学路の変更や児童に対する登下校指導を行うこととした。上記事業により児童生徒の安全確保の充実が図られた。
3- (3) 児童の健全育成の取組と推進											
		3- (3) -① 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）	市内すべての小学校区内で学童保育が運営されています。保護者のニーズや学童保育団体の状況等を適宜把握しながら、見込まれる需要をカバーできるようその都度必要な対応を行っています。	P105	学び支援課	・事業者への運営補助による支援 ・就学援助世帯の保護者を対象とした保育料補助を実施 学童保育の登録者数 1,381人（前年比＋271人） 学童保育の施設数 47施設 保育料補助件数 155件（前年比＋13件） 補助額 18,746,602円（前年比＋2,792,398円）	B	B	B	・条例基準未適合クラブに対する支援 ・学童利用児童の増加に対する対応	「海老名市学童保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の施行や、学童保育事業者への運営費補助金の基準引き上げにより、市内学童保育クラブ（民設民営）の環境改善を図った。また、保護者会や個人であった学童保育クラブの運営主体を、法人化するよう促進し運営の安定を図った。
		3- (3) -② 放課後子ども教室（あそびっ子クラブ）	市内すべての小学校で開設していますが、学校だけでなく地域の様々な大人も深く関わっている事業であることから、市教育委員会の教育基本構想である「えびなっ子しあわせプラン」において推進する「学校・家庭・地域がともにつくる海老名型コミュニティスクール（おらが学校）」の一環として位置づけ、地域とのつながりを基盤とした学校ごとの包括的な事業形態による実施を進めています。この事業の一部として、放課後に子どもたちの学習を支援する「まなびっ子クラブ」をあそびっ子クラブと同時期に実施し、放課後の過ごし方のさらなる充実を図っています。また、地域の大人が見守ることで子供たちが安全・安心に遊べる環境を引き続き安定的に確保するとともに、工作指導やスポーツ指導員の派遣をはじめとして子どもたちが様々な遊びを体験できるよう、活動内容の充実に取り組んでいます。	P106	学び支援課	・各小学校ごとに設置する「学校応援団」の取り組みとしてあそびっ子クラブ、まなびっ子クラブを実施。 あそびっ子クラブ 参加人数 60,128人（延べ人数） まなびっ子クラブ 参加人数 5,468人（延べ人数）	B	B	B	・子どもが安心して放課後を過ごせる場のさらなる充実を図る。	市内全校で「あそびっ子クラブ」「まなびっ子クラブ」を実施することができた。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
4 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進											
	4- (1) 母と子の健康の保持増進										
		4- (1) -① 妊婦健康診査	安心して出産ができるよう、妊婦の健康管理とともに、新生児の疾病や異常の早期発見の機会となるよう、妊婦健康診査を実施しています。神奈川県産婦人科医会に委託し、県内の産科等医療機関を妊婦が受診、健診を受けた際の費用の一部を補助します。	P108	こども育成課	神奈川県産婦人科医会と14回分補助することで契約締結し、妊婦の受診・健診の際の費用補助を行った。また、補助券を使用できない医療機関等に受診した際には、後日申請があれば償還払いを行っている。 受診件数 12,618件（前年比＋374件）	B	B	B	受診件数は年度によりばらつきがあるが、妊婦歯科健診を開始したことにより、今まで以上に安心して妊婦・出産できる環境づくりが実現できた。次年度も引き続き費用助成を行い支援していきます。	妊婦期の支援については、従来の妊婦健康診査に加え妊婦歯科健診を実施することで支援の幅が広がった。
		4- (1) -② 乳幼児健康診査	子どもの病気や発育・発達の違いなど、健康状態を定期的に確認するものです。対象となる子どもが、4か月、8か月、1歳6か月、2歳、3歳6か月の時期に、乳幼児健康診査を行っています。歯科健診については、対象となる子どもが、1歳6か月、2歳の時期に実施しています。乳幼児健康診査では、子どもの健康のほか、育児に関する相談等も行っており、母子の心身の健康の増進を図っています。	P108	こども育成課	各健診で発達・発育の確認と育児支援の実施と育児に関する相談を行った。 4か月健診の受診者 1,065人（前年比＋61人） 8か月健診の受診者 1,055人（前年比＋156人） 1歳6か月歯科健診の受診者 989人（前年比△102人） 2歳歯科健診の受診者 1,037人（前年比△1人） 3歳6か月健診の受診者 1,099人（前年比△9人）	B	B	B	各健診における受診率は例年並みであった。昨今では育児面で何らかの不安を抱える親子へのフォローが重要な状況にあるので、各種相談に対応できるよう専門職を増員し、体制を整備します。また、受診者の利便性を考慮して、平成31年度より、1歳6か月児歯科健康診査を個別受診に移行する。	評価対象期間に関係を築いた医療機関を含め、連携を強化して事業に取り組んだ。
		4- (1) -③ 妊産婦・新生児訪問指導	市の保健師、栄養士からのアドバイス等を希望する妊産婦と新生児、乳幼児とその保護者を対象に訪問指導を行っています。親子の健康や子どもの発育、育児に関することなどの相談に対し、アドバイス等を行うとともに、健康診査の事後指導も行っています。また、新生児については、保健師及び委託した助産師や主任児童委員が、全てのお宅を回る訪問も実施しており、母子の健康増進に向け、訪問指導を継続して取り組みます。	P108	こども育成課	助産師、保健師、主任児童委員にて訪問を行い育児支援を行った。 訪問件数（延べ件数） 1,141件（前年比△41件）	B	B	B	海老名駅周辺の整備充実により、子育て世代の増加も見込まれるため、訪問に対する取り組みを強化しつつ、非常勤助産師の働きやすい雇用形態について検討する。	ハイリスクな妊産婦及び新生児のケース対応の必要性がある中で、専門職の増員を含めた体制を整備した。
		4- (1) -④ 地域育児相談	子育て支援のひとつとして、育児に関する親と子の心身の健康、子どもの発育・発達面での相談などを実施しており、子育てなどの情報交換の場、地域での仲間づくりの場などの機会になっています。	P108	こども育成課	保健師、助産師、栄養士で育児相談実施。健診後フォローしたい児童は地域育児相談に来てもらえるようにお誘いし発達・発育面のフォローを行った。子育ての情報交換や仲間作りの場にもなっていた。 実施回数 12回（前年同様） 実人数 311人（前年比＋38人） 延べ件数 1,164件（前年比＋43件）	B	B	B	平成31年度より、こども育成課で実施していた「育児相談」と子育て相談課で実施していた「年齢別サロン」を統合し、年齢別サロンの中で子どもの身体測定や育児相談ができるような体制を整備する。	子育て世代の求めるニーズに応えるよう、事業統合を含め、より一層気軽に相談ができ、子育ての情報交換や仲間づくりができる環境を整えた。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
4-（2）食育の推進											
		4-（2）-① 離乳食講習会	離乳食は、乳児が幼児の食事形態に移行する準備段階にあたり、この時期に食生活の基礎が育まれます。幼児期にみられる偏食の予防にもつながります。赤ちゃんの発育や発達に合わせ、離乳食をはじめめるタイミング、つくり方や量、味付けなど、具体的な進め方を学び、調理の実演を通して、講習会参加者にアドバイスを行っています。	P110	こども育成課	望ましい食習慣を獲得するために、2回食・3回食の各期に分け、それぞれの期に合った形態、進め方、注意点等の知識を普及しています。また、保護者への試食を通して、味つけや固さ、大きさなどを体験してもらえるように工夫しています。 開催回数 18回（前年比 +1回） 参加者数 492人（前年比 +11人）	B	B	B	参加する保護者が集中して受講できるような事業形態（託児の実施など）に変更して実施していく中で混乱のないように検証を重ねながら実施していきます。	望ましい食習慣を獲得するために2回食・3回食の各期に分け、各々の時期に合った形態に変化させながら実施してきました。
		4-（2）-② 両親教室	妊娠から出産にかけては、食生活を含めた健康管理が重要となります。母親が丈夫な赤ちゃんを産み、生まれた子どもが健やかに育つための食事、さらには、家族が生涯、健康であるための食生活と健康管理を支援するため、両親教室を継続していきます。	P110	こども育成課	食生活、歯の衛生、妊娠中の過ごし方、出産後の育児など妊娠から出産・育児について子どもが健やかに生まれ、育つための知識の普及をします。また、実技を通して育児をするという実感を持てるように工夫しております。 開催回数 6回（前年同様） 参加者数 381人（前年比 △19人）	B	B	B	両親教室の主旨を参加者に理解してもらうための事業展開を心がけます。また、より多くの参加者を募集できる内容を研究していきます。	妊娠後にはじめて参加する教室として事業内容も検証を重ねながら展開してきました。平成30年度には、妊婦歯科健診を新設するなど、妊婦に関するサービスの情報提供も行いながら実施してきました。
		4-（2）-③ 幼児むし歯予防教室	乳幼児期は、基本的な歯の健康づくりに身に付ける重要な時期となります。生涯にわたって歯の健康が身に付くよう、歯磨き指導を通して、幼児の虫歯予防や望ましい食事、おやつとの与え方について学び、健全な発育が図れるよう取り組みます。	P110	こども育成課	歯科医師と歯科衛生士による、むし歯の原因や予防、歯磨きの仕方やポイントについてのお話と、普段使っている歯ブラシを持参してもらい、歯磨き実地指導を行っています。 開催回数 6回（前年同様） 参加者数 169人（前年比 △50人）	B	B	B	平成31年度からは、1歳6か月児歯科健診が個別受診となるため、えびなこどもセンターで実施するむし歯予防に関する教室としての大切な位置づけであることを認識して事業展開します。	むし歯予防や歯みがきポイントなど、歯ブラシを持参しての実地指導を歯科衛生士から効果的に実施しました。
		4-（2）-④ 私立幼稚園給食運営事業	幼稚園での食育の充実に向け、学校給食等を調理している海老名市食の創造館から市内幼稚園に給食を提供し、食育を実施するとともに、園児の健康管理を図り、学校給食に慣れる機会をつくります。	P110	保育・幼稚園課	H30年度は5園の実施をしました。 日進幼稚園、海老名幼稚園、有鹿幼稚園、海老名みなみ幼稚園、慶泉幼稚園にて給食提供しました。 実施回数 75回（前年比 +9回）	B	B	B	本年度実施した園にあっては、円滑に給食を提供し、子どもたちにも喜んでもらっているため、同様に取り組んでいきます。	食缶での配膳給食を実施することで、温かい給食、汁物のある給食を提供することができ、園児の食べる意欲を高めるなど食育としての効果があったものと思われます。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。
評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
5 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランスの推進）											
	5-（1）仕事と子育ての両立の推進										
		5-（1）-① 両立支援の情報の広報等	子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援するため、育児・介護休業制度等も含めた関係法制度等の広報・啓発、情報提供等を行います。	P111	市民相談課	仕事と育児等を両立するため、ワーク・ライフ・バランス講座を開催してタイムマネジメントについて学び、参加者自身のライフスタイルを見直すきっかけとなった。	B	B	B	仕事と子育てを両立させ、男女ともに働きやすい環境づくりを啓発する講座や講演会、啓発活動を実施し、PRを工夫しながらできるだけ多くの方に参加してもらえようとする。	子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援するため、エンパワメント講座やワーク・ライフ・バランス講座、講演会や啓発活動を開催した。一人ひとりが望む生き方をするため、参加者に自らの仕事と生活の調和の在り方について考えてもらう機会を提供した。
		5-（1）-② 「かながわ子育て応援団」の 推奨	「かながわ子育て応援団」は、神奈川県子ども・子育て支援推進条例に定められたもので、県が定める基準を満たし、仕事と子育ての両立に取り組む事業者に対して、「認証」する制度で、この取り組みを市内の事業者へ推奨します。	P111	市民相談課	毎年、男女共同参画協議会委員と、女性の活躍を推進している事業所を視察したが、今年度の視察先は認証未取得の事業所であったため、認証制度について啓発を実施した。	B	B	B	市内では「かながわ子育て応援団」の認証を受けている事業所は少ないため、認証制度や取得事業所の取り組み等について周知を行う。	「かながわ子育て応援団」の認証の知名度が低いため、男女が共に働きやすい職場環境整備のために優れた取り組みをする市内事業所に対してこの認証取得制度を周知した。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
6 要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進											
	6-（1）児童虐待防止対策の充実										
		6-（1）-① 子ども相談窓口の充実事業	親または親に代わる保護者による子どもへの身体的、精神的等の虐待は、子どもの心身の成長、人格の形成に重大な影響を与えます。子どもの人権侵害にあたる児童虐待を早期に防ぐため、相談員2名を配置し、子どもの相談窓口の充実を図ります。	P113	子育て相談課	①虐待通告等により子ども相談員3名、心理専門支援員1名および職員2名は、虐待の通告を受けた場合、48時間以内に子どもの安全確認をし、面接・家庭訪問を行い、関係機関と連携をし、子どもの安全確認、育成に努めた。 ②子育て講座「NP」講座を6回、「ケアー」講座を2回、「BP」講座を3回実施したことにより子育ての悩み等の解消に努めた。（NP講座参加者数9名、ケアー講座参加人数37名、BP講座参加人数38名、計84名） ③子育て相談課とえびりーぶの情報交換会を3回実施し、教育委員会との連携を図った。	A	A	A	①子育て講座「NP講座」、「ケアー講座」及び「BP講座」について、引き続き実施していく。 ②子育て相談課とえびりーぶでの情報交換等を引き続き行い、教育委員会との連携をさらに深める。	子育て講座を実施し、子どもへのより良い接し方を学ぶことにより、子育ての悩み等が解消され、児童虐待の予防を図ることができました。
		6-（1）-② 養育支援訪問事業	児童虐待の予防のため平成24年度から開始しています。育児支援が必要な家庭に保健師等が定期的に訪問し、子どもへの育児状況等を把握し、子どもの保護者であった支援を検討し、実施するものです。	P113	子育て相談課	15件の家庭が利用し、家事支援員・保育士・看護師・保健師を派遣している。養育状況を把握し家庭にあった支援を検討し実施しています。	B	B	B	養育状況等を把握し、子どもの保護者への支援を、継続して取り組みます。	養育支援訪問を実施し、家事支援員、保育士、看護師等の職員を派遣することにより、保護者への支援を行い、児童虐待予防を図りました。
	6-（2）母子家庭等の自立支援の推進										
		6-（2）-① ひとり親家庭等医療費助成事業	18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭（母子家庭、父子家庭、養育者家庭、父または母に一定の障害のある家庭）を対象に、保険診療の自己負担分の医療費を助成しています。ひとり親家庭の生活の安定と自立を支援します。	P114	国保医療課	保険診療の自己負担分の医療費を助成し、ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進を図った。 対象者数 1,874名（前年比＋21名） 助成額 60,344,305円（前年比＋1,168,764円）	B	B	B	ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進のため、今後も引き続き取り組んでいく。	神奈川県補助事業として、海老名市も含め県内市町村が同一基準で実施している。 ひとり親家庭における健康の保持と福祉の増進に寄与し、経済的負担の軽減を図った。
		6-（2）-② 児童扶養手当	18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭を対象に、ひとり親家庭の生活の安定や自立を支援するため手当を支給します。所得等に制限があり、支給者等の前年所得が限度額以上である場合には支給されない等の制限があります。	P114	国保医療課	児童扶養手当受給者に対し、3回（4月、8月、12月）手当を支給した。 第1子 10,030円～42,500円 第2子 5,020円～10,030円 第3子以降 3,010円～5,990円 受給者数 697人（前年比△28人） 支給額 348,793,360円（前年比△10,813,040円）	B	B	B	生活費をやりくりしやすくするため、次年度11月から、支払い回数を年4回から年6回に変更する。ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、今後とも継続して取り組んでいく。	ひとり親家庭等の自立を支援するとともに生活の安定を図るため、法令に基づき実施した。 現況届については、H29年度から一部受給者の郵送提出を開始、H30年度には受給者のプライバシーを保ちつつ利便性を図るため、受付会場を7F会議室から1F総合窓口へ変更して対応した。
		6-（2）-③ 相談窓口の設置	ひとり親家庭で子を養育する母親は、悩みを抱えやすい状況にあります。ひとりて悩みを抱え込まないよう、母子・父子自立支援員等を配置した相談窓口業務を行っています。相談等への対応、自立に必要な情報提供等を行い、相談窓口の充実を図ります。	P115	こども育成課	ひとり親家庭の様々な相談に応じ、職業能力の向上や求職活動に関する情報提供など、自立に必要な支援を行った。 今年度より、「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」を新たに始め、高等学校卒業程度認定試験を目指すひとり親家庭へ民間事業者等が実施する対象講座の受講費の一部を助成した。また、ひとり親家庭へ向けた支援情報を一冊にまとめた冊子を新たに作成した。 相談件数 1,354件（前年比△238件）	B	B	B	必要な情報提供を行うとともに、関連機関と連携しながら包括的に支援を行う。	ひとり親家庭の親や子がより良い条件で就職し、自立や生活の安定を図ることを目的に、平成30年度に「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」を新たに始めた。また、相談内容が年々複雑化するなか、少しでも支援策をわかりやすくするため、ひとり親家庭へ向けた支援情報を一冊にまとめた冊子を同年度に作成した。

別紙 子ども・子育て支援事業計画_平成30年度実施状況報告

担当課評価 A・B・Cを評価指数とする。

評価基準 A＝当該年度の想定基準以上に達成した、B＝当該年度の想定基準をおおむね達成した、C＝当該年度の想定基準を達成したとはいえない

基本 目標	基本 施策	事業名	具体的な取組	事業計画 掲載ページ	担当課名	平成30年度の実施状況	担当課評価 (H29年)	担当課評価 (H30年)	担当課評価 (4か年度)	次年度へ向けた改善点等	4か年度評価 (平成27～30年度)
6-（3） 障がい児施策の充実											
		6-（3）-① 療育相談の推進	健康診査等の結果により、発達の違いや心身の発達に何らかの問題がみられる子どもの療育相談を、わかば学園にて行っています。発達に心配のある子どもとその家族が、安心して地域生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関連機関と連携しながら相談に応じます。	P116	障がい福祉課	わかば学園に臨床心理士等の専門職員を配置し、乳幼児健診などで、発達につまづきを指摘されたお子さんに対し、初回相談(インテーク)により発達特性や療育の必要性を見極め、その後の療育に繋げる、いわば療育の入り口としての相談事業を実施している。	B	B	B	インテーク相談の待機解消のため、次年度から新規事業として「親と子の相談支援事業」を実施予定。専門の相談員を常駐することにより、待機解消を図る。	療育の認知度が高まり、非常に需要のある相談事業であると感じられる。発達につまづきを指摘されたお子さんに対する初回相談（インテーク）までの待機期間が長くなってしまいう傾向があり、平成29年度から、相談員を増員した。
		6-（3）-② 通園療育の推進	海老名市では、年齢前及び年齢期の心身障がい児に対して、基本的な生活訓練や機能訓練等をわかば学園にて実施することで心身の成長、発達の促進を図ります（児童福祉法による障がい児通所支援）。	P116	障がい福祉課	児童発達支援センター（わかば学園）において、年4回、市の障がい相談窓口「K.T.S.」相談員が相談会をカウンセリングを実施。この他に、ペアレントトレーニングを実施するなど、より専門性の高い支援を提供している。	B	B	B	海老名市障がい児通所支援事業所等連絡会の充実させ、個別ケースの支援検討や、課題の共有を図り、市内通所支援事業所の療育の質を高めていく。	近年、療育の民間事業所が増えるなか、平成27年9月に児童発達支援センター機能を付加したわかば学園を中心に、市内の障がい児通所支援事業所連絡会を実施し、個別ケースの事例研究や課題、情報共有の機会が充実してきている。
		6-（3）-③ 総合保育の推進	市内幼稚園、保育所に通う発達に心配のある子どもに適切な対応ができるように、わかば学園から臨床心理士等の専門家を派遣し、保育士及び幼稚園教諭に適切な療育のための指導・助言を行い、総合保育の推進を図ります。	P116	障がい福祉課	通園療育と、幼稚園・保育園などを併用するお子さんが増え、統合保育が進んできた。こうしたお子さんの集団適応を促し、地域生活を送りやすくするため、関係機関からの要請に応じて広く相談助言を行っている。	B	B	B	引き続き、専任の相談員を設置し、地域での適応やサービス利用の支援をの充実を図る。	障がいの早期発見から療育支援に繋ぐ役割を果たしていると感じられる。引き続き、個々に応じた支援体制の確保と成長段階に応じた関係機関との連携を図ることが必要である。
		6-（3）-④ 特別支援教育の充実	市内全小学校・中学校に補助指導員を配置し、対象の子どもに応じた介助員の配置等を行っています。特別な支援を必要とする児童・生徒が、安心して充実した学校生活を送れるよう、支援体制の整備・充実を図ります。	P116	教育支援課	補助指導員を市内小中学校に1名ずつ配置。 介助員は児童生徒の状況等を勘案し48名配置。 看護介助員は6名配置。	B	B	B	対象児童・生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるよう、より一層の支援体制の整備・充実を図ります。	支援を必要とする児童・生徒数の増や教育現場のニーズに応じ、介助員を増員しました。
		6-（3）-⑤ 特別支援教育の就学奨励	特別支援学校、小学校・中学校の特別支援学級等に在席する児童・生徒の保護者が負担する教育関係経費を、家庭の経済状況等に応じて補助を行っています。対象となる経費は、通学費、給食費、教科書費、学用品費、修学旅行費などです。国の基準に基づいた認定・給付を行います。	P116	教育支援課	小学校 289件 2,382,302円 中学校 133件 617,115円	B	B	B	現行と同じ (国の規率に基づき実施)	国の基準に基づいた認定・給付を行いました。

1 教育・保育及び地域子育て支援事業・サービス等のニーズ量、確保策の検証

- ①教育・保育施設については、第1期計画策定に伴うニーズ調査に基づき量の見込みを決定したが、実績値との乖離が生じたため、平成29年度中に「えびな待機児童解消プラン」を改訂した。病後児保育はこの4年間で利用者数が170%増しており、需要に応えられるよう、受け入れ態勢を強化し、保護者の利便性向上を図った。
- ②北部・東部・南部に地域版子育て支援センターをそれぞれ開設し、子育て中の親子の交流を促進した。ファミサポ事業においては、多様化する保護者のニーズに柔軟に対応し、最適な援助会員をマッチングするよう努めた。
- ③妊婦健診の受診者数は年度によりばらつきはあるが、平成31年度からは1歳6か月健診（歯科）を個別健診化し、保護者の利便性向上を図った。
- ④養育支援訪問事業は、例年20名前後の家庭が利用しており、家事支援員や保育士などを派遣して支援している。

2 事業実施状況からの課題整理

事業を所管する担当課評価（4か年度）

A	B	C
6件	46件	4件
10.7%	82.1%	7.2%

A＝想定基準以上に達成した
B＝想定基準を概ね達成した
C＝想定基準を達成したとは言い難い

C評価の4件については、全国的にも普及が進んでいない事業である。市内での整備は慎重に対応する。

3 ニーズ調査結果を踏まえた課題整理

ポートフォリオ分析からみた、重点課題（タイプD）の整理

- ・学童保育の充実
 - ・子育て世帯への財政支援
 - ・子どもの安全確保
 - ・児童虐待の防止
- 重要度は高いが、満足度が低い
満足度を上げるような取り組みを実施されたい

ポートフォリオ分析からみた、継続推進（タイプA）の整理

- ・教育・保育施設の充実と質の向上
 - ・保育サービスの充実
 - ・子どもの健康確保
- 重要度・満足度ともに高い
水準を下げないように、継続的に実施されたい

4 第1期子ども・子育て支援事業計画の体系ごとの課題整理

基本目標：（1）新たなえびなの子育て施策

平成28年11月に宣言した「HUGHUGえびな宣言」を契機に、電子媒体を含めた様々な手法で市民の意識醸成に向けた取組を実施した。病児・病後児保育については、子どもが病気やケガで親が仕事を休んだ方の約3割が利用したいとニーズ調査結果からも分かっており、その必要性は高いことが分かる。実際に、病後児保育は年々利用者が増加しており、受け入れ態勢の強化をしているが、いまだに実施に至っていない病児保育については、引き続き検討していく必要がある。

基本目標：（2）幼児の教育・保育の課題解消に向けた取組の推進

ニーズ調査結果をみると、平成25年度調査に比べて「フルタイムやパート・アルバイト等」で働いている母親の割合が2割ほど増えている。また、フルタイムへの転換希望のある母親の割合も1割程度増えており、保育ニーズの増加が予想される。また、教育・保育施設を利用していない方の理由で、「申し込みしているが空きがない」割合は1割弱減しており、保育施設の環境整備の成果がニーズ調査結果からも実証された。

基本目標：（3）地域における子育ての支援

地域版子育て支援センターを市内3か所に設置し、施設の充実を図った。ニーズ調査結果からも、利用した方は3割を超え、利用している方の利用希望より、利用していない方の利用希望の割合の方が高く、利用ニーズの増加が予想される。平成30年度の放課後児童クラブの登録者数は前年度比で271人増加しており、ニーズ量の増加が予想される一方、土日の利用希望は前回調査から5割減しているため、提供内容や質の充実を踏まえたこどもの居場所づくりが必要である。

基本目標：（4）母性並びに乳児および幼児等の健康の確保および増進

妊婦歯科健診の実施やBCG予防接種と1歳6か月歯科健診の個別健診化など、支援の幅を広げ、親と子の利便性向上を図った。ニーズ調査結果からも、「子どもの健康確保」に関する取組への満足度は非常に高く、「定期的に妊婦健診を受診した」割合も前回調査から5%アップしており、現在の水準を下げないよう、引き続き事業を実施されたい。少数ではあるが健診未受診者などのフォローをできる体制を強化されたい。

基本目標：（5）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

ニーズ調査結果をみると、前回調査に比べ「育児休業を取得した」割合が1割増増加している一方、「希望する取得期間」は子どもが2～3歳台で4割弱いるのに対して、「実際の取得期間」では1割弱にとどまっており、取得しやすい環境ではあるが、希望する取得期間までは乖離が見られる状況である。また、父親の育児休業取得は前回調査同様1割に届かず、男女が働きやすい職場環境の実現のため、講演会や啓発活動の内容を検討しながら引き続き情報提供する必要がある。

基本目標：（6）要保護児童への対応などきめ細やかな取組の推進

児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応まで、切れ目のない総合的な支援をするうえで、様々な機関との協力体制の構築は不可欠であり、子どもセンター開設にともなって、今まで以上に事業が推進している。障がいのある児童と親への支援についても、地域で支え合い、安心して生活ができる環境を整備する必要がある。